

令和4年度第3回 本庄市交通政策協議会 次第

日 時：令和4年11月16日（水）

午後1時30分～

場 所：本庄市役所（6階）大会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 地域公共交通計画策定に係る各種意識調査結果について

資料 - 1

参考資料 - 1

(2) 地域公共交通に関する現状整理と課題について

資料 - 2

(3) 地域公共交通計画の基本方針と目標の骨子（案）

資料 - 3

参考資料 - 2

4. 報告事項

5. 閉会

令和4年度本庄市交通政策協議会委員名簿

第3条関係	選出区分	職名	氏名
1号委員	本庄市長又はその指名をする者	本庄市副市長	山下部 勝
2号委員	一般乗合旅客自動車運送事業者	朝日自動車(株) 運輸部 部次長	田沼 健一
		十王自動車(株) 代表取締役 専務	石倉 実希雄
	一般乗合旅客自動車運送事業者が組織する団体	一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	関根 肇
3号委員	一般貸切旅客自動車運送事業者	本庄観光(株) 代表取締役	山田 三二
		武蔵観光(株) 総務部長	家内 知宣
4号委員	一般乗用旅客自動車運送事業者が組織する団体	本庄地区タクシー協議会 会長	神宮 つぐよ
		一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 専務理事	高原 昭
5号委員	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	朝日自動車労働組合 執行委員長	飯塚 光弘
6号委員	住民又は利用者の代表	共栄(本庄)自治会長	黒澤 一雄
		本庄市老人クラブ連合会 副会長	柳田 信
		本庄商工会議所 専務理事	田中 一成
		児玉商工会 会長	江原 貞治
		本庄市身体障害者福祉会 会長	種村 朋文
7号委員	本庄警察署長又はその指名する者	本庄警察署交通課 課長	笹原 久雄
8号委員	児玉警察署長又はその指名する者	児玉警察署交通課 課長	金子 昇
9号委員	国又は県の交通政策行政の経験及び知識を有する者	埼玉県企画財政部交通政策課 主査	西野 利彦
10号委員	関東運輸局埼玉運輸支局長 又はその指名する者	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 首席運輸企画専門官	小川 ゆかり
11号委員	国又は県の都市計画行政の経験及び知識を有する者	国土交通省関東地方整備局建政部 都市調整官	大関 弘之
12号委員	道路管理者(国道)	国土交通省大宮国道事務所 所長	阿部 俊彦
	道路管理者(県道)	埼玉県本庄県土整備事務所 道路部長	岡本 史靖
13号委員	学識経験を有する者その他協議会が必要と認める者	早稲田大学 名誉教授	浅野 光行
		本庄市議会 議員	林 富司

地域公共交通計画策定に係る 各種意識調査結果報告

- (1) 市民意識調査
- (2) デマンドバス利用者意識調査
- (3) シャトルバス利用者意識調査
- (4) デマンドバス未利用者意識調査
- (5) シャトルバス未利用者意識調査
- (6) 路線バス利用者意識調査
- (7) 鉄道利用者意識調査



(1) 市民意識調査



本庄市在住の3,000人（無作為抽出）への郵送によるアンケート及びWebアンケートにより、デマンドバスやシャトルバス等、今後の本庄市における交通政策の方向性を定める基礎資料とするために実施

調査対象：本庄市在住15歳以上の3,000人（無作為抽出）、Webアンケート回答者

配布・回収：郵送による配布・回収、市HPによるWebアンケート

実施期間：令和4年8月～令和4年10月

回収結果：1,363票（郵送配布・回収：999票（回収率33%）、Webアンケート：364票）

設問内容：

項目	設問内容
基本属性	お住まい、ご家族（人数、家族構成）、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
鉄道利用	利用の有無、満足度、不満理由、利用しない理由
路線バス	利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
タクシー	利用の有無、利用頻度、利用目的、利用場面、利用しない理由
デマンドバス	認知度、利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
シャトルバス	認知度、利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
自家用車	利用頻度、利用継続意向、公共交通への転換意向、自家用車利用に関する意識
市内公共交通	公共交通全般に関する意識、シャトルバス・デマンドバスによる移動のしやすさ、自家用車利用に関する意識
コロナによる生活様式の変化	コロナ蔓延前と比べての外出回数・移動手段の変化 コロナ終息後の外出回数の変化



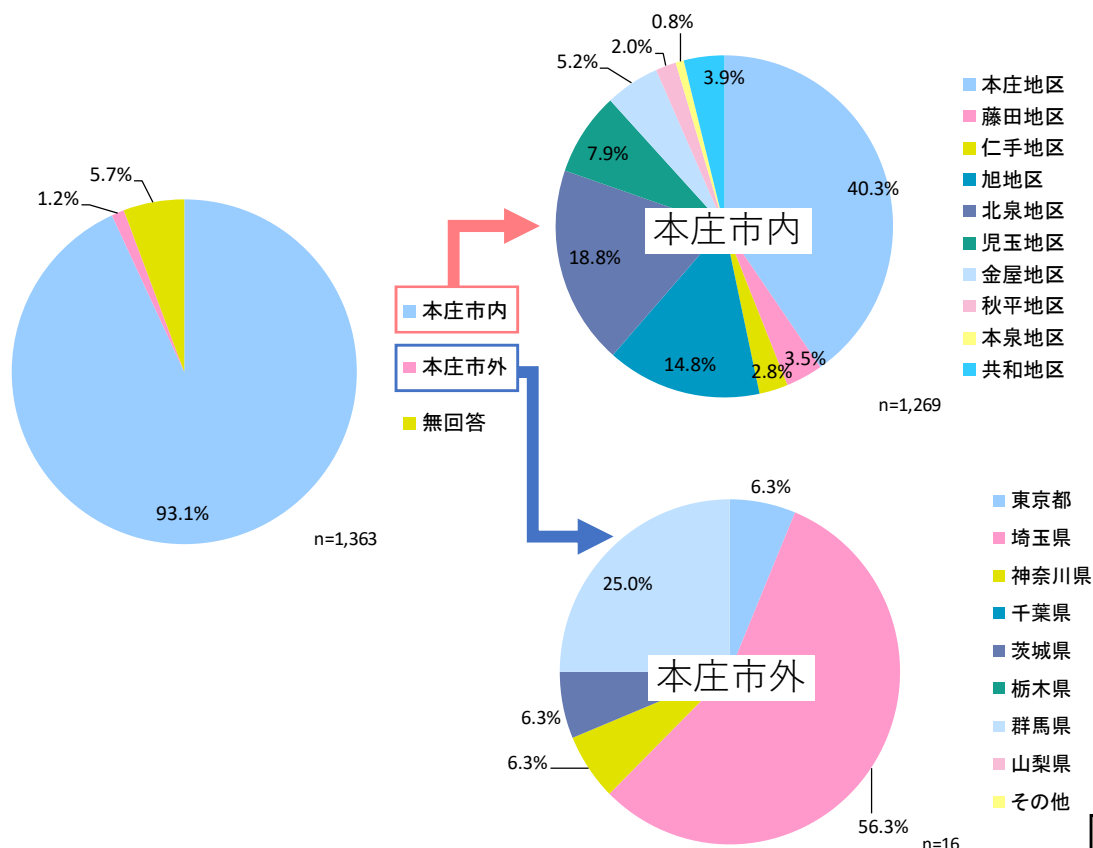
(1) 市民意識調査 ①属性



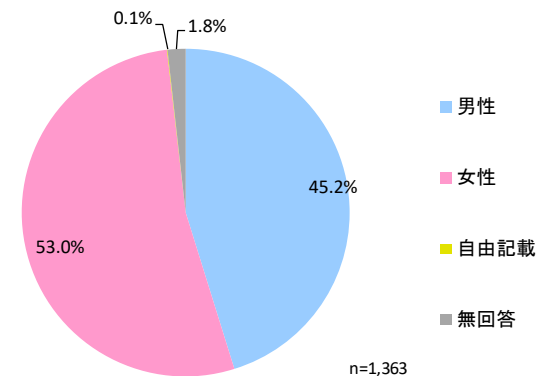
結果概要

- 回答者の約9割は本庄市内在住であるが、本庄市外在住の方からの回答も見られる。
- 各年代より回答いただいているが、60代以上が約半数を占める。

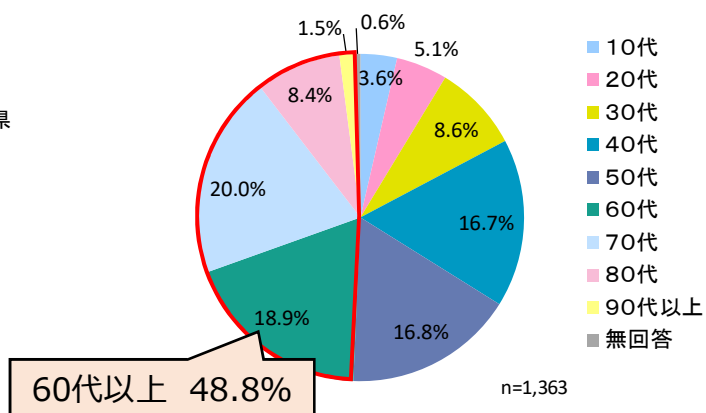
お住まい



性別



年齢





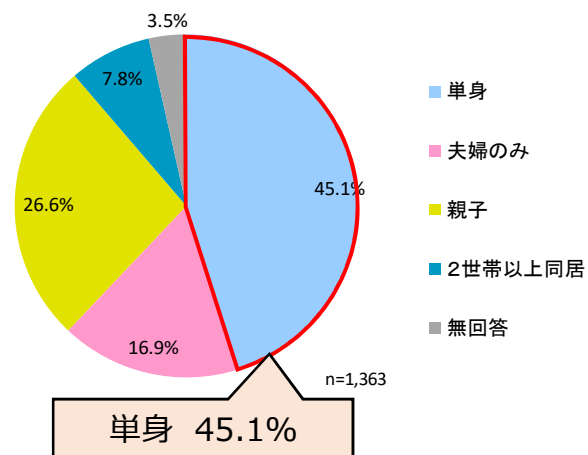
(1) 市民意識調査 ①属性



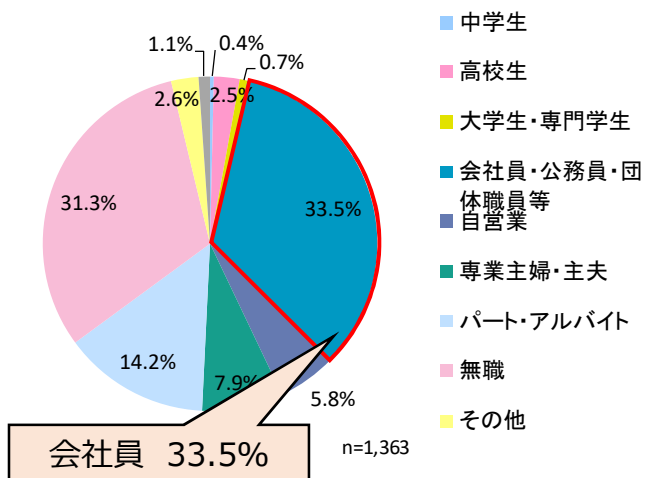
結果概要

- 家族構成は単身が半数近くを占める。
- 職業は会社員が最も多い。
- 約8割の方が運転免許証を持っている。

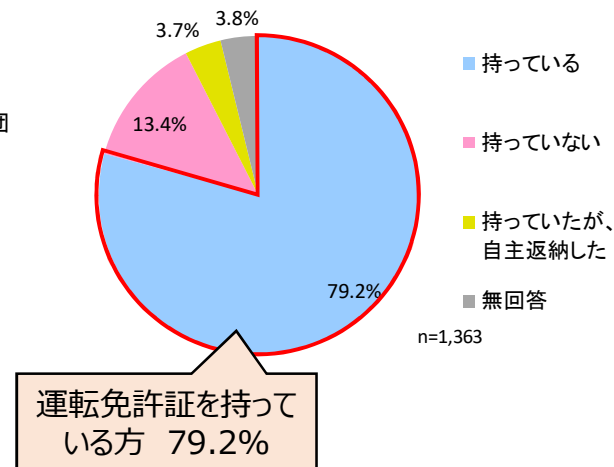
家族構成



職業



運転免許証の保有状況





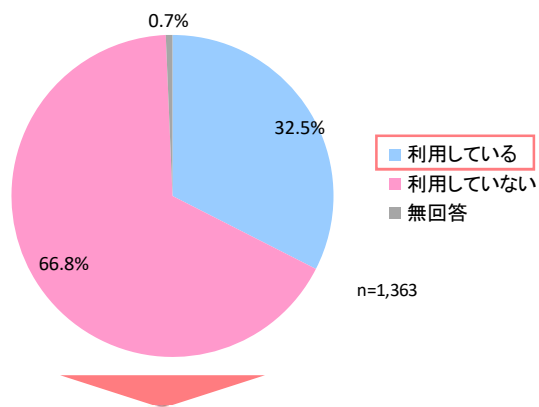
(1) 市民意識調査 ②鉄道の利用について



結果概要

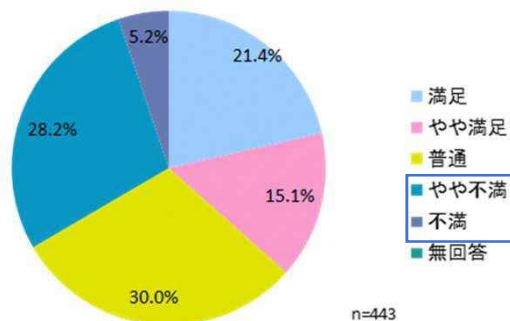
- 最近1ヵ月で鉄道を利用している人は3割程度である。
- 利用している人の満足度は、満足と不満に思う人の割合が同程度であり、運行本数に関する不満が最も多い。

最近1ヵ月で鉄道を利用しましたか



「利用している」と回答した方

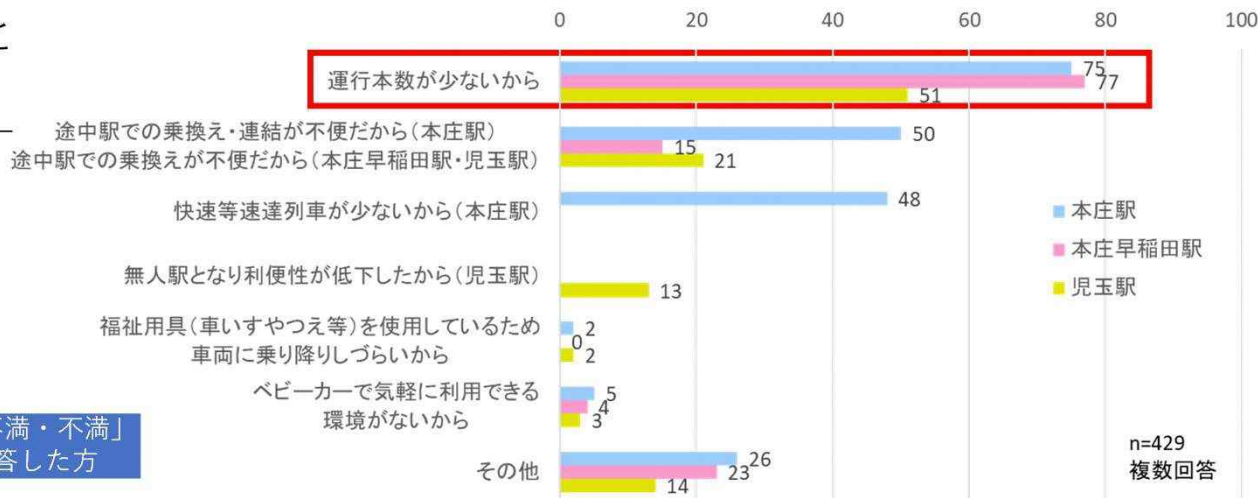
鉄道の利用に対する満足度と不満な場合はその理由



「やや不満・不満」と回答した方

満足・やや満足 36.5%
 不満・やや不満 33.4%

○不満理由 ※駅ごとにいくつでも選択可





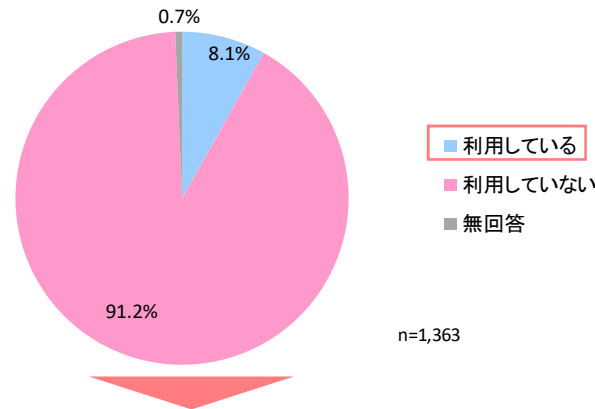
(1) 市民意識調査 ③路線バスの利用について



結果概要

- 最近1ヵ月で路線バスを利用している人は1割弱である。
- 利用している人の満足度は、不満が満足と思う人の割合より多く、不満理由としては運行本数や鉄道との乗り継ぎに関するものが多い。また、ICカードに関する要望もあがっている。

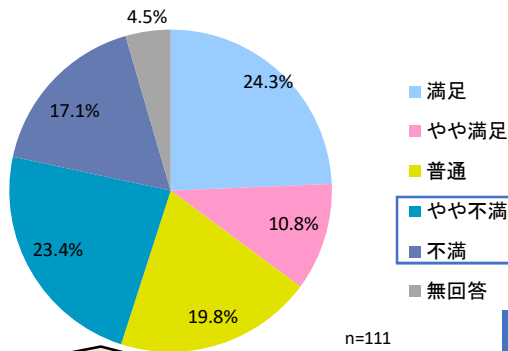
最近1ヵ月で路線バスを利用しましたか



運行本数の他、バスと鉄道との乗り継ぎ改善や、ICカードの利用に関する要望の声もあがっている

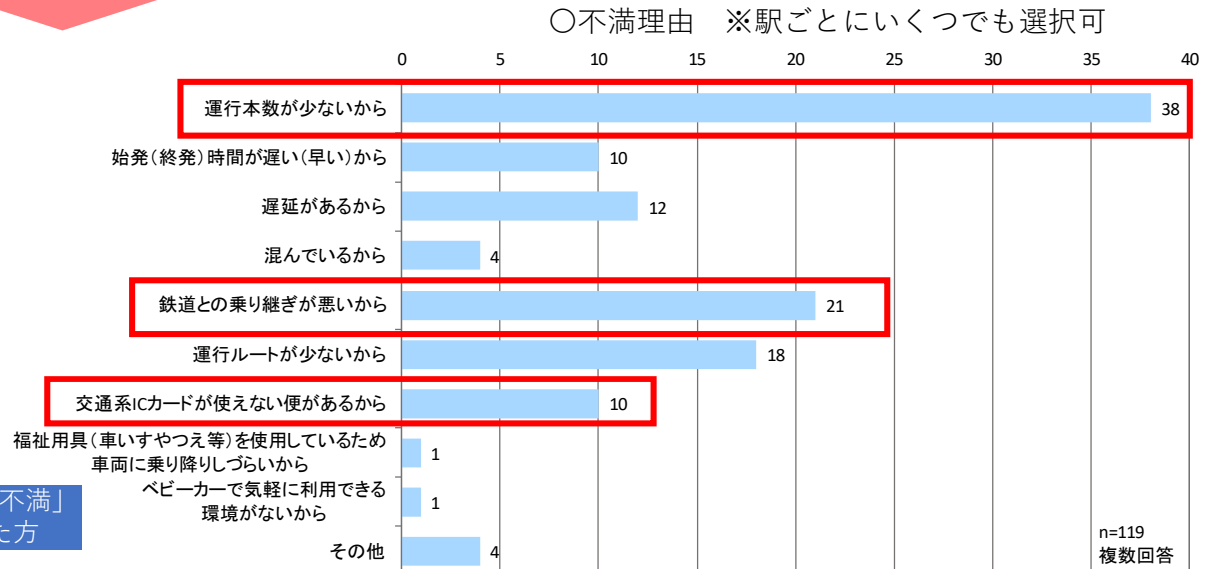
「利用している」と回答した方

路線バスの利用に対する満足度と不満な場合はその理由



満足・やや満足 35.1%
不満・やや不満 40.5%

「やや不満・不満」と回答した方





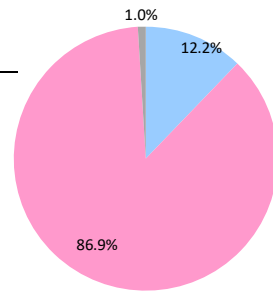
(1) 市民意識調査 ④ タクシーの利用について



結果概要

- 最近1ヵ月での利用は、1割程度であり、利用頻度としては月に数回～年に数回が多い。
- 他に交通手段がない時に加え、悪天候の時や疲れた時などの場面に応じた利用がされている。
- 利用しない理由としては、「自動車を使用するから」の他、料金による抵抗も大きい。

最近1ヵ月でタクシーを利用しましたか

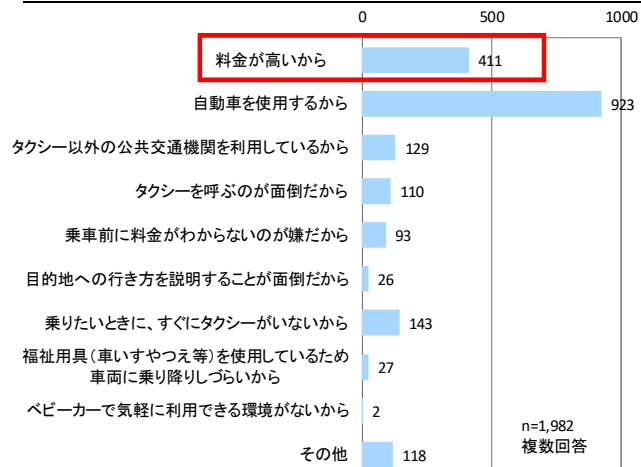


■ 利用している
■ 利用していない
■ 無回答

n=1,363

「利用していない」と回答した方

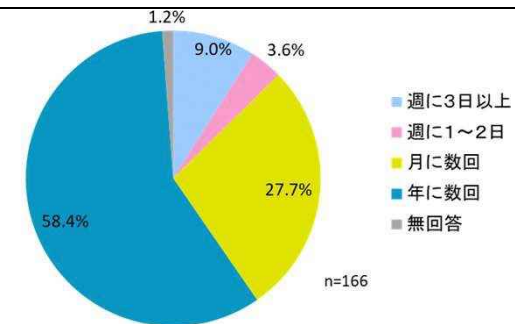
タクシーを利用していない理由を教えてください



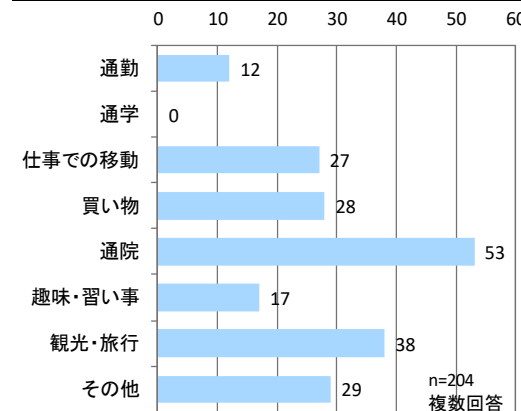
※いくつでも選択可

「利用している」と回答した方

タクシーをどれくらいの頻度で使いますか

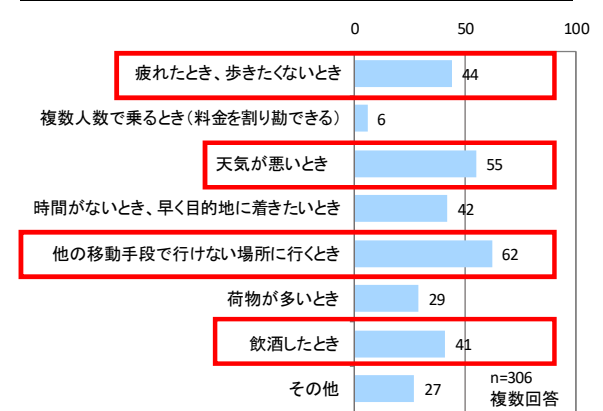


タクシーを利用する目的を教えてください



※3つまで選択可

タクシーを利用する場面を教えてください



※3つまで選択可



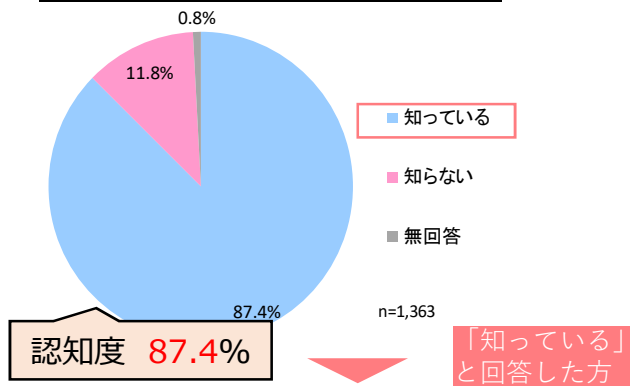
(1) 市民意識調査 ⑤デマンドバスの利用について



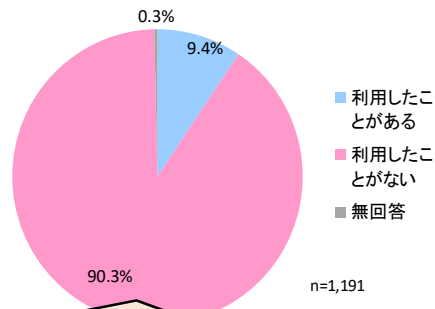
結果概要

- デマンドバスの認知度は9割弱と非常に高い。一方で、知っている人のうち、利用したことのある人の割合は1割程度に留まっている。
- 各年代の方に利用されており、特に80代以上では利用したことがある人は2割以上となっている。一方で、その他の年代では1割以下に留まっている。

デマンドバスを知っていますか



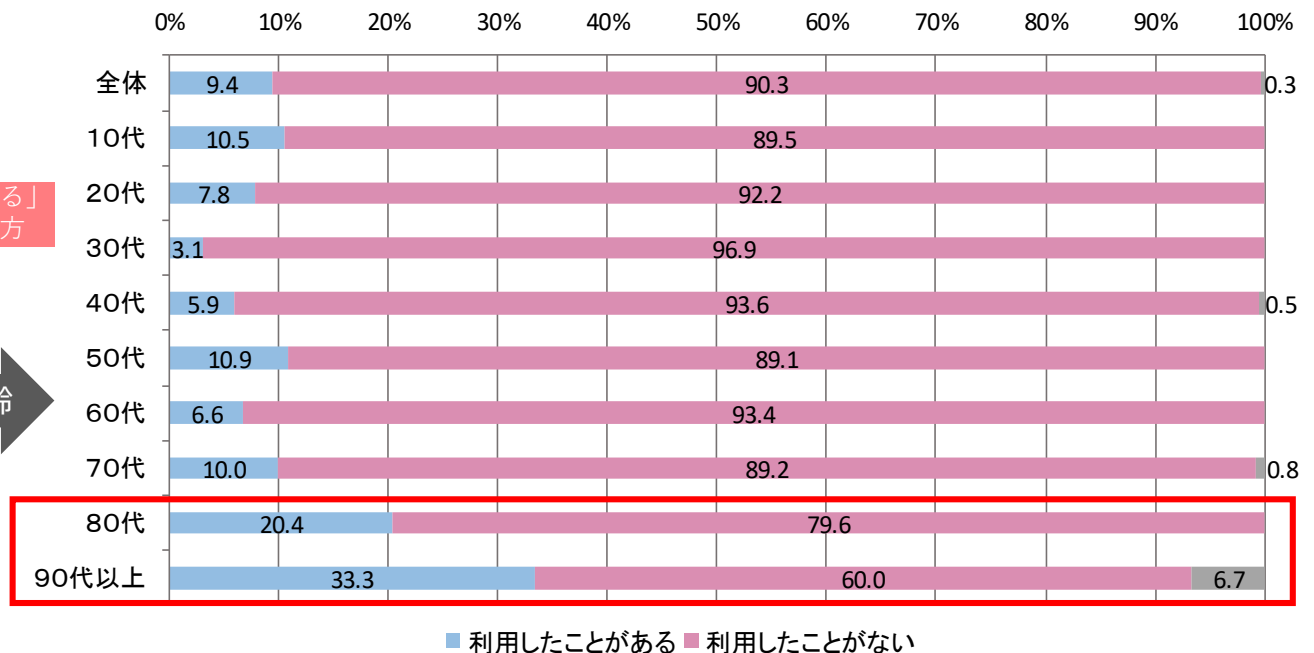
デマンドバスを利用したことはありますか



利用したことがある人 9.4%

年代別の利用状況では、80代以上は「利用したことがある」と回答する割合が高いが、他の世代では1割以下にとどまっている

「年齢」×「デマンドバスを利用したことはありますか」





(1) 市民意識調査 ⑤デマンドバスの利用について

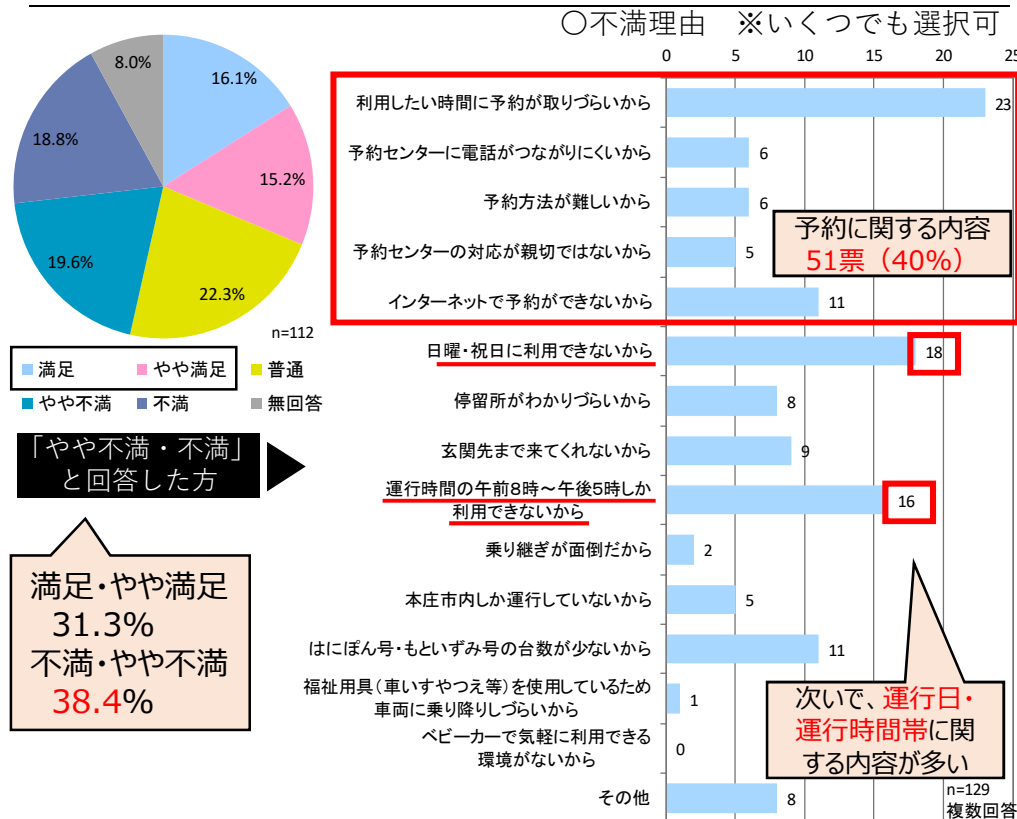


結果概要

- 不満が満足と思う人の割合より多く、不満の理由としては約4割が予約に関する内容である。
- デマンドバスを利用しない理由としては、「自動車で移動できるから」が最も多く、その他予約方法や運行内容の認識に関する内容、予約の手間に関する内容が多い。

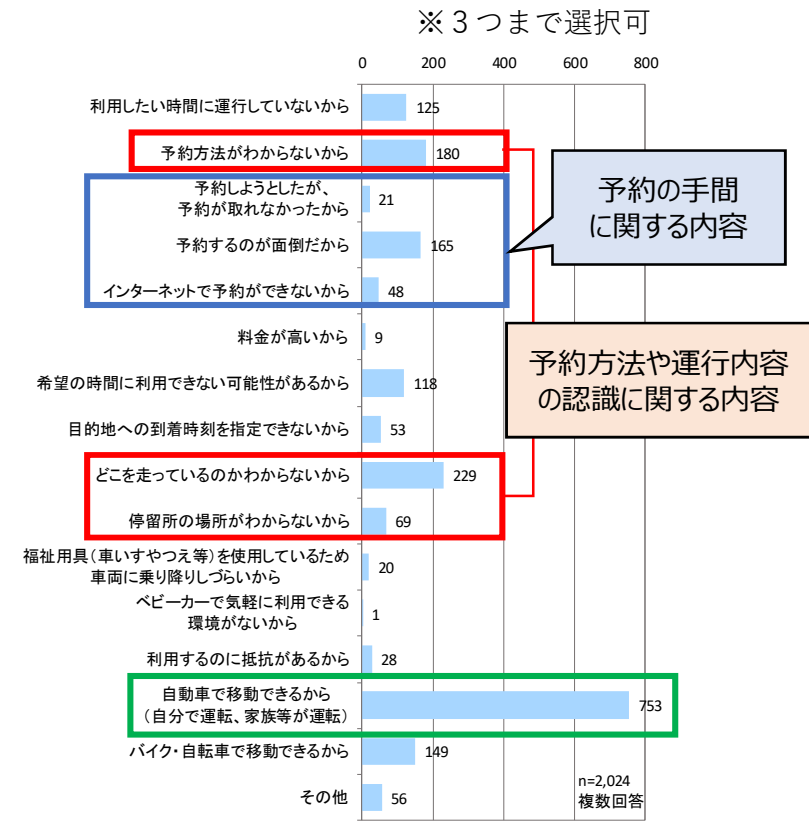
「利用したことがある」と回答した方

デマンドバスの利用に対する満足度と不満な場合はその不満理由



「利用したことがない」と回答した方

デマンドバスを利用しない理由





(1) 市民意識調査 ⑥シャトルバスの利用について

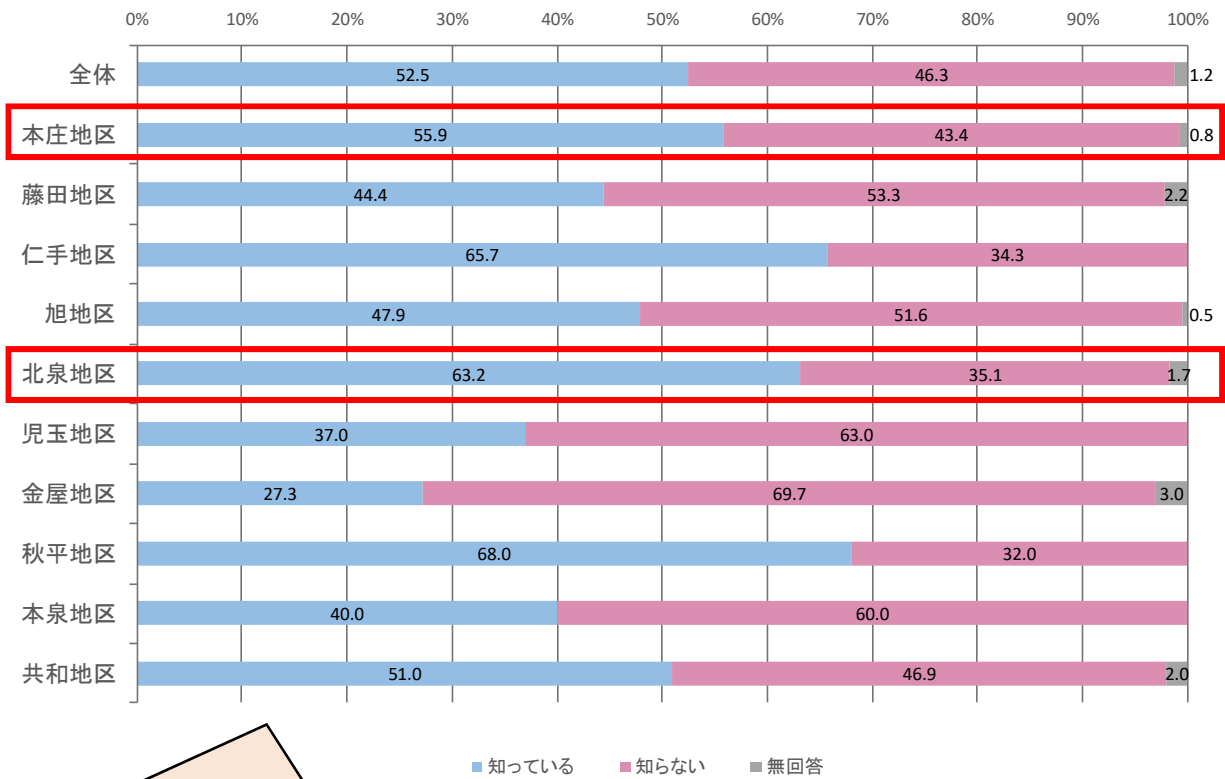
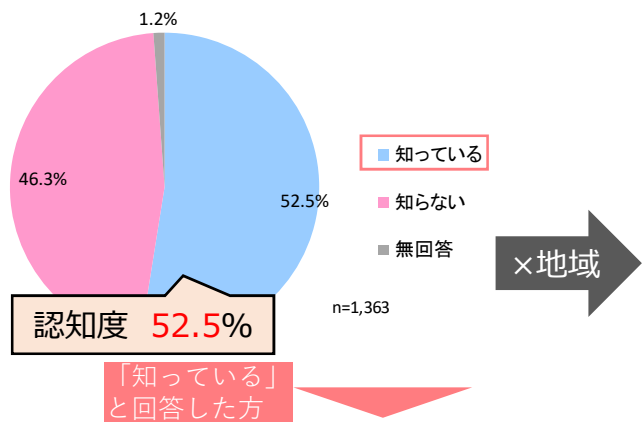


結果概要

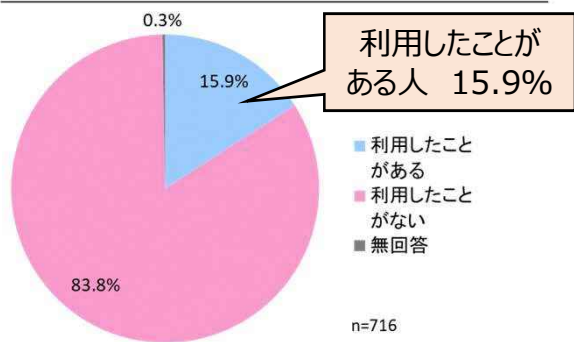
- シャトルバスの認知度は5割程度であり、運行する本庄地区及び北泉地区においても約4割の人が知らないと回答している。
- 知っている人のうち、利用したことのある人の割合は2割弱に留まっている。

シャトルバスを知っていますか

「お住まい地域」×「シャトルバスを知っていますか」



シャトルバスを利用したことはありますか



シャトルバスの運行する本庄地区・北泉地区でも約40%程度の方がシャトルバスを知らない



(1) 市民意識調査 ⑥シャトルバスの利用について

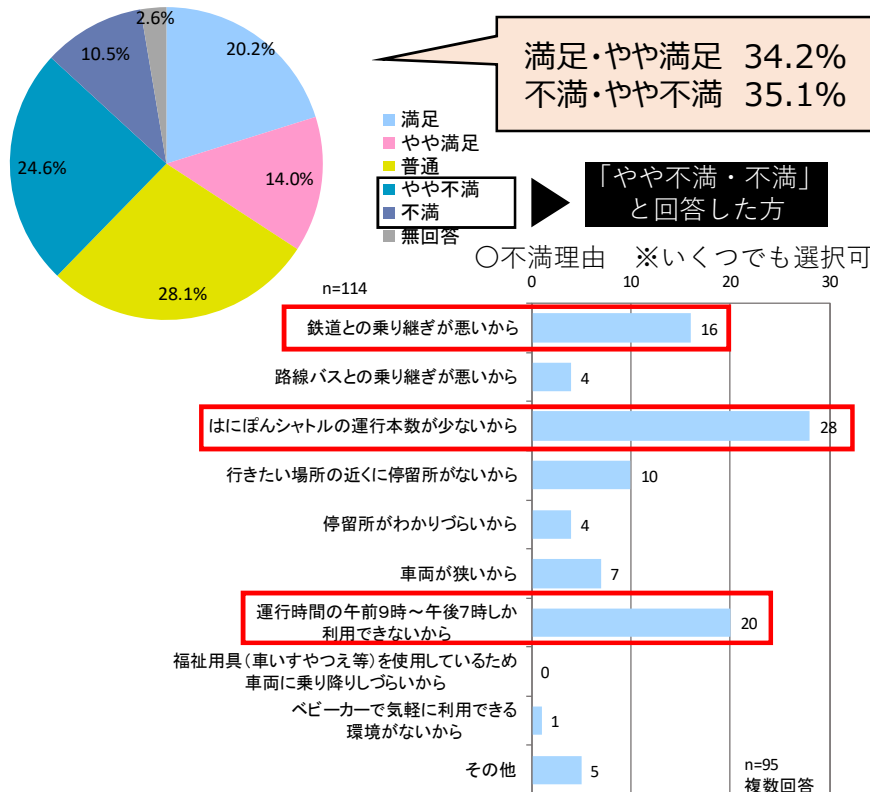


結果概要

- 満足と不満と思う人の割合が同程度であり、不満の理由としては運行本数のほか、鉄道との乗り継ぎや運行時間帯に関する内容が多い。
- 利用しない理由としては、「自動車で移動できるから」が最も多く、その他路線や時刻が分からない等、運行内容の認識に関する内容が多い。

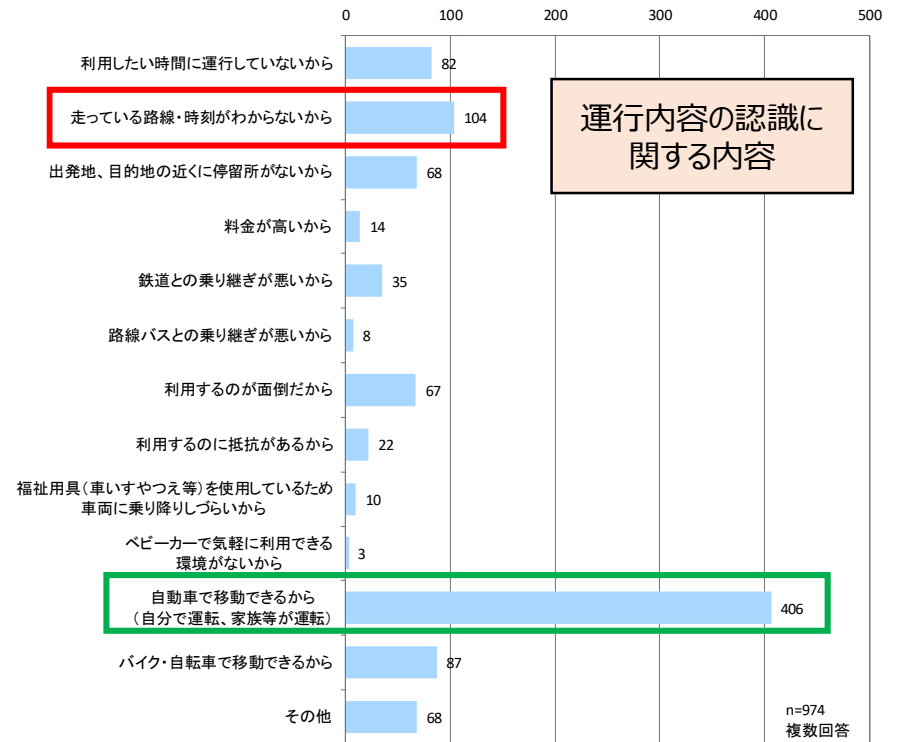
「利用したことがある」と回答した方

シャトルバスの利用に対する満足度と不満理由



「利用したことがない」と回答した方

シャトルバスを利用しない理由





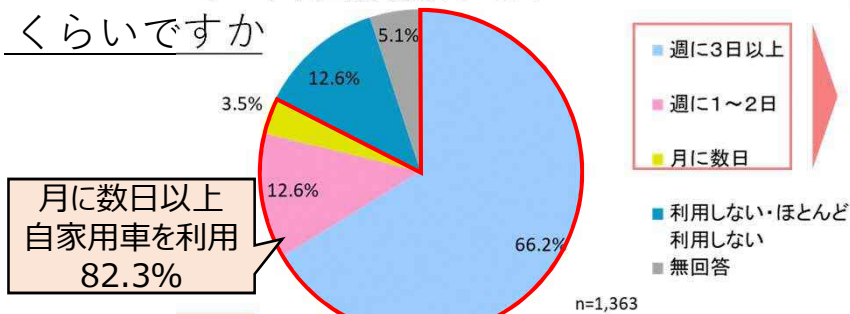
(1) 市民意識調査 ⑦自家用車の利用について



結果概要

- 月に数日以上自家用車を利用する人が全体の約8割おり、そのうち週3日以上と日常的に利用している人が全体の約7割を占める。
- 一方で、平成30年度と比較して、車利用に関する環境負荷低減の意識は高まってきている。
- 公共交通への転換条件としては、バス停までの距離と運行本数等の改善が求められる。

自家用車での外出頻度はどれくらいですか

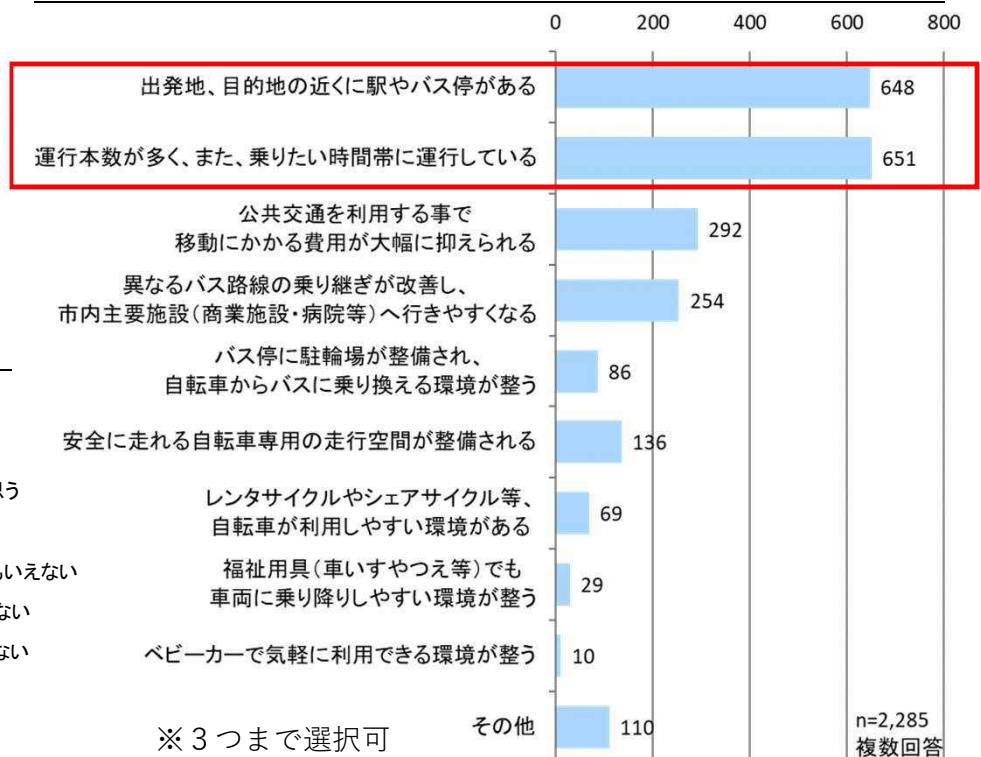


月に数日以上自家用車を利用 82.3%

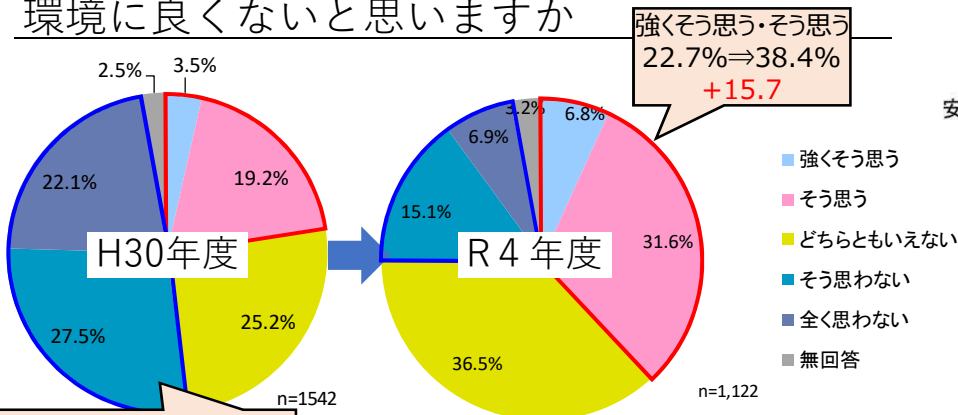
「月に数日」以上に回答した方

「月に数日」以上に回答した方

どのような条件が整えば自家用車から他の公共交通や自転車へ変更することができますか



過度に「自家用車での移動」をすることは環境に良くないと思いますか



強くそう思う・そう思う 22.7%⇒38.4% +15.7

そう思わない・全く思わない 49.6%⇒22.0% -29.6



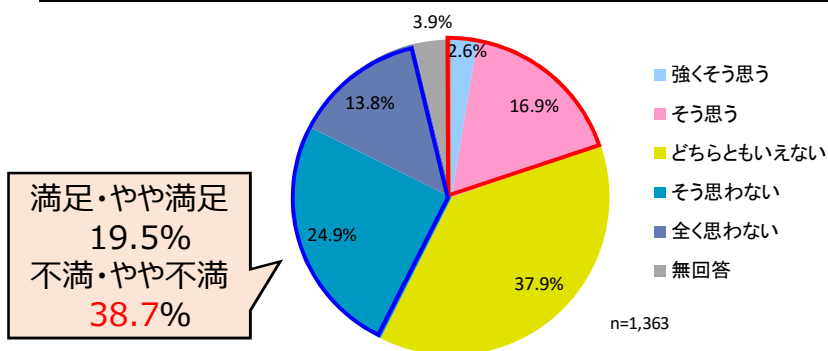
(1) 市民意識調査 ⑧市内の公共交通について



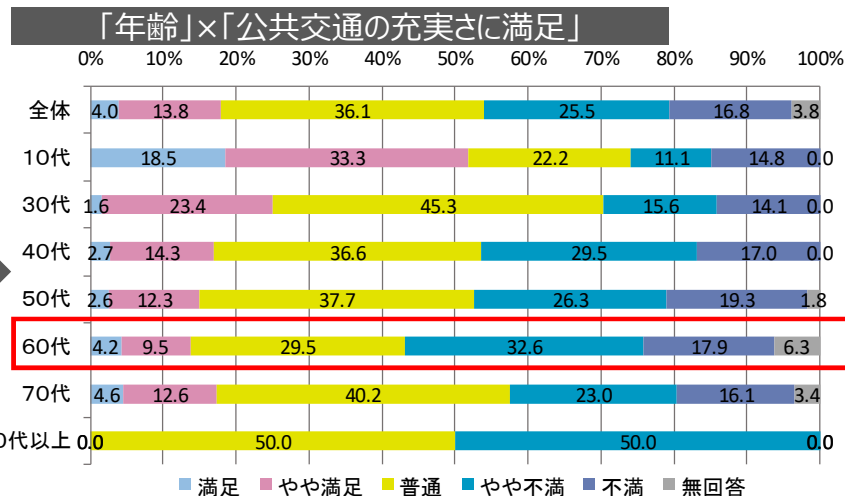
結果概要

- 市内の公共交通の満足度は、不満に思う人の割合が38.7%と満足と思う人より多く、年代別に見ると、60代の方は半数が不満と答えている。
- 一方で、「日常生活には不可欠」と答える人は約半数、「みんなで支えていかなければいけない」と答える人は約8割と、公共交通の維持は必要と考えている。

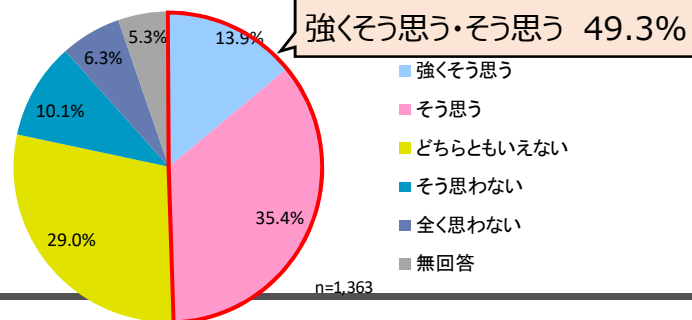
本庄市内には、鉄道、路線バス、デマンドバス、シャトルバスなどがあり、公共交通の充実さに満足している



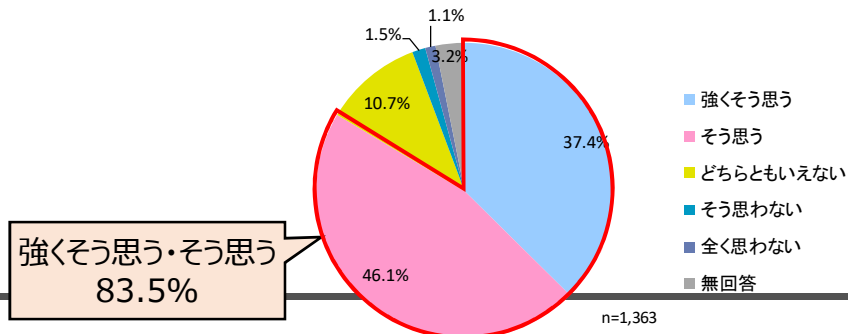
×年齢



公共交通は、運行本数や、時間の制約等で多少不便であっても、一人で自由に外出することができるので、日常生活には不可欠である



公共交通は、自家用車を利用しない人・利用できなくなった人の外出手段として、必要不可欠なものである。今は公共交通を利用しない人も含めて、みんなで支えていかなければならない





(1) 市民意識調査

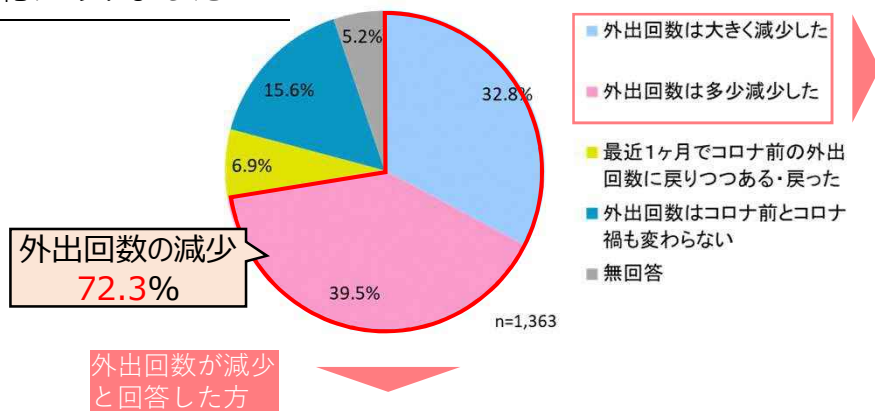
⑨新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化について



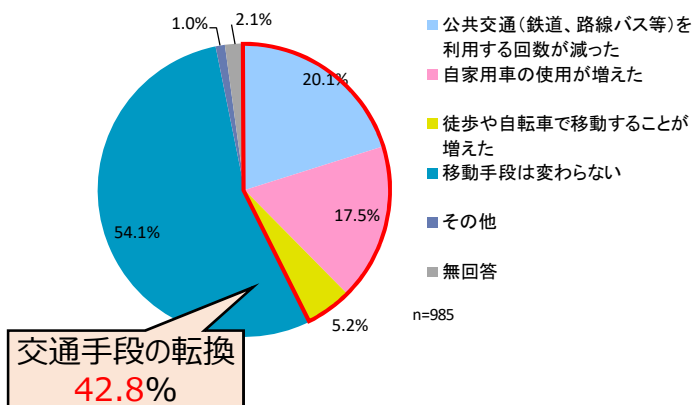
結果概要

- 新型コロナウイルス感染症の影響として、外出回数の減少や移動手段の転換が発生しており、公共交通の利用者が減少している。
- 収束後においても15%~35%の人は、コロナ禍前の外出回数には戻らないと回答している。

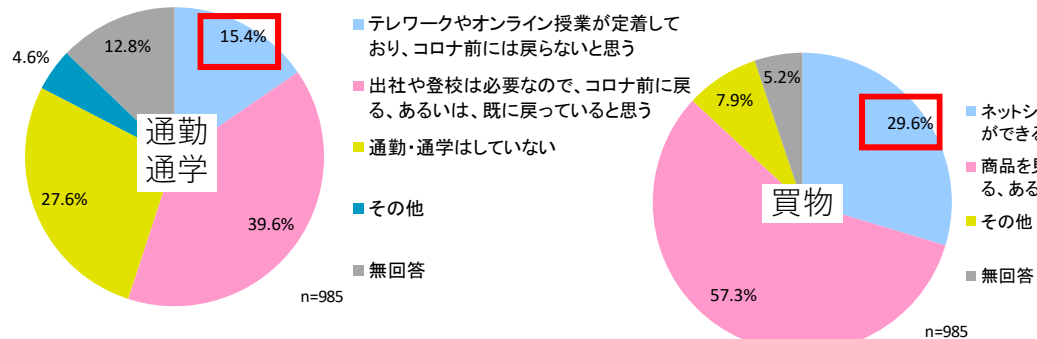
新型コロナウイルス感染症のまん延前と比べて、最近1カ月のあなたの日常生活における外出回数に変化はありましたか



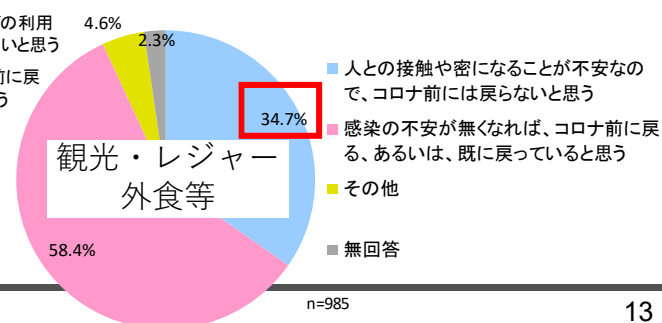
外出回数が減少と回答した方
コロナ前の移動手段とコロナ禍での移動手段に変化はありましたか



新型コロナウイルス感染症が収束すれば、あなたの外出回数はコロナ前と同じような状態に戻るとお考えですか



コロナ収束後も元の外出回数に戻らないと回答 15.4%~34.7%





(2) デマンドバス利用者意識調査



令和4年8月～10月中にデマンドバスを利用された方を対象にアンケート調査を実施

配布・回収：デマンドバス車内で利用者に運転手が配布し、回収は郵送

実施期間：令和4年8月～令和4年10月

回収結果：47票（回収率：24% 配布数197部）

設問内容

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用年数、利用目的、往復利用、利用した停留所区間、停留所までの所要時間、利用する理由、乗り継ぐ公共交通、乗継割引の利用状況
満足度	予約方法・予約センターの対応、運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、停留所の設置場所、デマンドバスについて



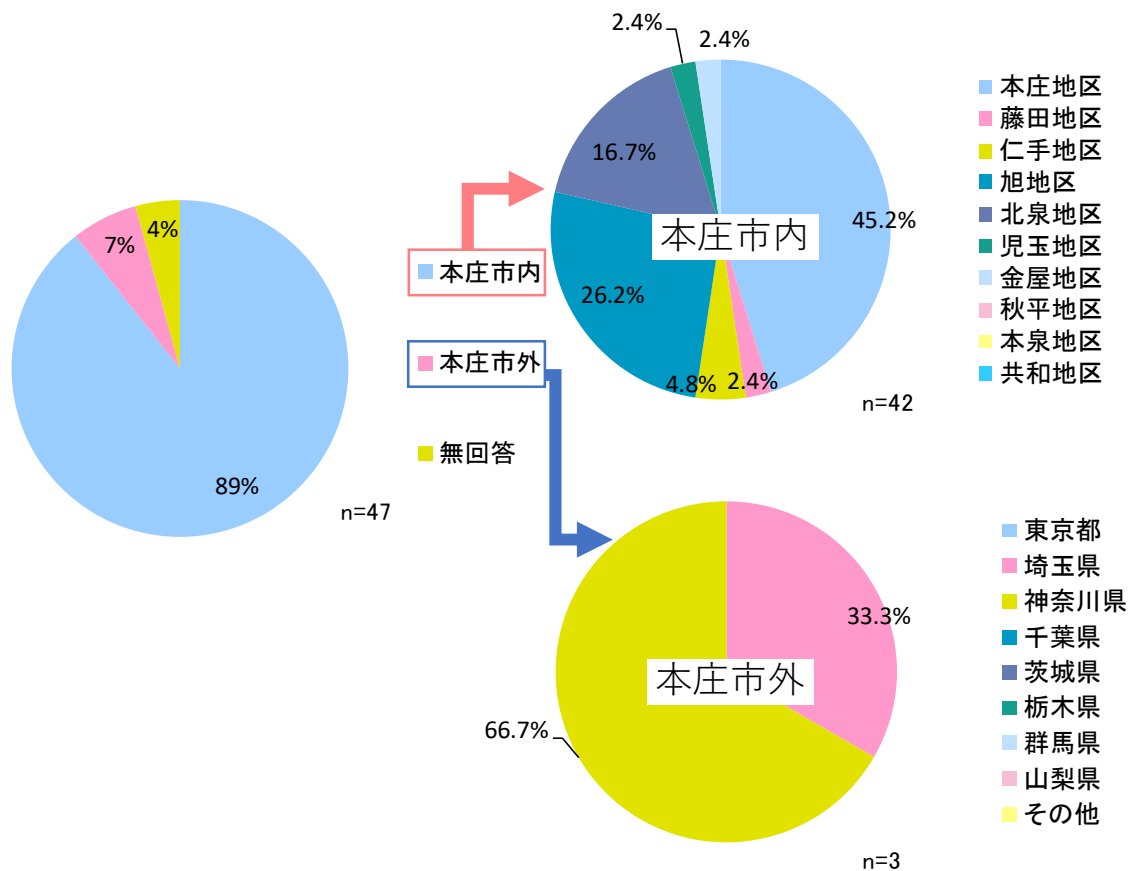
(2) デマンドバス利用者意識調査 ①属性



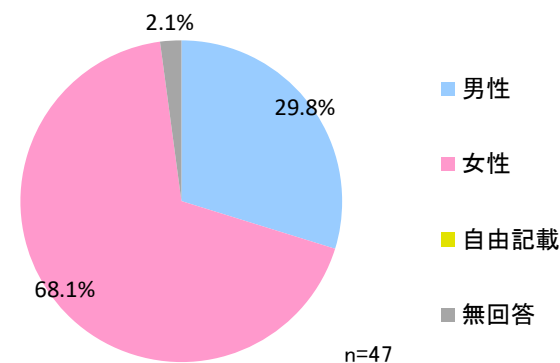
結果概要

- 利用者の約9割は本庄市内在住であるが、本庄市外在住の方も利用している。
- 利用者の約8割が60歳以上であり、高齢者の利用が主となっている。

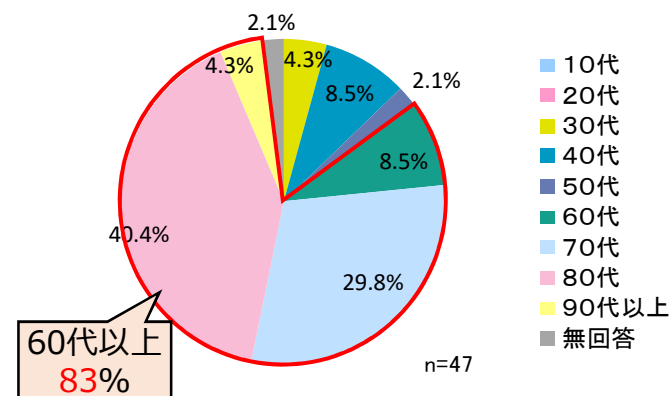
お住まい



性別



年齢





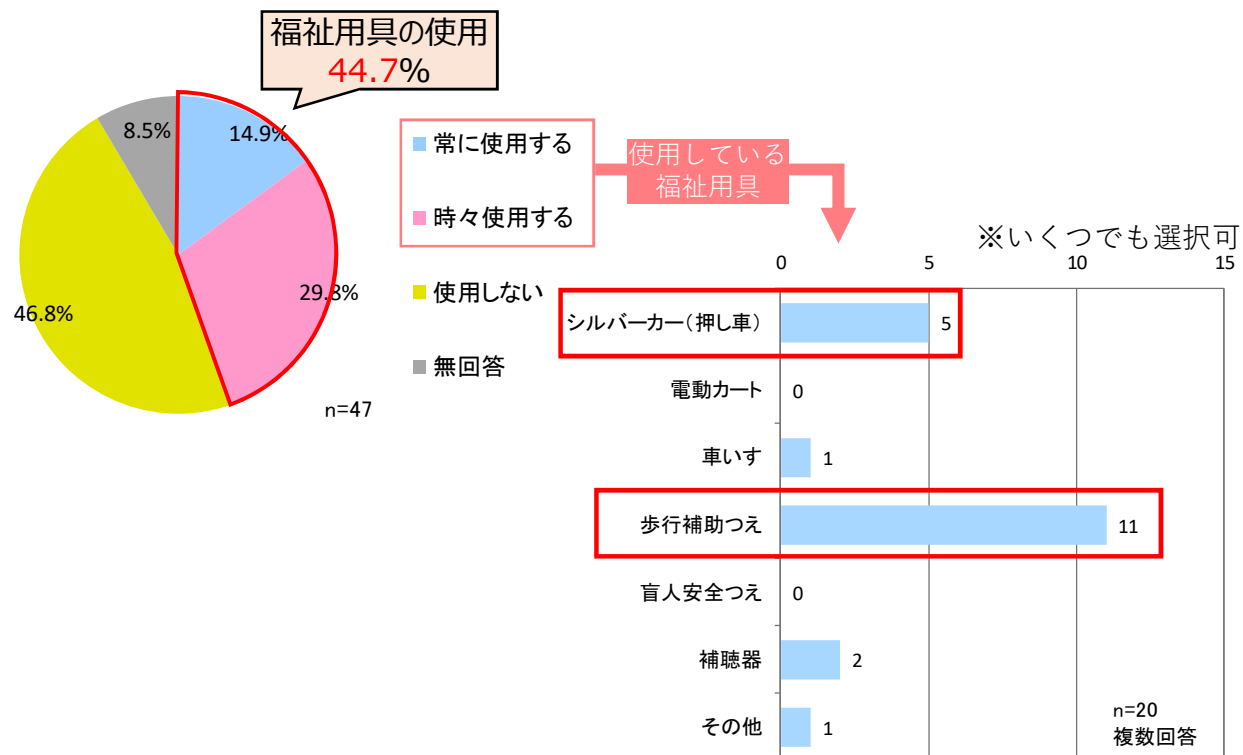
(2) デマンドバス利用者意識調査 ①属性



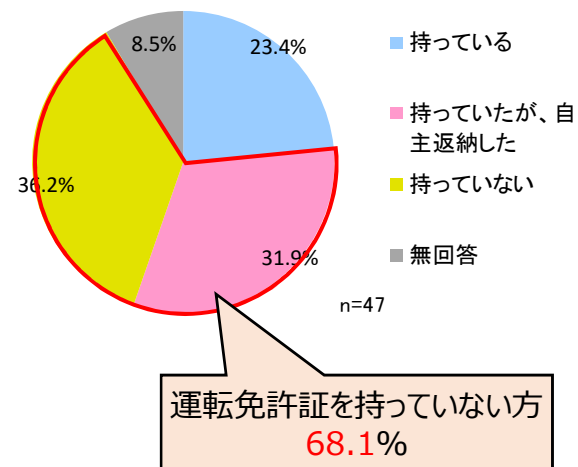
結果概要

- 4割以上の方が福祉用具を使用しており、歩行補助つえやシルバーカーといった歩行を補助する用具を使用する方が多い。
- 利用者の約7割は運転免許証を持っておらず、自動車を運転できない方の交通手段として活用されている。

福祉用具の利用状況



免許証の保有状況





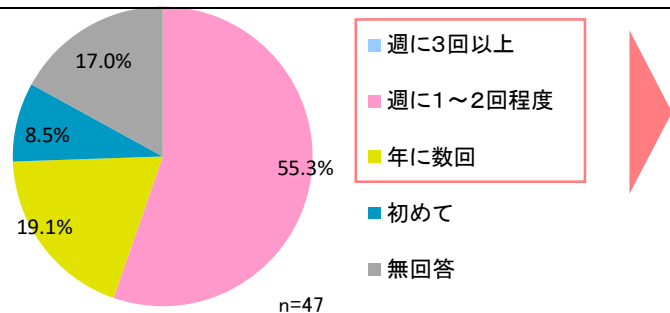
(2) デマンドバス利用者意識調査 ②利用状況



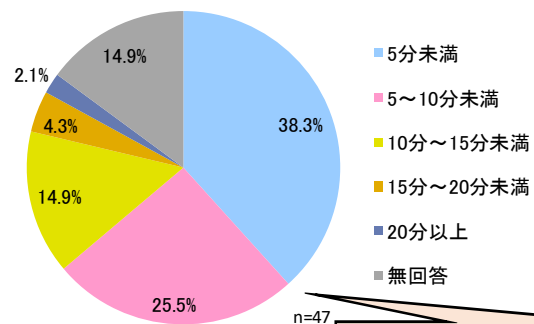
結果概要

- 利用頻度は週に1～2回程度が最も多く、利用者の内半数は利用開始が3年未満と、新規利用者の増加が見られる。
- バス停までの所要時間は5分未満が最も多く、回答者の平均では5.6分である。
- 利用目的としては、通院・お見舞いが最も多く、次に買い物が多い。

どれくらいの頻度で利用していますか



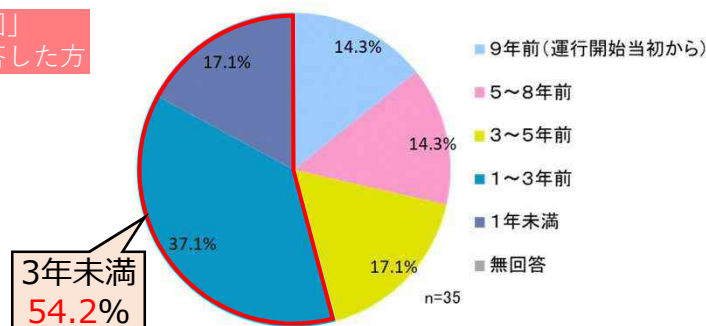
自宅から最寄りのバス停までの所要時間を教えてください



所要時間は平均で**5.6分**
移動距離：約370m（歩行速度4km/h換算）

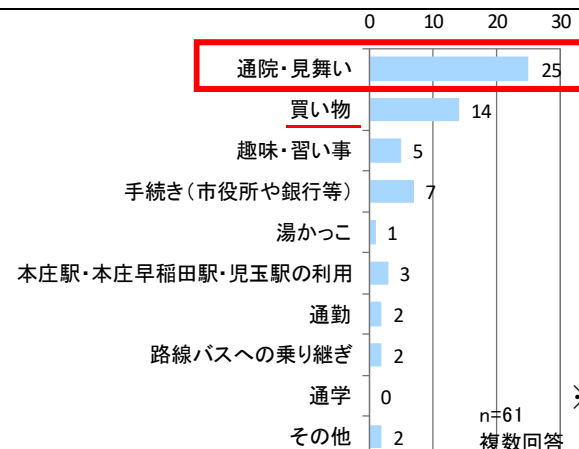
どれくらい前から利用していますか

「年に数回」以上に回答した方



3年未満
54.2%

どのような目的で利用していますか





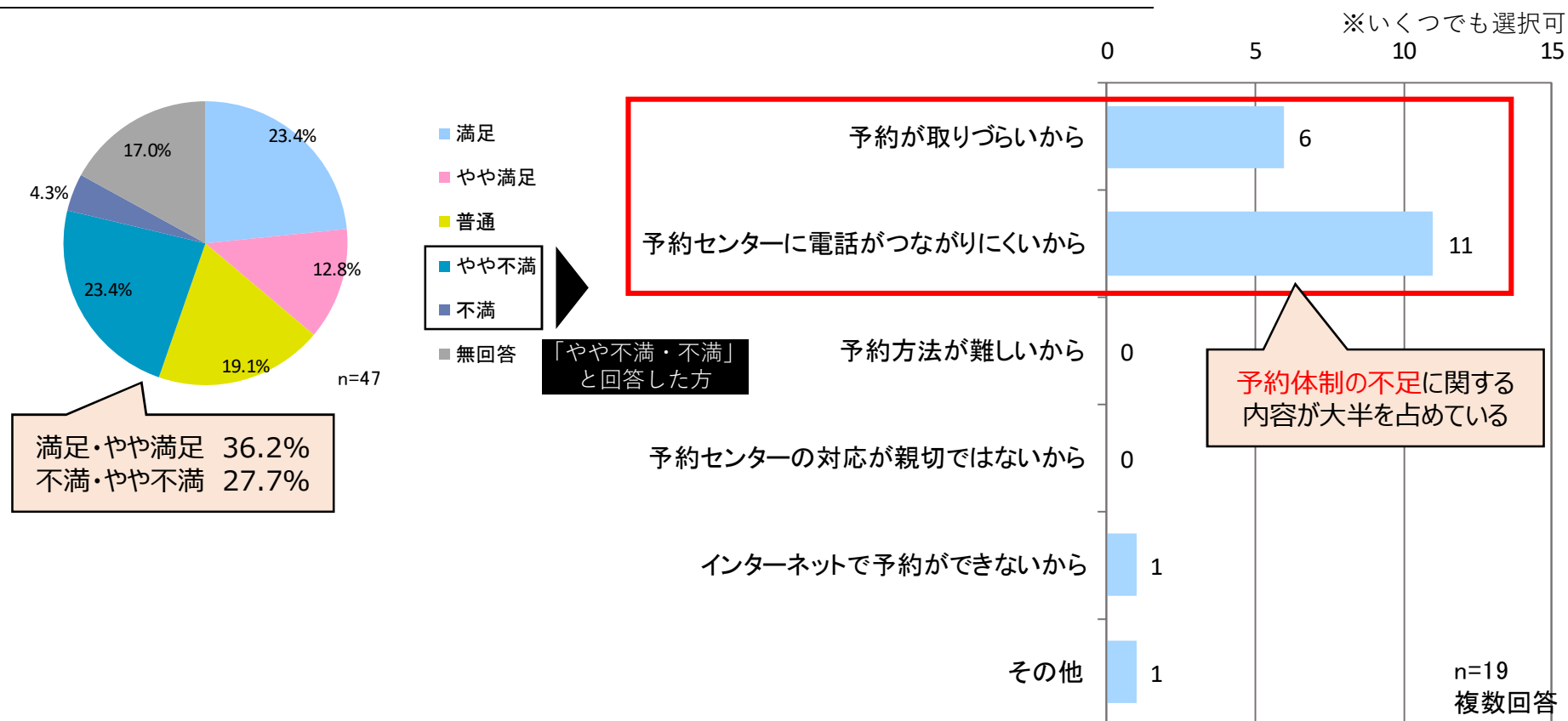
(2) デマンドバス利用者意識調査 ③満足度と不満理由



結果概要

- 4割弱の人は予約に関して満足しているが、不満に思う人のほとんどは「予約が取りづらいから」、「予約センターに電話がつながりにくいから」と予約体制に不満を持っている。

予約方法や予約センターの対応に対する満足度と不満な場合はその理由





(2) デマンドバス利用者意識調査

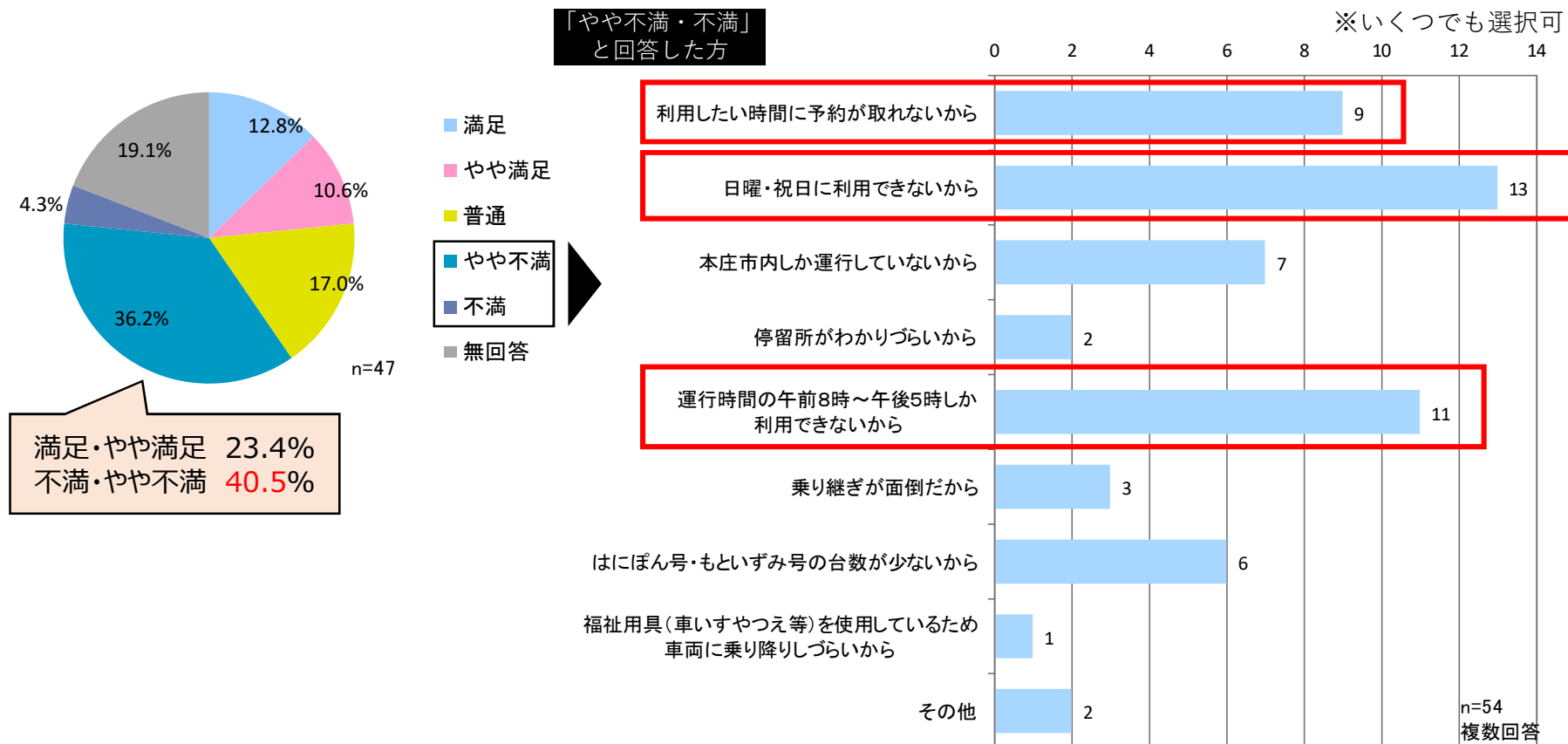
③満足度と不満理由



結果概要

- ▶ 不満に思う人が約4割と、満足に思う人の割合より高く、不満理由としては、運行日・運行時間帯に関する内容が多い。

運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と不満な場合はその理由





(2) デマンドバス利用者意識調査

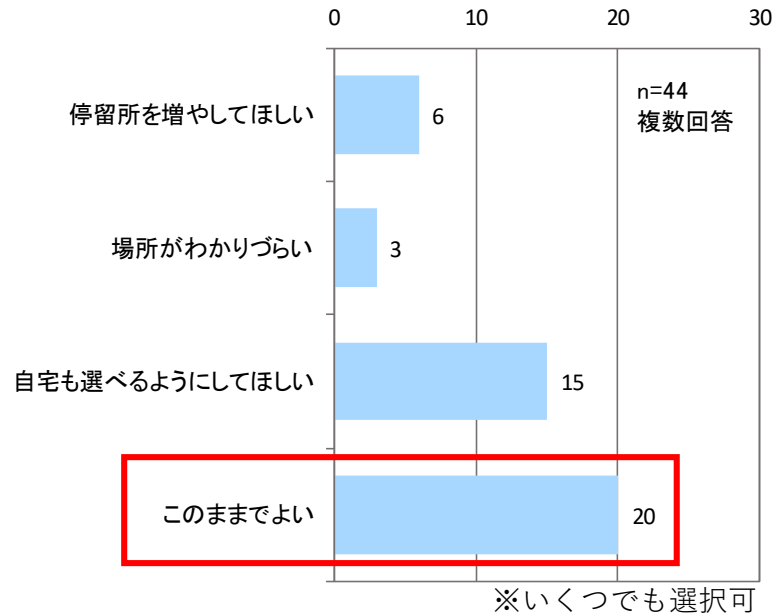
④ デマンドバスについて



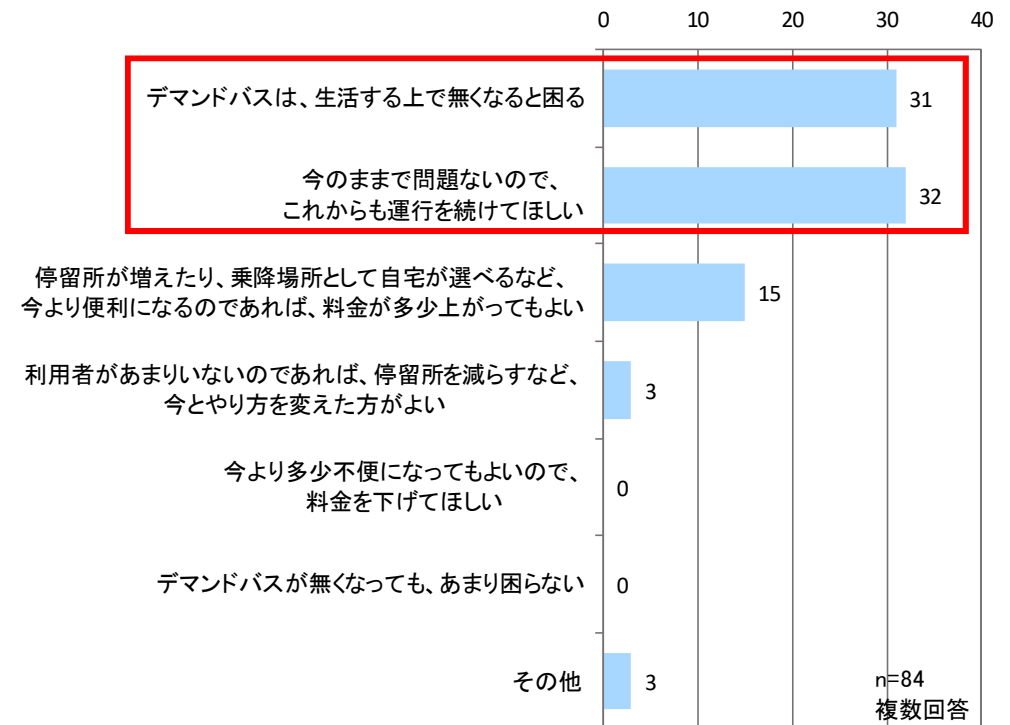
結果概要

- デマンドバスの停留所については、このままでよいと回答する人が最も多い。
- 「デマンドバスは、生活する上でなくなると困る」という意見が多く、今後の運行についても運行の存続を求める声が多い。

現在、デマンドバスの停留所は400か所あります。
 停留所の場所について、あなたのお考えを教えてください



デマンドバスについて、あなたのお考えに近いものを教えてください





(3) シャトルバス利用者意識調査



令和4年8月～10月中にシャトルバスを利用された方を対象にアンケート調査を実施

配布・回収：シャトルバス車内で利用者に運転手が配布し、回収は郵送

実施期間：令和4年8月～令和4年10月

回収結果：31票（回収率：17% 配布数185部）

設問内容：

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用年数、利用目的、往復利用、利用した停留所区間、停留所までの移動手段と所要時間、利用する理由、乗り継ぐ公共交通、乗継割引の利用状況
満足度	運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、シャトルバスについて



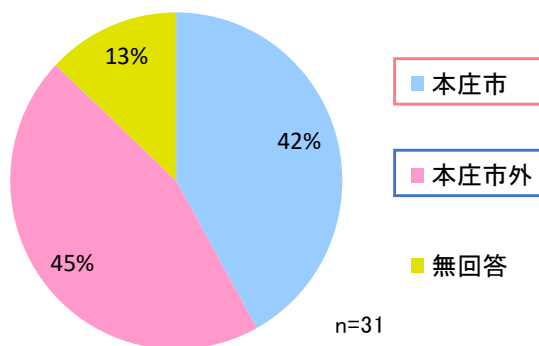
(3) シャトルバス利用者意識調査 ①属性



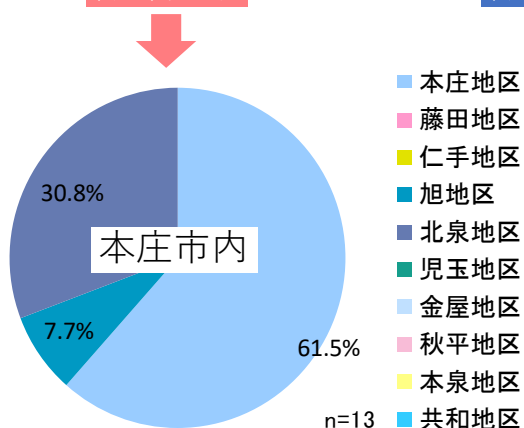
結果概要

- 利用者の約半数は本庄市外在住であり、特に埼玉県内の他市町村在住の方が多い。
- 年齢は30代から50代の方が多く、職業では会社員の利用が最も多い。

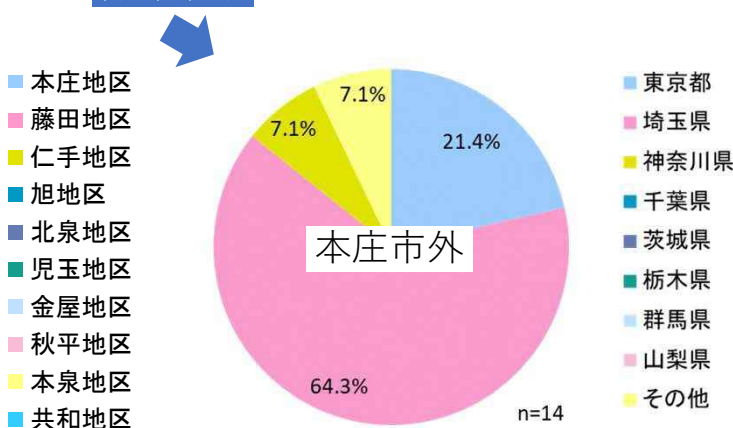
お住まい



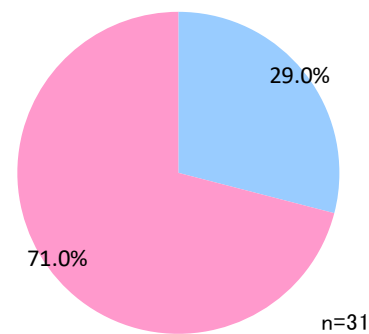
本庄市内の方



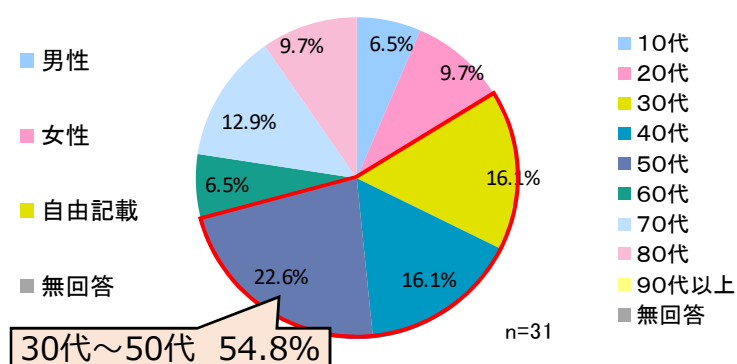
本庄市外の方



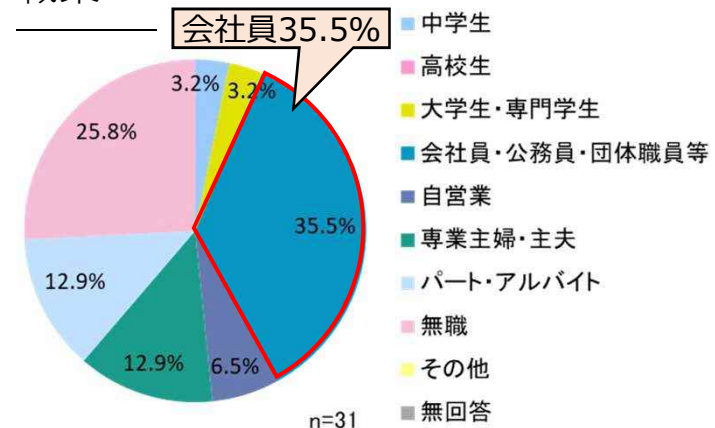
性別



年齢



職業





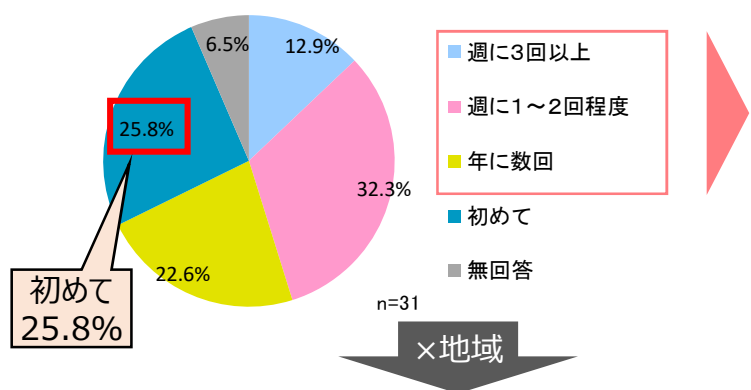
(3) シャトルバス利用者意識調査 ②利用状況



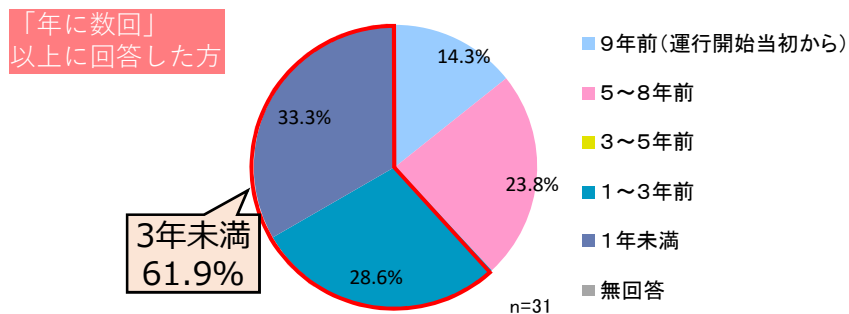
結果概要

- ▶ 初めて利用する人が3割弱と多く、その全員が本庄市外在住である。
- ▶ 利用したことがある人の中でも、3年未満が6割を超えており、新規利用者の増加が見られる。
- ▶ 利用の目的としては、本庄駅と本庄早稲田駅間の利用が最も多い。

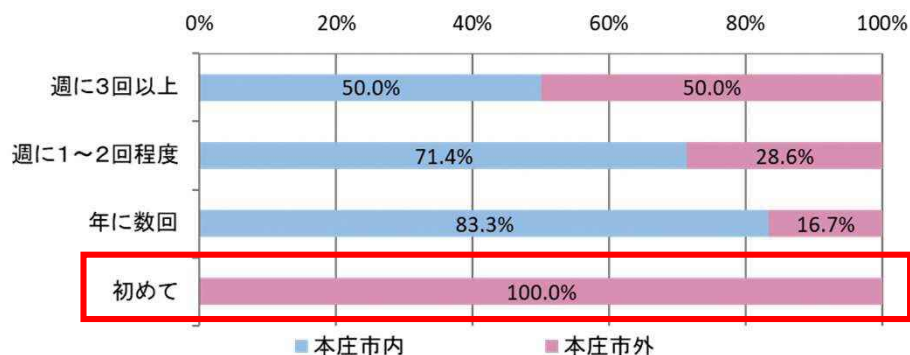
どれくらいの頻度で利用していますか



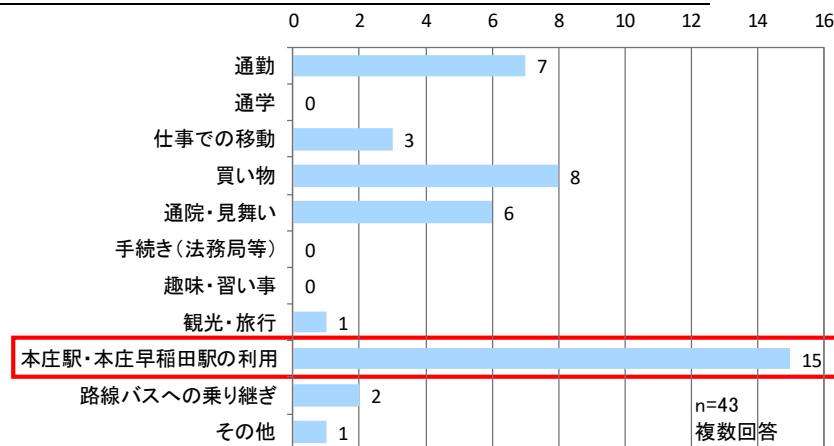
どれくらい前から利用していますか



「利用頻度」×「お住まいの地域 (市内・市外)」



どのような目的で利用していますか



※ 2つまで選択可



(3) シャトルバス利用者意識調査 ③満足度と不満理由

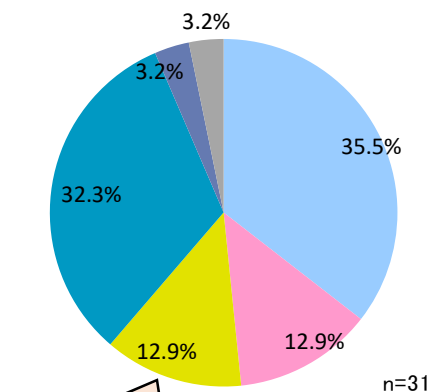


結果概要

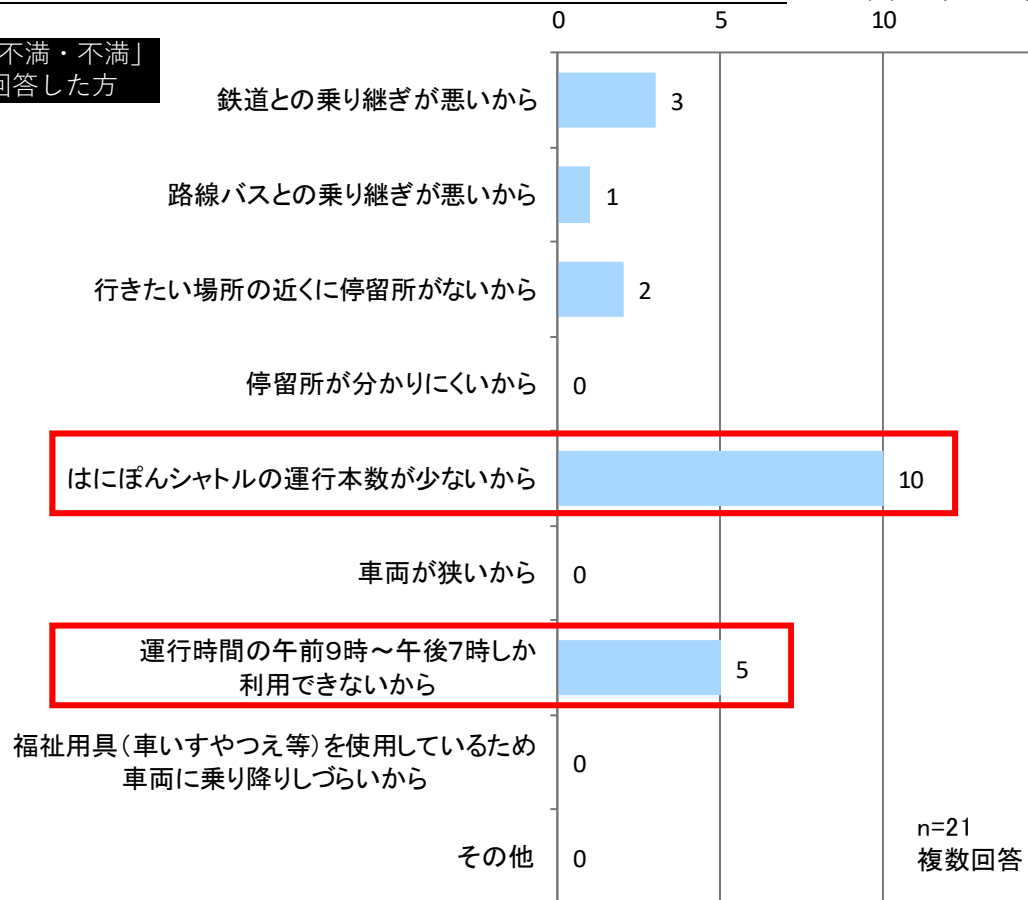
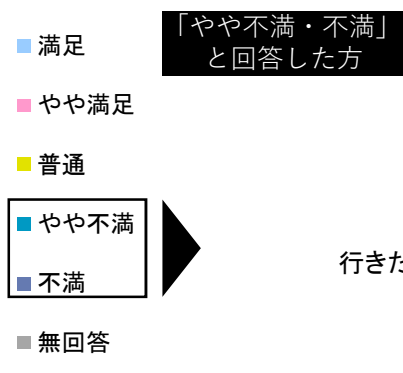
- 5割弱の人は満足しているが、不満理由としては、運行本数に関するものが最も多く、次に運行時間帯に対する不満が多い。

運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と不満な場合はその理由

※いくつでも選択可



満足・やや満足 48.4%
不満・やや不満 35.5%





(3) シャトルバス利用者意識調査

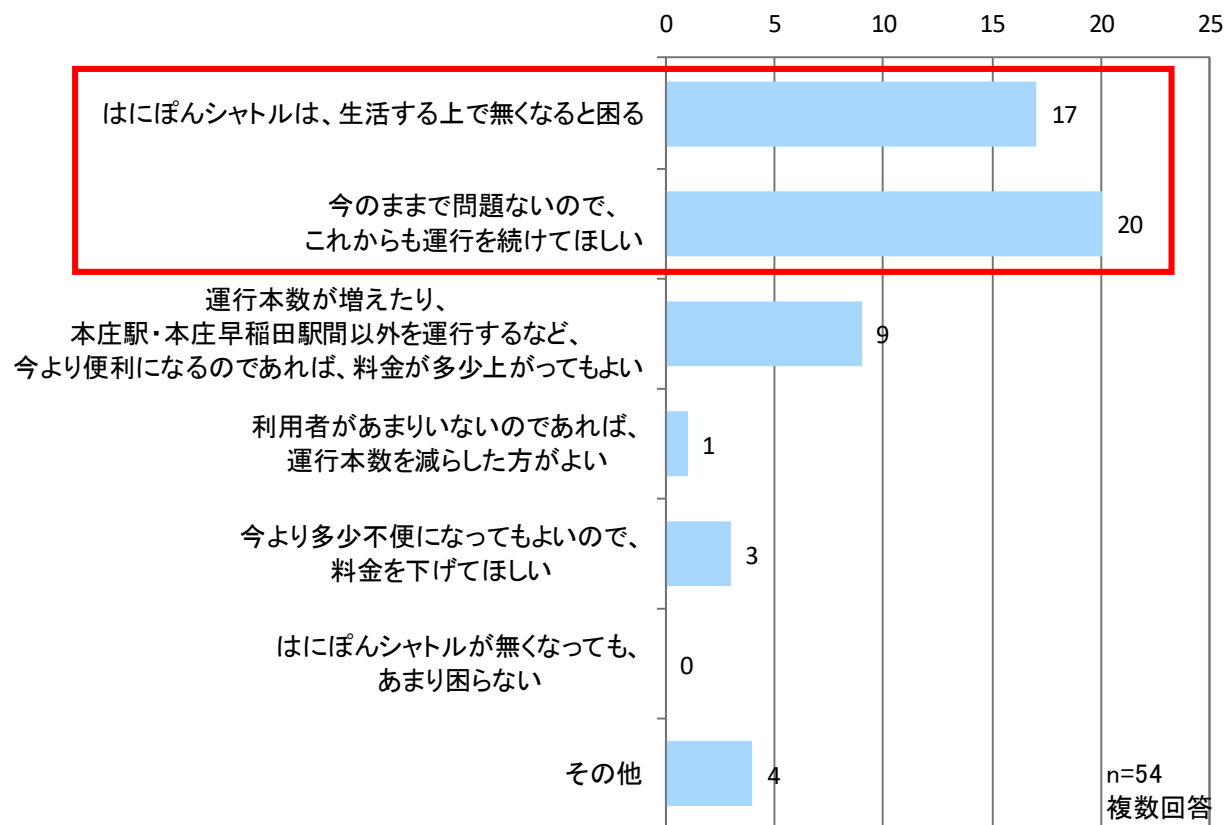
④ シャトルバスについて



結果概要

- 「シャトルバスは、生活する上でなくなると困る」という意見が多く、今後の運行についても運行の存続を求める声が多い。

シャトルバスについて、あなたのお考えに近いものを教えてください



※いくつでも選択可



(4) デマンドバス未利用者意識調査



過去に一度もデマンドバスを利用されていない方に試乗券を配布し、試乗頂いた方にアンケートを実施

配布・回収：自治会を通じて試乗券・アンケート票を配布し、回収は郵送

実施期間：令和4年8月～令和4年10月

回収結果：28票（回収率：16% ※配布数170部）

設問内容：

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用しなかった理由、利用日・利用した停留所区間
満足度	予約方法・予約センターの対応、運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、今後の利用意向



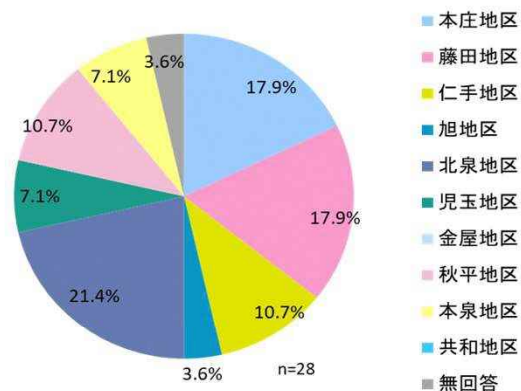
(4) デマンドバス未利用者意識調査 ①属性



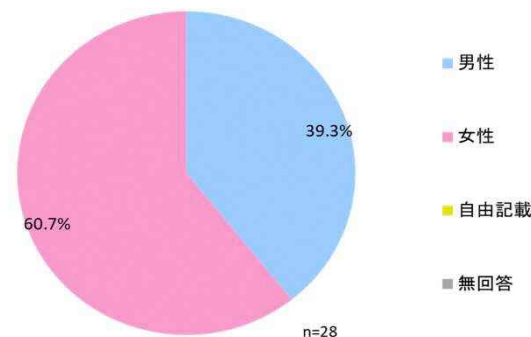
結果概要

- 試乗者のほとんどが60歳以上の方である。
- 9割弱の方が運転免許証を持っている。

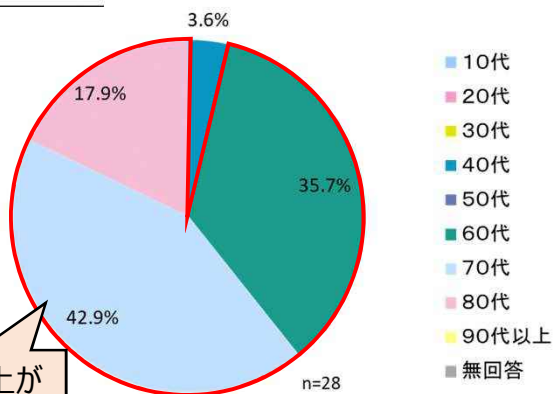
お住まい



性別

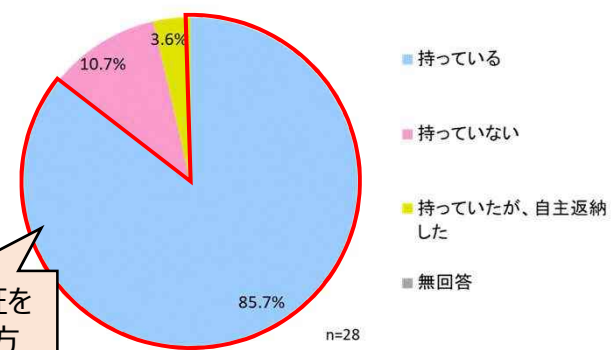


年齢



60代以上が
96.5%

運転免許証の保有状況



運転免許証を
持っている方
85.7%



(4) デマンドバス未利用者意識調査

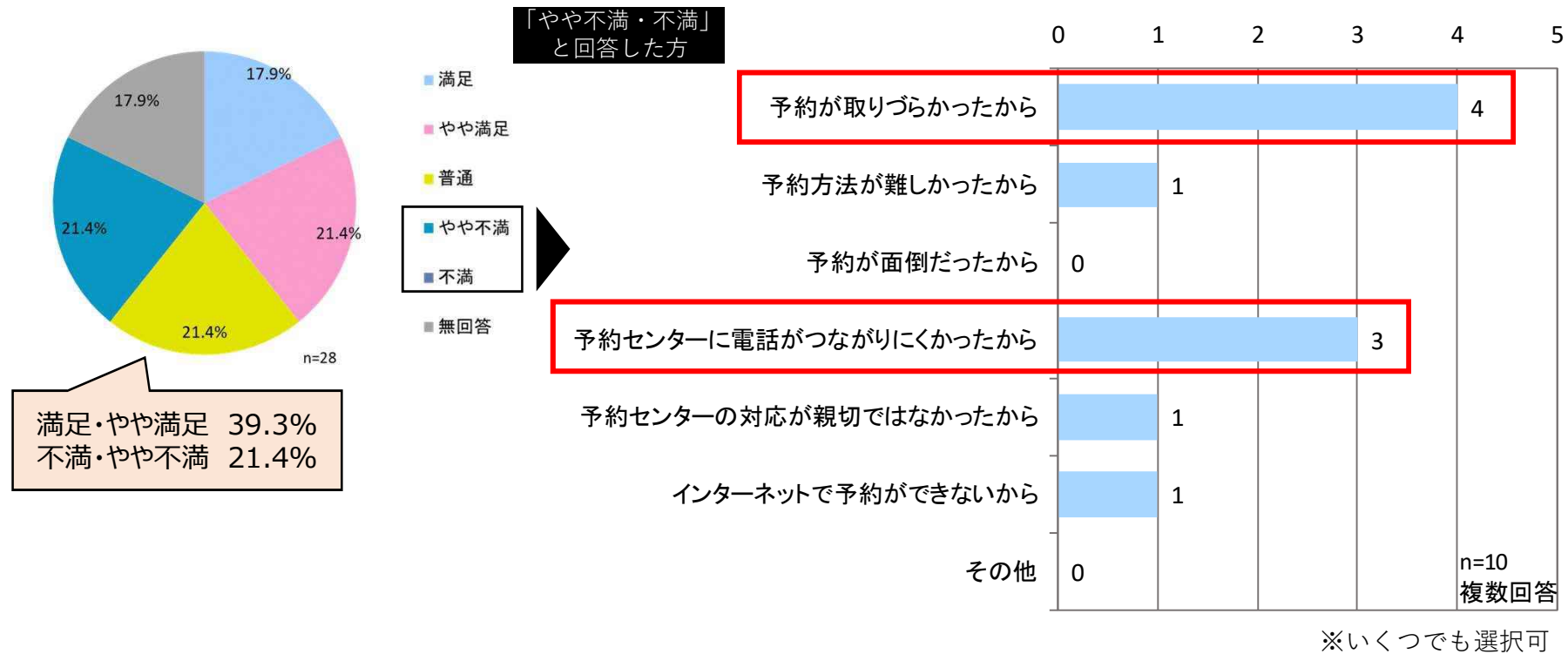
②満足度と不満理由



結果概要

➤ 約4割の人が満足しているが、不満の要因としては予約の取りづらさが多い。

予約方法や予約センターの対応に対する満足度と不満な場合はその理由





(4) デマンドバス未利用者意識調査

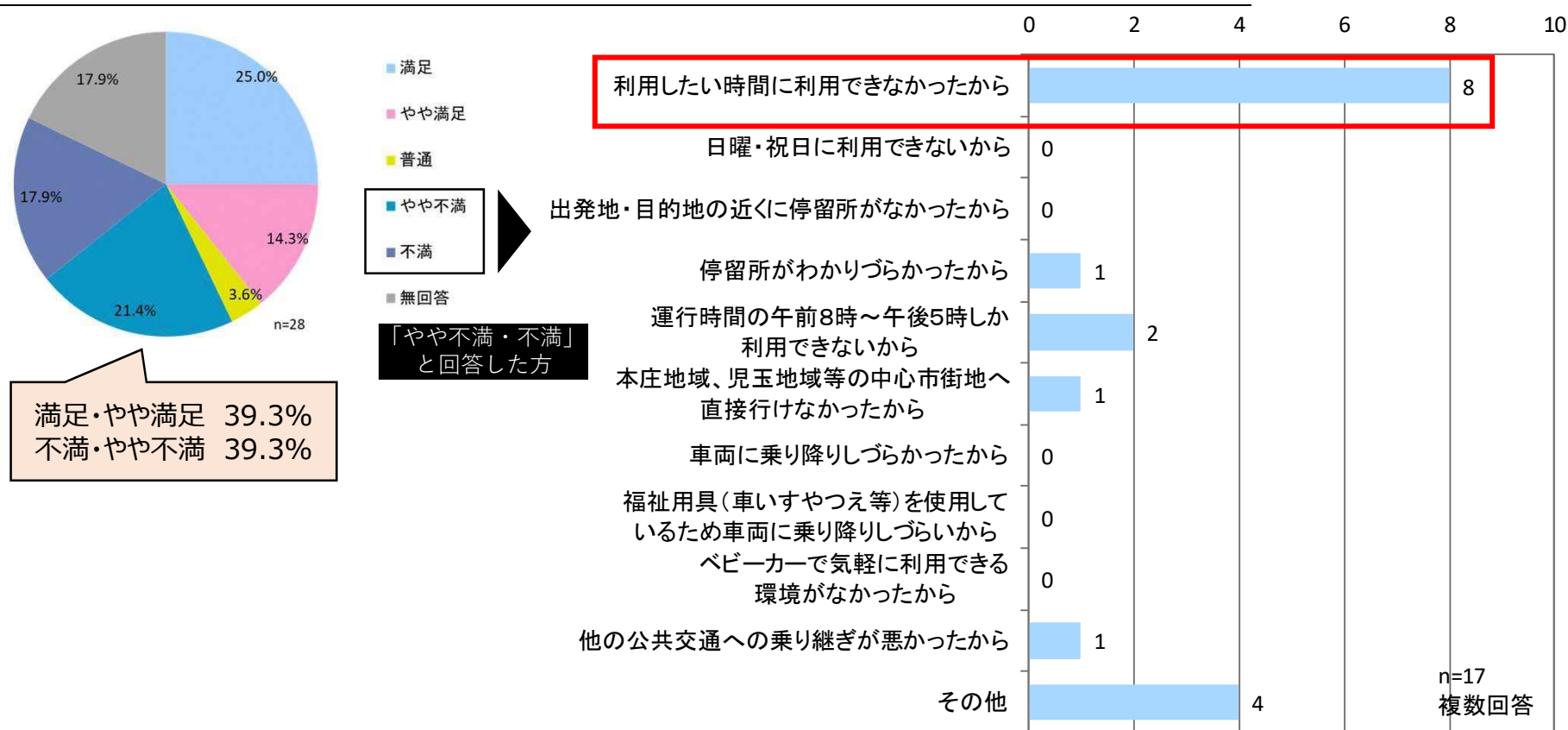
②満足度と不満理由



結果概要

- ▶ 不満、満足と思う人の割合が同程度であり、不満理由としては利用したい時間に利用できないと答える人が大半である。

運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と不満な場合はその理由





(5) シャトルバス未利用者意識調査



過去に一度もシャトルバスを利用されていない方に試乗券を配布し、試乗頂いた方にアンケートを実施

配布・回収：自治会を通じて試乗券・アンケート票を配布し、回収は郵送

実施期間：令和4年8月～令和4年10月

回収結果：31票（回収率：18% ※配布数170部）

設問内容：

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用しなかった理由、利用日・利用した停留所区間
満足度	運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、今後の利用意向



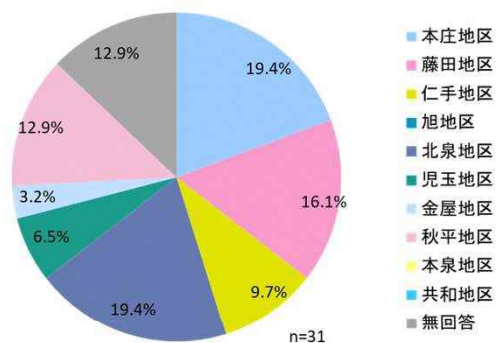
(5) シャトルバス未利用者意識調査 ①属性



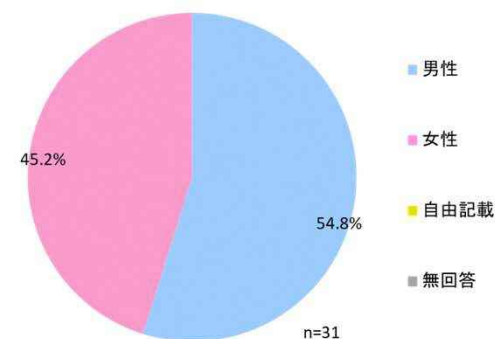
結果概要

- 試乗者の約9割が60歳以上の方である。
- 約7割の方が運転免許証を持っている。

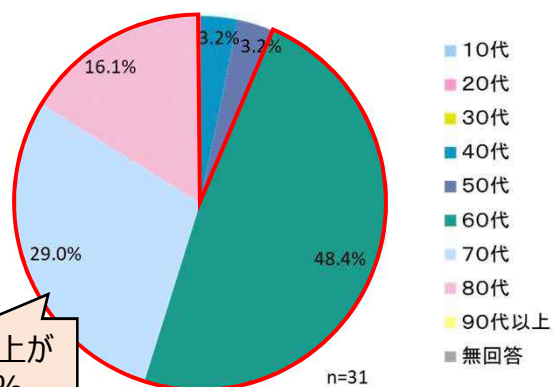
お住まい



性別

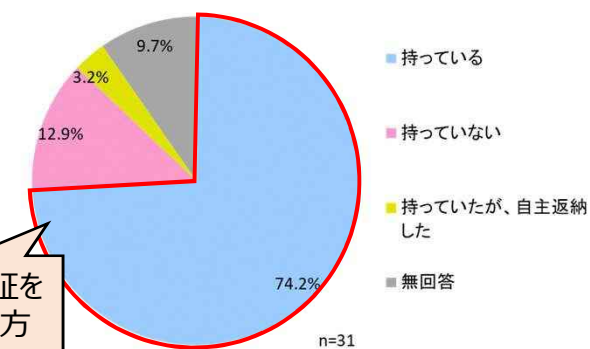


年齢



60代以上が
93.5%

運転免許証の保有状況



運転免許証を
持っている方
74.2%



(5) シャトルバス未利用者意識調査

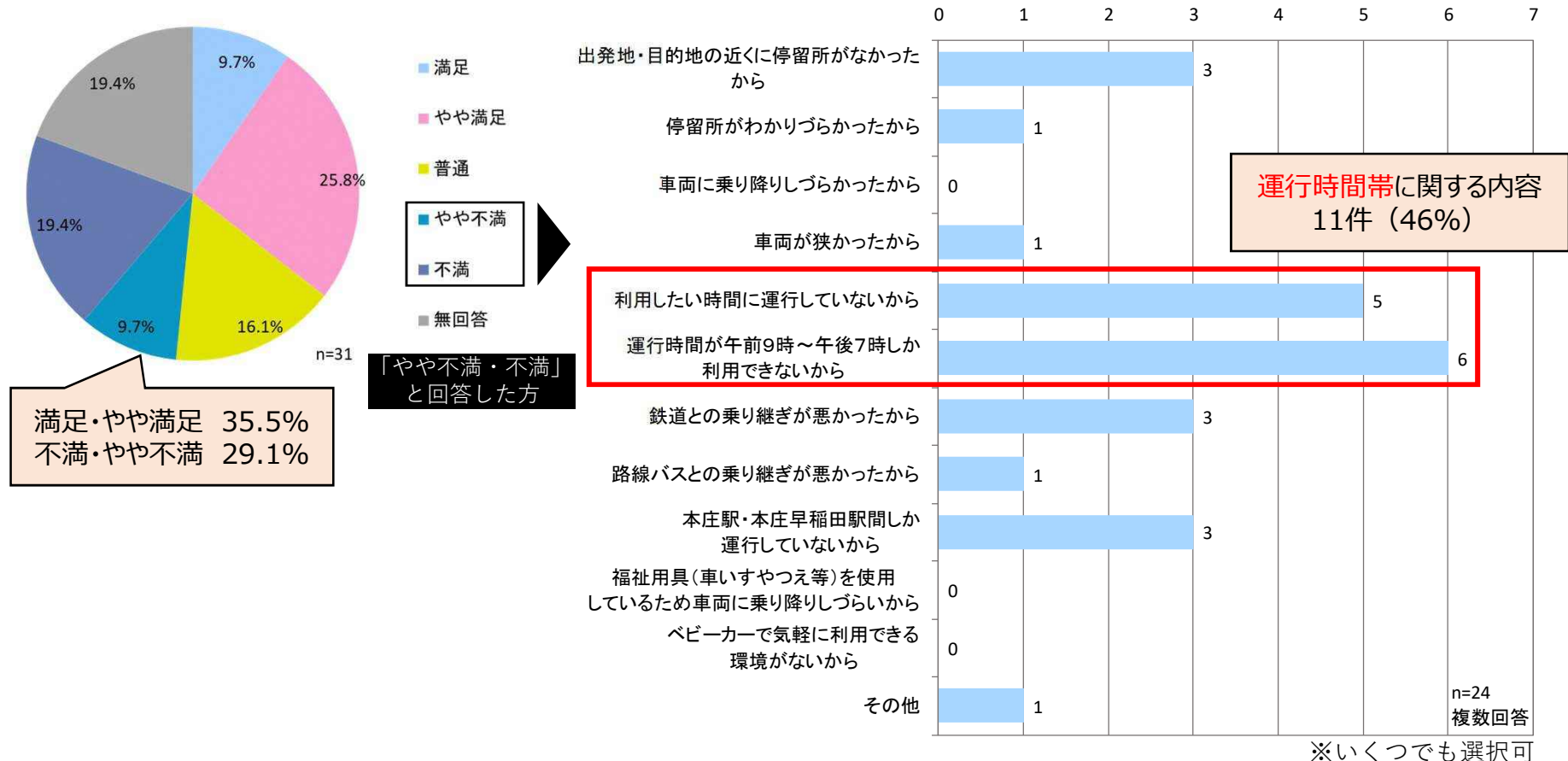
②満足度と不満理由



結果概要

➤ 4割弱の人が満足しているが、不満の要因としては運行時間帯に関する内容が5割弱を占めている。

運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と不満な場合はその理由





(6) 路線バス利用者意識調査



市内の鉄道駅3駅に発着する路線バス利用者を対象にアンケート調査を実施

配布・回収：鉄道駅3駅に発着する路線バスの利用者に配布し、回収は郵送

配布日：【平日】令和4年9月7日(水)、9月9日(金)

【休日】令和4年9月4日(日)

回収結果：

配布箇所	回収数	配布数	回収率
本庄駅	251	950	26%
本庄早稻田駅	10	18	56%
児玉駅	23	100	23%
合計	284	1,068	27%

設問内容：

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用目的、利用区間、往復の利用、利用する理由
満足度	満足度と不満理由
移動手段	バス停までの移動手段と所要時間、乗り継ぐ公共交通、代替手段
考え方	路線バスの維持について



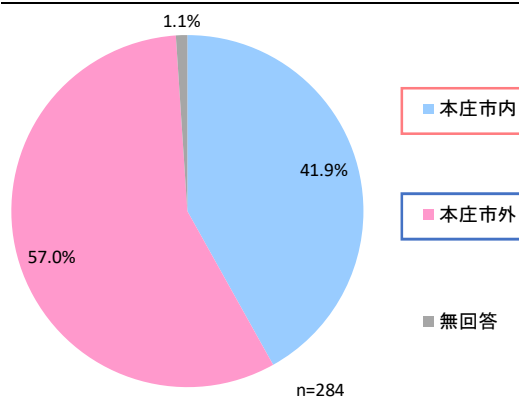
(6) 路線バス利用者意識調査 ①属性



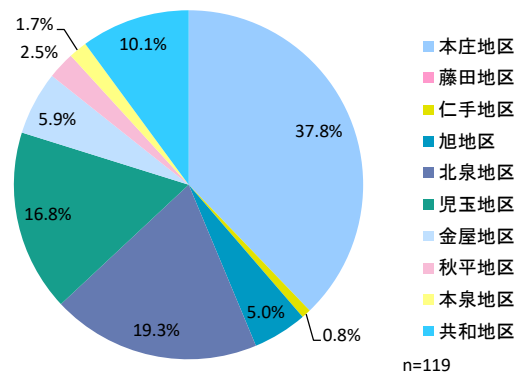
結果概要

- 利用者の半数以上が本庄市外在住の方であり、埼玉県ではさいたま市や本庄市の近隣市町、群馬県では伊勢崎市の利用者が多い。

お住まい

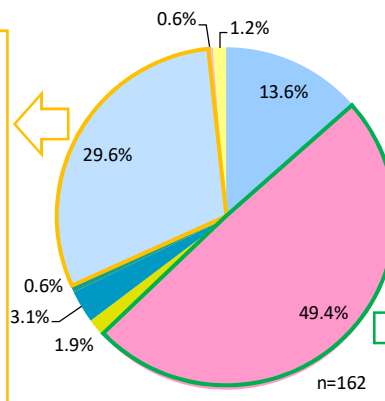
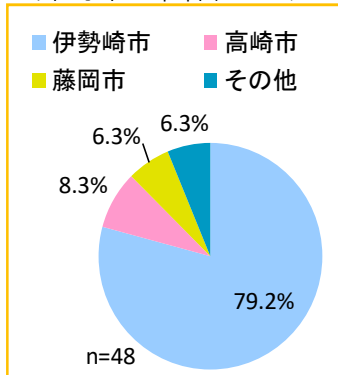


本庄市内の方

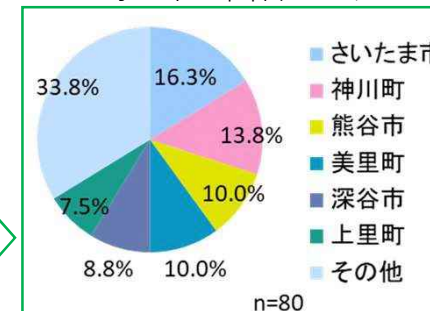


本庄市外の方

群馬県と回答した方



埼玉県と回答した方



- 東京都
- 埼玉県
- 神奈川県
- 千葉県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 山梨県
- その他



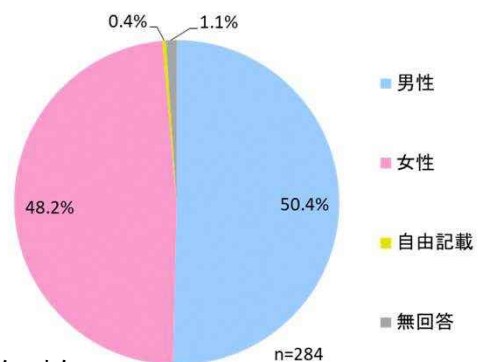
(6) 路線バス利用者意識調査 ①属性



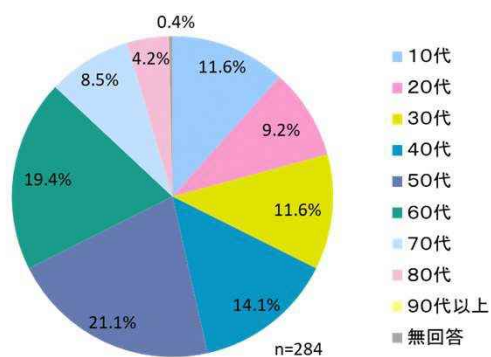
結果概要

- 10代から80代と幅広い年代の方が利用している。
- 約6割の方が運転免許証を持っており、運転免許証の保有状況に関わらず利用されている。

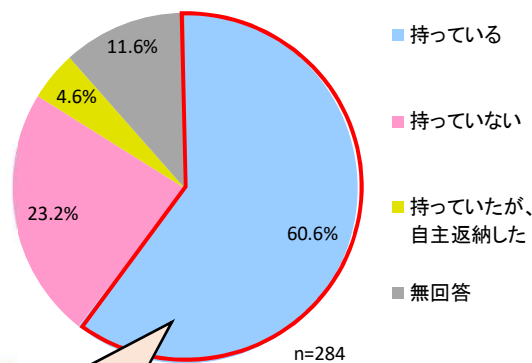
性別



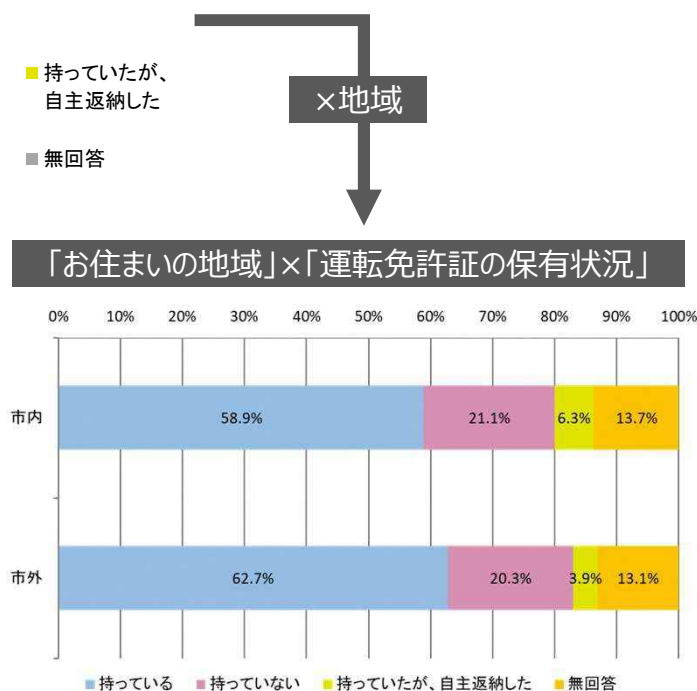
年齢



運転免許証の保有状況



運転免許証を
持っている方
60.6%





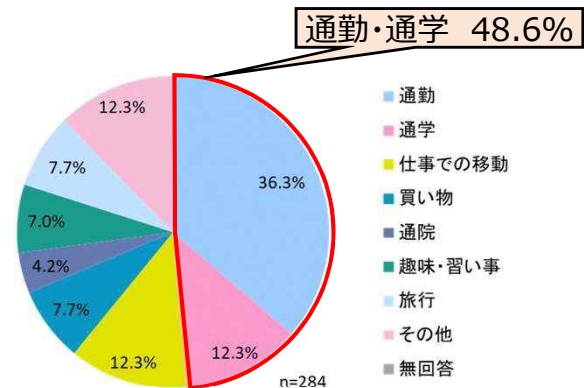
(6) 路線バス利用者意識調査 ②利用状況



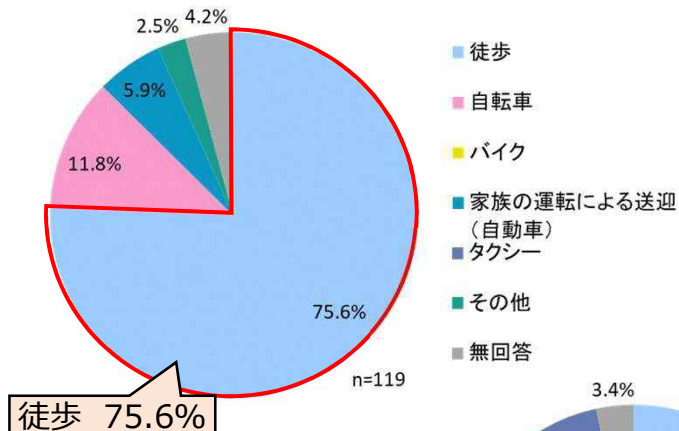
結果概要

- 利用者の約半数は通勤・通学で利用している。
- バス停までの移動手段は徒歩が主である。
- 所要時間は回答者の約半数が10分未満であり、回答者の平均で9.9分である。

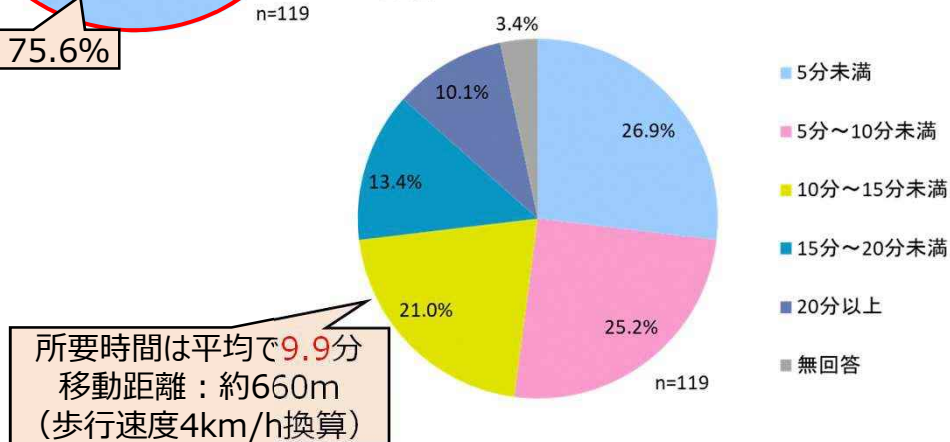
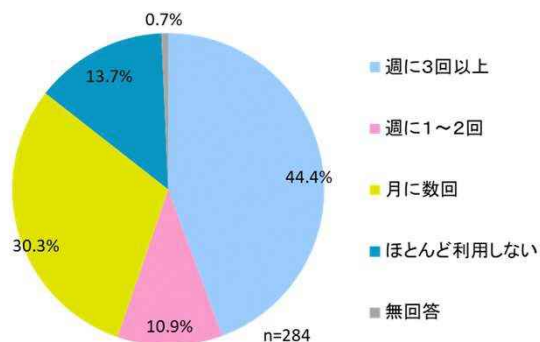
どのような目的で利用していますか



自宅から最寄りのバス停までの移動手段と所要時間を教えてください（市内在住の方のみ）



どれくらいの頻度で利用していますか





(6) 路線バス利用者意識調査

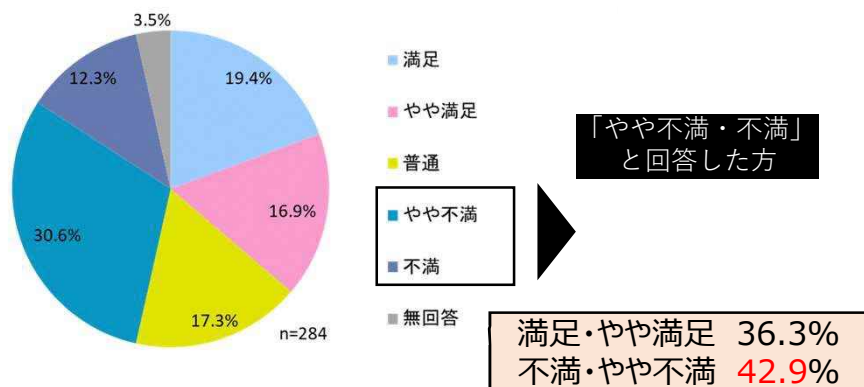
③満足度・路線バスの維持について



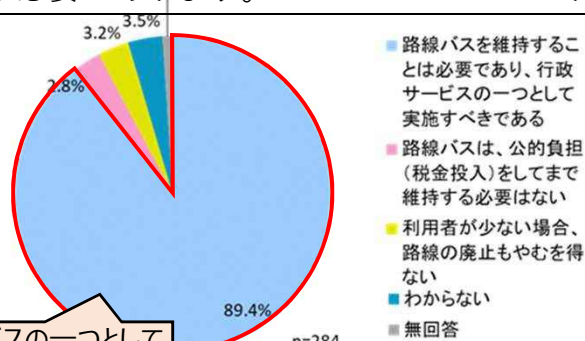
結果概要

- 満足度は、不満と思う人の割合の方が高く、不満理由としては運行本数が少ないことや、乗り継ぎの悪さ、ICカードが使えないことが多い。
- 路線バスの維持については、行政サービスとして維持していくことが必要と回答する人が9割を占めている。

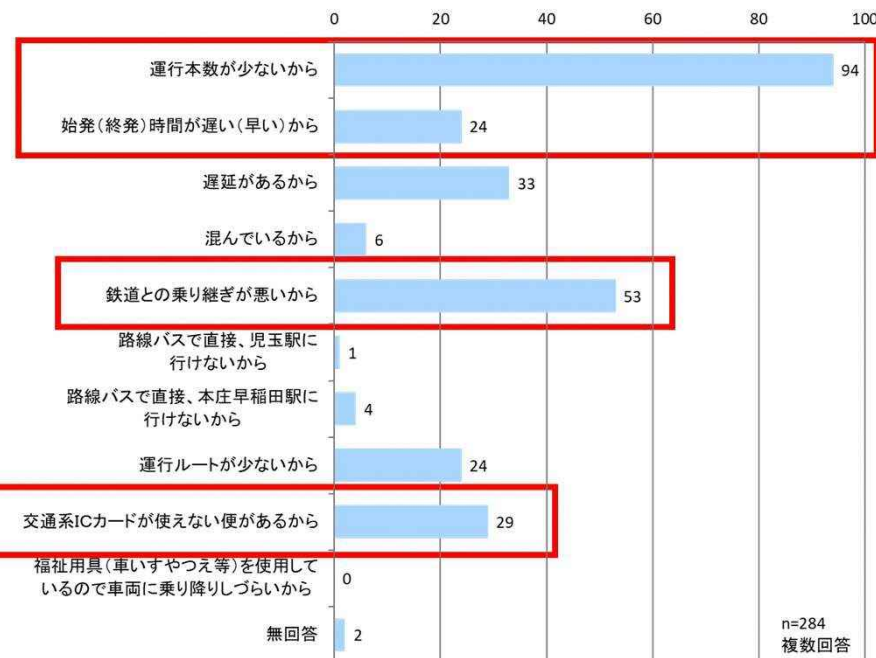
路線バスの満足度と不満な場合はその理由



路線バスを維持するためには、市民、交通事業者、行政がみんなで支えあう必要があります。このことについてどう考えますか。



行政サービスの一つとして実施すべき 89.4%



※いくつでも選択可



(7) 鉄道利用者意識調査



市内の鉄道駅3駅において、駅利用者を対象にアンケート調査を実施

配布・回収：鉄道駅3駅において駅利用者へ配布し、回収は郵送

配布日：【平日】令和4年9月7日(水)、9月9日(金)

【休日】令和4年9月4日(日)

回収結果

配布箇所	回収数	配布数	回収率
本庄駅	223	700	32%
本庄早稲田駅	90	220	41%
児玉駅	49	160	31%
合計	362	1,080	34%

設問内容

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用目的、利用区間、往復の利用、駅まで（から）の移動手段
満足度	乗り継ぎの満足度
各駅について	【本庄駅】 本庄駅周辺に求める機能・スペース 【児玉駅】 時間貸し駐車場の必要性、児玉駅周辺に求めるもの



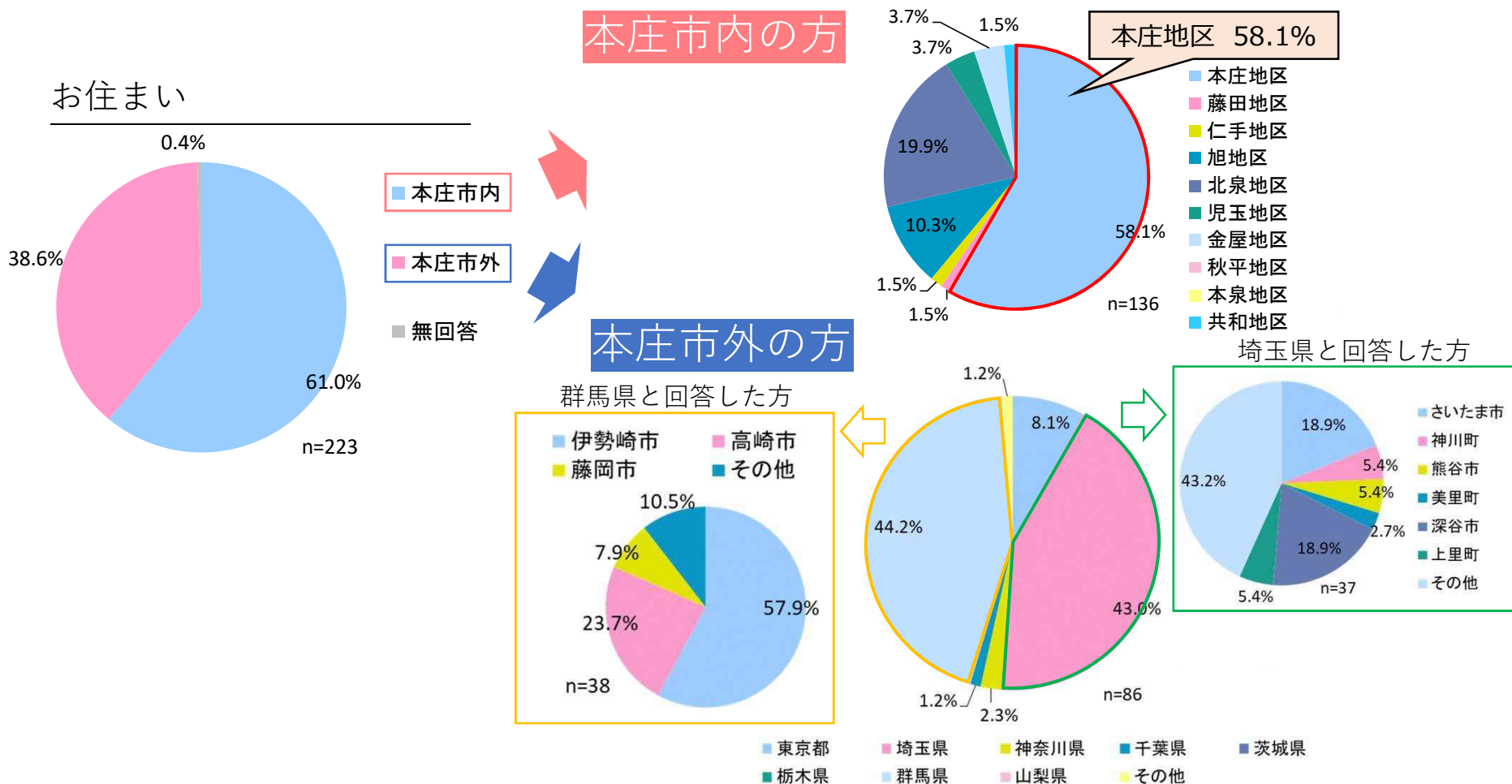
(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄駅)

①属性



結果概要

- 本庄市内在住の方が約6割を占めており、その中でも本庄地区の利用者が約6割と多い。
- 本庄市外在住の方は、埼玉県内の他市町村や群馬県在住の利用者が多い。埼玉県ではさいたま市と深谷市、群馬県では伊勢崎市の利用者が多い。





(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄駅)

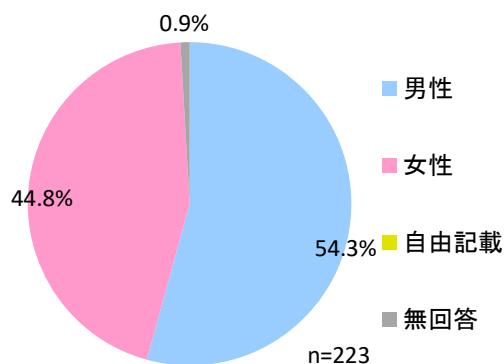
①属性



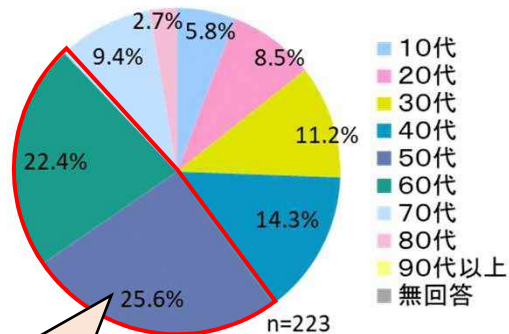
結果概要

➤ 利用者は、50代及び60代が多く、会社員の方の利用が6割を占める。

性別

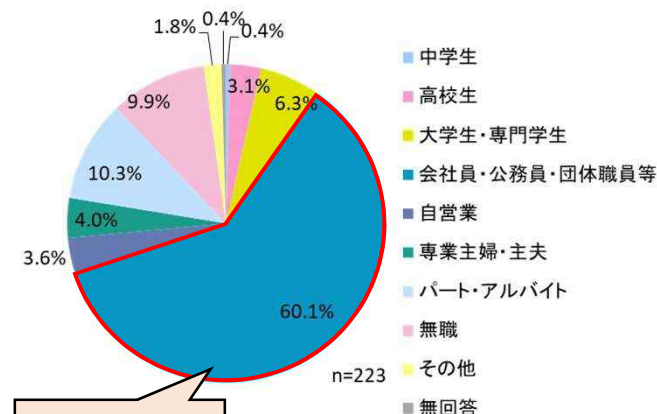


年齢



50代・60代
48%

職業



会社員
60.1%



(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄駅)

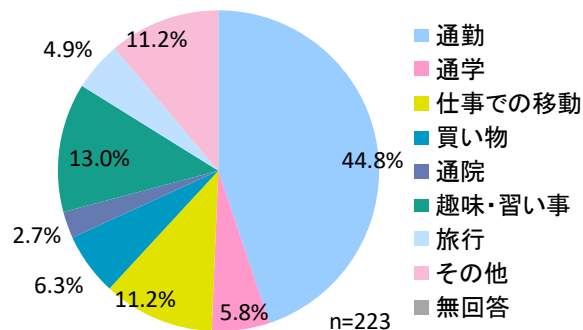
②利用状況と満足度



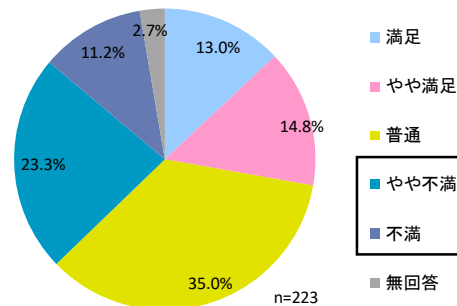
結果概要

- 利用目的の半数が通勤であり、駅までの移動手段は自動車が多く約3割である。
- 満足度は、満足より不満と思う人の方が多く、運行本数や快速列車の増便を求める声が多い。

調査票を受け取った日の利用目的



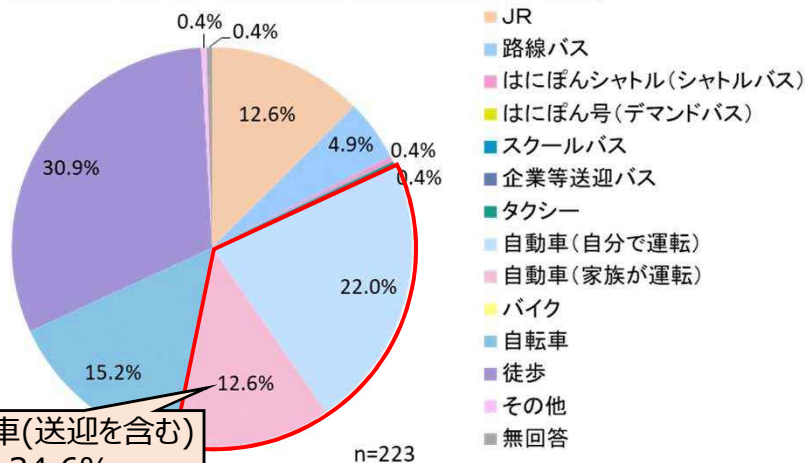
鉄道の運行や乗り継ぎに対する満足度と、不満な場合はその理由



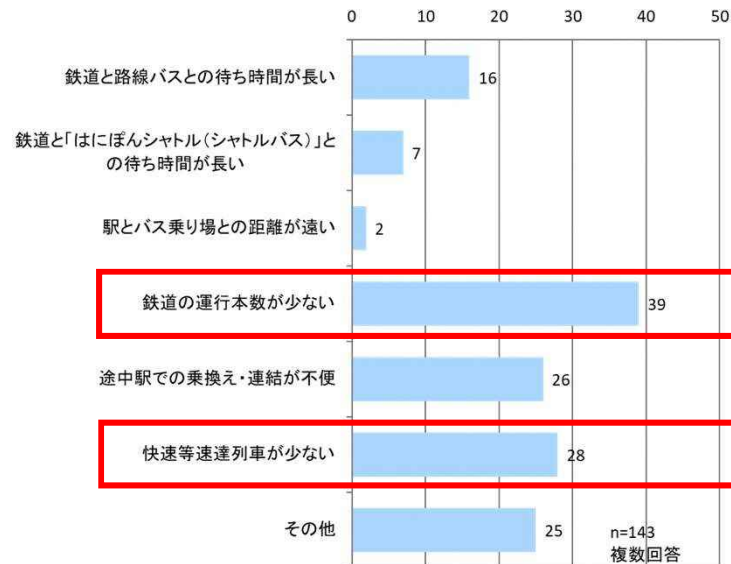
満足・やや満足 27.8%
不満・やや不満 34.5%

「やや不満・不満」と回答した方

駅まで(から)の主な移動手段



自動車(送迎を含む)
34.6%



※いくつでも選択可



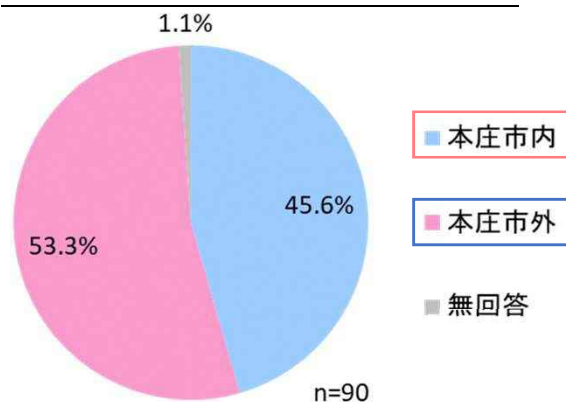
(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄早稲田駅) ①属性



結果概要

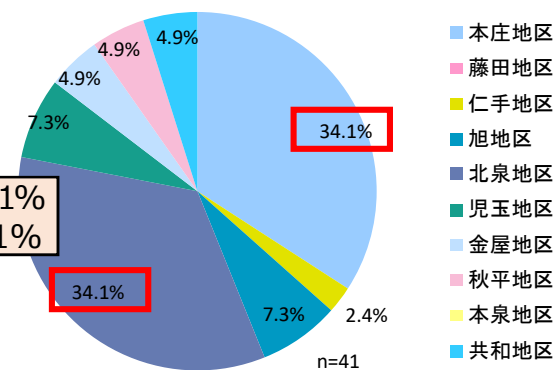
- 本庄市内在住の方が約半数を占めており、その中でも本庄地区・北泉地区の利用者が多い。
- 利用者の約半数は本庄市外在住の方であり、本庄市内在住の利用者よりも多い。埼玉県内の他市町村や群馬県の利用者が多く、埼玉県ではさいたま市と美里町、群馬県では伊勢崎市の利用者が多い。

お住まい



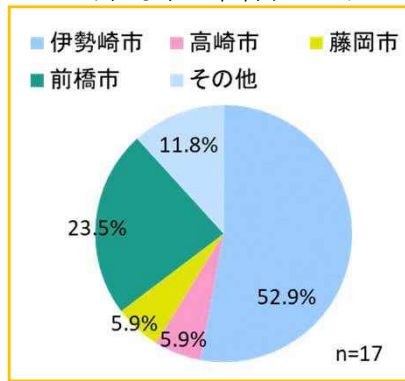
本庄市内の方

本庄地区 34.1%
北泉地区 34.1%

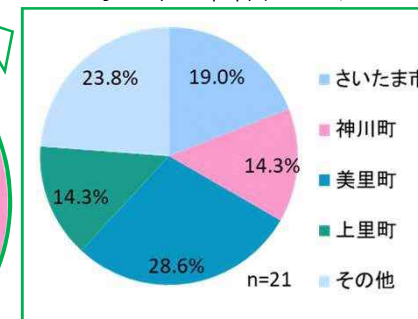


本庄市外の方

群馬県と回答した方



埼玉県と回答した方



東京都 埼玉県 神奈川県 千葉県 茨城県
栃木県 群馬県 山梨県 その他



(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄早稲田駅) ①属性



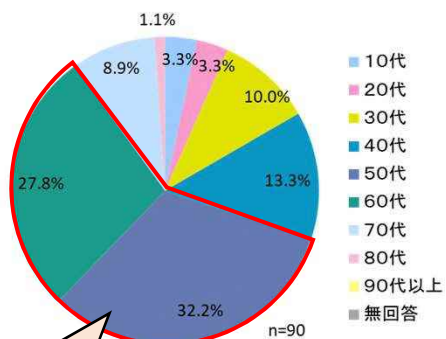
結果概要

➤ 利用者は、50代及び60代が多く、会社員の方の利用が7割を占める。

性別

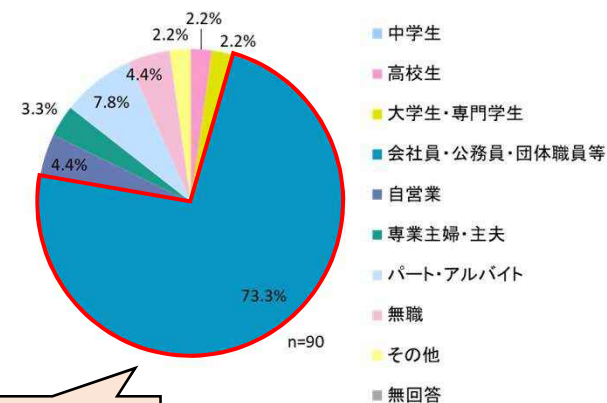


年齢



50代・60代
60%

職業



会社員 73.3%



(7) 鉄道利用者意識調査 (本庄早稲田駅)

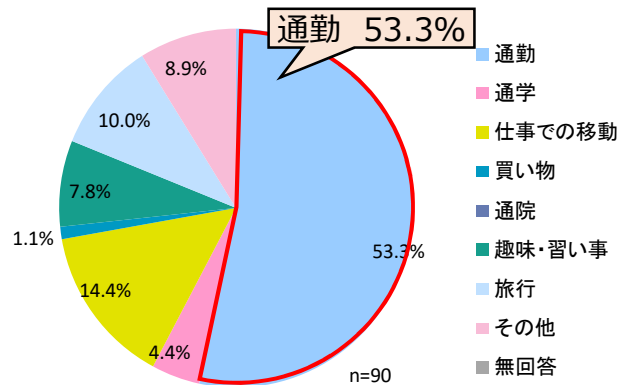
②利用状況と満足度



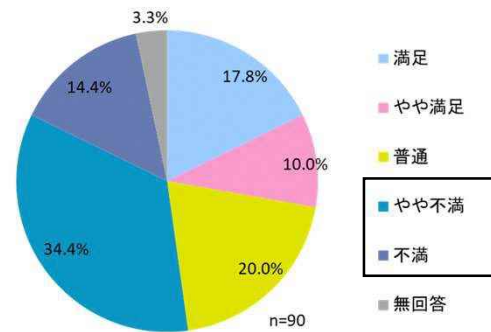
結果概要

- 利用目的の半数が通勤であり、駅までの移動手段は約6割が自動車（送迎を含む）である。
- 満足度は、不満と思う人が半数であり、運行本数の増便を求める声が多い。

調査票を受け取った日の利用目的



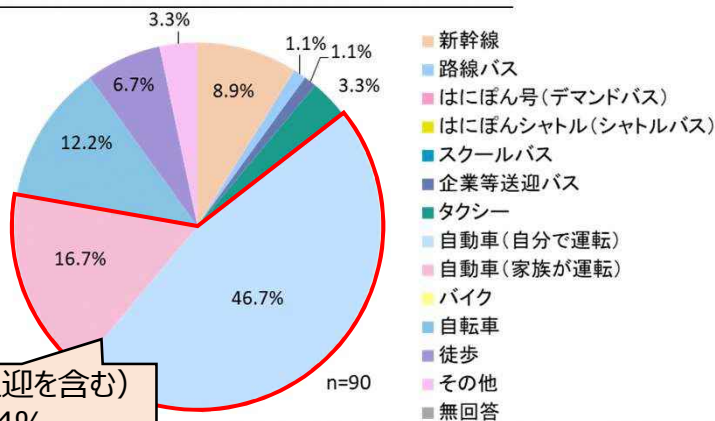
鉄道の運行や乗り継ぎに対する満足度と、不満な場合はその理由



満足・やや満足 27.8%
 不満・やや不満 48.8%

「やや不満・不満」と回答した方

駅まで（から）の主な移動手段



自動車（送迎を含む）
63.4%

新幹線と路線バスとの待ち時間が長い

新幹線と「はにぼんシャトル(シャトルバス)」との待ち時間が長い

駅とバス乗り場との距離が遠い

新幹線の運行本数が少ない

途中駅での乗換えが不便

その他



※いくつでも選択可



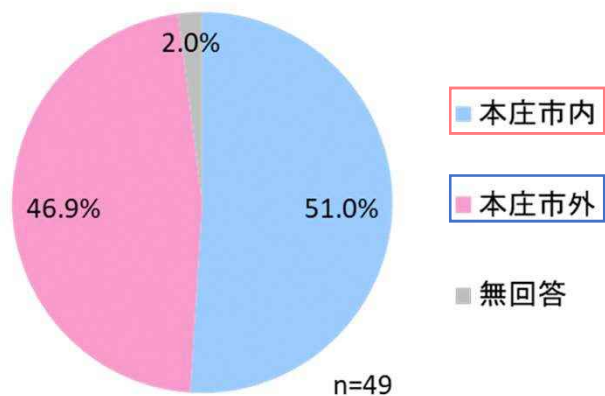
(7) 鉄道利用者意識調査 (児玉駅) ①属性



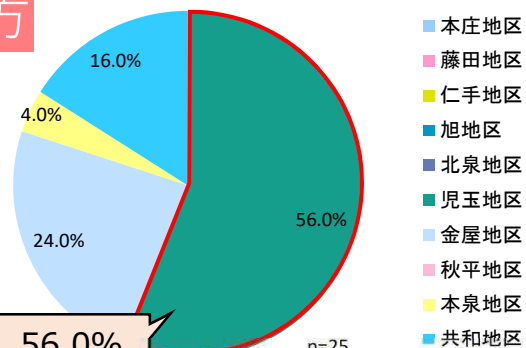
結果概要

- 本庄市内在住の方が約半数を占めており、その中でも児玉地区の利用者が6割弱と多い。
- 本庄市外在住の方も約半数を占めており、埼玉県内の他市町村や東京都の利用者が多い。

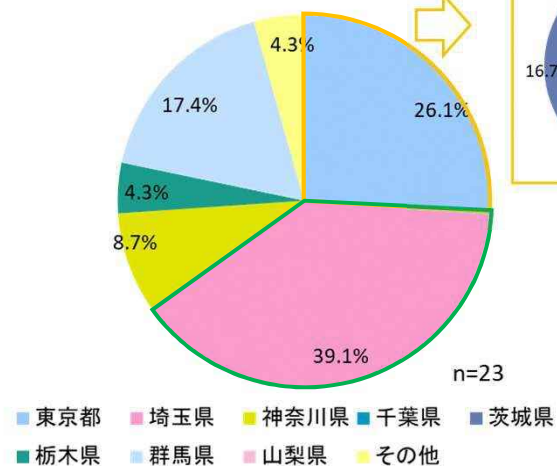
お住まい



本庄市内の方



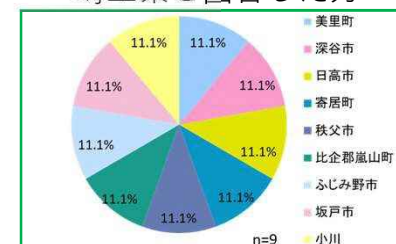
本庄市外の方



東京都と回答した方



埼玉県と回答した方





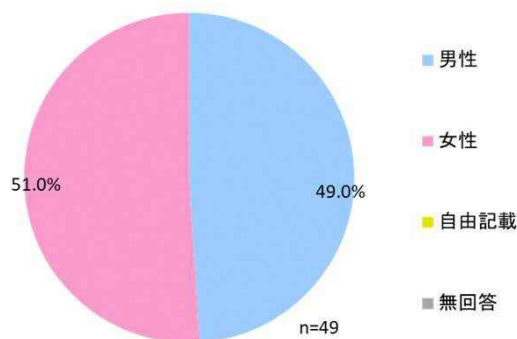
(7) 鉄道利用者意識調査 (児玉駅) ①属性



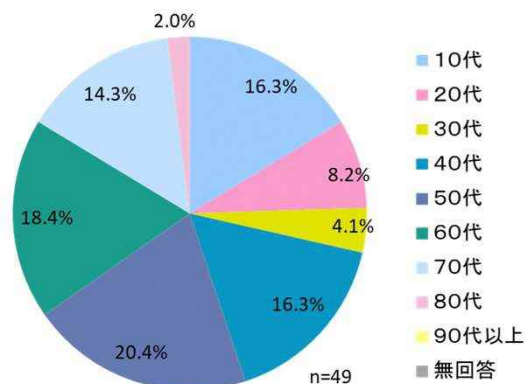
結果概要

➤ 幅広い年代の方が利用しており、職業では会社員の利用が最も多く、全体の約半数を占める。

性別

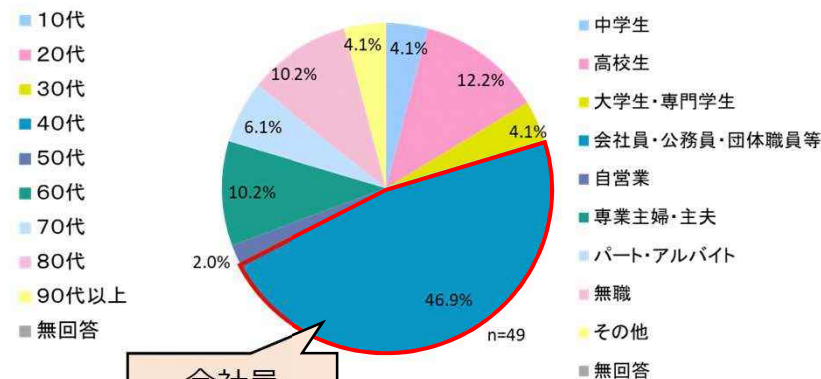


年齢



幅広い年代で利用されている

職業



会社員 46.9%



(7) 鉄道利用者意識調査 (児玉駅)

②利用状況と満足度

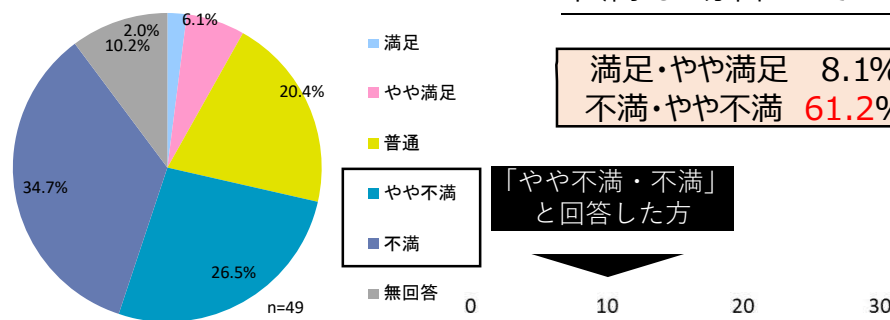
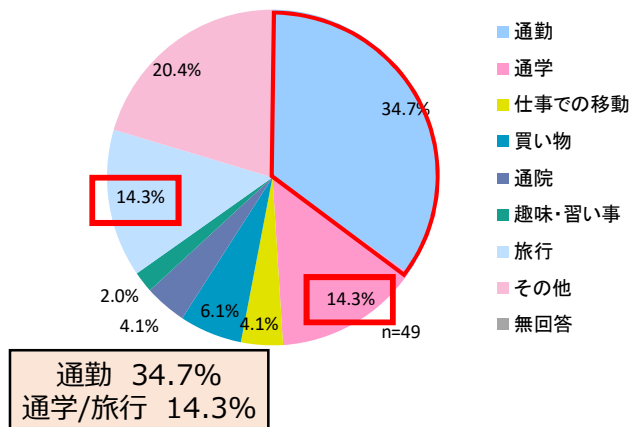


結果概要

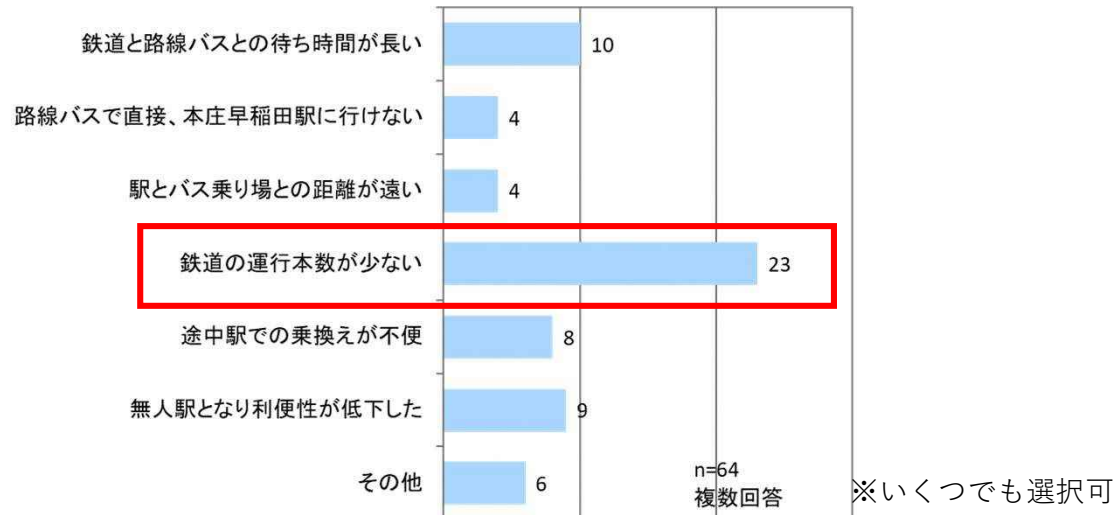
- 利用目的において通勤が最も多いが、他の2駅に比べ、通学での利用の他、旅行での利用者も多い。
- 満足度は、不満と思う人が約6割であり、運行本数の増便を求める声が多い。

鉄道の運行や乗り継ぎに対する満足度と、
不満な場合はその理由

調査票を受け取った日の利用目的



「やや不満・不満」と回答した方





(7) 鉄道利用者意識調査 (児玉駅)

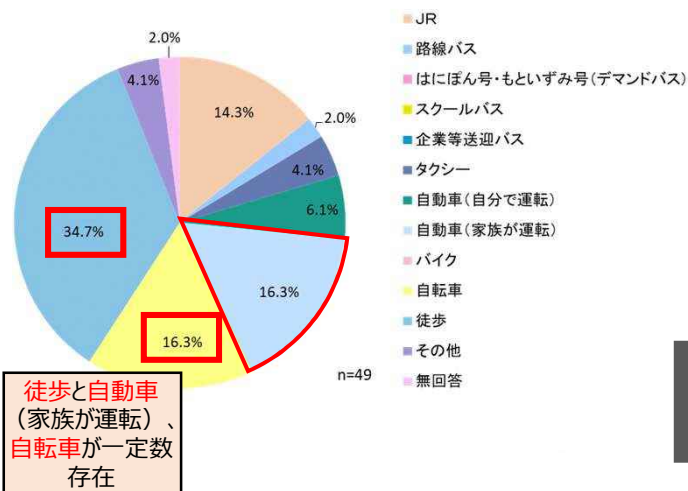
③移動手段



結果概要

- 移動手段としては、徒歩と自動車（家族が運転）、自転車为主となっている。
- 自動車（家族が運転）は10代と20代で約6割を占め、職業としては学生の利用が約半数を占める。また、自転車の利用は会社員と高校生に利用されている。

駅まで（から）の主な移動手段



×年代

「駅まで（から）の主な移動手段」×「年代」



×職業

「駅まで（から）の主な移動手段」×「職業」

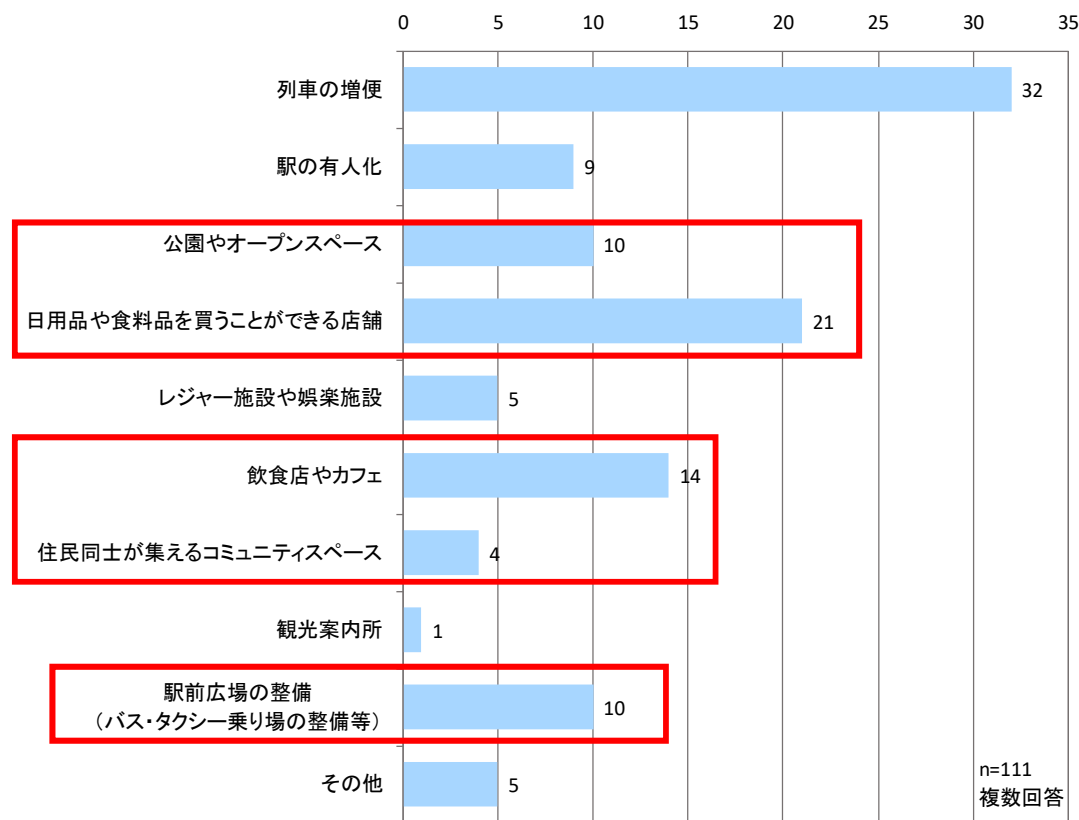




結果概要

- 駅周辺の魅力向上に求めるものとしては、列車の増便、日用品等の買い物店舗や飲食店に加えて、オープンスペースや交通拠点などの駅前広場の整備を望む意見が寄せられている。

児玉駅周辺がより魅力的なエリアとなるために必要なこと



※ 3つまで選択可

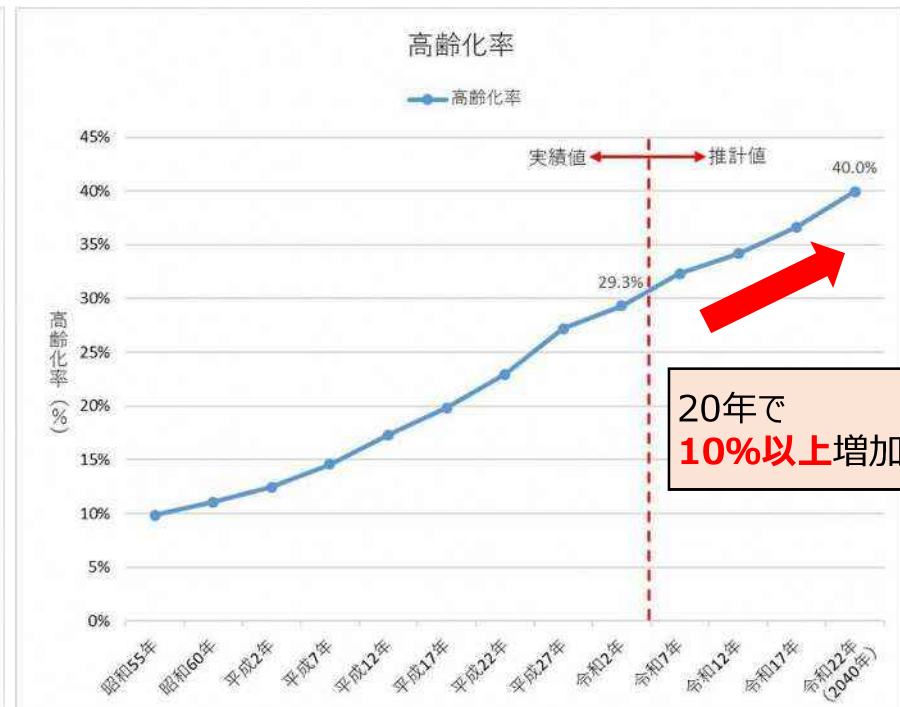
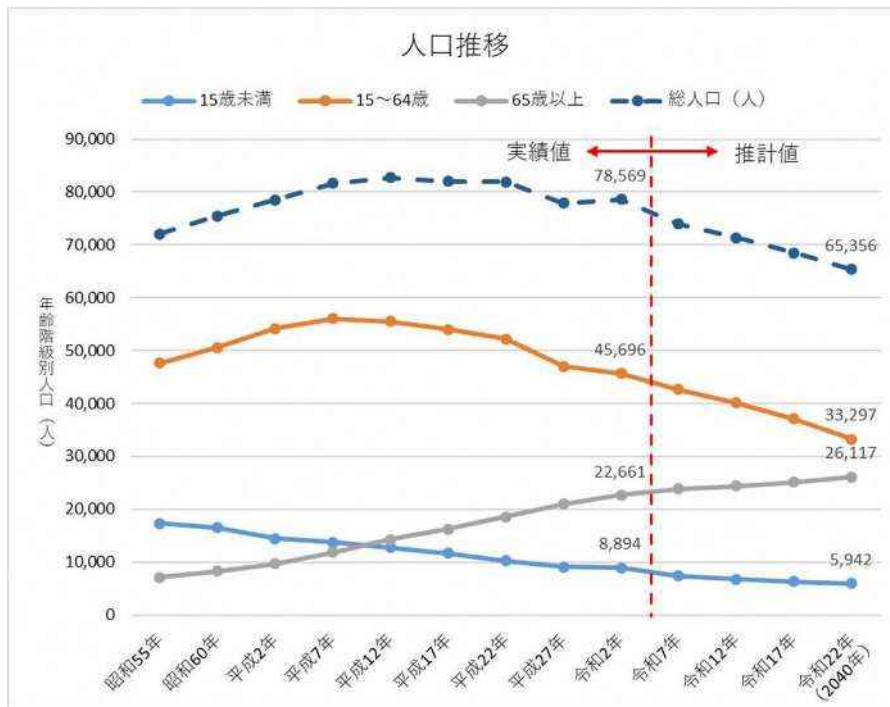
地域公共交通に関する 現状整理と課題



現状整理 (1) 人口と高齢化率の推移



- ▶ 本市の総人口は平成12年まで増加、その後徐々に減少し、令和22年には令和2年より約13,000人減少する見通しとなっている。
- ▶ 高齢化率は年々増加しており、令和22年には40%まで増加する見通しとなっている。



※住民基本台帳における人口

平成27年：79,246人

令和 2年：78,022人

(各年4月1日を基準とする)

出典：実績値；総務省統計局「2020年国勢調査」

推計値；国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

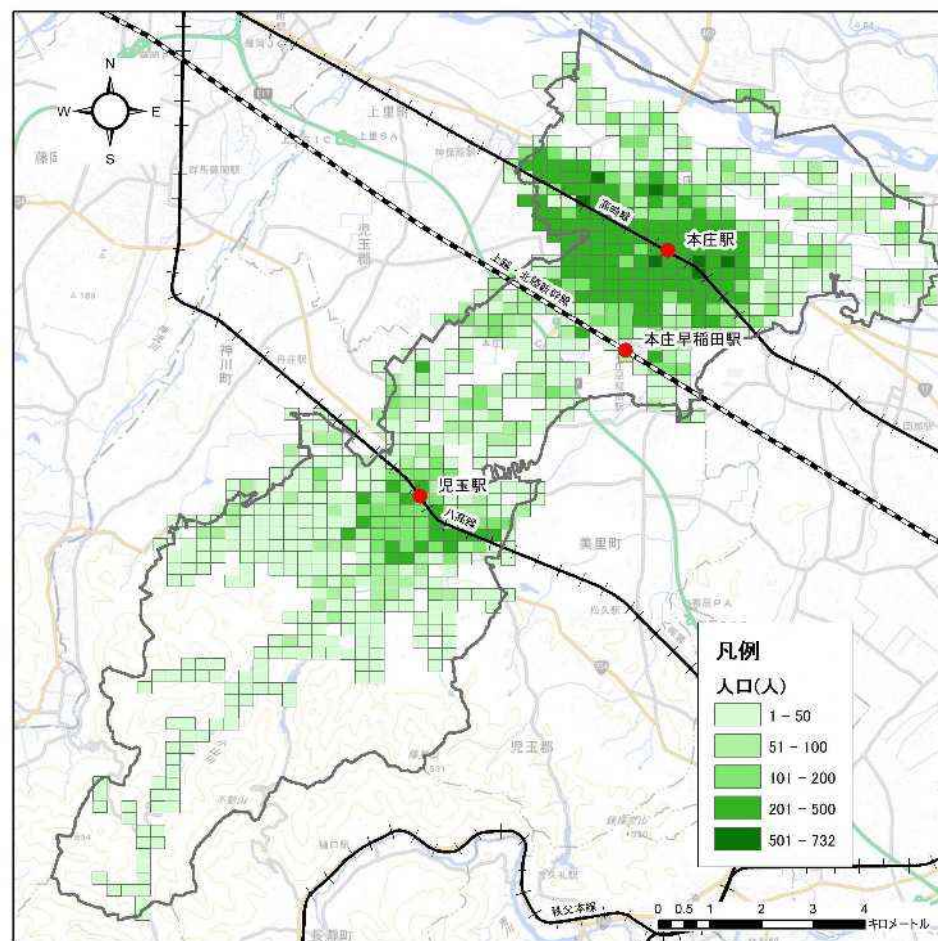


現状整理 (2) 人口分布



- 本庄駅や児玉駅を中心に面的に広がっている。

人口分布



出典：総務省統計局「2020年国勢調査」

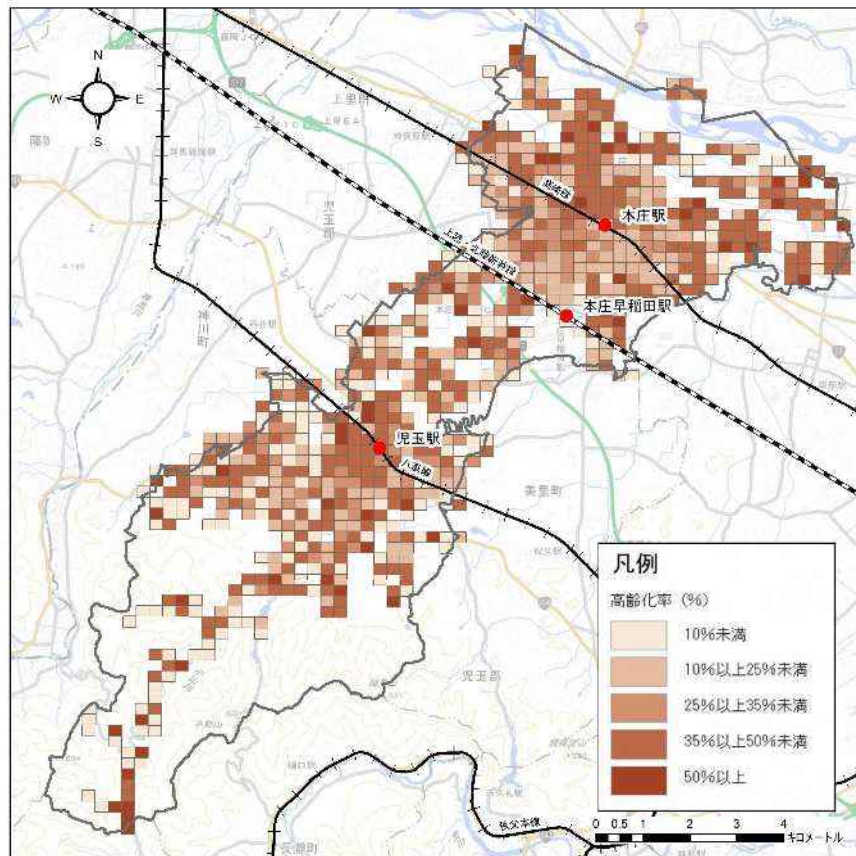


現状整理 (3) 高齢化率

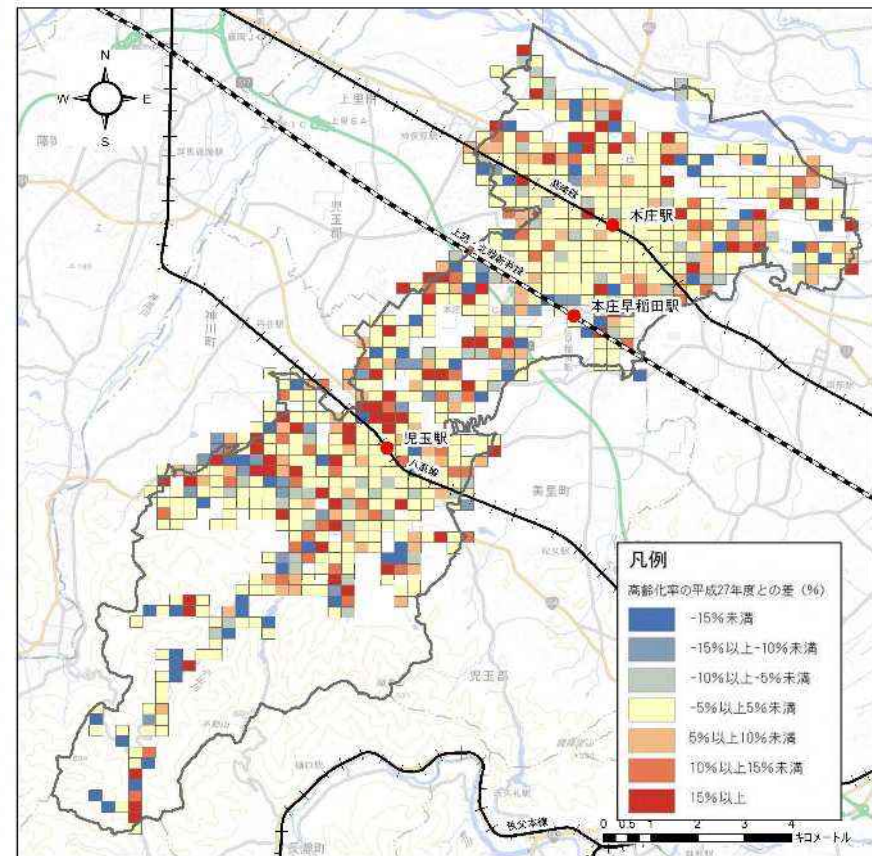


- 高齢化は市内全域で広がっており、特に見玉地域、本庄駅以北で高齢化率が高くなっている。
- 平成27年度から令和2年度にかけて見玉駅周辺及び皆野町に近い見玉山間部で高齢化が進行している。

高齢化率



平成27年度から令和2年度の高齢化率の差



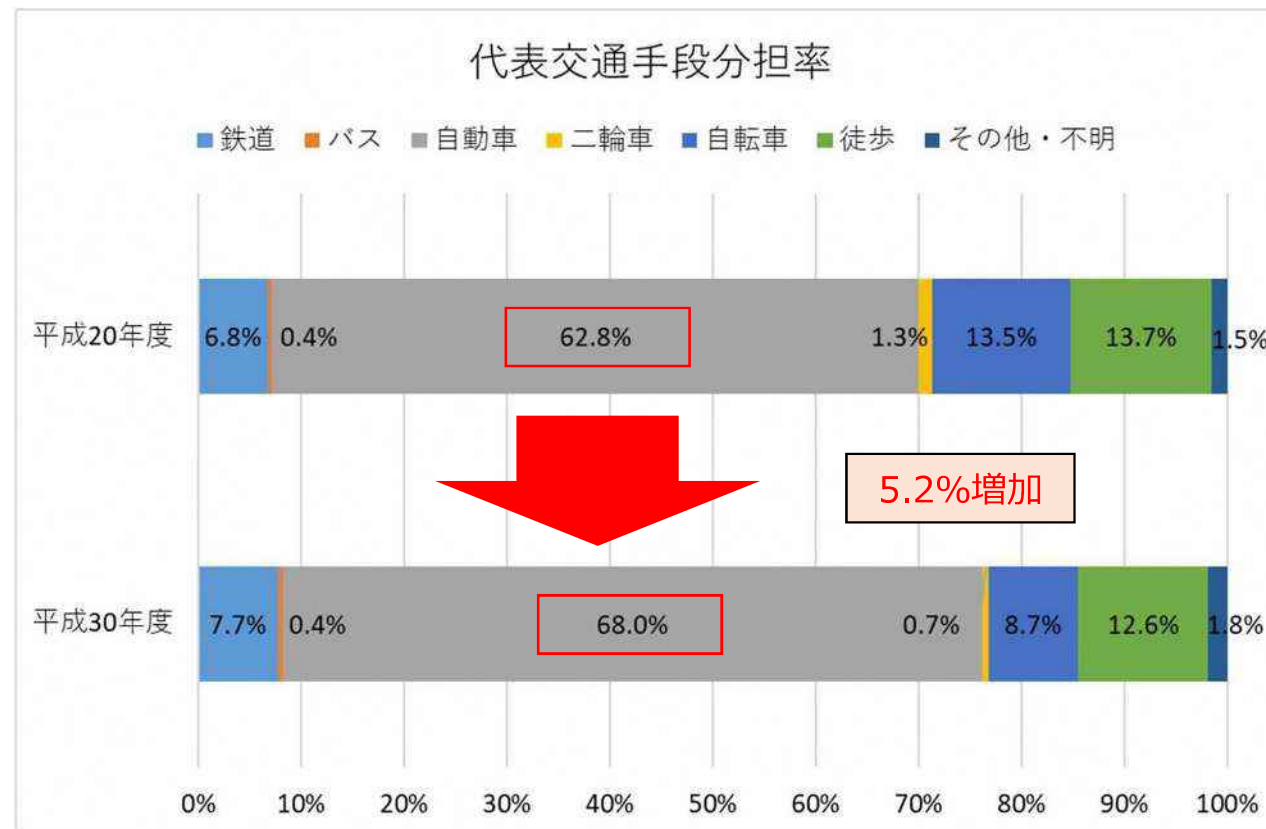
出典：総務省統計局「2020年国勢調査・2015年国勢調査」



現状整理 (4) 代表交通手段



- 代表交通手段別分担率は、自動車が68%を占めており、平成20年度と比較すると約5%増加している。



出典：国土交通省「平成30年度パーソントリップ調査・平成20年度パーソントリップ調査」



現状整理 (5) 埼玉県の免許返納者数



- 埼玉県の免許返納者数は、平成29年度及び平成30年度と比較し、令和元年度以降増加傾向である。



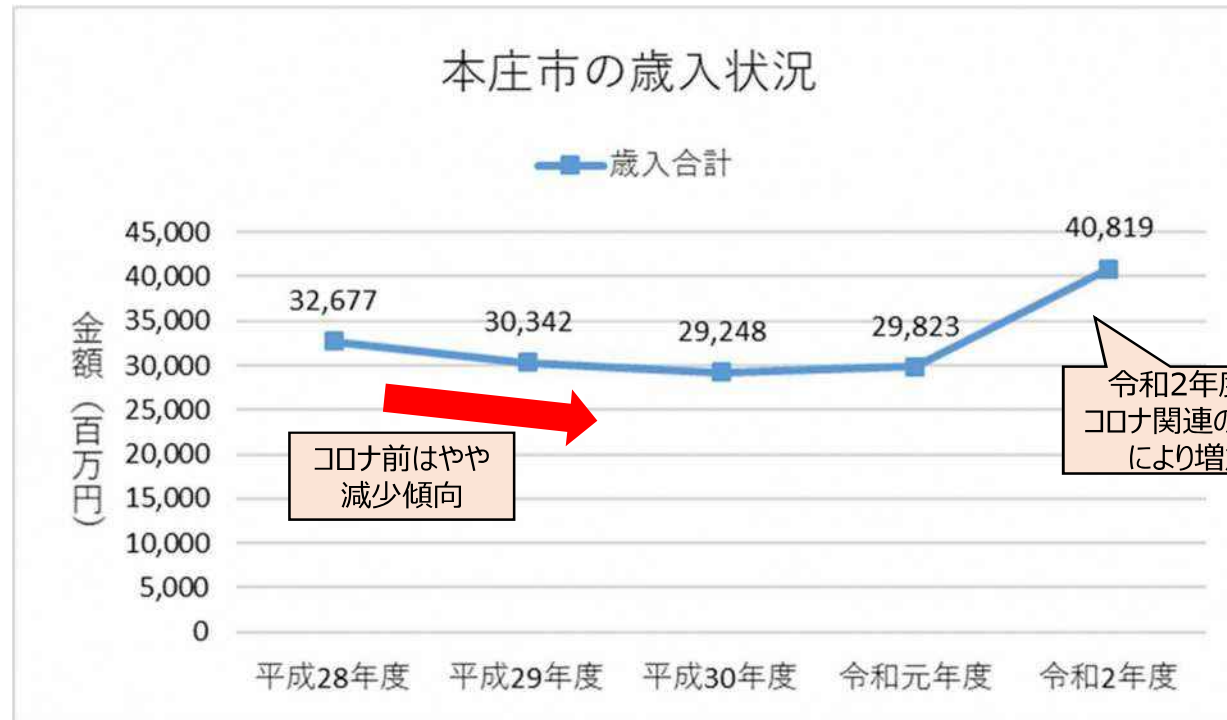
平成29年度・平成30年度
と比べて令和元年度以降
増加傾向



現状整理 (6) 本庄市の財政状況



- 本庄市の歳入は、令和2年度に特別定額給付金給付事業や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業等によって増加しているものの、令和元年度までの歳入はやや減少傾向にある。



出典：本庄市HP「財政状況資料集」、本庄市HP「本庄市の財政状況の概要」

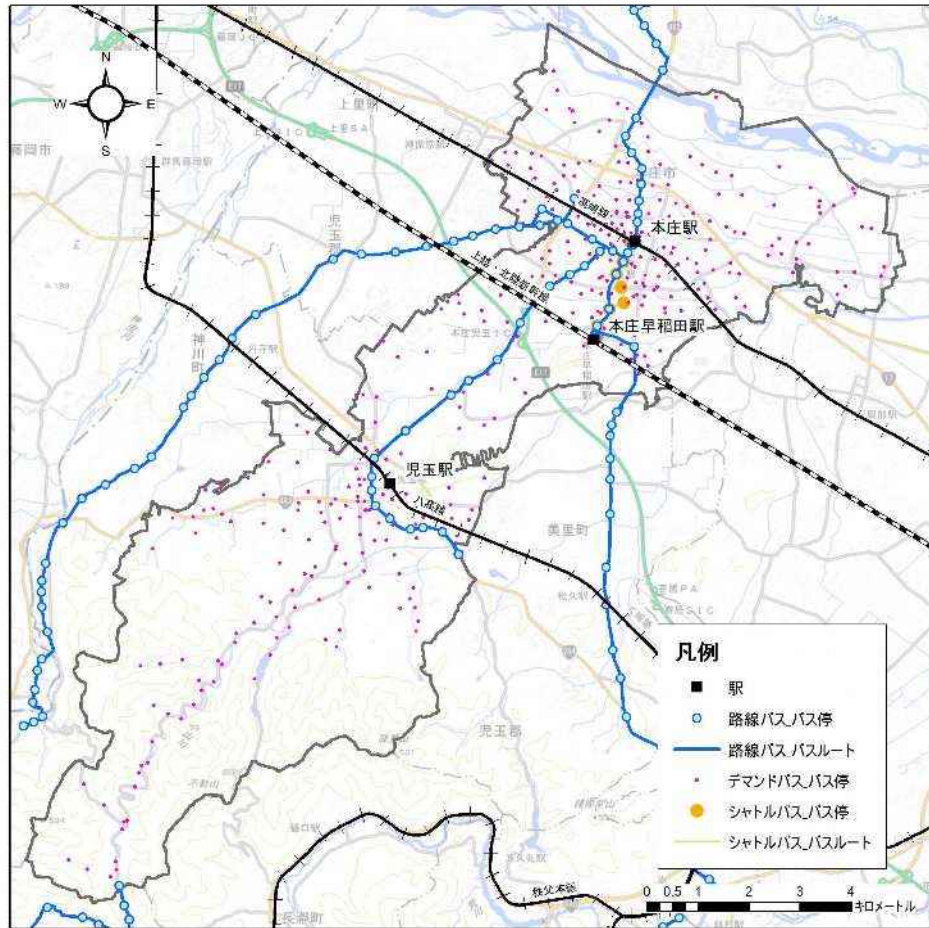


現状整理 (7) 公共交通網



▶ 鉄道（本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅）を交通結節点とし、路線バス、デマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）、シャトルバス（はにぼんシャトル）が運行している。

公共交通網



交通手段一覧

公共交通	内容
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 本庄駅（JR高崎線） 本庄早稲田駅（JR上越・北陸新幹線） 児玉駅（JR八高線）
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> 朝日自動車（本庄駅⇄児玉方面、本庄駅⇄上里・神川方面） 十王自動車（本庄駅⇄伊勢崎方面） 武蔵観光（本庄駅⇄寄居方面） 皆野町営バス（いろは橋折返し場（児玉）⇄皆野方面）
デマンドバス	<ul style="list-style-type: none"> はにぼん号（本庄北・本庄南・児玉市街地） もといずみ号（児玉山間）
シャトルバス	<ul style="list-style-type: none"> はにぼんシャトル（本庄駅⇄本庄早稲田駅）

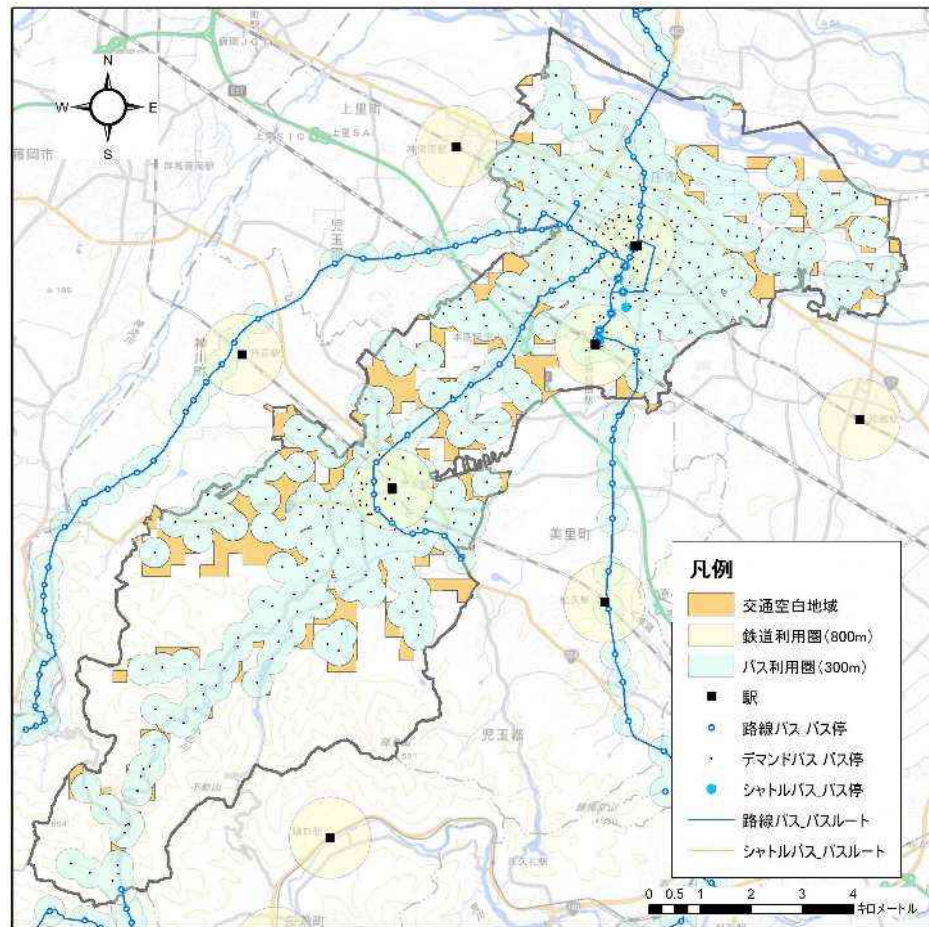


現状整理 (8) 交通空白地域



- 鉄道利用圏を800m、バス利用圏を300mとした時の人口カバー率は97.3%と高く、デマンドバスの運行により、本庄市の人口を公共交通でほぼカバーできている。

交通空白地域



鉄道利用圏：800m
バス利用圏：300m

人口カバー率 **97.3%**

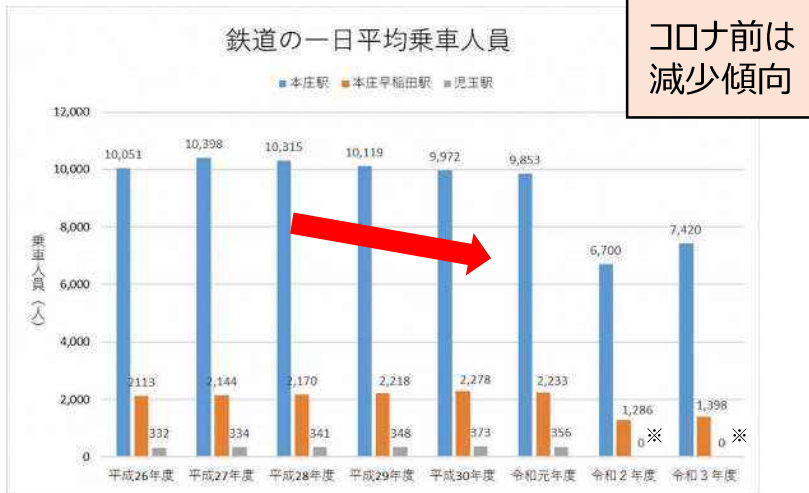
※バス利用圏＝路線バス、デマンドバス、シャトルバスを利用できる範囲



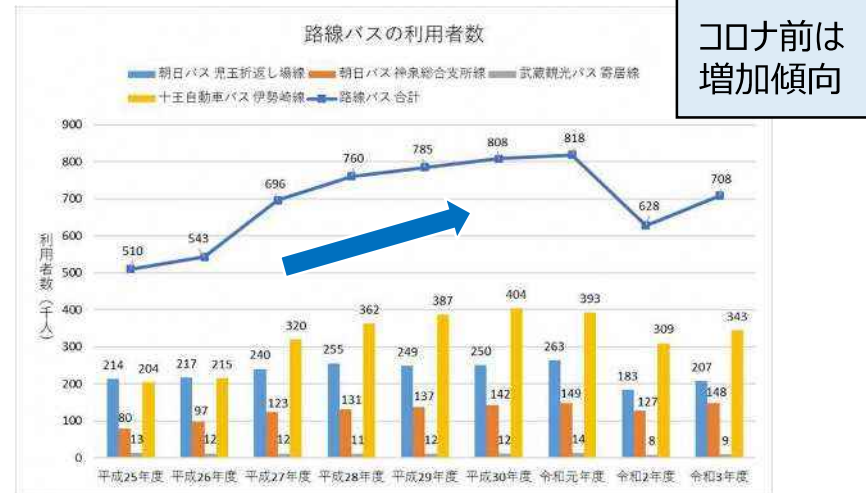
現状整理 (9) 各公共交通の利用者数



- ▶ 鉄道、デマンドバスは平成27年度から減少傾向にあり、さらに新型コロナウイルス感染症の影響で各公共交通において利用者が減少したが、令和3年度には回復傾向にある。



※児玉駅については令和3年3月13日から駅員無配属駅のため令和2年度以降公表データなし



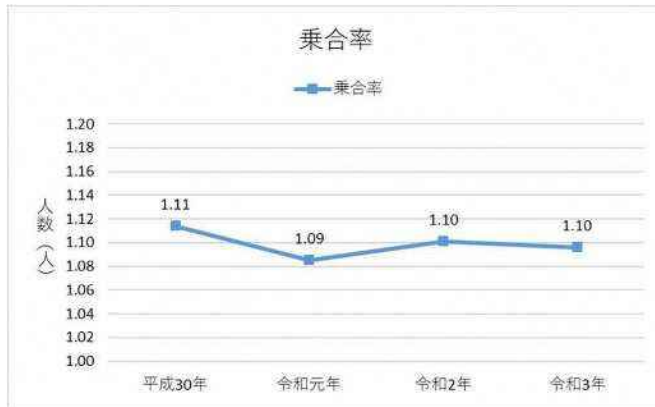


現状整理 (10) デマンドバスの乗合率 シャトルバスの1便あたりの乗車人数



- ▶ デマンドバスの乗合率は平成30年から令和3年までの4年間で平均1.10（人/便）で、近隣市町と比較すると深谷市と同程度、寄居町より低くなっている。
- ▶ シャトルバスの1便あたりの乗車人数は平成30年から令和3年までの4年間で平均1.14（人/便）となっている。

デマンドバス ※乗合率は1便あたりの乗車人数



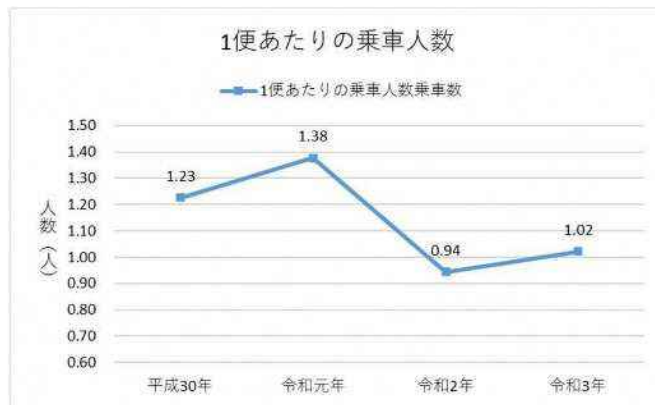
デマンドバスの乗合率

平均 **1.10** (人/便)
※平成30年から令和3年までの4年間の平均

他自治体との比較

自治体名	乗合率 (人/便)
本庄市	1.10
寄居町	1.40
深谷市	0.99~1.04

シャトルバス



シャトルバス1便あたりの乗車人数

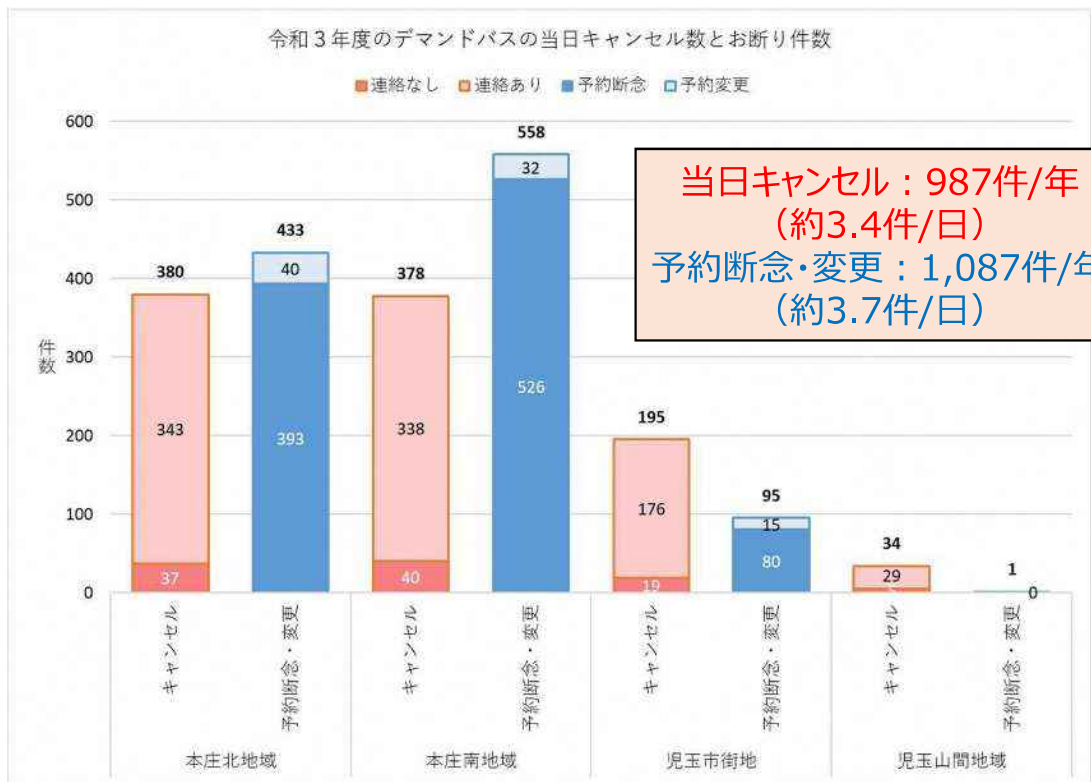
平均 **1.14** (人/便)
※平成30年から令和3年までの4年間の平均



現状整理 (11) デマンドバスのキャンセル数



- 1年間のデマンドバスの利用日当日のキャンセル数は、連絡なしが101件、連絡ありが886件であり、**合計987件/年（約3.4件/日）**発生している。
- 予約が埋まっていることにより利用を断念・予約時間を変更した件数は**1,087件/年（約3.7件/日）**であり、利用したい時間に利用できない人が発生している状況である。



キャンセル

- ・連絡なし⇒当日キャンセルの連絡をせずに、停留所へ来ない（無断キャンセル）
- ・連絡あり⇒当日にキャンセルの連絡

予約断念⇒混雑のため希望の時間が取れず、予約を断念

予約変更⇒混雑のため希望の時間が取れず、時間を変更して予約

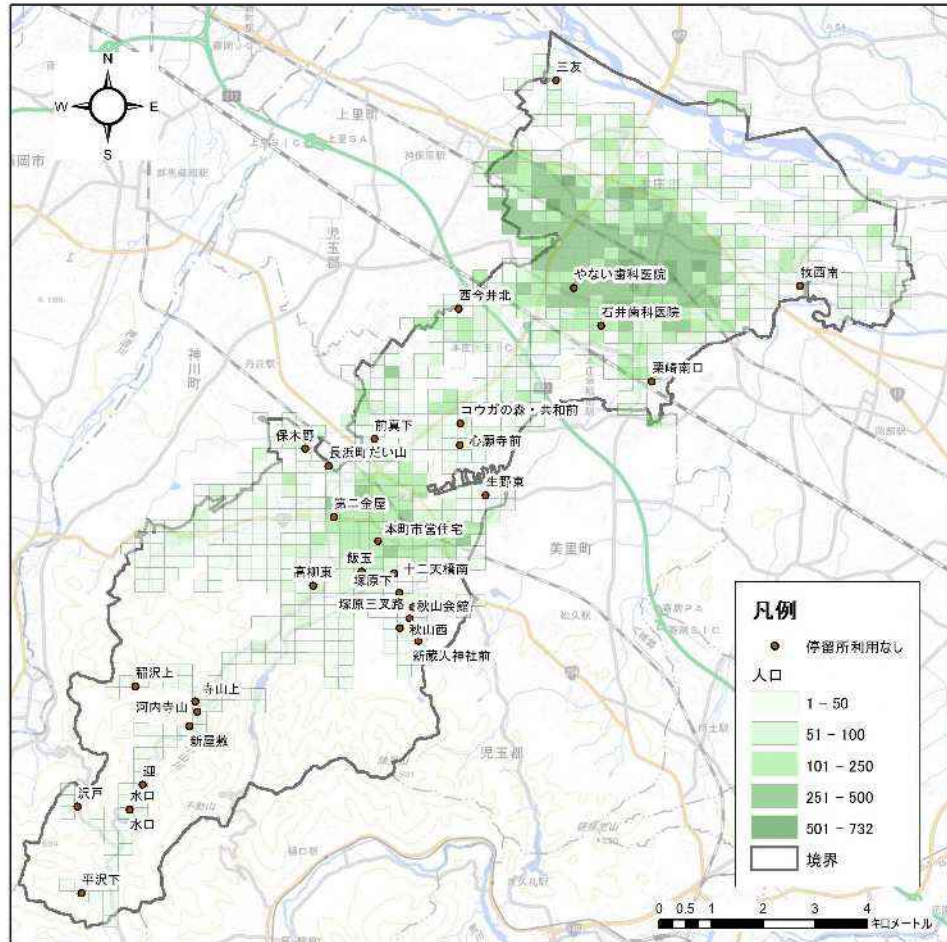


現状整理 (12) デマンドバス停留所の利用状況



▶ 平成30年度～令和3年度までで一度も使われていない停留所は**32か所**存在した。

停留所位置図



※水口については停留所2つあり

停留所一覧

	停留所名	運行区域
1	石井歯科医院	本庄南
2	栗崎南口	本庄南
3	西今井北	本庄南
4	やない歯科医院	本庄南
5	三友	本庄北
6	牧西南	本庄北
7	本町市営住宅	児玉地域共通
8	秋山会館	児玉市街地
9	秋山西	児玉市街地
10	飯玉	児玉市街地
11	コウガの森・共和前	児玉市街地
12	十二天橋南	児玉市街地
13	心願寺前	児玉市街地
14	新蔵人神社前	児玉市街地
15	第二金屋	児玉市街地
16	高柳東	児玉市街地
17	塚原三叉路	児玉市街地
18	塚原下	児玉市街地
19	中組事務所	児玉市街地
20	長浜町だい山	児玉市街地
21	生野東	児玉市街地
22	保木野	児玉市街地
23	前真下	児玉市街地
24	新屋敷	児玉山間
25	稲沢上	児玉山間
26	河内寺山	児玉山間
27	沢戸	児玉山間
28	平沢下	児玉山間
29	寺山上	児玉山間
30	水口	児玉山間
31	水口	児玉山間
32	迎	児玉山間



現状整理 (13) 地域の輸送資源



- ▶ 公共交通の他に、企業バスやスクールバス、病院の送迎バスなどの輸送資源に加え、福祉タクシーなどの福祉に特化したサービス提供も行われている。
- ▶ 本庄市の地域生活支援事業として、福祉タクシー利用券の交付が行われている。

交通手段一覧

公共交通	内容
鉄道	本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅
路線バス	朝日自動車、十王自動車、武蔵観光、皆野町営バス
デマンドバス	はにぼん号・もといずみ号
シャトルバス	はにぼんシャトルバス
タクシー	本庄タクシー、上信ハイヤー、本庄合同タクシー、明日香交通、朝日自動車

地域の輸送資源

種別	名称
企業送迎バス	<ul style="list-style-type: none"> ・信越ポリマー株式会社 ・株式会社マシモ ・大鵬薬品 ・株式会社ジョイアスフーズ ・株式会社ナック ・沖電気工業株式会社 等
スクールバス	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉本庄自動車学校 ・上武自動車教習所 ・早稲田大学本庄高等学校、早稲田大学 ・本庄第一中学校、本庄第一高等学校 ・本庄東高等学校附属中学校、本庄東高等学校 ・グルノーブル美容専門学校 等
病院送迎バス	<ul style="list-style-type: none"> ・本庄総合病院 ・吉沢病院

福祉タクシー利用券の交付

○概要

- ・在宅の重度心身障害者を対象に、タクシー利用料金（基本料金）の助成として福祉タクシー券を交付
- ・埼玉県又は本庄市と協定を結んだタクシー事業所で利用可能

○対象者

本庄市に住所を有する在宅の方でいずれかに該当する方

- (1) 1級又は2級の身体障害者手帳を持っている方
- (2) ○A又はAの療育手帳を持っている方

※ 上記 (1) 又は (2) の方のうち、「本庄市在宅重度心身障害者自動車等燃料費助成要綱」に規定する燃料費の助成を受けていない方（選択制）

○利用券

一年度最大28枚を交付

※ 有効期間は一年度（4月～3月）限り

○留意事項

- (1) 福祉タクシー利用券は、1回の乗車につき1枚限りの使用
- (2) 利用券により助成する額は、1枚につき基本料金とする
- (2) 利用時に運転者に対して身体障害者手帳又は療育手帳を提示
- (3) 福祉タクシー利用券の再交付不可

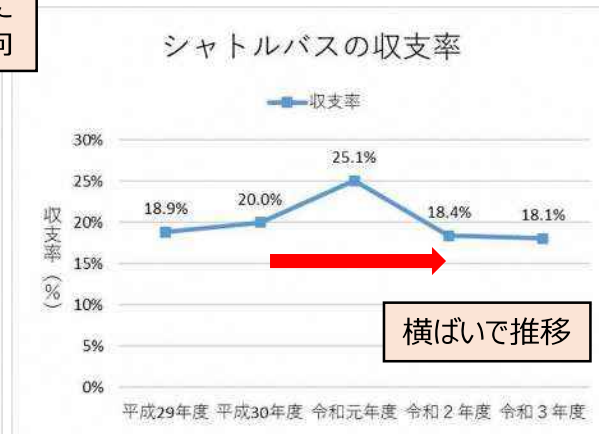
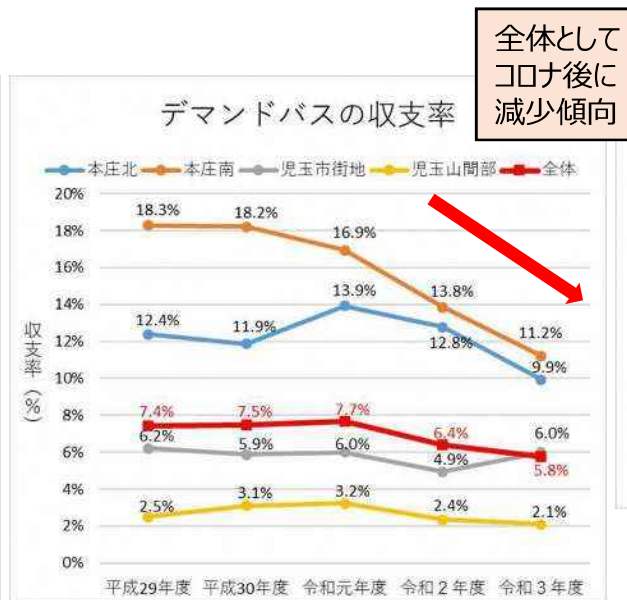
出典：本庄市HP「福祉タクシー利用券の交付（地域生活支援事業）」
「本庄市在宅重度心身障害者福祉タクシー利用料金助成事業実施要綱」



現状整理 (14) 各公共交通の収支率



- 路線バスの収支率は新型コロナウイルス感染症の流行前から減少しており、令和2年度には全体で50%を下回っている。
- デマンドバスの収支率は全地域で20%以下であり、特に児玉地域では10%に満たない。
- シャトルバスは5年間通して20%前後の収支率で推移している。



※収支率 = 営業収益 (運送収入、運送雑収入) / 営業費用 (運送費人件費、燃料費、修繕費等) × 100

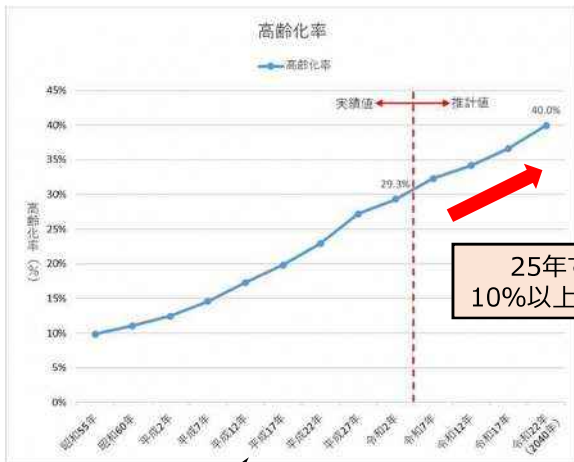


公共交通における課題



高齢社会の到来による需要増加への対応

免許を返納した高齢者の公共交通による
移動手段の確保が重要



免許を返納した
高齢者が
増加傾向



障害者も利用しやすい環境への改善

障害のある方も含めて
誰もが利用しやすい環境への改善が必要

高齢者、障害者等の関係団体に対するヒアリング結果

団体	区分	主な意見
身体障害者 (下肢) (視覚)	公共交通機関	バス利用はほとんどない。バス利用では停留所までの交通手段を考える必要がある。したがって、ドアtoドアのタクシーが利用される。
身体障害者 (聴覚)	公共交通機関	聴覚障害者の場合、バス、タクシーの予約は電話ではできない。FAX、メールでの予約が必要になる。
	はにぼん号	視覚障害の立場から、はにぼん号の予約がわからない。 市都市計画課に連絡をして、市から予約センターに申し込むことができるというが、その流れを皆に周知できているのか。 はにぼん号は経路が決まっています、自分の行きたいところにすぐに行けないので、急を要する時には使いづらい。 聴覚障害の高齢者にとっては、頻尿などトイレの問題を伝えること自体が難しい。
	タクシー	タクシーを呼ぶ場合は、家族など近くの人に電話を依頼したりする。派遣事務所を通じて依頼することなどもある。近くに頼める人がいない場合や緊急の場合は、タクシーを呼ぶ方法が困る。
	鉄道	駅に電光掲示板があるとよい。聴覚障害の場合、東日本大震災の際に非常に困ったという声が多かった。なぜ電車が止まったのか情報が入らず、何が起こったかわからず不安だった。
高齢者	公共交通機関	高齢者の免許返納を前提に、バス、タクシーが利用しやすい施策があるとよい。 はにぼん号の予約制が面倒、停留所がわかりにくい 鉄道では、駅の階段がきついホームの凹凸・傾斜が気になるという意見があった。

公共交通が利用しづらいという意見が寄せられている



公共交通における課題



利用者ニーズに応じた効率的な運行への改善

効率的かつ利用者のニーズに応じた運行への見直し

デマンドバスの乗合率 ※乗合率は1便あたりの乗車人数

平均 **1.10** (人/便)

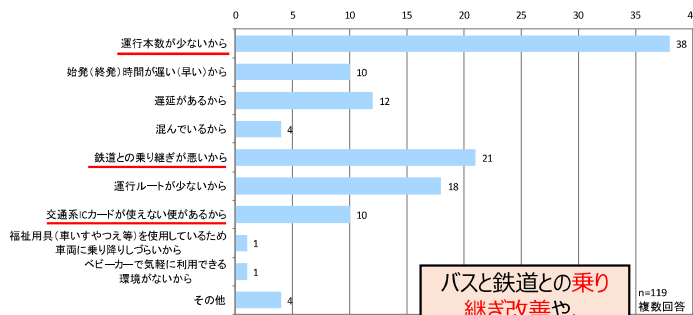
※平成30年から令和3年までの4年間の平均

シャトルバス1便あたりの乗車人数

平均 **1.14** (人/便)

※平成30年から令和3年までの4年間の平均

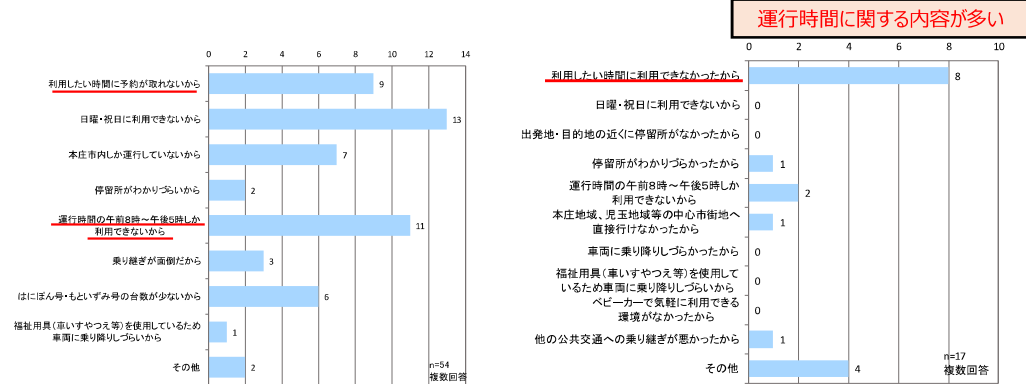
路線バスの不満理由



市民意識調査より

バスと鉄道との乗り継ぎ改善や、ICカードの利用に関する要望声もあがっている

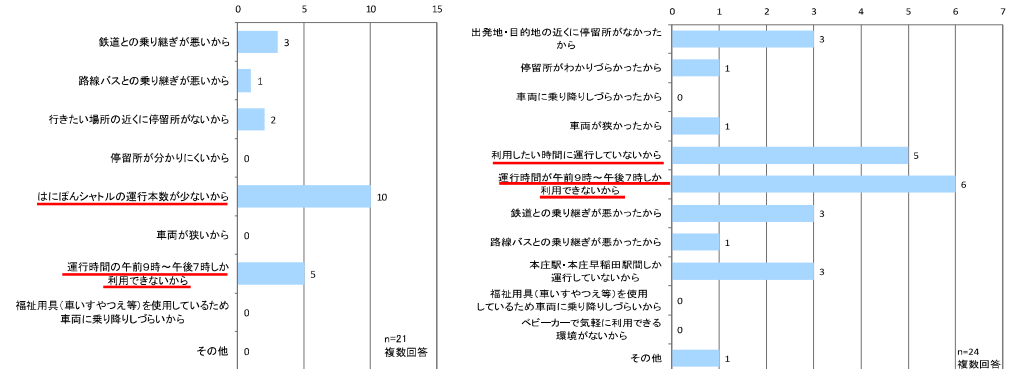
デマンドバスの不満理由 (運行時間や運行区域に対して)



デマンドバス利用者意識調査より

デマンドバス未利用者意識調査より

シャトルバスの不満理由



シャトルバス利用者意識調査より

シャトルバス未利用者意識調査より



公共交通における課題



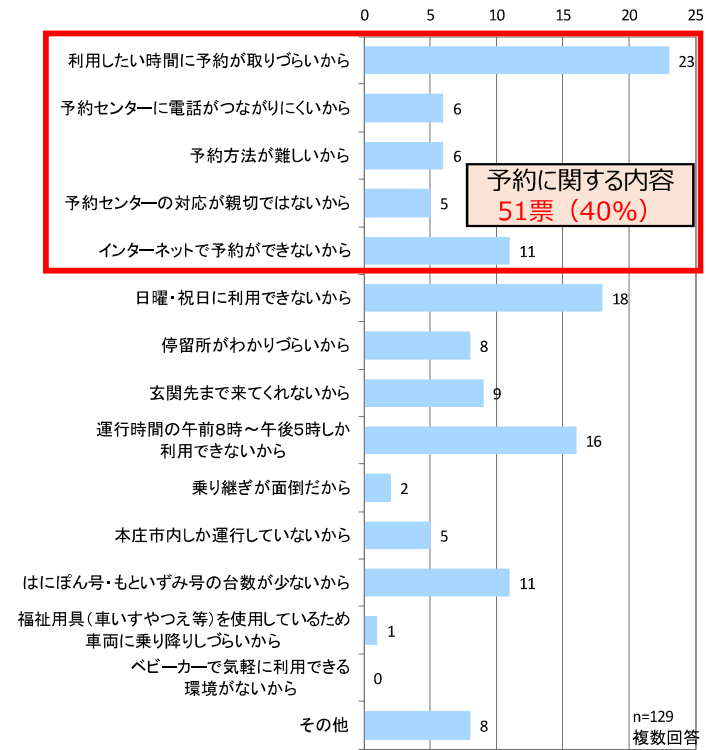
デマンドバスの予約方法の改善

利用者の利便性向上に向けたデマンドバスの予約方法の改善が必要



当日キャンセル：987件/年（約3.4件/日）
 予約断念・変更：1,087件/年（約3.7件/日）
 ⇒利用したい人が予約を取れない状況

デマンドバスの不満理由



市民意識調査より



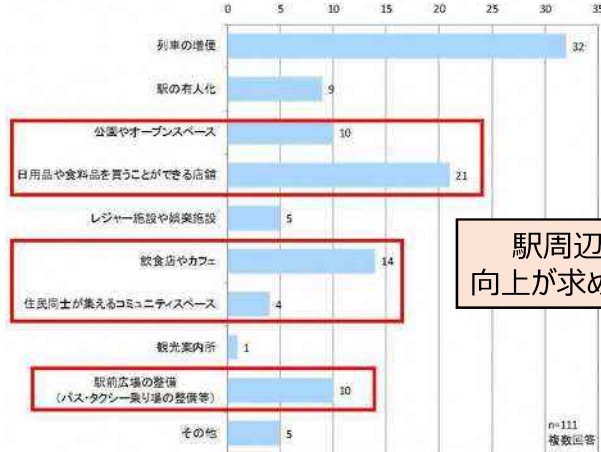
公共交通における課題



交通結節点の利用環境の向上

駅前活気・魅力向上に向けた交通結節点としての整備が必要

見玉駅周辺の整備について



駅周辺の機能向上が求められている

鉄道利用者意識調査より

持続可能な都市の実現に向けた課題

本市市全体

- 若い世代に選択される魅力ある居住地の形成
- 高齢者が安心して暮らし続けられる居住環境の確保

既成市街地 (まちなか) 本庄駅・見玉駅周辺

- 道路基盤整備と合わせたまちなか居住の促進
- 駅前の活気・魅力向上
- 既存ストックや低未利用地を活用した商業機能等の維持・確保

既成市街地外縁部

- 生活サービス施設の持続的な確保
- 公共交通の充実

新市街地 本庄早稲田駅周辺

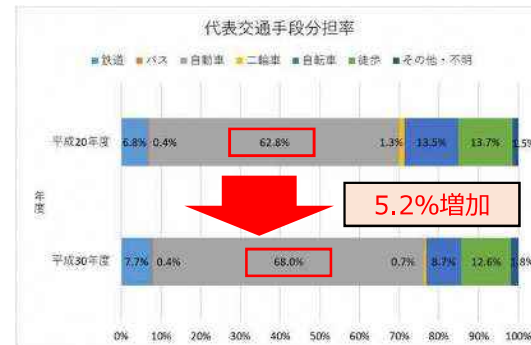
- 人口増加に対応した都市機能の誘導
- 子育てしやすいまち、健康に暮らし続けられるまちの実現に向けた魅力ある拠点形成

駅周辺の活気・魅力向上について触れている

立地適正化計画より

過度な自動車への依存

公共交通を維持していくための
自家用車からの転換

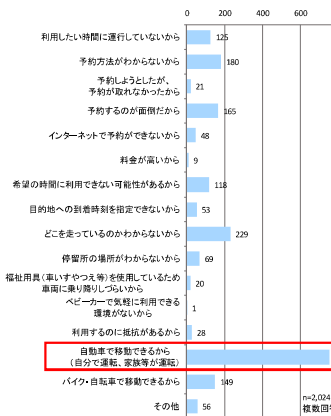


5.2%増加

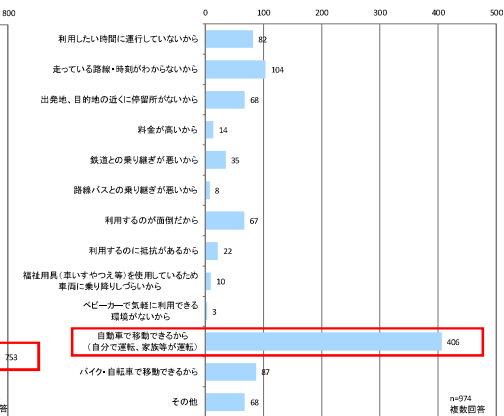
市内移動の約7割が車移動

公共交通を利用しない理由

デマンドバス



シャトルバス



市民意識調査より

車で移動できるから利用しない人が多い



公共交通における課題



新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通回復見通しの不透明さ（将来的な利用者減少）

利用者が減少する中で公共交通の維持・存続

各公共交通の利用者数



コロナ前は減少傾向



コロナ前は増加傾向



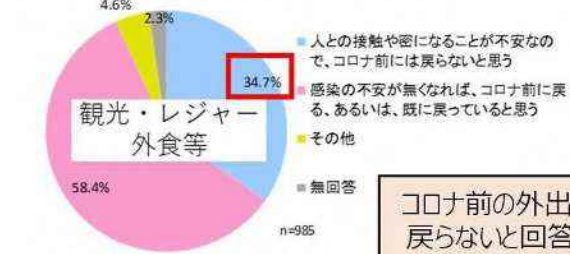
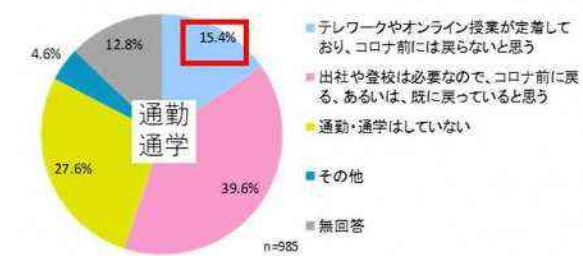
コロナ前は減少傾向



コロナ前は増加傾向

全体的に回復傾向だが、コロナ前の利用者数に戻るかの見通しが立っていない

新型コロナウイルス感染症の収束後の外出回数について<目的別>



コロナ前の外出回数に戻らないと回答した方 15%~35%

市民意識調査より



公共交通における課題



歳入額の減少・各公共交通の収支率の低下

公共交通の維持、市の負担軽減のため、現状の収支率の維持及び改善

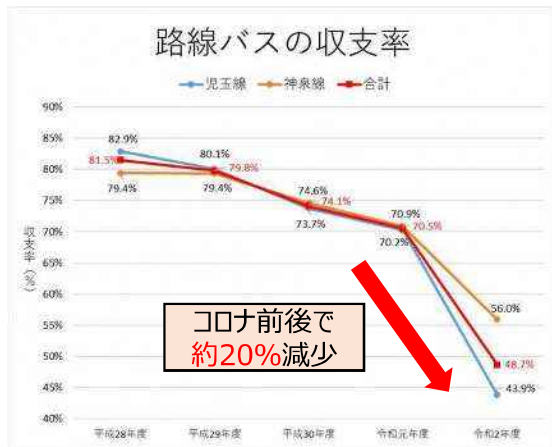


今後歳入は減少傾向

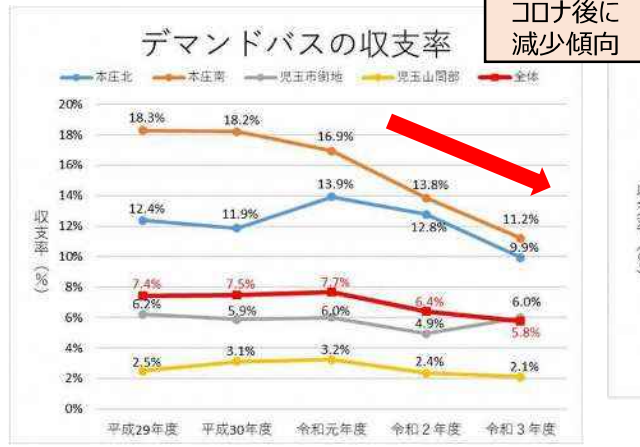
コロナ前は
やや減少傾向

令和2年度は
コロナ関連の事業
により増加

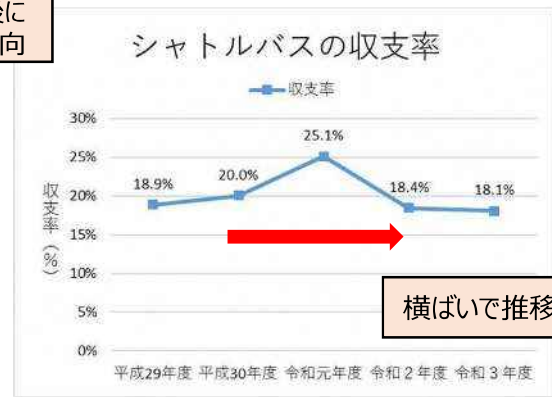
各公共交通（鉄道を除く）の収支率



コロナ前後で
約20%減少



全体として
コロナ後に
減少傾向



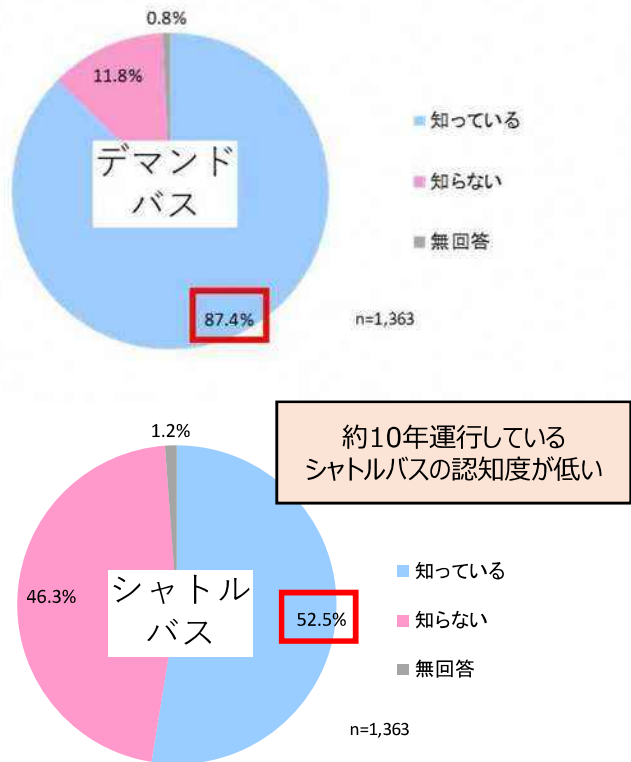
横ばいで推移



デマンドバス・シャトルバスの周知及び情報提供の不足

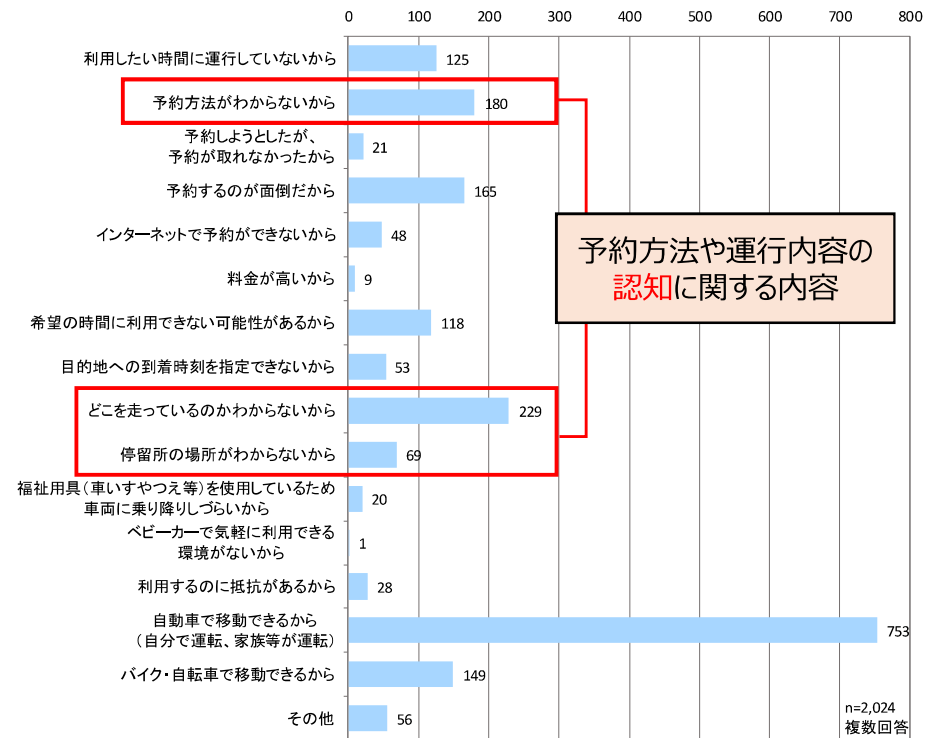
利用促進に向けたサービス内容の継続的な周知・情報提供

デマンドバス/シャトルバスを知っているか



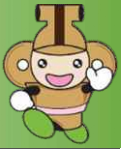
市民意識調査より

デマンドバスを利用していない理由



市民意識調査より

地域公共交通計画の 基本方針と目標の骨子（案）



●基本理念

「誰もが安心して快適に公共交通を利用できるまち」

鉄道、路線バス、デマンドバス、シャトルバス、タクシーなどの交通資源を最大限に活用し、誰もが安心して移動できるまちを目指す。

●基本方針①

安全・安心でより利便性の高い公共交通サービスの提供

本市では、ほとんどの地域で公共交通を利用できる環境にある。一方で、アンケート調査結果では、市民の公共交通への満足度は高くなく、運行時間や便数の不足、デマンドバスの予約の取りづらさ、障害者への対応等の課題が明確となっている。利用者にとって、安全・安心でより利便性の高い公共交通を目指す。

●基本方針②

輸送資源を最大限に活用した公共交通体系の維持・確保

本市では、鉄道、路線バス、デマンドバス、シャトルバス、タクシーの公共交通の他に、輸送資源として民間企業等が運行するバスや福祉タクシーといった福祉分野をサポートする様々な手段が存在する。

高齢社会の到来により、将来にわたって安心して利用できる公共交通への需要が高まっているため、今ある輸送資源を最大限に活用することも視野に、公共交通体系を維持・確保していく。

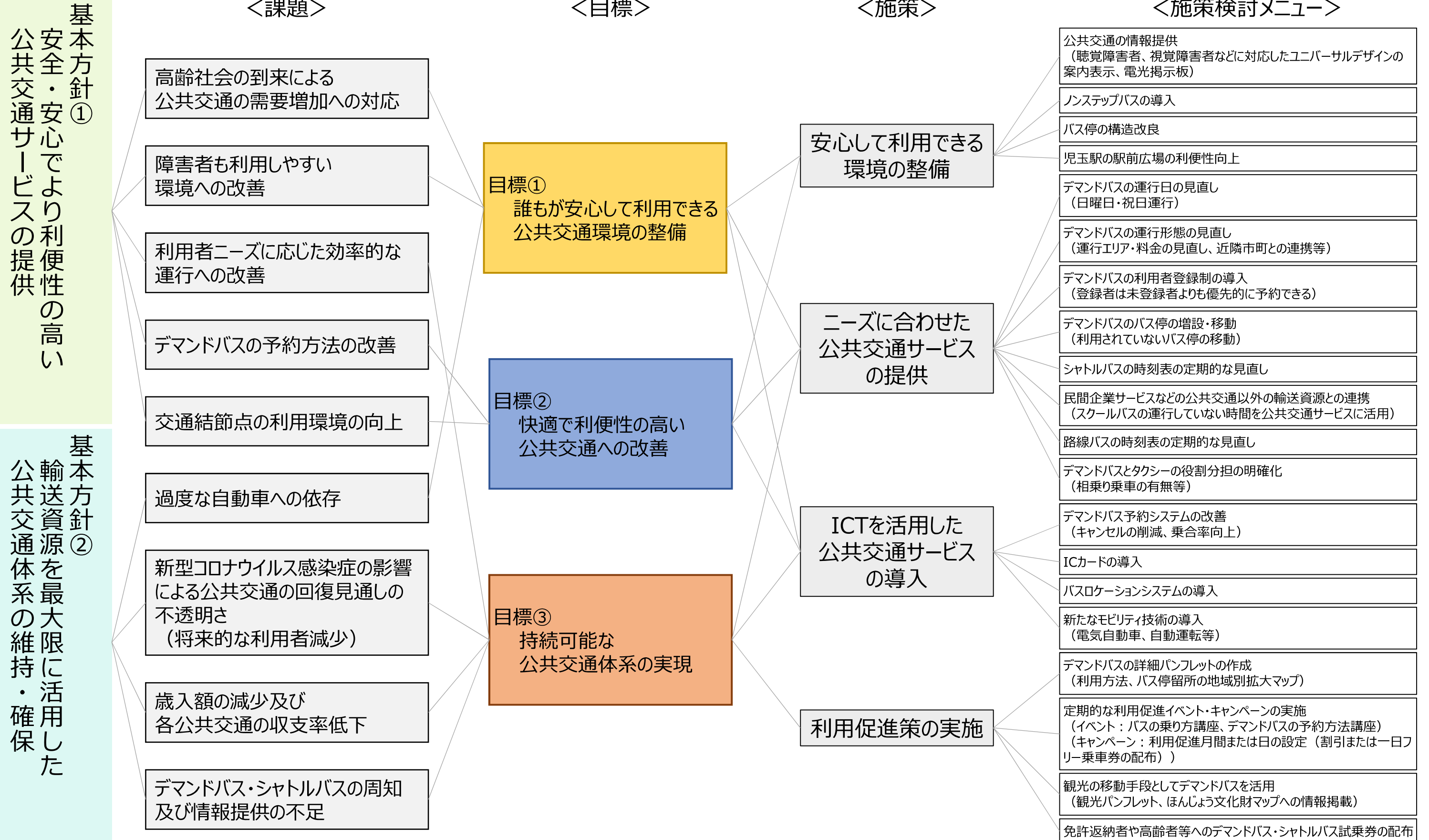


本庄市地域公共交通計画 骨子 (案)



基本理念

誰もが安心して快適に公共交通を利用できるまち



地域公共交通計画策定に係る
各種意識調査結果

目次

1. 市民意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1
2. デマンドバス利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.37
3. シャトルバス利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.55
4. デマンドバス未利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.73
5. シャトルバス未利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.90
6. 路線バス利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.102
7. 鉄道利用者意識調査・・・・・・・・・・・・P.123

1. 市民意識調査

1. 市民意識調査結果

1.1. 調査概要

1.1.1. 調査目的

市民の公共交通の利用状況や公共交通に対する考え方や要望等について、平成 30 年度からの変化を含めて把握並びに新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化等、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

1.1.2. 対象者

本調査は、市内全域を対象とした 15 歳以上の本庄市民 3,000 人（無作為抽出）を対象とした郵送によるアンケートと、本庄市ホームページで実施する Web アンケートへの回答者を対象とした。

なお、Web アンケートは本庄市外在住の方の回答も可能とした。

1.1.3. 配布回収方法

【郵送によるアンケート】

配布回収方法は、郵送配布・回収とした。

【Web アンケート】

本庄市ホームページより、Web 上で回答とした。

1.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、ご家族（人数、家族構成）、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
鉄道利用	利用の有無、満足度、不満理由、利用しない理由
路線バス	利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
タクシー	利用の有無、利用頻度、利用目的、利用場面、利用しない理由
デマンドバス	認知度、利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
シャトルバス	認知度、利用の有無、満足度、不満理由、利用停留所、利用しない理由
自家用車	利用頻度、利用継続意向、公共交通への転換意向、自家用車利用に関する意識
市内公共交通	公共交通全般に関する意識、シャトルバス・デマンドバスによる移動のしやすさ、自家用車利用に関する意識
コロナによる生活様式の変化	コロナ蔓延前と比べての外出回数・移動手段の変化 コロナ終息後の外出回数の変化

1.1.5. 回収結果

計 1,363 票の回答があった。

（郵送配布・回収：999 票（回収率：33%） Web アンケート：364 票）

1.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。

公共交通に関するアンケート調査のお願い

市民の皆さまには、口頃から市政にご協力いただき、ありがとうございます。

市では誰もが出歩きやすいまちづくりのために、様々な交通施策を行っております。その一つとして、予約を受けて停留所から停留所まで送迎する乗り合いデマンドバス「はにぼん号・もといずみ号」及びJR高崎線本庄駅と上越・北陸新幹線本庄早稲田駅を結ぶ定期運行シャトルバス「はにぼんシャトル」の運行を平成25年10月より開始しました。

このアンケート調査は、市民の皆さまの公共交通の利用状況や公共交通に対するお考えやご要望等を把握し、先に挙げましたデマンドバスやシャトルバス等、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月

本庄市長 吉田 信解

《ご記入にあたってのお願い》

1. お答えいただく方は、本庄市に住民登録のある方の中から抽出した、15歳以上の3,000人の方が対象です。
2. 対象者全員の方にご意見を頂きたいと考えていますが、都合により記入できない場合は、ご家族など代理の方でも結構ですので、ご返信いただくようご協力お願いいたします。
3. 調査票の設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりと記入ください。
4. ご回答いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、9月15日(木)までにお近くの郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。
5. このアンケートは、PC・スマートフォンからでもご回答いただけます。

アンケート回答 URL : <https://www.city.honjo.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/90>



(問い合わせ先) 本庄市 都市整備部 都市計画課

住所：本庄市本庄3丁目5番3号

TEL：0495-25-1136

FAX：0495-24-0242

公共交通に関するアンケート調査



※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

■あなた自身のことについて

設問1 あなた自身についてお伺いします。【項目ごとにあてはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	<p>【本庄市にお住まいの方】※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____</p> <p>【本庄市にお住まいではない方】※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 市・区・町・村 _____</p>	
②ご家族について	人数	()人 [同居している人数をご記載ください]
	家族構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 親子 4. 2世帯以上同居
③性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載 ()	
④年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上	
⑤職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他 ()	
⑥福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない	
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方	
	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他 ()
⑦運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した	

■タクシーの利用について

設問4-1 あなたは、最近1か月でタクシーを利用しましたか。【どちらかに○印】

1. 利用している→設問4-2へ 2. 利用していない→設問4-3へ

設問4-2 設問4-1で「利用している」と回答した方にお伺いします。

①タクシーをどれくらいの頻度で利用しますか。【1つに○印】

1. 週に3日以上 2. 週に1～2日
3. 月に数回 4. 年に数回

②あなたがタクシーを使う目的を教えてください。【あてはまるものいくつでも○印】

1. 通勤 2. 通学 3. 仕事での移動 4. 買い物
5. 通院 6. 趣味・習い事 7. 観光・旅行 8. その他（ ）

③タクシーを利用する場面を教えてください。

【選択肢からあてはまるもの最大3つまで選択肢番号を記入】

1つ目：（ ） 2つ目：（ ） 3つ目：（ ）

<選択肢>

1. 疲れたとき、歩きたくないとき 2. 複数人数で乗るとき（料金を割り勘できる）
3. 天気が悪いとき 4. 時間がないとき、早く目的地に着きたいとき
5. 他の移動手段で行けない場所に行くとき 6. 荷物が多いとき
7. 飲酒したとき 8. その他（ ）

設問4-3 設問4-1で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

①タクシーを利用していない理由を教えてください。

【選択肢からあてはまるもの最大3つまで選択肢番号を記入】

1つ目：（ ） 2つ目：（ ） 3つ目：（ ）

<選択肢>

1. 料金が高いから 2. 自動車を使用するから
3. タクシー以外の公共交通機関を利用しているから 4. タクシーを呼ぶのが面倒だから
5. 乗車前に料金がわからないのが嫌だから
6. 目的地への行き方を説明することが面倒だから
7. 乗りたいときに、すぐにタクシーがないから
8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車面に乗り降りしづらいから
9. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから
10. その他（ ）

■はにぼん号・もといずみ号（デマンドバス）の利用について

設問5-1 あなたは、市内を運行する「はにぼん号・もといずみ号」を知っていますか。
【どちらかに○印】

1. 知っている→設問5-2へ 2. 知らない→設問6-1へ



設問5-2 設問5-1で「知っている」と回答した方にお伺いします。

①あなたは「はにぼん号・もといずみ号」を利用したことがありますか。【どちらかに○印】

1. 利用したことがある→設問5-3へ 2. 利用したことがない→設問5-4へ

設問5-3 設問5-2で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

①はにぼん号・もといずみ号の利用に対する満足度と、不満な場合はその理由について教えてください。
【1つに○印】

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

↓
【不満理由】【あてはまるものいくつでも○印】

- | | |
|---|------------------------|
| 1. 利用したい時間に予約が取りづらいから | 2. 予約センターに電話がつながりにくいから |
| 3. 予約方法が難しいから | 4. 予約センターの対応が親切ではないから |
| 5. インターネットで予約ができないから | 6. 日曜・祝日に利用できないから |
| 7. 停留所がわかりづらいから | 8. 玄関先まで来てくれないから |
| 9. 運行時間の午前8時～午後5時しか利用できないから | |
| 10. 乗り継ぎが面倒だから（乗り継ぎされている区域 _____ → _____） | |
| 11. 本庄市内しか運行していないから | |
| 12. はにぼん号・もといずみ号の台数が少ないから | |
| 13. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車内に乗り降りしづらいから | |
| 14. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから | |
| 15. その他（ _____ ） | |

②普段一番利用している停留所を教えてください。【下線部に停留所名を記入】

【乗車停留所名】 _____ ～ 【降車停留所名】 _____

設問5-4 設問5-2で「利用したことがない」と回答した方にお伺いします。

①あなたが「はにぼん号・もといずみ号」を利用していない理由を教えてください。
【選択肢からあてはまるもの最大3つまで選択肢番号を記入】

1つ目：（ _____ ） 2つ目：（ _____ ） 3つ目：（ _____ ）

<選択肢>

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 利用したい時間に運行していないから | 2. 予約方法がわからないから |
| 3. 予約しようとしたが、予約が取れなかったから | 4. 予約するのが面倒だから |
| 5. インターネットで予約ができないから | 6. 料金が安いから |
| 7. 希望の時間に利用できない可能性があるから | 8. 目的地への到着時刻を指定できないから |
| 9. どこを走っているのかわからないから | 10. 停留所の場所がわからないから |
| 11. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車内に乗り降りしづらいから | |
| 12. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから | |
| 13. 利用するのに抵抗があるから | |
| 14. 自動車で移動できるから（自分で運転、家族等が運転） | |
| 15. バイク・自転車移動できるから | |
| 16. その他（ _____ ） | |

■はにぼんシャトル（シャトルバス）の利用について

設問6-1 あなたは、本庄駅から本庄早稲田駅間を走行する「はにぼんシャトル」を知っていますか。
【どちらかに○印】

1. 知っている→設問6-2へ 2. 知らない→設問7-1へ

設問6-2 設問6-1で「知っている」と回答した方にお伺いします。

①あなたは「はにぼんシャトル」を利用したことがありますか。【どちらかに○印】

1. 利用したことがある→設問6-3へ 2. 利用したことがない→設問6-4へ

設問6-3 設問6-2で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

①はにぼんシャトルの利用に対する満足度と、不満な場合はその理由について教えてください。
【1つに○印】

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

【不満理由】【あてはまるものいくつかでも○印】

1. 鉄道との乗り継ぎが悪いから 2. 路線バスとの乗り継ぎが悪いから
3. はにぼんシャトルの運行本数が少ないから 4. 行きたい場所の近くに停留所がないから
5. 停留所がわかりづらいから 6. 車両が狭いから
7. 運行時間の午前9時～午後7時しか利用できないから
8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから
9. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから
10. その他（ ）

②普段一番利用している停留所を教えてください。【下線部に停留所名を記入】

【乗車停留所名】 _____ ～ 【降車停留所名】 _____

設問6-4 設問6-2で「利用したことがない」と回答した方にお伺いします。

①あなたが「はにぼんシャトル」を利用していない理由を教えてください。
【選択肢からあてはまるもの最大3つまで選択肢番号を記入】

1つ目：（ ） 2つ目：（ ） 3つ目：（ ）

<選択肢>

1. 利用したい時間に運行していないから 2. 走っている路線・時刻がわからないから
3. 出発地、目的地の近くに停留所がないから 4. 料金が安いから
5. 鉄道との乗り継ぎが悪いから 6. 路線バスとの乗り継ぎが悪いから
7. 利用するのが面倒だから 8. 利用するのに抵抗があるから
9. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから
10. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから
11. 自動車で移動できるから（自分で運転、家族等が運転）
12. バイク・自転車移動できるから
13. その他（ ）

■自家用車の利用について

設問7-1 あなたの自家用車利用による外出頻度はどれくらいですか。【1つに○印】

1. 週に3日以上 →設問7-2へ
2. 週に1～2日 →設問7-2へ
3. 月に数日 →設問7-2へ
4. 利用しない・ほとんど利用しない →設問8へ

設問7-2 設問7-1で「週に3日以上」「週に1～2日」「月に数日」と回答した方にお伺いします。

①今後あなたは、自家用車を利用し続けますか。【1つに○印】

1. 自家用車の利用を続ける
2. 自家用車の利用を減らす
3. 自家用車と公共交通（鉄道、路線バス、タクシー、デマンドバス、シャトルバス）の両方を利用

②どのような条件が整えば自家用車から他の公共交通（鉄道、路線バス、タクシー、デマンドバス、シャトルバス）や自転車に変更することができますか。

【選択肢からあてはまるもの最大3つまで選択肢番号を記入】

1つ目：() 2つ目：() 3つ目：()

<選択肢>

1. 出発地、目的地の近くに駅やバス停がある
2. 運行本数が多く、また、乗りたい時間帯に運行している
3. 公共交通を利用する事で移動にかかる費用が大幅に抑えられる
4. 異なるバス路線の乗継ぎが改善し、市内主要施設（商業施設・病院等）へ行きやすくなる
5. バス停に駐輪場が整備され、自転車からバスに乗り換える環境が整う
6. 安全に走れる自転車専用の走行空間が整備される
7. レンタサイクルやシェアサイクル等、自転車が利用しやすい環境がある
8. 福祉用具（車いすやつえ等）でも車両に乗り降りしやすい環境が整う
9. ペピーカーで気軽に利用できる環境が整う
10. その他 ()



③自家用車の利用について、あなたはどうか考えですか。【1つに○印】

1) 過度に「自家用車で移動」をすることは環境に良くないと思いますか。

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. どちらともいえない
4. そう思わない
5. 全く思わない

2) 自家用車ではなく、「公共交通での移動」は負担（家計、身体等）になるとと思いますか。

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. どちらともいえない
4. そう思わない
5. 全く思わない

■市内の公共交通について

設問8 本庄市の公共交通について、あなたはどうお考えですか。【1つに○印】

①本庄市内には、鉄道、路線バス、デマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）、シャトルバス（はにぼんシャトル）などがあり、公共交通の充実さに満足している。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そう思わない 5. 全く思わない

②誰でも利用できるデマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）、シャトルバス（はにぼんシャトル）により、市内の移動がしやすい。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そう思わない 5. 全く思わない

③公共交通は、運行本数や、時間の制約等で多少不便であっても、一人で自由に外出することができるので、日常生活には不可欠である。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そう思わない 5. 全く思わない

④公共交通は、自家用車を利用しない人・利用できなくなった人の外出手段として、必要不可欠なものであるので、今は公共交通を利用しない人も含めて、みんなで支えていかなければならない。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そう思わない 5. 全く思わない

⑤環境への配慮として、自転車や公共交通を積極的に利用し、なるべく自家用車の利用を控えたい。

1. 強くそう思う 2. そう思う 3. どちらともいえない 4. そう思わない 5. 全く思わない

■新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化について

設問9-1 **新型コロナウイルス感染症のまん延前と比べて、最近1か月のあなたの日常生活における外出回数に変化はありましたか。【1つに〇印】**

1. 外出回数は大きく減少した→設問9-2へ
2. 外出回数は多少減少した →設問9-2へ
3. 最近1か月でコロナ前の外出回数に戻りつつある・戻った →次のページへ
4. 外出回数はコロナ前とコロナ禍も変わらない →次のページへ

設問9-2 設問9-1で「1.大きく減少した」「2.多少減少した」と回答した方へお伺いします。

①主にどのように変わりましたか。【あてはまるもの最大3つまで〇印】

1つ目:() 2つ目:() 3つ目:()

<選択肢>

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 通勤・通学の回数が減った | 2. 買い物に行く回数が減った |
| 3. 通院する回数が減った | 4. 観光やレジャーの回数が減った |
| 5. 家族や友人との外食回数が減った | 6. その他() |

②コロナ前の移動手段とコロナ禍での移動手段に変化はありましたか。【1つに〇印】

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 公共交通（鉄道、路線バス等）を利用する回数が減った | 2. 自家用車の使用が増えた |
| 3. 徒歩や自転車で移動することが増えた | 4. 移動手段は変わらない |
| 5. その他() | |

③新型コロナウイルス感染症が収束すれば、あなたの外出回数はコロナ前と同じような状態に戻ると思えますか。【外出の目的ごとにあてはまる数字1つに〇印】

通勤・通学での外出回数

1. テレワークやオンライン授業が定着しており、コロナ前には戻らないと思う
2. 出社や登校は必要なので、コロナ前に戻る、あるいは、既に戻っていると思う
3. 通勤・通学はしていない
4. その他()

買い物での外出回数

1. ネットショッピングやデリバリーなどの利用ができるので、コロナ前には戻らないと思う
2. 商品を見て買いたいので、コロナ前に戻る、あるいは、既に戻っていると思う
3. その他()

観光やレジャー、外食での外出回数

1. 人との接触や密になることが不安なので、コロナ前には戻らないと思う
2. 感染の不安が無くなれば、コロナ前に戻る、あるいは、既に戻っていると思う
3. その他()

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
このアンケート調査票は切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れ、
9月15日（木）までにお近くの郵便ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先：
本庄市 都市整備部 都市計画課
住所：本庄市本庄3丁目5番3号
TEL：0495-25-1136
FAX：0495-24-0242

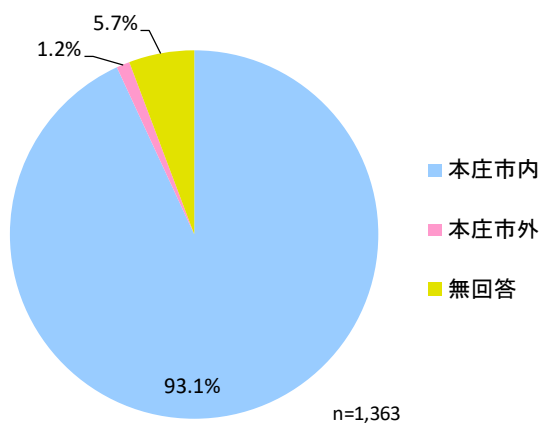
1.2. 調査結果

1.2.1. 個人属性

(1) お住まいの地域

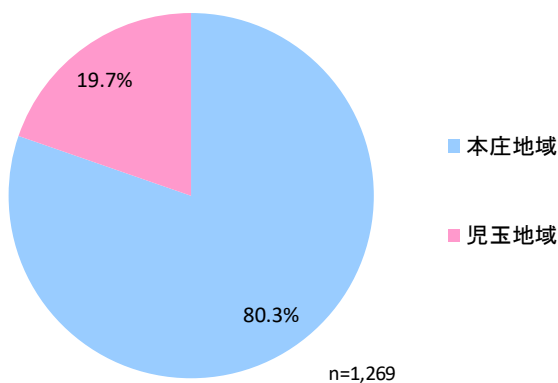
①全体

<令和4年度>

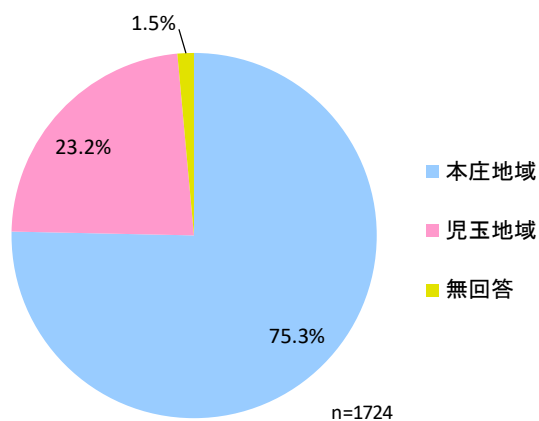


②本庄市内在住の方（地域別）

<令和4年度>

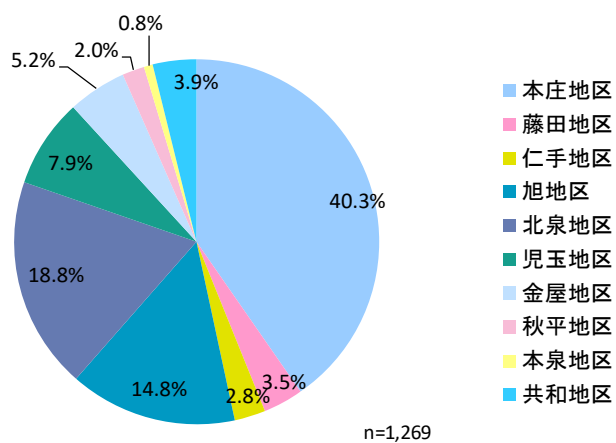


<平成30年度>

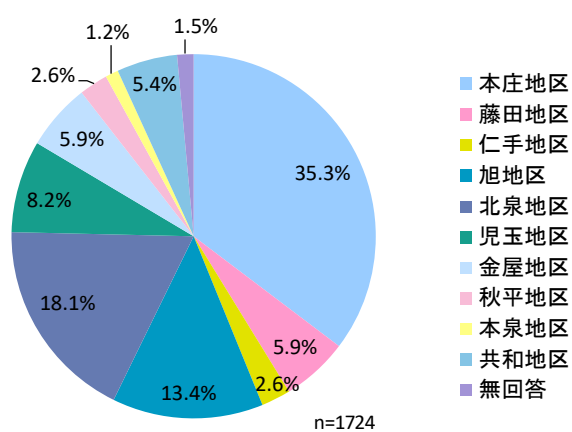


③本庄市内在住の方（地区別）

<令和4年度>

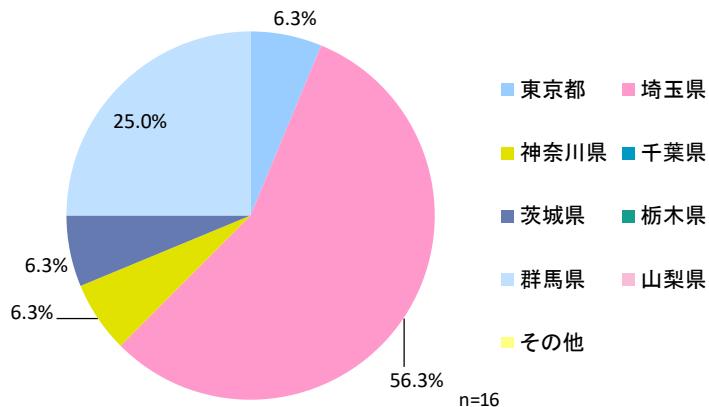


<平成30年度>



③本庄市外在住の方

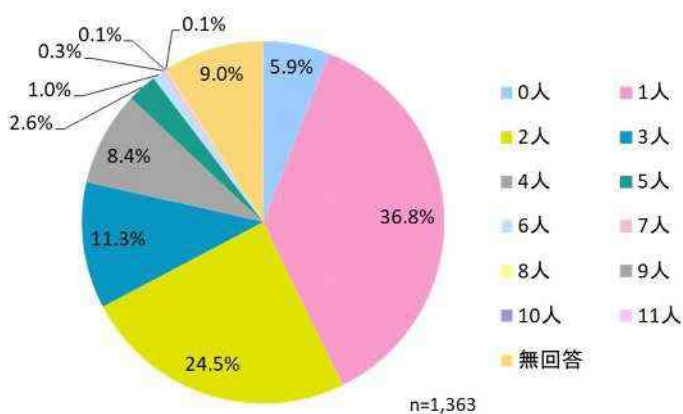
<令和4年度>



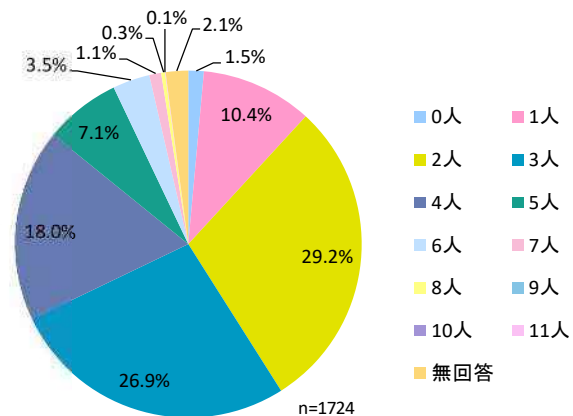
(2) ご家族について

① 家族人数

<令和4年度>

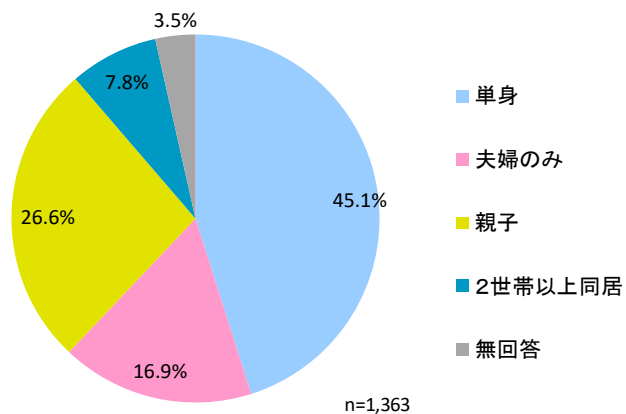


<平成30年度>

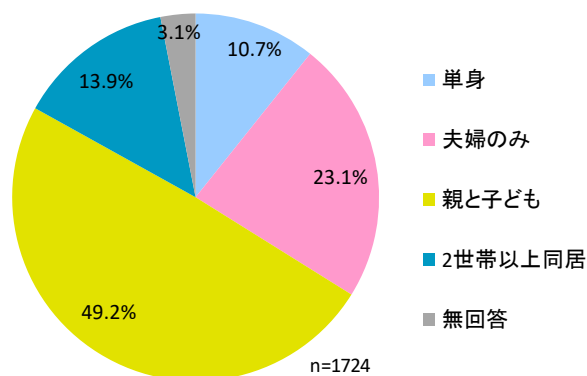


② 家族構成

<令和4年度>

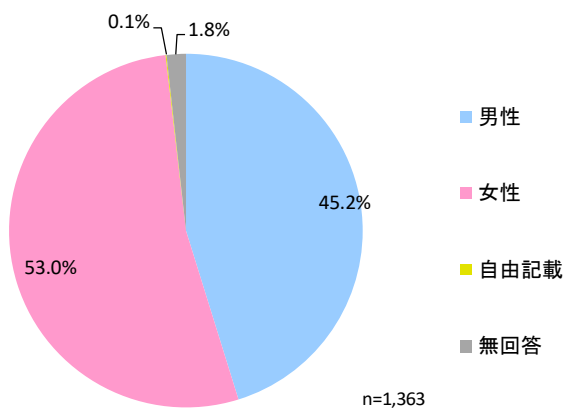


<平成30年度>

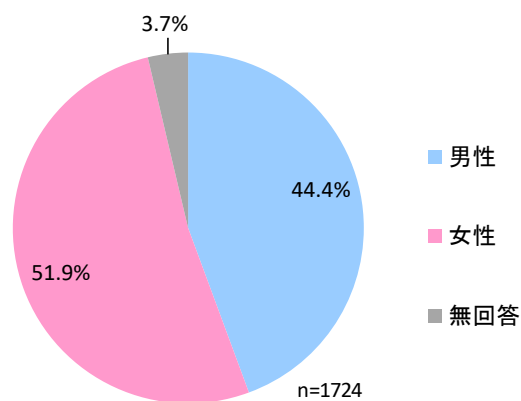


(3) 性別

<令和4年度>

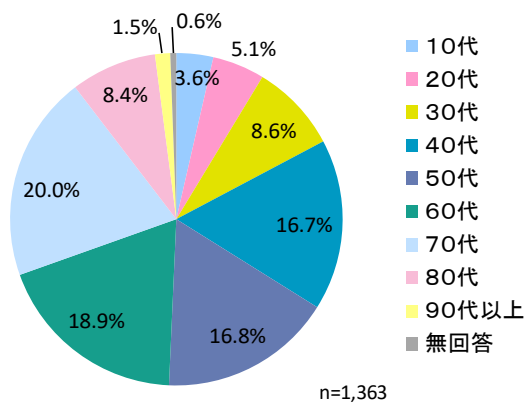


<平成30年度>

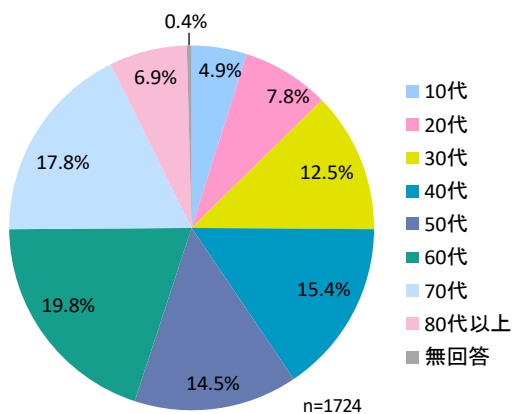


(4) 年齢

<令和4年度>

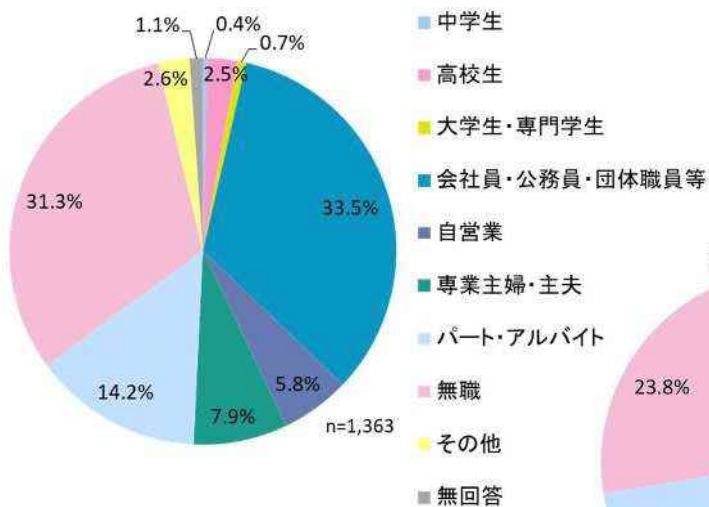


<平成30年度>

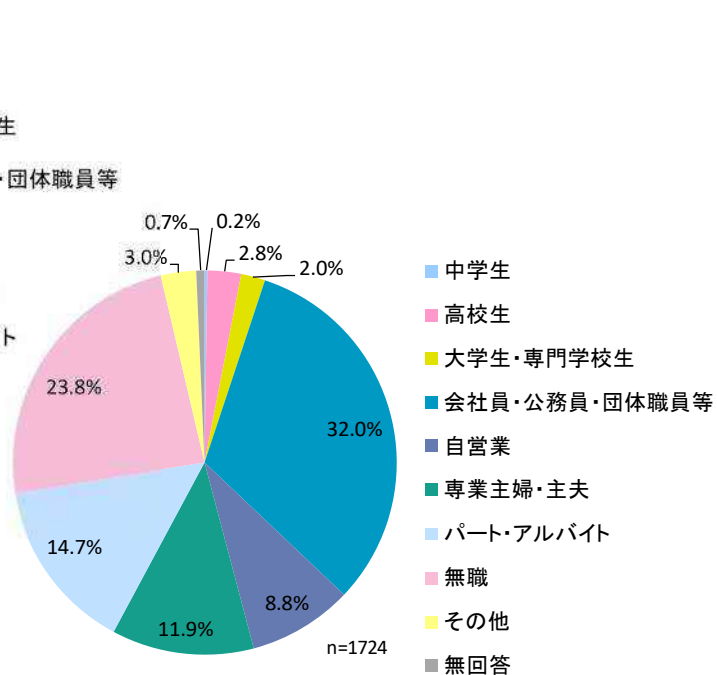


(5) 職業

<令和4年度>

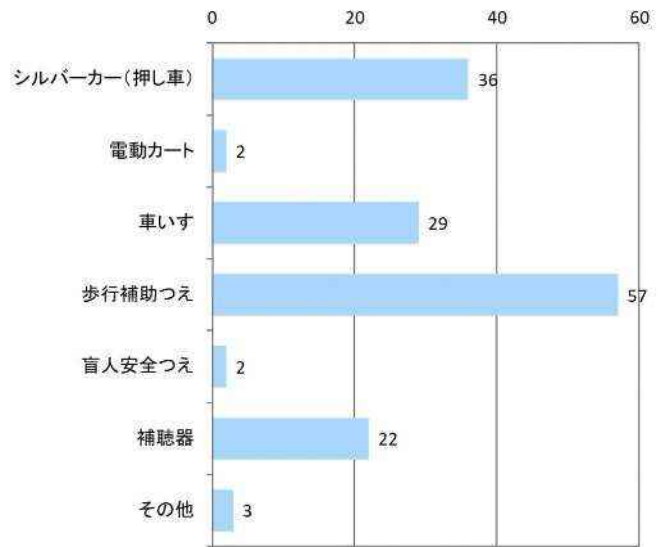
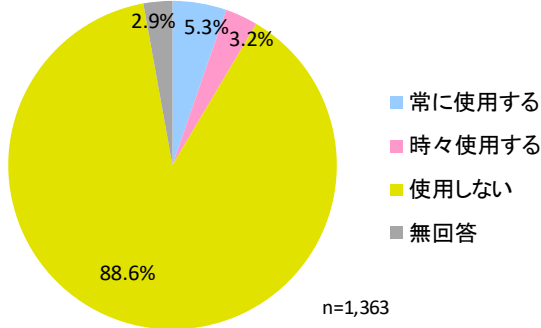


<平成30年度>

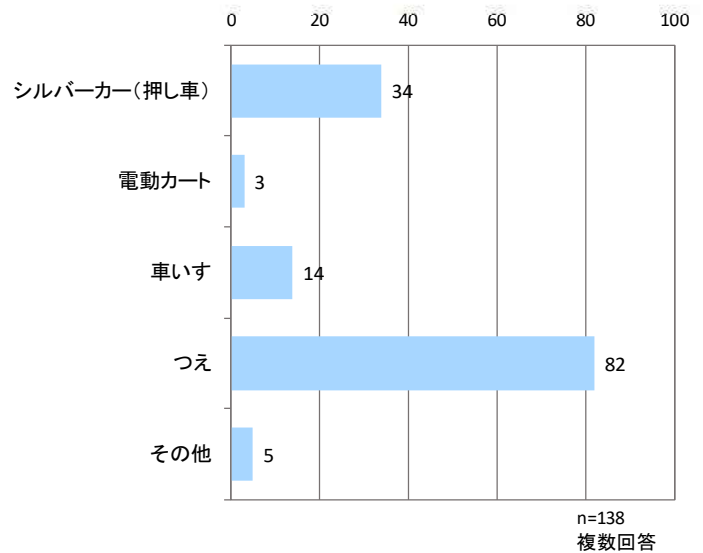
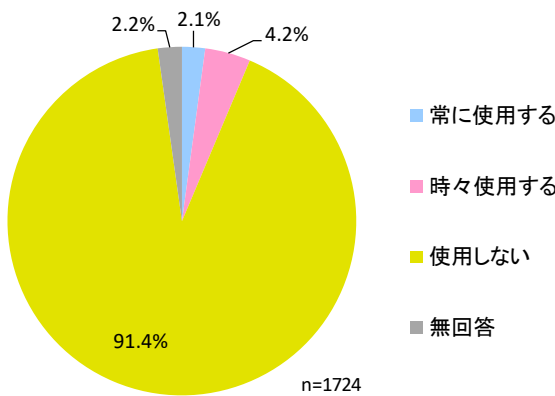


(6) 福祉器具の利用状況

<令和4年度>

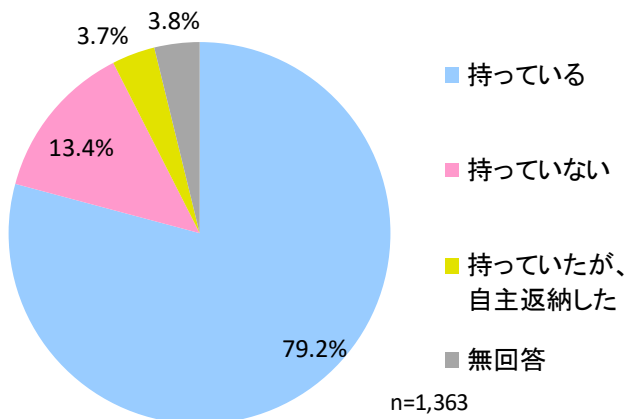


<平成30年度>

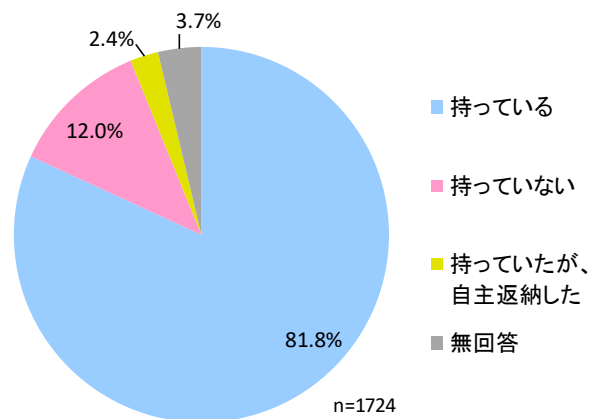


(7) 運転免許証の保有状況

<令和4年度>



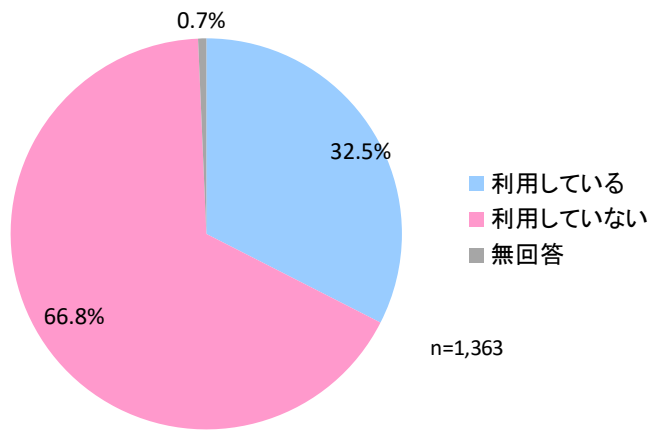
<平成30年度>



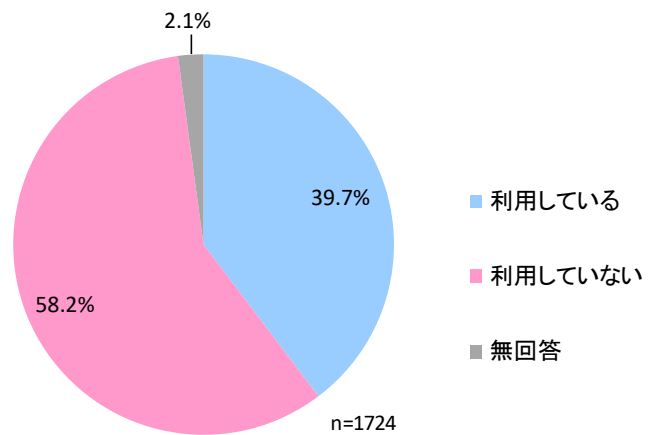
1.2.2. 鉄道の利用について

(1) 鉄道利用の有無（最近1ヶ月以内）

<令和4年度>

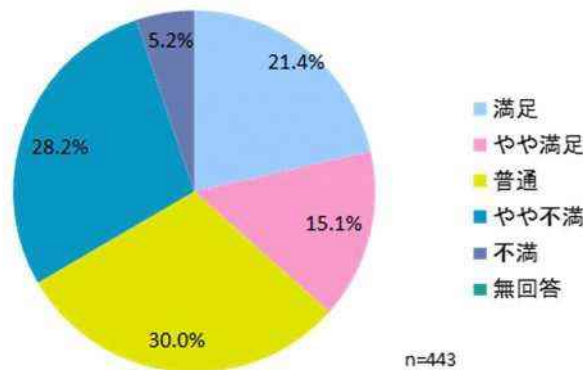


<平成30年度>



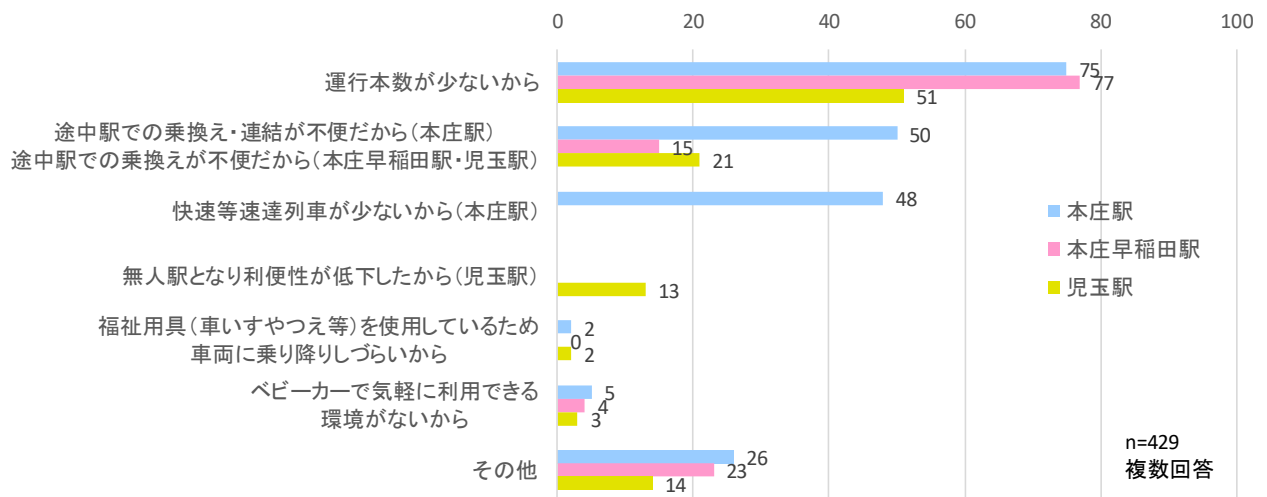
(2) 鉄道の満足度

<令和4年度>



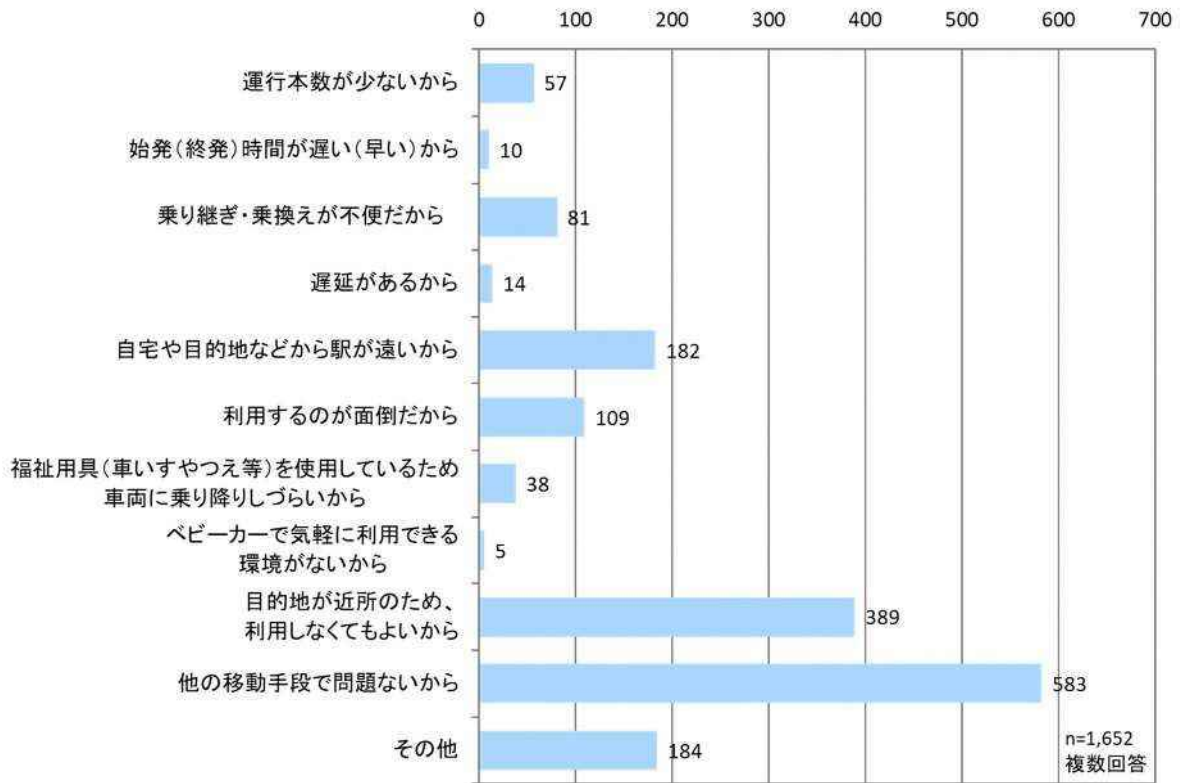
(3) 鉄道の不満理由

<令和4年度>

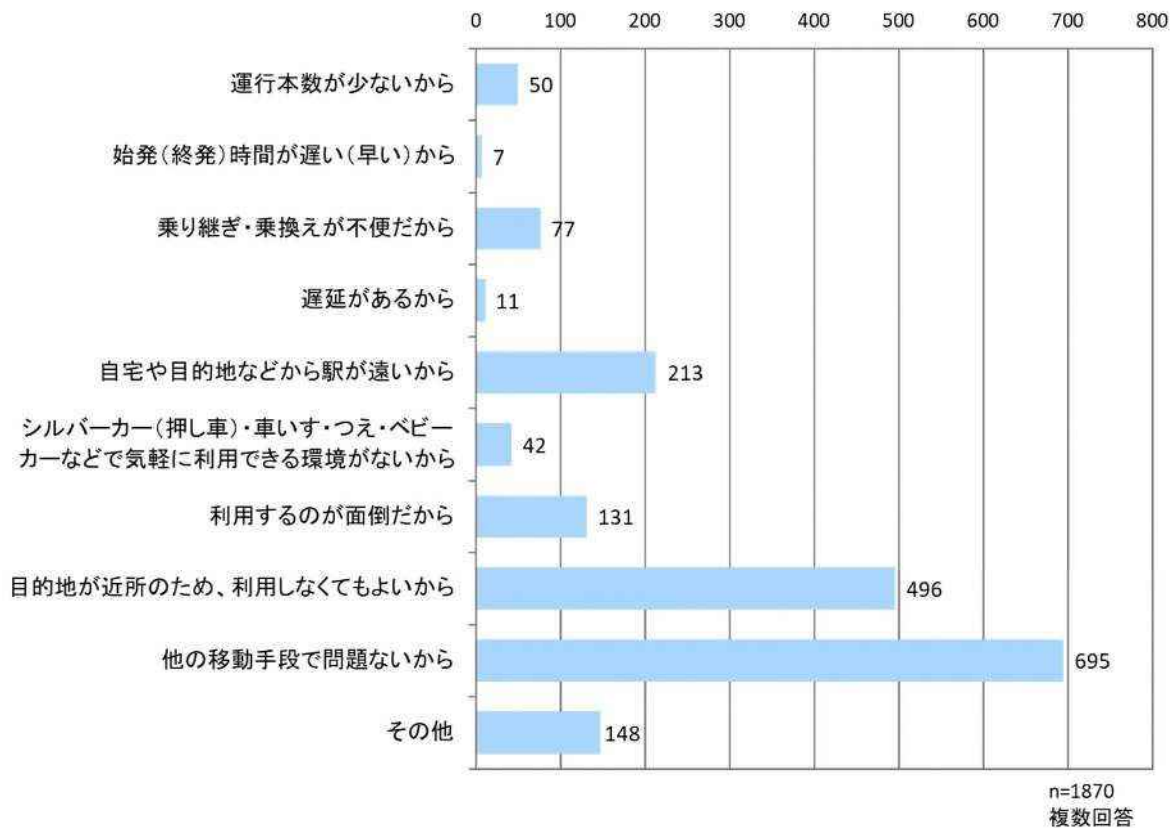


(4) 鉄道を利用しない理由（「利用していない」と回答した方）

<令和4年度>



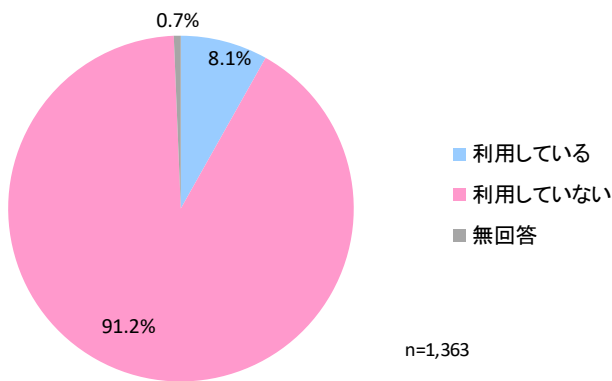
<平成30年度>



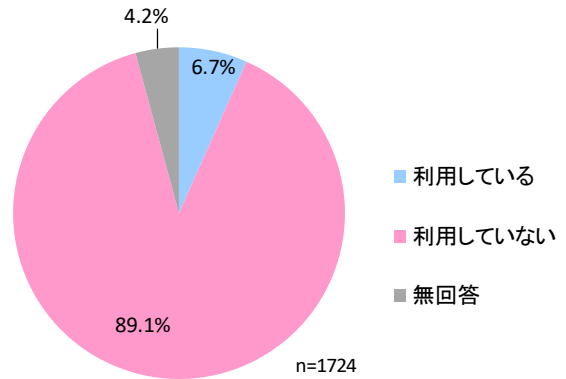
1.2.3. 路線バスの利用について

(1) 路線バス利用の有無（最近1ヶ月以内）

<令和4年度>

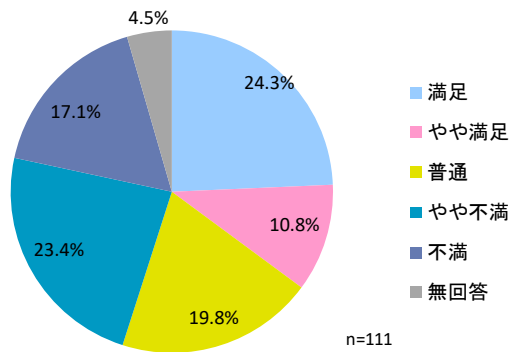


<平成30年度>



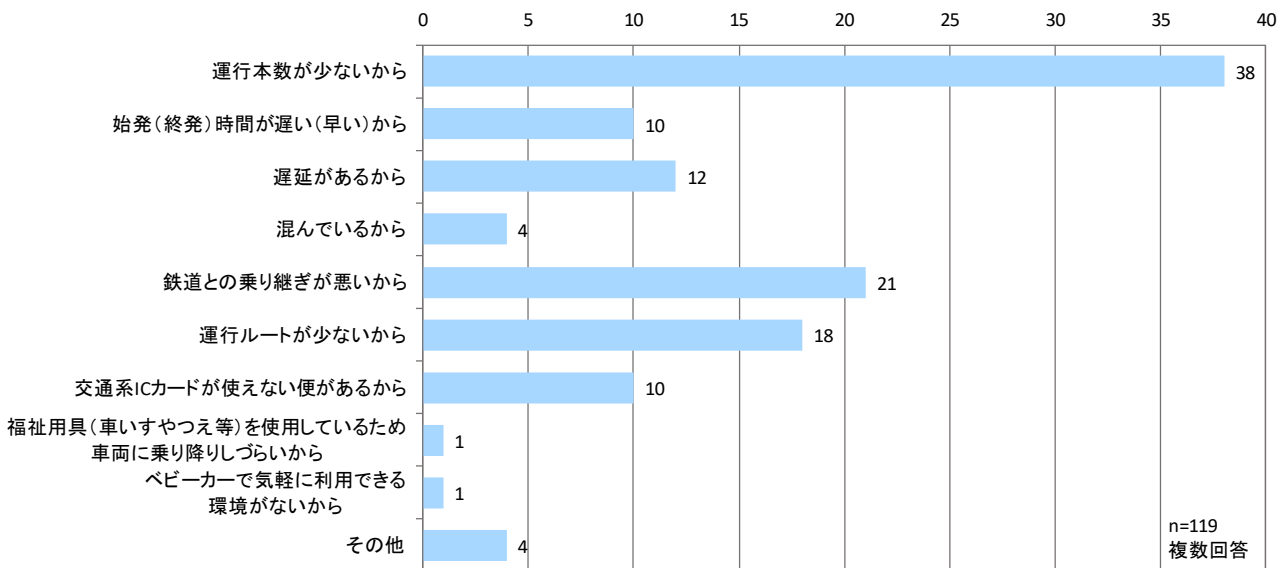
(2) 路線バスの満足度

<令和4年度>



(3) 路線バスの不満理由

<令和4年度>



(4) 普段利用している停留所

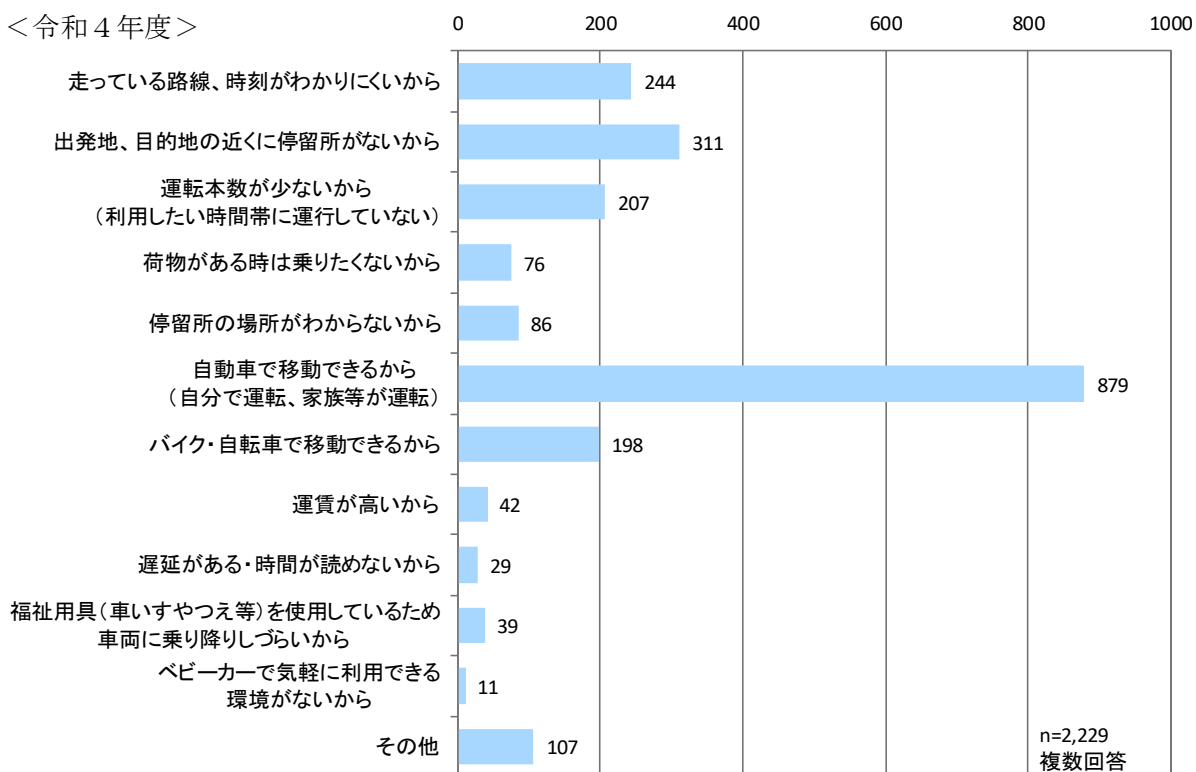
<令和4年度>

乗車バス停名	票数	降車バス停名	票数
本庄駅	24	本庄駅	41
児玉小学校入口	5	本庄高校入口	3
本庄高校入口	5	伊勢崎駅	2
児玉駅入口	4	沖電気前	2
児玉折り返し場	4	坂東橋北詰	2
ガード下	3	七軒町	2
駅入口	3	西富田	2
小島南3丁目	3	法務局南	2

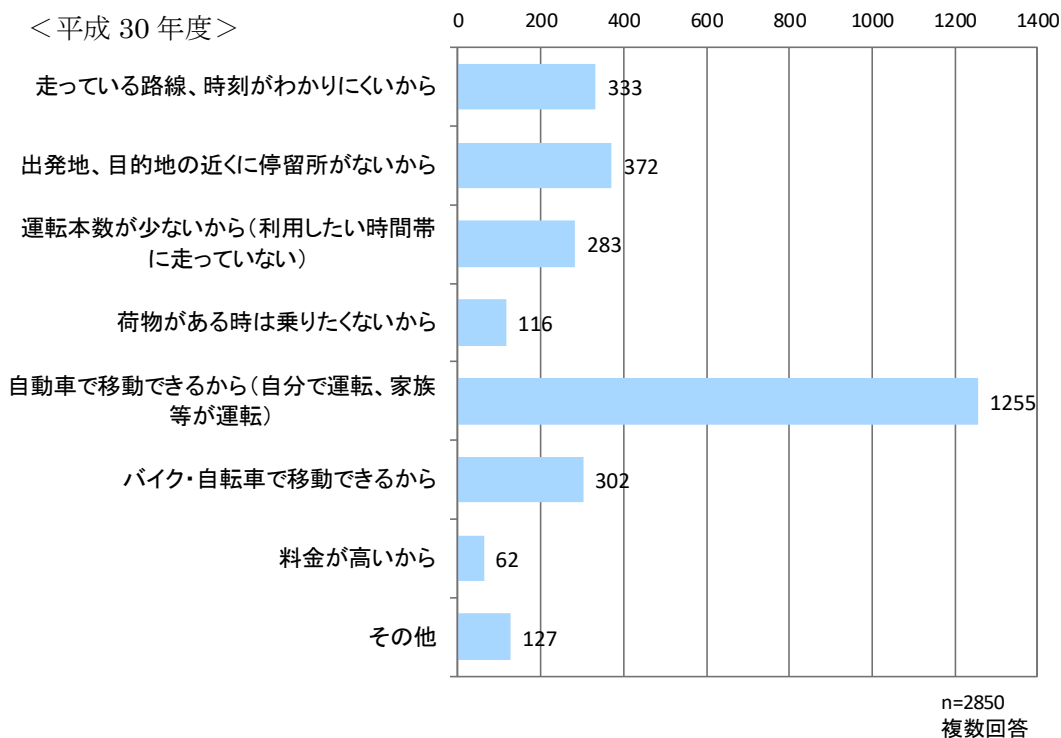
※主な停留所

(5) 路線バスを利用しない理由(「利用していない」と回答した方)

<令和4年度>



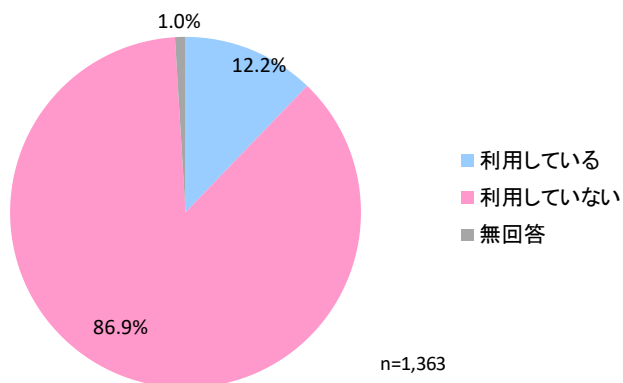
<平成30年度>



1.2.4. タクシーの利用について

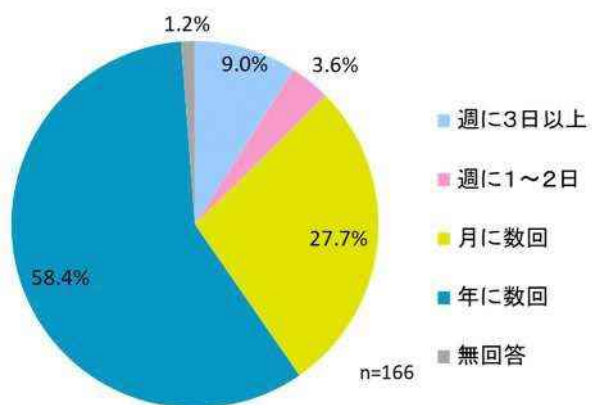
(1) タクシーの利用有無（最近1ヶ月以内）

<令和4年度>

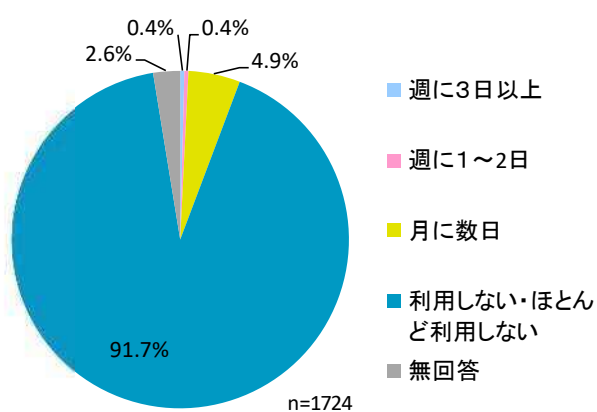


(2) タクシーの利用頻度

<令和4年度>

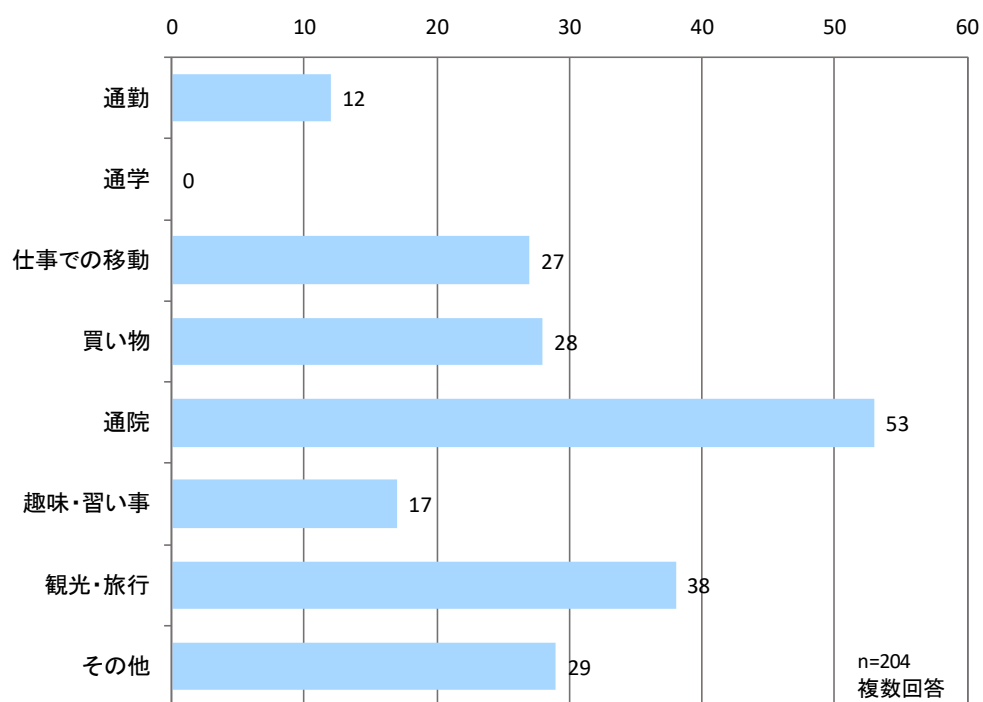


<平成30年度>



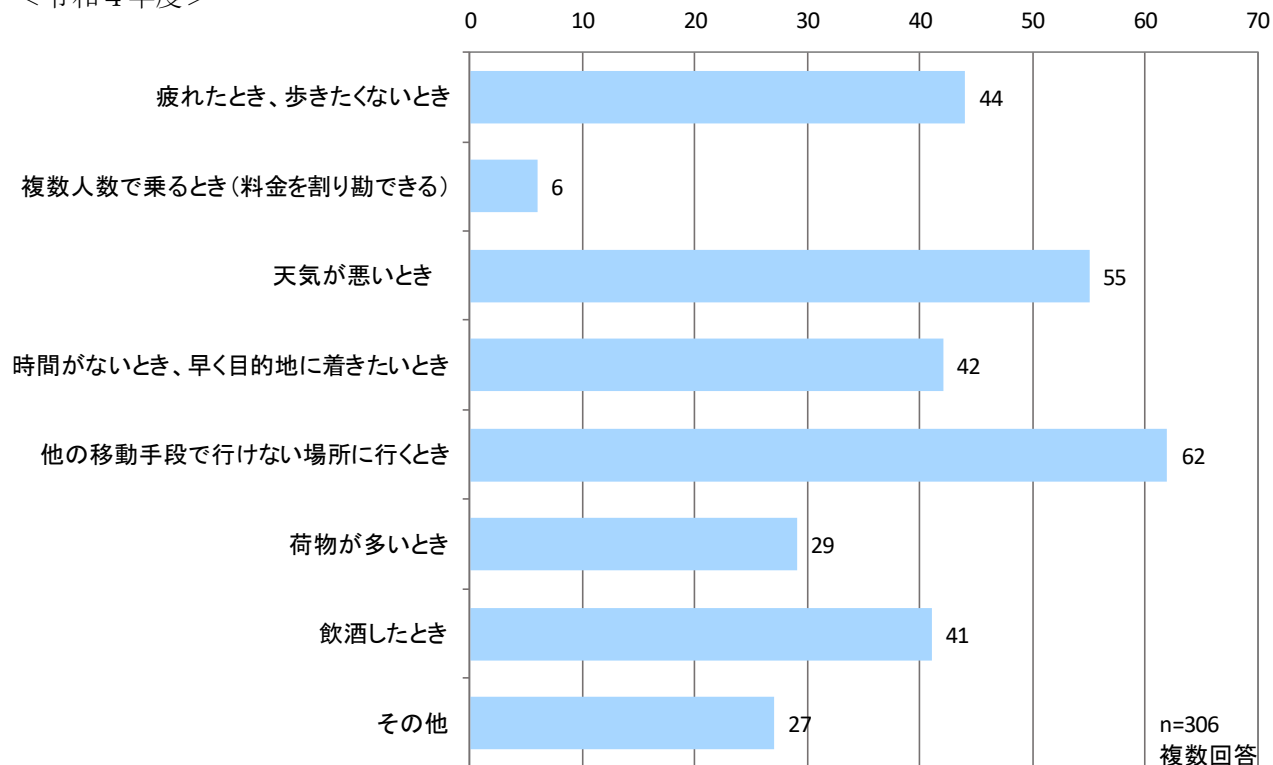
(3) タクシーの利用目的

<令和4年度>



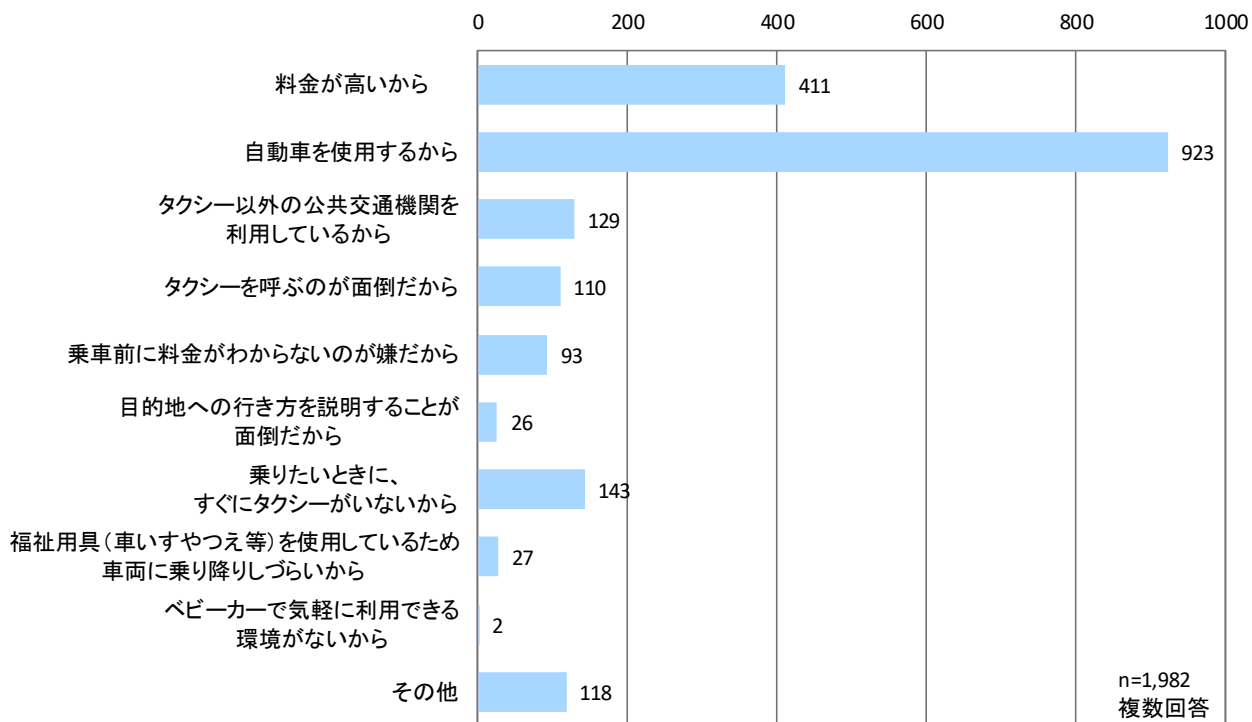
(4) タクシーの利用場面

<令和4年度>



(5) タクシーを利用していない理由

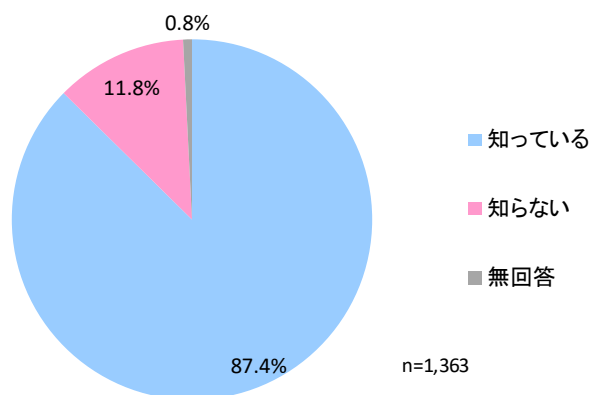
<令和4年度>



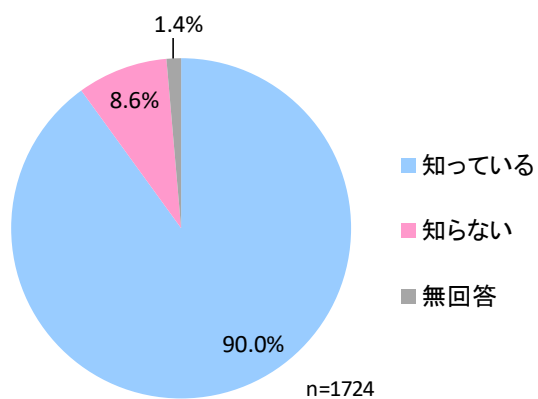
1.2.5. デマンドバスの利用について

(1) デマンドバスの認知度

<令和4年度>

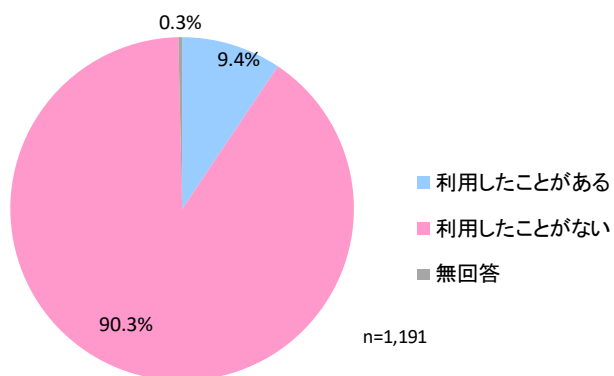


<平成30年度>

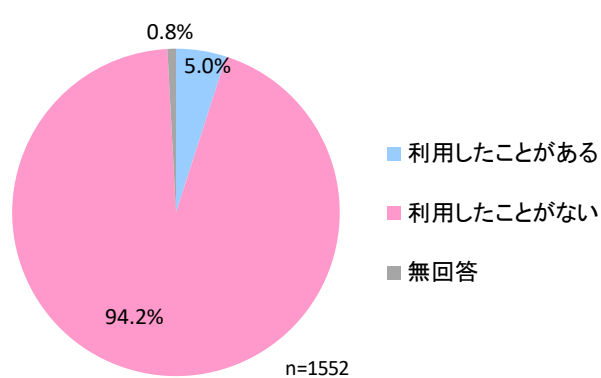


(2) デマンドバスの利用有無（「知っている」と回答した方）

<令和4年度>

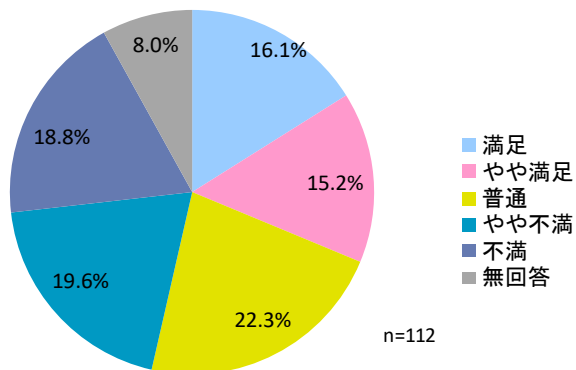


<平成30年度>



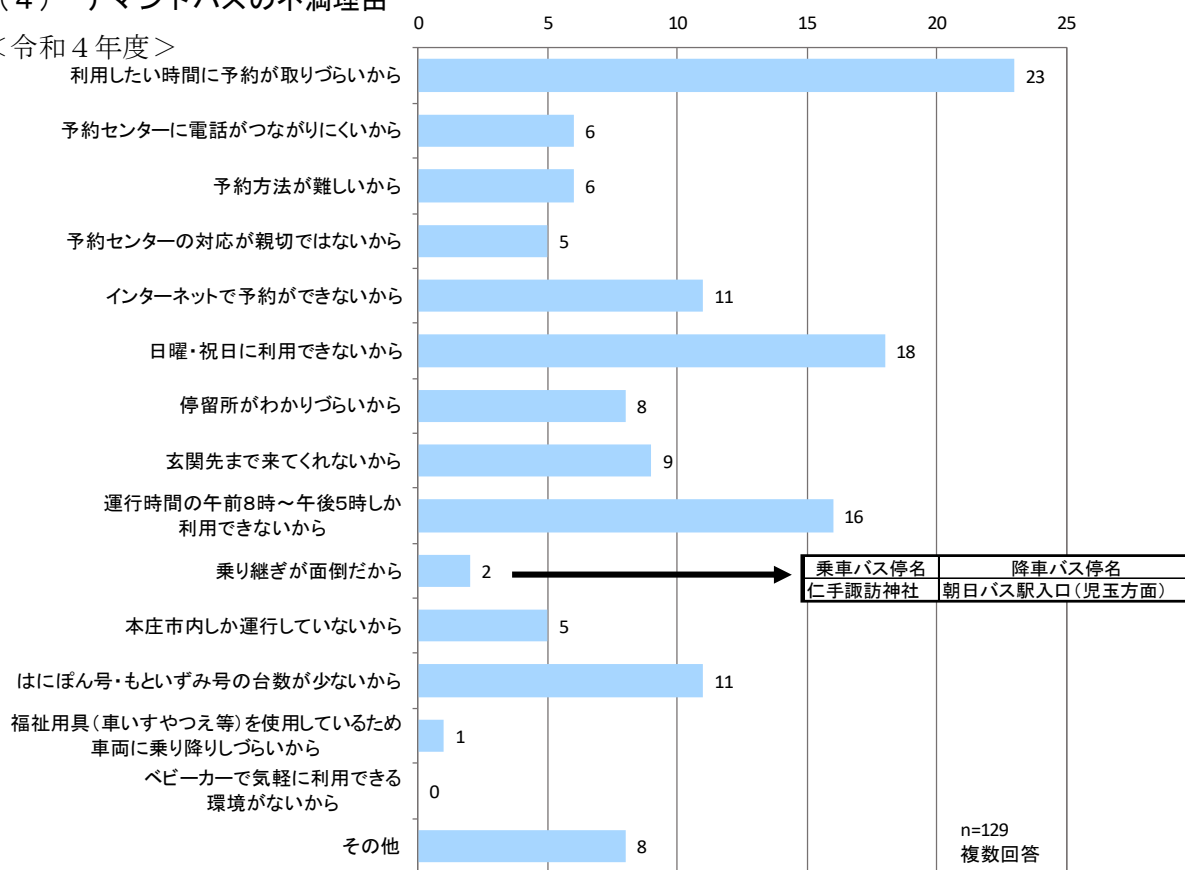
(3) デマンドバスの満足度（「利用したことがある」と回答した方）

<令和4年度>



(4) デマンドバスの不満理由

<令和4年度>



(5) 普段利用している停留所（主要な停留所）

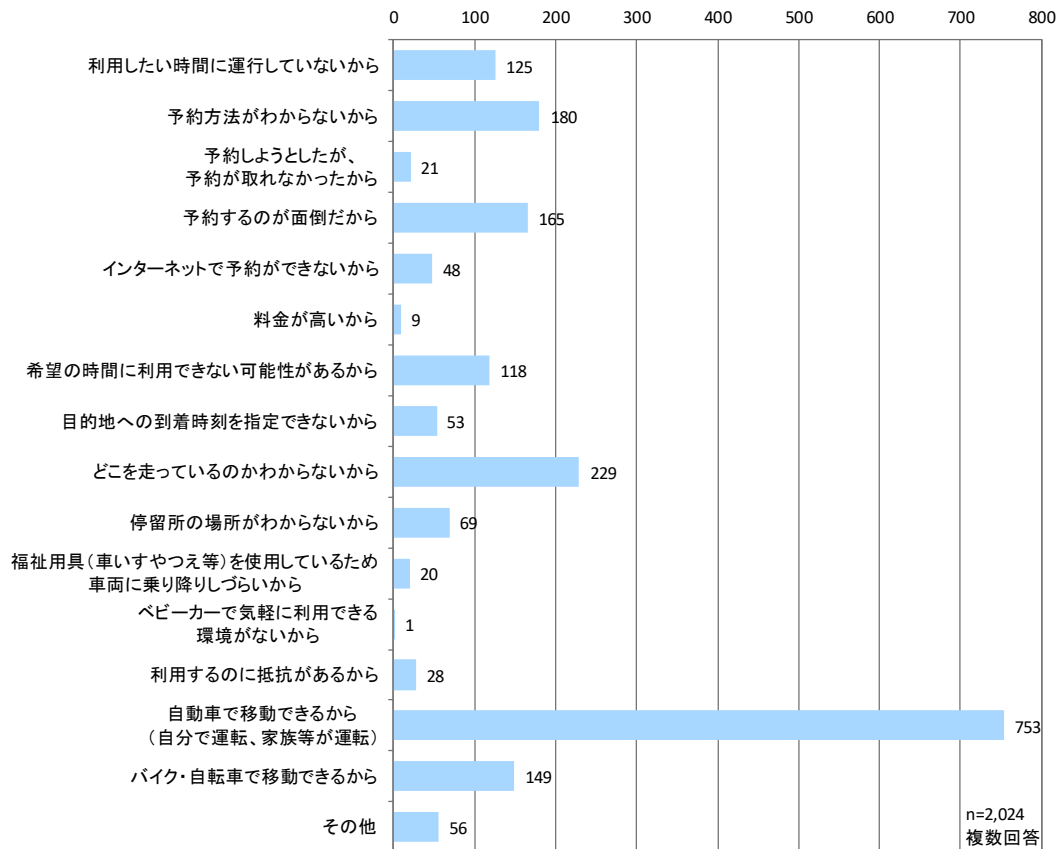
乗車バス停名	票数
本庄駅南口	6
四方田市営住宅	2

降車バス停名	票数
本庄駅	8
湯かっこ	4
本庄早稲田駅北口	4

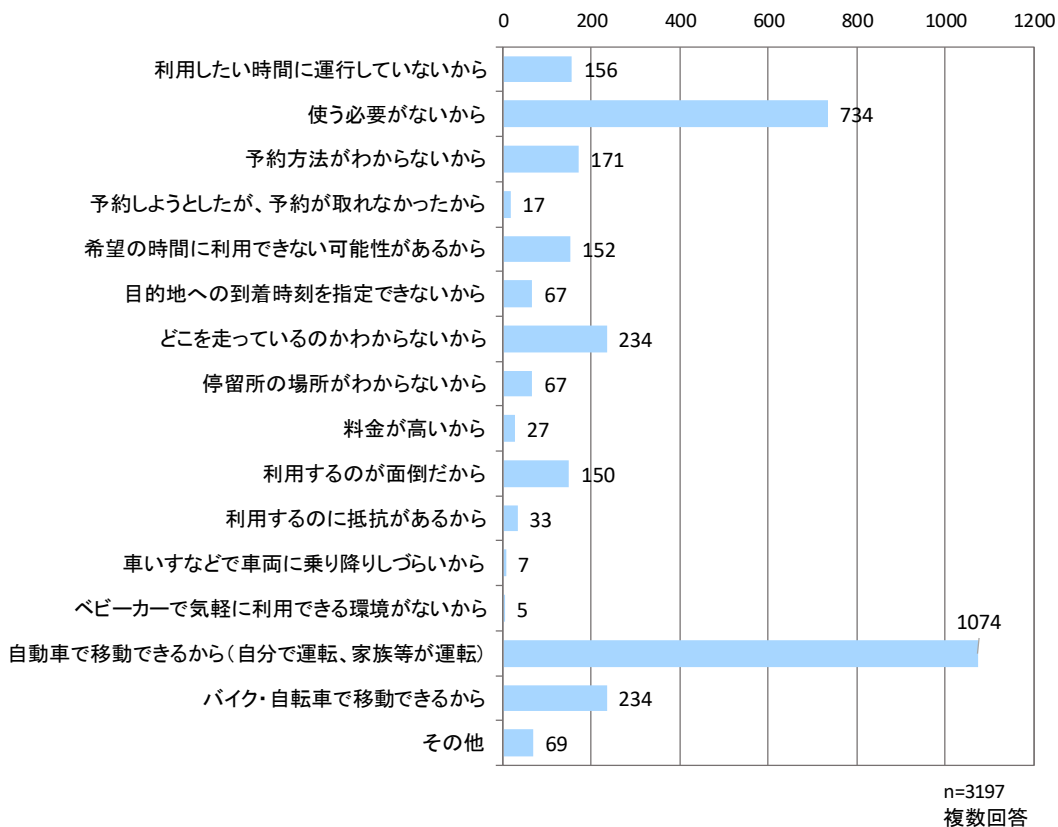
※主な停留所

(6) デマンドバスを利用しない理由(「利用したことがない」と回答した方)

<令和4年度>



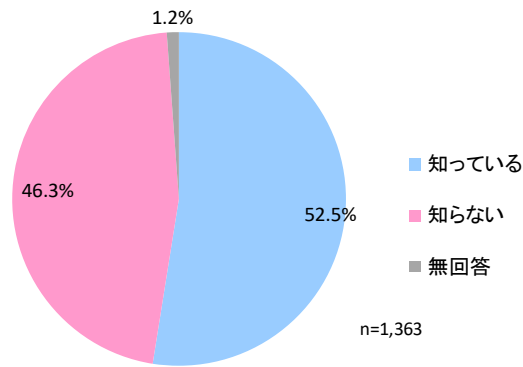
<平成30年度>



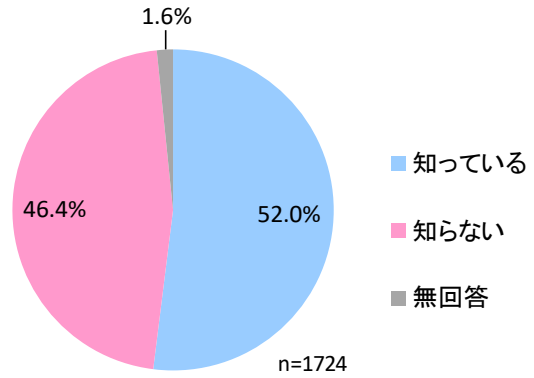
1.2.6. シャトルバスの利用について

(1) シャトルバスの認知度

<令和4年度>

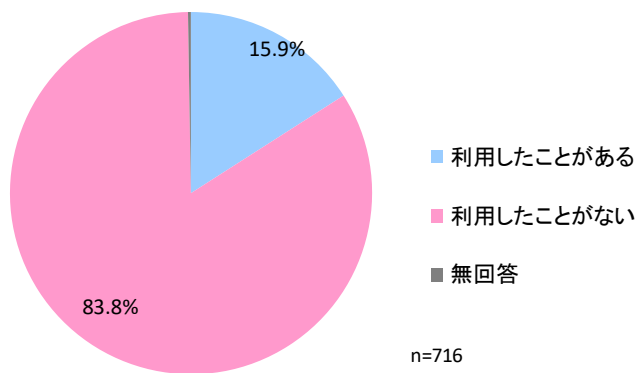


<平成30年度>

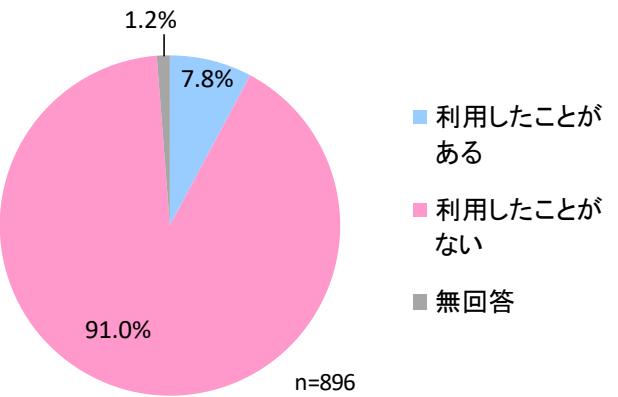


(2) シャトルバスの利用有無（「知っている」と回答した方）

<令和4年度>

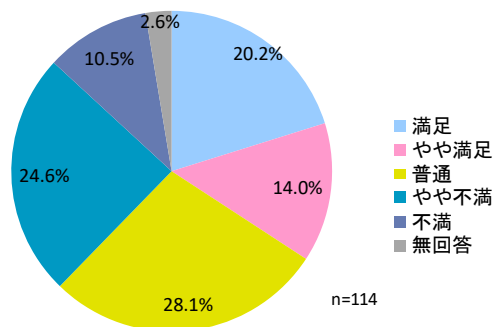


<平成30年度>



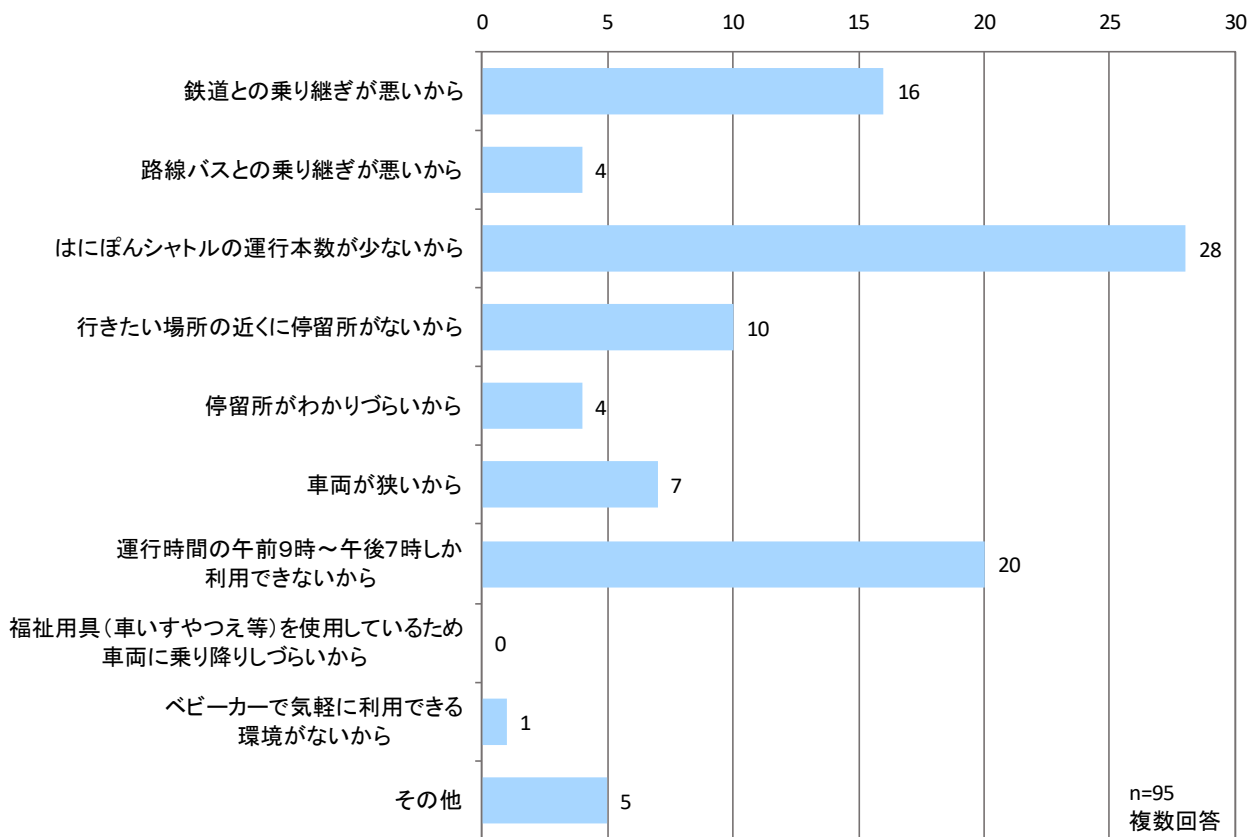
(3) シャトルバスの満足度（「利用したことがある」と回答した方）

<令和4年度>



(4) シャトルバスの不満理由

<令和4年度>



(5) 普段利用している停留所 (主要な停留所)

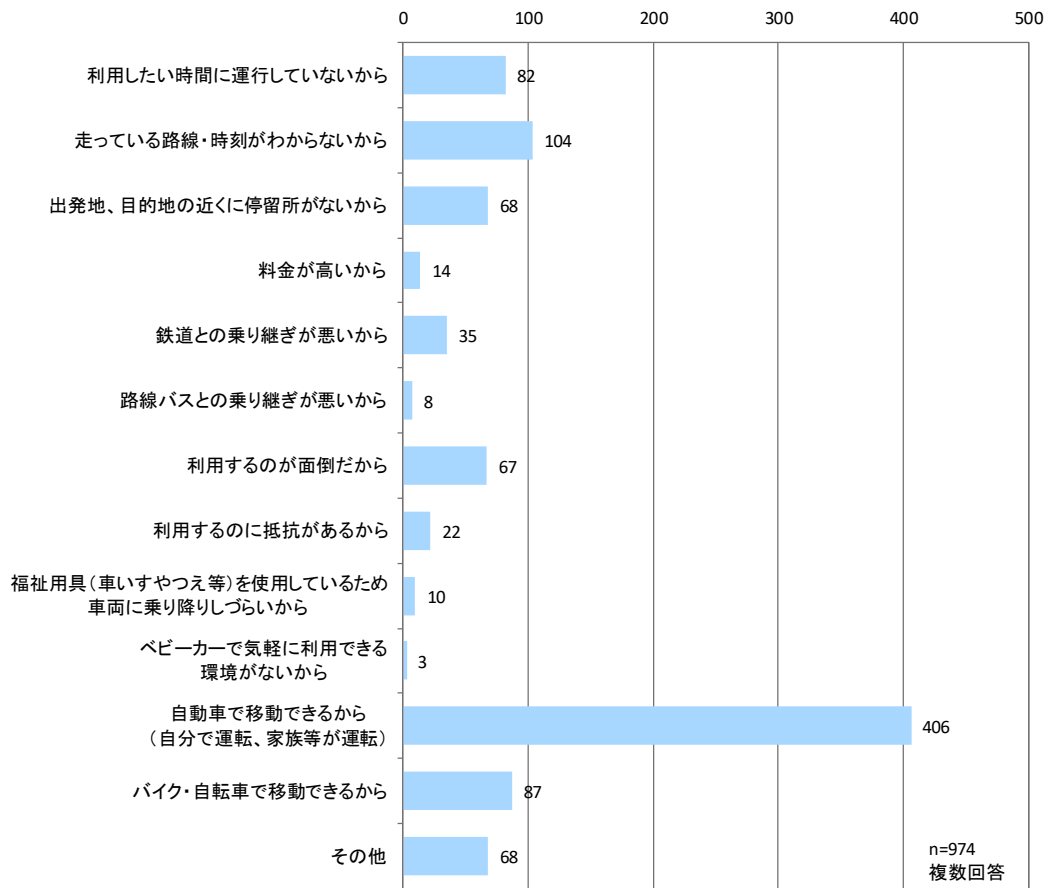
乗車バス停名	票数
本庄駅南口	53
本庄早稲田駅北口	15
けや木	3
法務局南	2

降車バス停名	票数
本庄早稲田駅北口	41
本庄駅南口	19
法務局南	7
久下塚	5

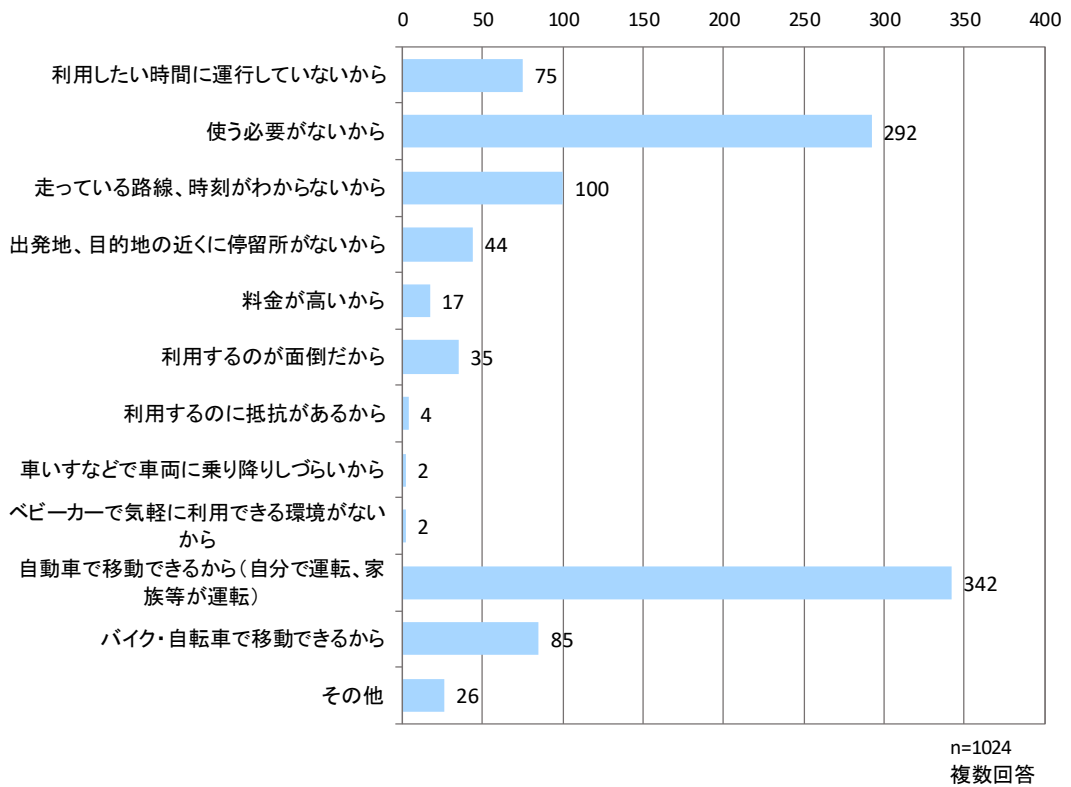
※主な停留所

(6) シャトルバスを利用しない理由（「利用したことがない」と回答した方）

<令和4年度>



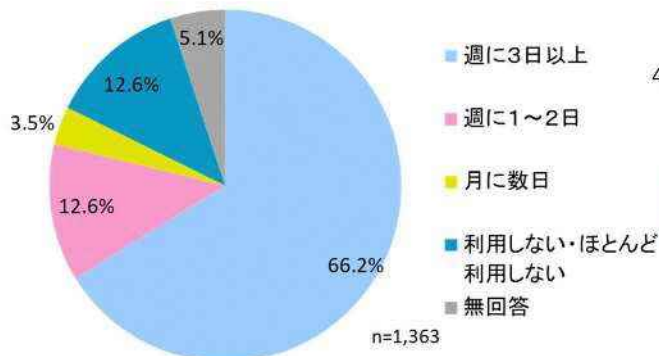
<平成30年度>



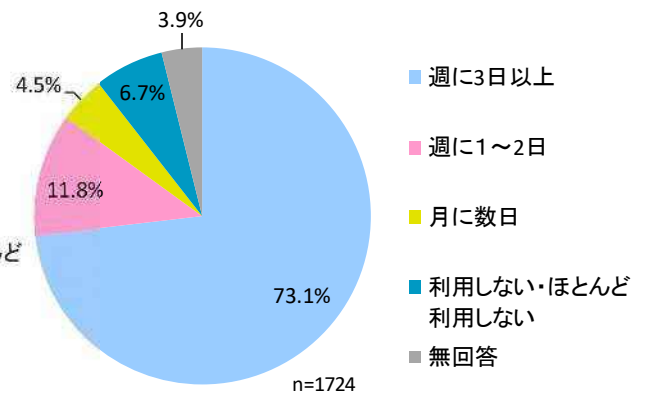
1.2.7. 自家用車利用について

(1) 自家用車の利用頻度

<令和4年度>

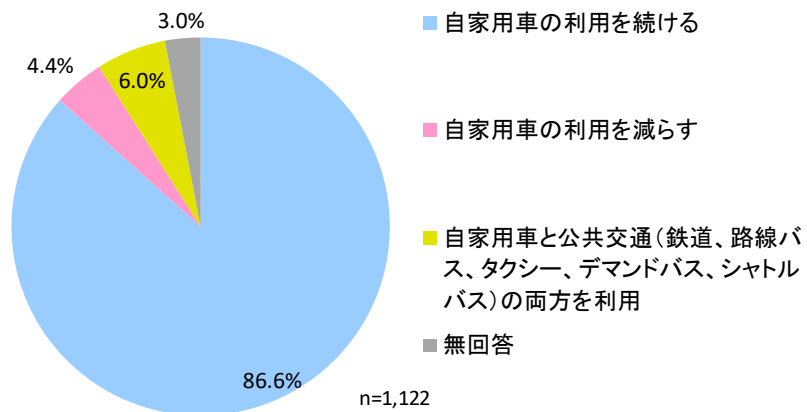


<平成30年度>

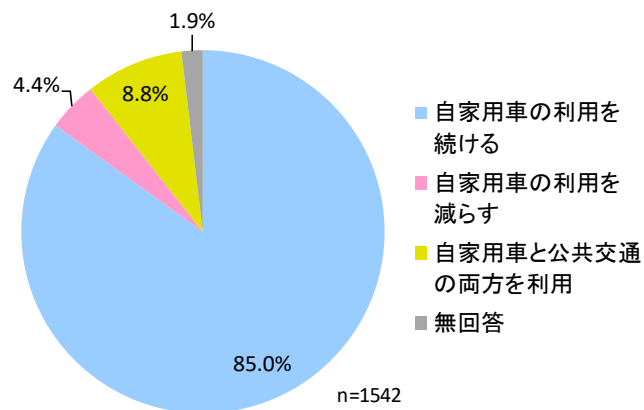


(2) 自家用車の継続利用意向 (自家用車を利用している方)

<令和4年度>

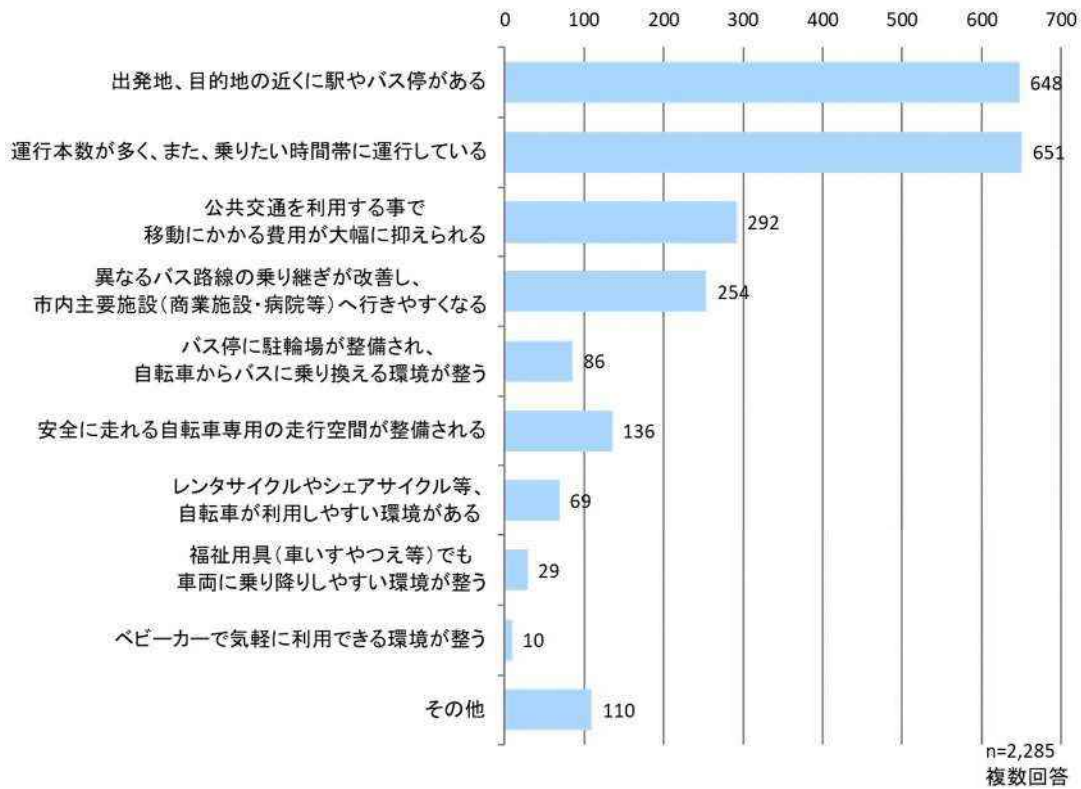


<平成30年度>

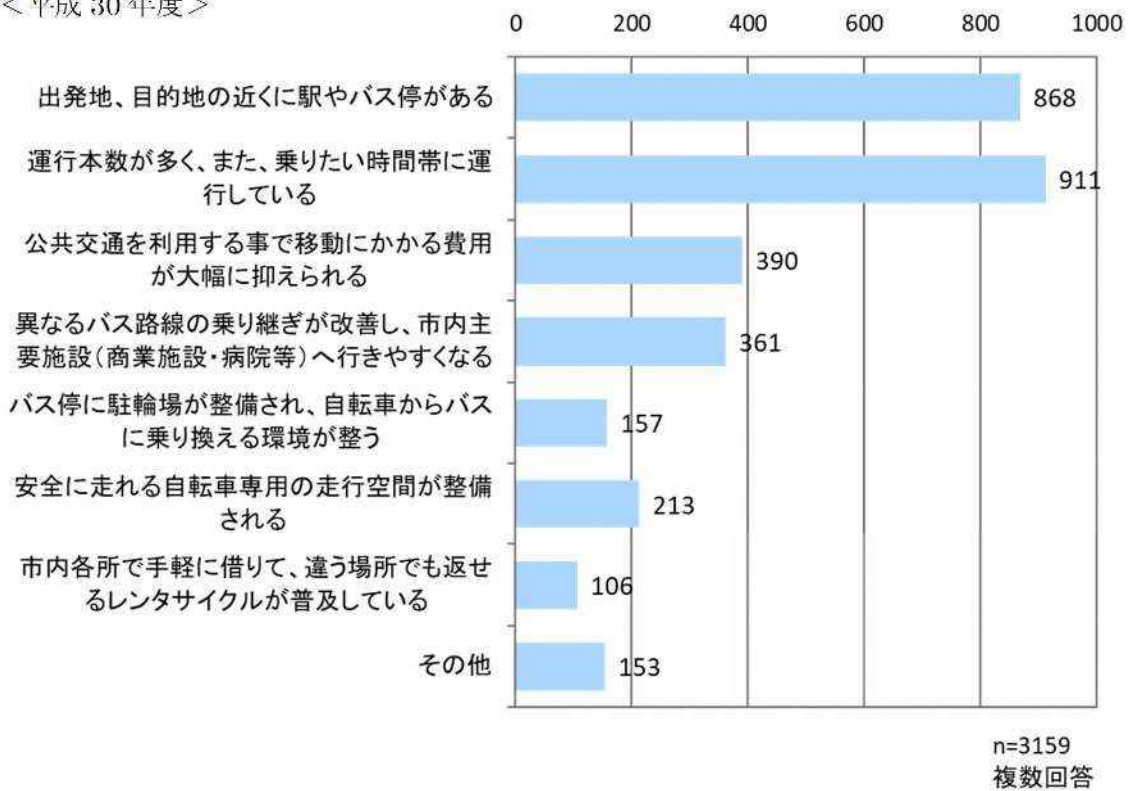


(3) 公共交通への利用転換意向（自家用車を利用している方）

<令和4年度>



<平成30年度>

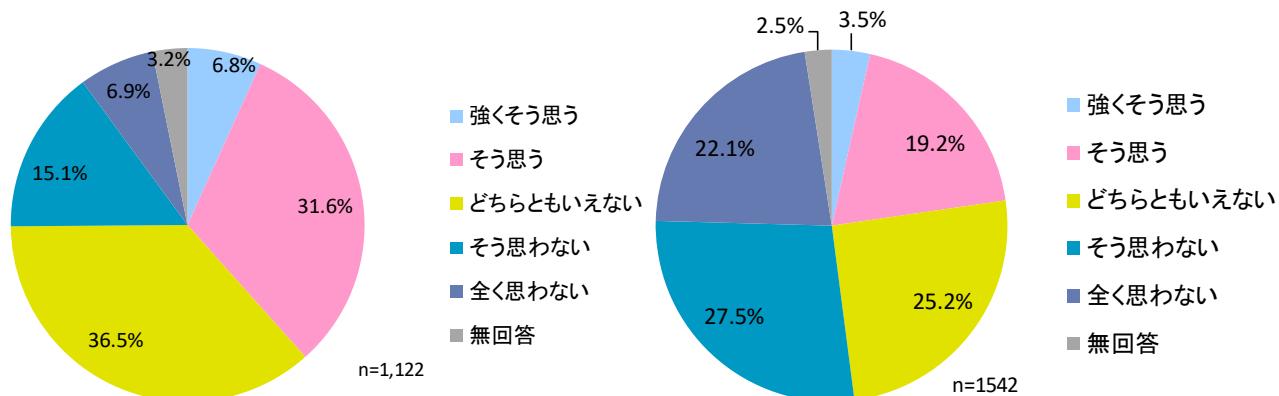


(4) 自家用車利用に関する意識（自家用車を利用している方）

① 過度に「自家用車での移動」をすることは環境に良くないと思いますか。

<令和4年度>

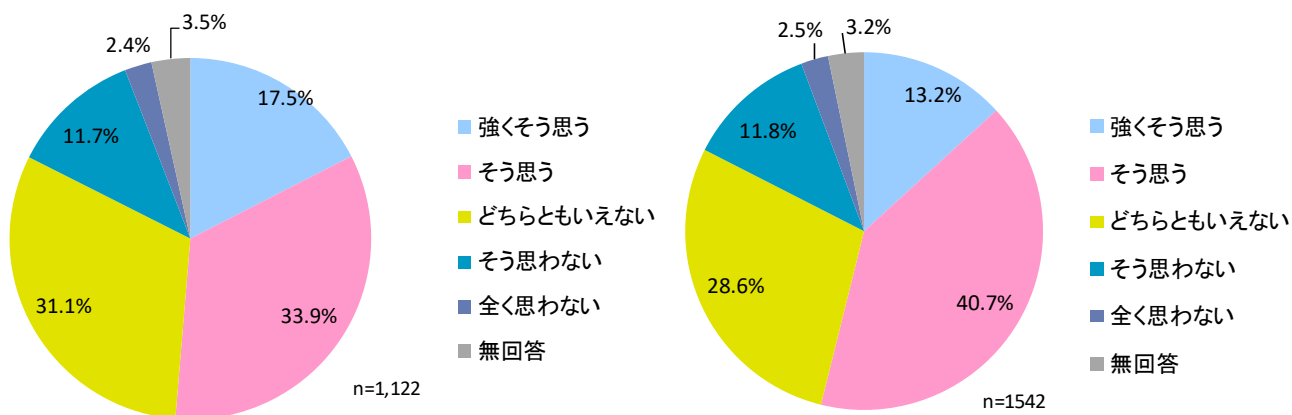
<平成30年度>



② 自家用車ではなく、「公共交通での移動」は負担（家計、身体等）になると思いますか。

<令和4年度>

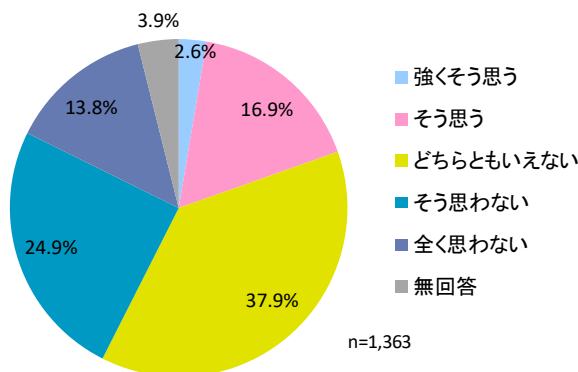
<平成30年度>



1.2.8. 市内の公共交通について

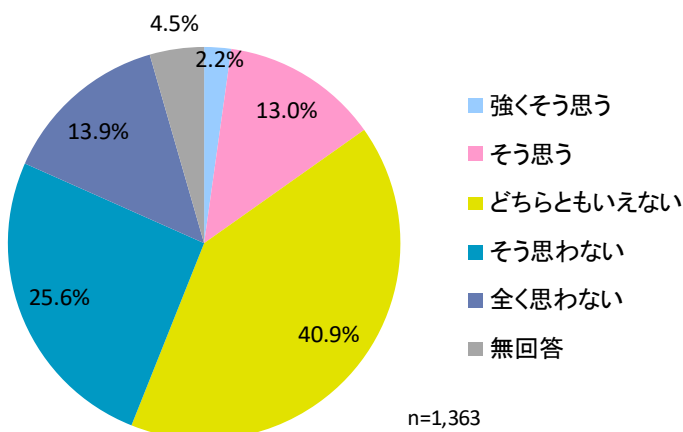
(1) 本庄市内には、鉄道、路線バス、デマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）、シャトルバス（はにぼんシャトル）などがあり、公共交通の充実さに満足している。

<令和4年度>

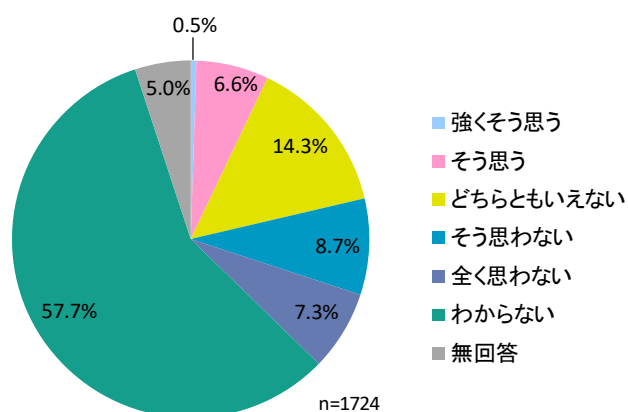


(2) 誰でも利用できるデマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）、シャトルバス（はにぼんシャトル）により、市内の移動がしやすい。

<令和4年度>

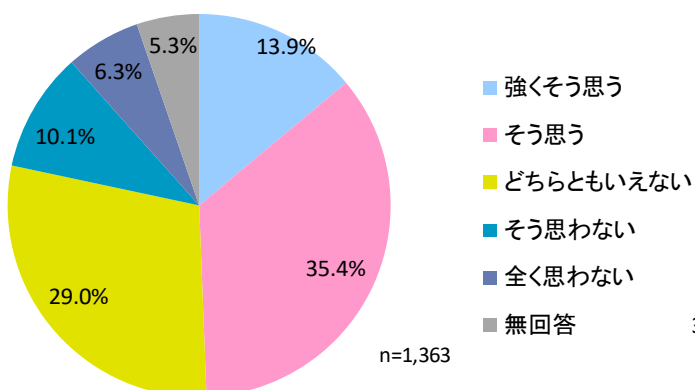


<平成30年度>

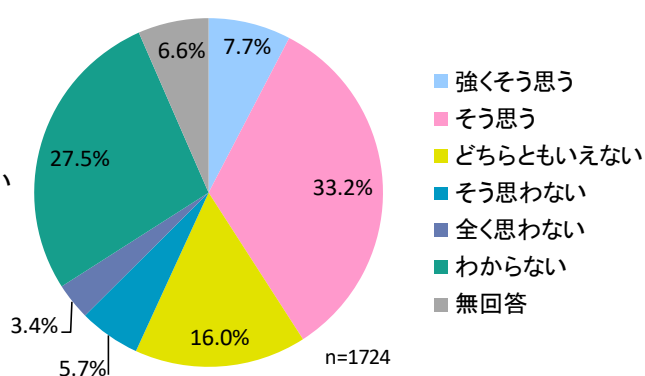


(3) 公共交通は、運行本数や、時間の制約等で多少不便であっても、一人で自由に外出することができるので、日常生活には不可欠である。

<令和4年度>

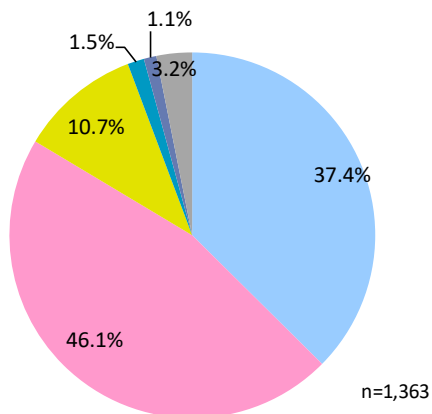


<平成30年度>

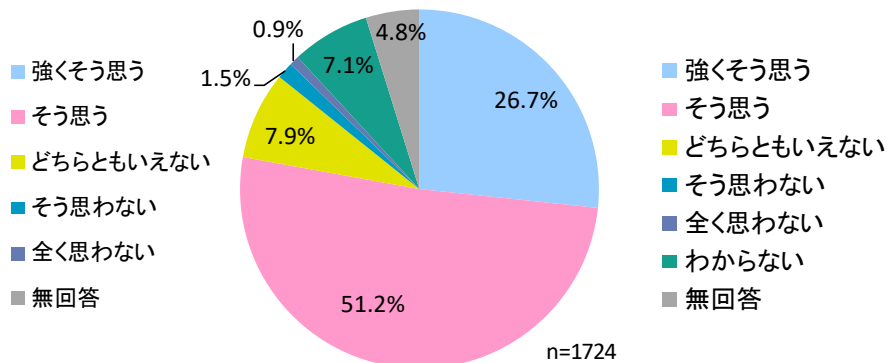


(4) 公共交通は、自家用車を利用しない人・利用できなくなった人の外出手段として、必要不可欠なものであるので、今は公共交通を利用しない人も含めて、みんなで支えていかなければならない。

<令和4年度>

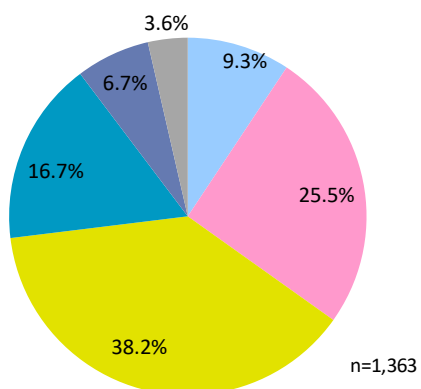


<平成30年度>

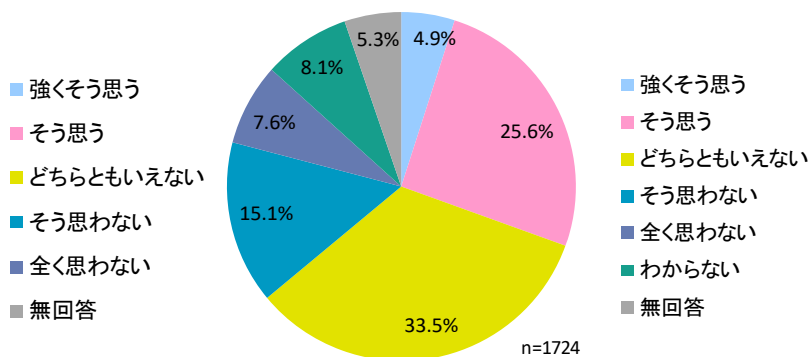


(5) 環境への配慮として、自転車や公共交通を積極的に利用し、なるべく自家用車の利用を控えたい。

<令和4年度>



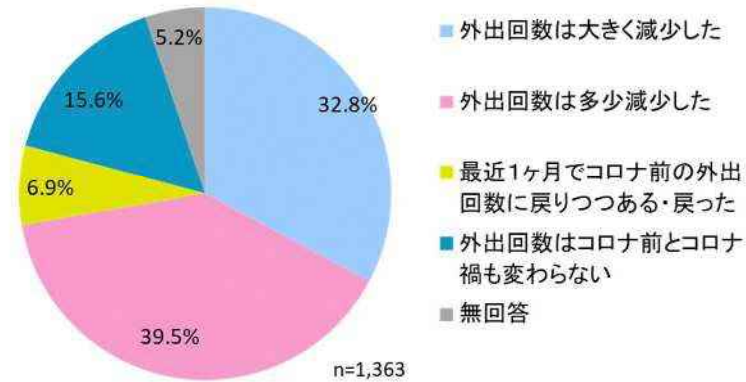
<平成30年度>



1.2.9. コロナ感染症による生活様式の変化について

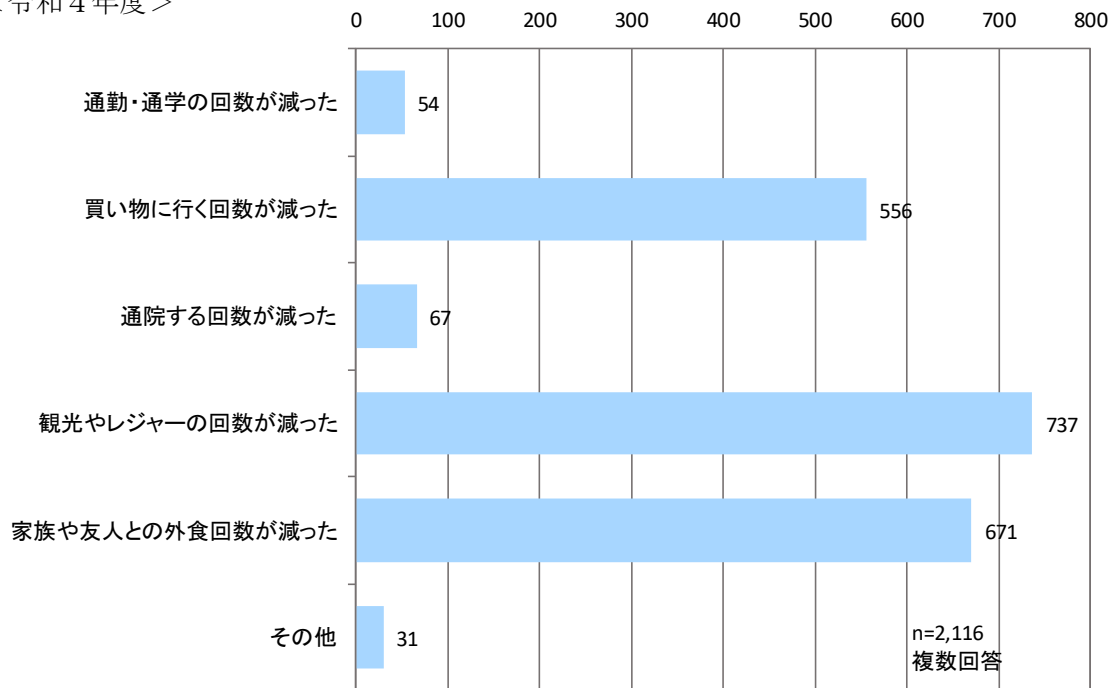
(1) 変化の有無

<令和4年度>



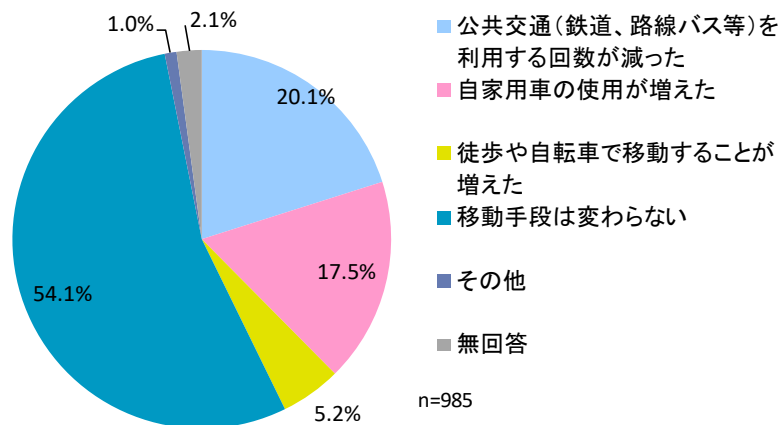
(2) 変化の内容

<令和4年度>



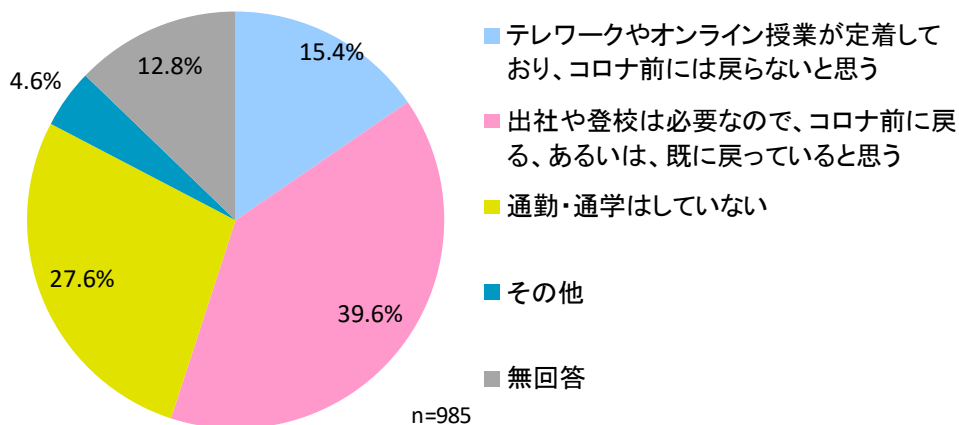
(3) 移動手段の変化

<令和4年度>



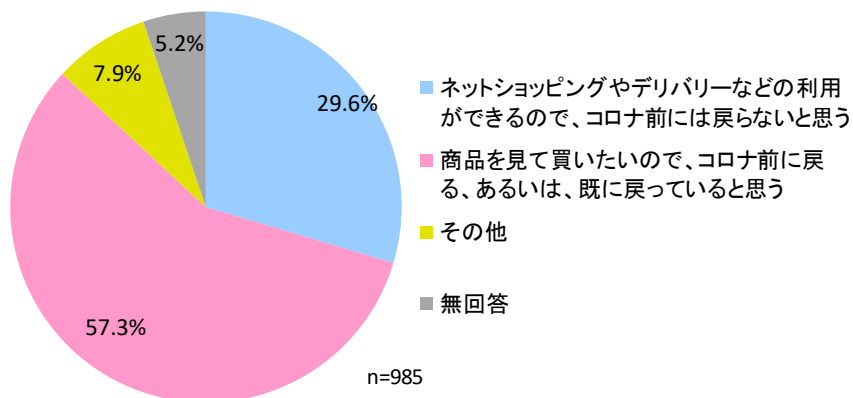
(4) 通勤・通学での外出回数

<令和4年度>



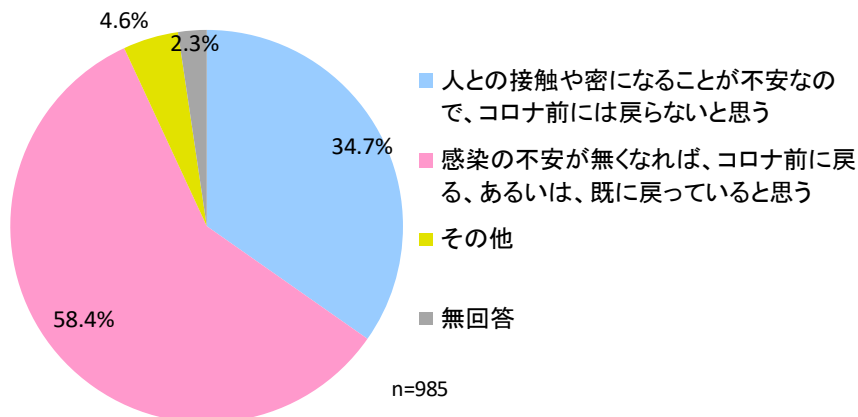
(5) 買い物での外出回数

<令和4年度>



(6) 観光やレジャー、外食での外出回数

<令和4年度>



2. デマンドバス利用者意識調査

2. デマンドバス利用者調査

2.1. 調査概要

2.1.1. 調査目的

「はにぼん号・もといずみ号」(以下、「デマンドバス」という。)の利用状況やデマンドバスに対する考え方、要望等について、平成 30 年度からの変化を含めて把握し、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

2.1.2. 対象者

令和 4 年 8 月～10 月中にデマンドバスを利用された方を対象として行った。

2.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、デマンドバス車内で利用者に運転手が配布し、回収は車内手渡しもしくは郵送回収とした。

2.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用年数、利用目的、往復利用、利用した停留所区間、停留所までの所要時間、利用する理由、乗り継ぐ公共交通、乗継割引の利用状況
満足度	予約方法・予約センターの対応、運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、停留所の設置場所、デマンドバスについて

2.1.5. 回収結果

計 47 票の回答があった。(回収率：24% 配布数 197 部)

2.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。

はにぼん号・もといずみ号に関するアンケート調査 【利用者用】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

はにぼん号・もといずみ号をご利用いただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、利用者の皆さまのはにぼん号・もといずみ号の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月

本庄市長 吉田 信解

このアンケート調査票は、調査票が入っていた封筒（切手不要）に入れ、9月15日（木）までにお近くの郵便ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。

なお、お帰りの際、または次回のご利用の際に運転士に直接お渡しいただくことも可能です。

設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	<p><u>【本庄市にお住まいの方】</u> ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____</p> <p><u>【本庄市にお住まいではない方】</u> ※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 市・区・町・村 _____</p>		
②性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載（ ）		
③年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）		
⑤福祉用具 （シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等）	<p>1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない</p> <p>※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】</td> <td>1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）</td> </tr> </tbody> </table>	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）
使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）		
⑥運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した		

設問2-1 はにぼん号・もといずみ号はどれくらいの頻度で利用していますか。【1つに○印】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 週に3回以上 →設問2-2へ | 2. 週に1~2回程度 →設問2-2へ |
| 3. 年に数回 →設問2-2へ | 4. 初めて →設問3へ |

設問2-2 設問2-1で「1. 週に3回以上」「2. 週に1~2回程度」「3. 年に数回」と回答された方へお伺いします。どれくらい前から利用していますか。【1つに○印】

- | | | |
|------------------|----------|----------|
| 1. 9年前（運行開始当初から） | 2. 5~8年前 | 3. 3~5年前 |
| 4. 1~3年前 | 5. 1年未満 | |

設問3 どのような目的で利用していますか。【主なもの2つに○印】

- | | | |
|----------------------|---------|-----------|
| 1. 通院・見舞い | 2. 買い物 | 3. 趣味・習い事 |
| 4. 手続き（市役所や銀行等） | 5. 湯かっこ | |
| 6. 本庄駅・本庄早稲田駅・児玉駅の利用 | 7. 通勤 | |
| 8. 路線バスへの乗り継ぎ | 9. 通学 | |
| 10. その他（ | | ） |

設問4 本日は、往復ともにはにぼん号・もといずみ号を利用しました（利用します）か。【1つに○印】

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 往復ともに利用する | 2. 行きだけ利用する | 3. 帰りだけ利用する |
|--------------|-------------|-------------|

設問5 本日、利用した（利用する）停留所区間を教えてください。【停留所名を記入】

- | | |
|----|---------------------------------|
| 行き | [乗車停留所名] _____ ~ [降車停留所名] _____ |
| 帰り | [乗車停留所名] _____ ~ [降車停留所名] _____ |

設問6 自宅から最寄りの停留所までの所要時間を教えてください。【時間を記入】

自宅～最寄りの停留所までの所要時間（ ）分

設問7 はにぼん号・もといずみ号を利用する理由を教えてください。

【あてはまるものいくつでも○印】

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. 行きたいところに行けるから | 2. 座って行けるから |
| 3. 行きたい時間に行けるから | 4. 回数券を利用すれば料金が安いから |
| 5. 他に利用する手段がないから | 6. 出発地・目的地の近くに停留所があるから |
| 7. 予約が取りやすいから | |
| 8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用して乗りやすいから | |
| 9. 路線バスの運行本数が少ないから | |
| 10. 本庄地域、児玉地域等の中心市街地へ直接行くことができるから | |
| 11. その他（ | ） |

設問8 予約方法や予約センターの対応に対する満足度と、不満な場合にはその理由を教えてください。【1つに○印】

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

↓
【不満理由】【あてはまるものいくつかでも○印】

1. 予約が取りづらいから 2. 予約センターに電話がつながりにくいから
3. 予約方法が難しいから 4. 予約センターの対応が親切ではないから
5. インターネットで予約ができないから 6. その他（ ）

設問9 運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。【1つに○印】

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

↓
【不満理由】【あてはまるものいくつかでも○印】

1. 利用したい時間に予約が取れないから 2. 日曜・祝日に利用できないから
3. 本庄市内しか運行していないから 4. 停留所がわかりづらいから
5. 運行時間の午前8時～午後5時しか利用できないから
6. 乗り継ぎが面倒だから（乗り継ぎされている区域 → ）
7. はにぼん号・もといすみ号の台数が少ないから
8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから
9. その他（ ）

設問10 料金設定についてあなたのお考えを教えてください。【1つに○印】

1. 安い 2. ちょうどよい 3. 高い

設問11 本日乗り継ぐ（乗り継いだ）公共交通を教えてください。

【あてはまるものいくつかでも○印】

1. 鉄道 2. 路線バス 3. はにぼん号・もといすみ号
4. はにぼんシャトル 5. その他（ ） 6. 乗り継ぎなし

設問12 はにぼん号・もといすみ号、路線バス、はにぼんシャトルとの乗継割引の利用について教えてください。【1つに○印】

1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

↓
【利用しない理由】

1. 利用の仕方がよくわからないから 2. 利用する必要があるから
3. その他（ ）



設問 1 3 現在、はにぼん号・もといずみ号の停留所は約400か所あります。停留所の場所について、あなたのお考えを教えてください。【あてはまるものいくつでも○印】

1. 停留所を増やしてほしい→増やしてほしい場所
2. 場所がわかりづらい
3. 自宅も選べるようにしてほしい
4. このままでよい

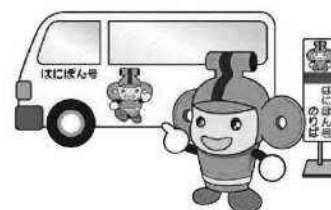
設問 1 4 デマンドバス（はにぼん号・もといずみ号）について、あなたのお考えに近いものを教えてください。【あてはまるものいくつでも○印】

1. デマンドバスは、生活する上で無くなると困る
- 2.今のままで問題ないので、これからも運行を続けてほしい
3. 停留所が増えたり、乗降場所として自宅が選べるなど、今より便利になるのであれば、料金が多少上がってもよい
4. 利用者があまりいないのであれば、停留所を減らすなど、今とやり方を変えた方がよい
5. 今より多少不便になってもよいので、料金を下げてほしい
6. デマンドバスが無くなっても、あまり困らない
7. その他（ ）

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



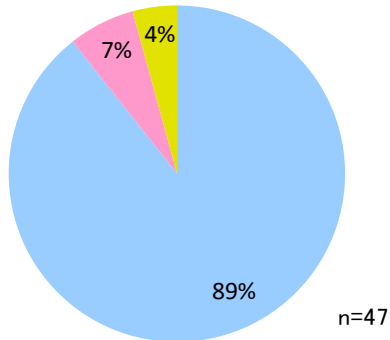
2.2. 調査結果

2.2.1. 個人属性

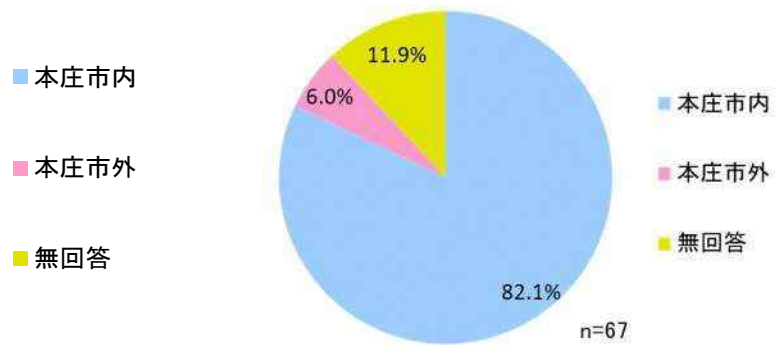
(1) お住まいの地域

①全体

<令和4年度>

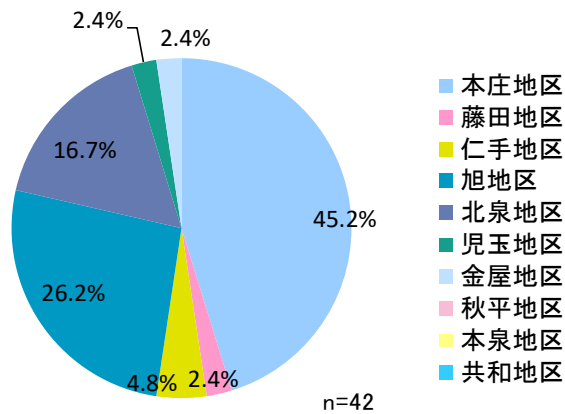


<平成30年度>

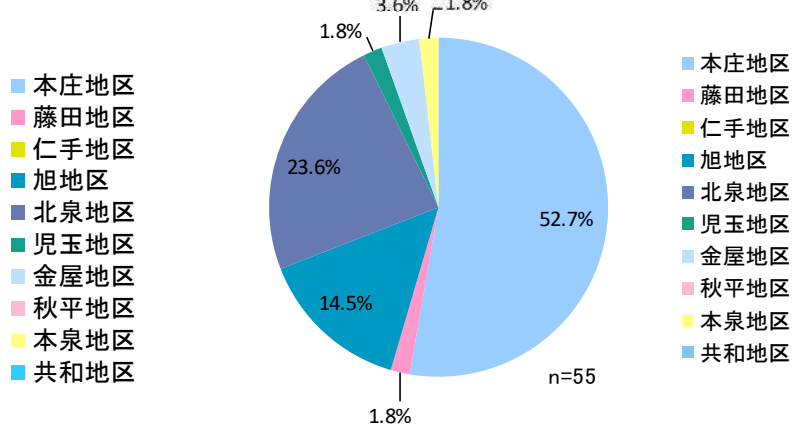


②本庄市内在住の方

<令和4年度>

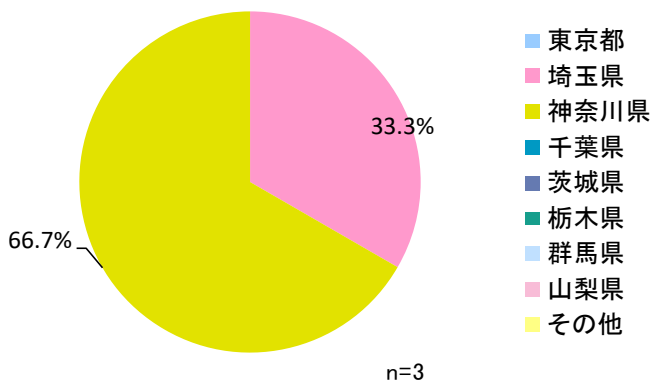


<平成30年度>

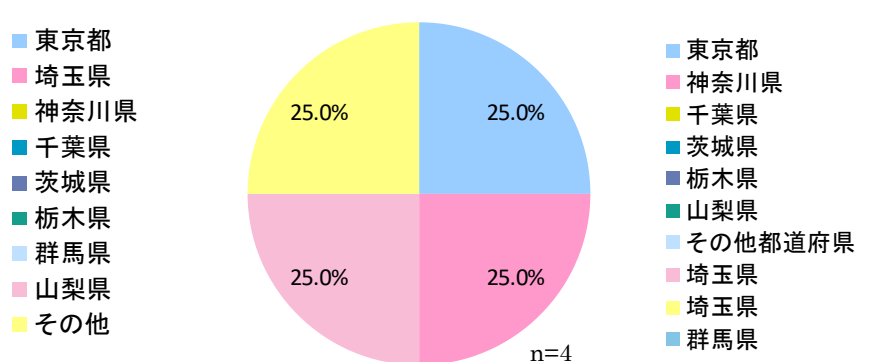


③本庄市外在住の方

<令和4年度>

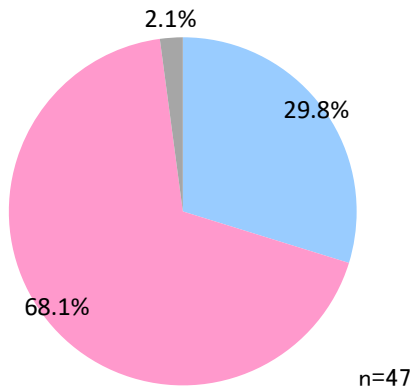


<平成30年度>

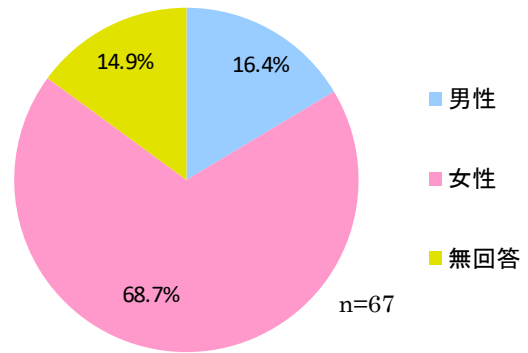


(2) 性別

<令和4年度>

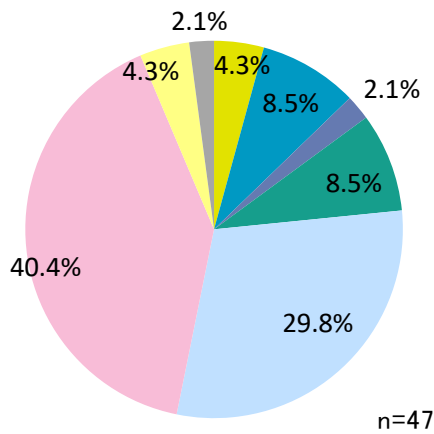


<平成30年度>

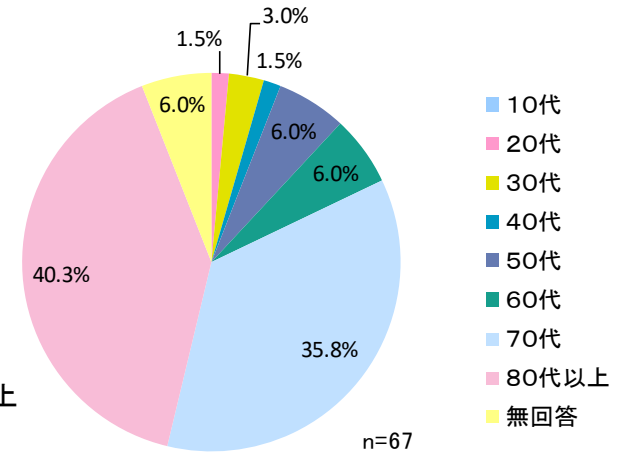


(3) 年齢

<令和4年度>

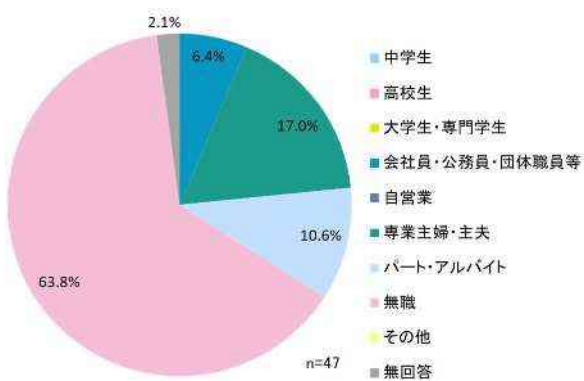


<平成30年度>

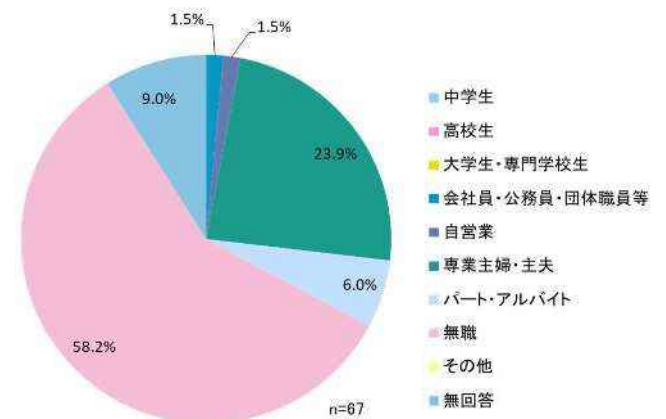


(4) 職業

<令和4年度>

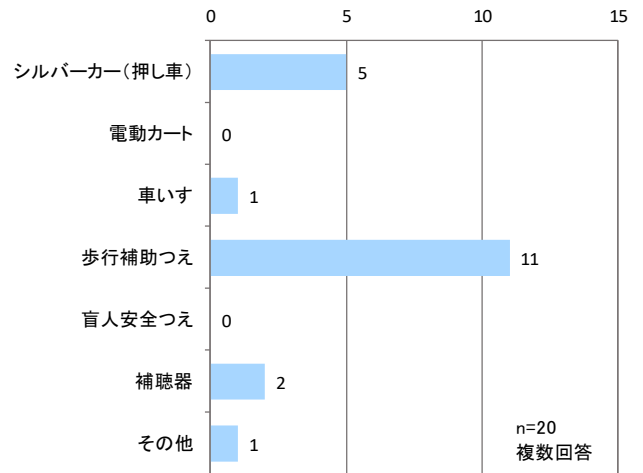
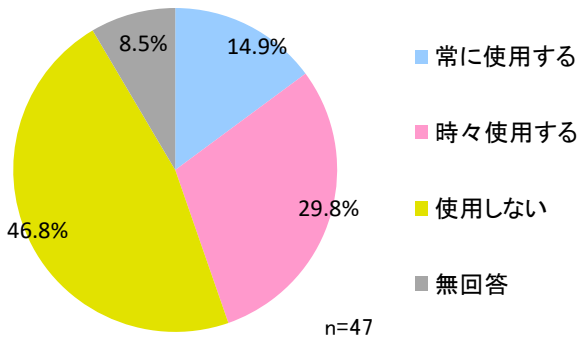


<平成30年度>

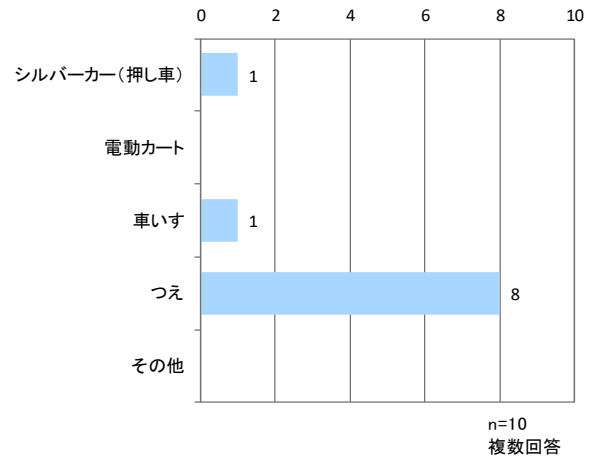
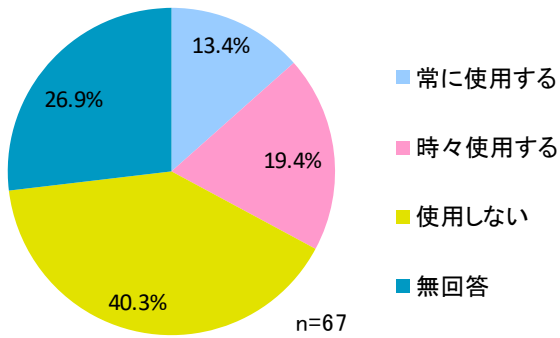


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

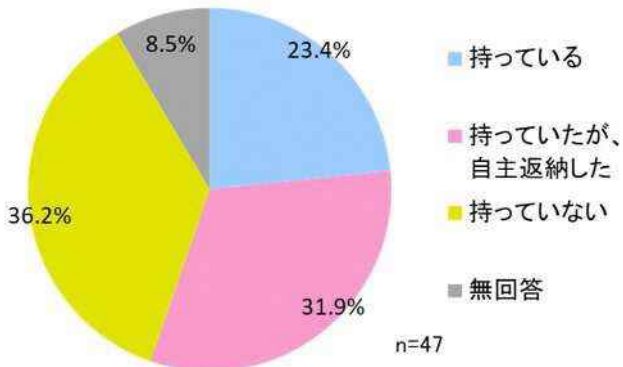


<平成30年度>

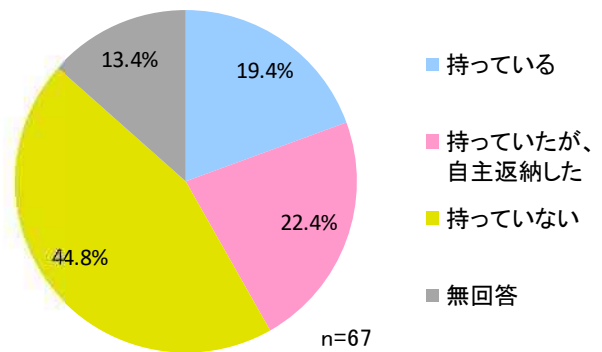


(6) 運転免許証の保有状況

<令和4年度>



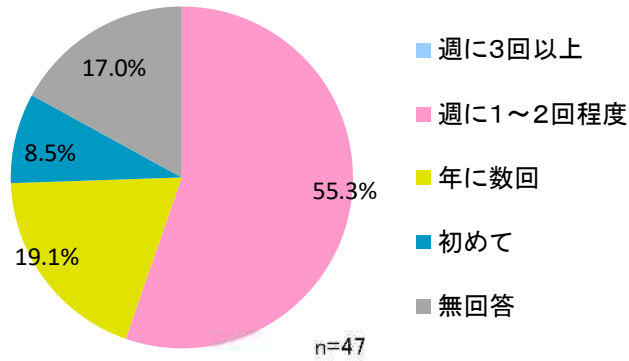
<平成30年度>



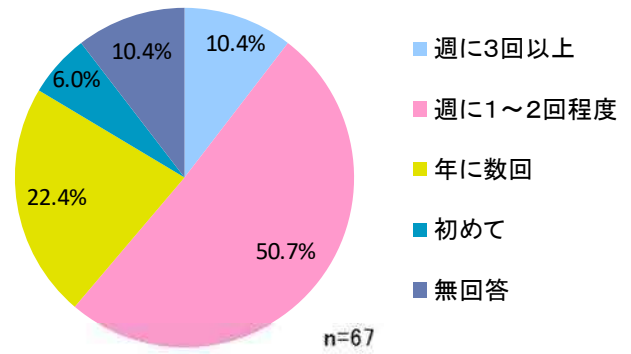
2.2.2. デマンドバス利用について

(1) 利用頻度

<令和4年度>



<平成30年度>



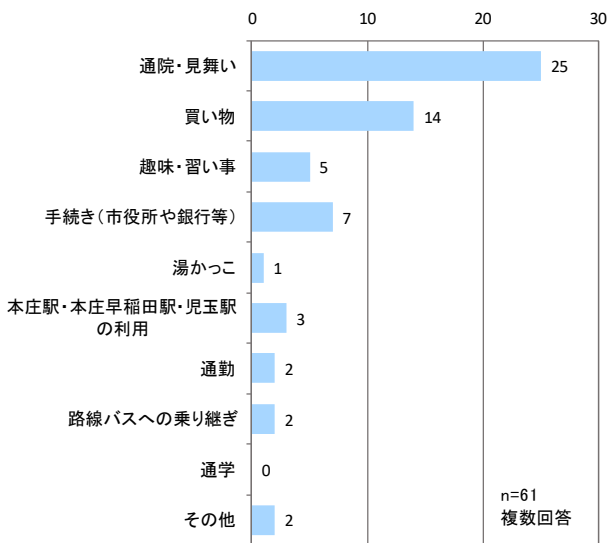
(2) 利用継続年数

<令和4年度>

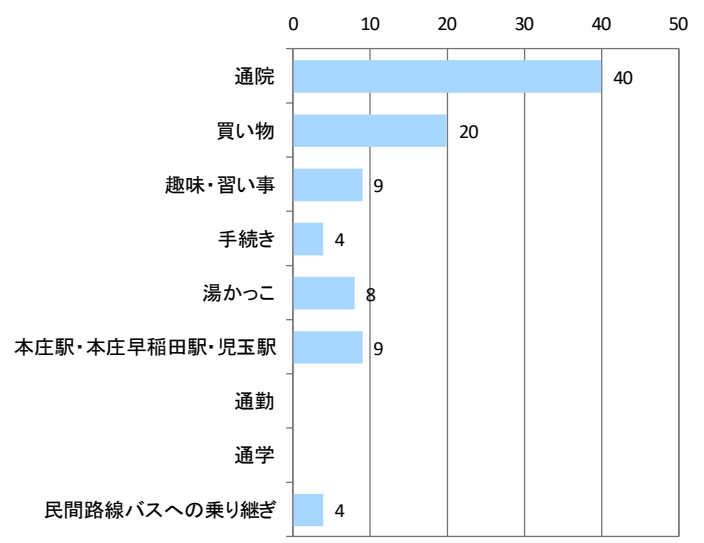


(3) 利用目的

<令和4年度>

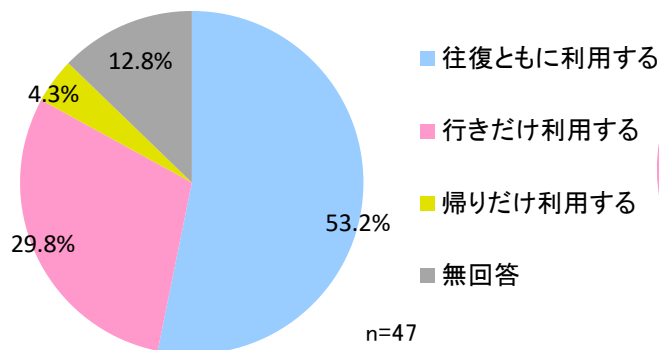


<平成30年度>

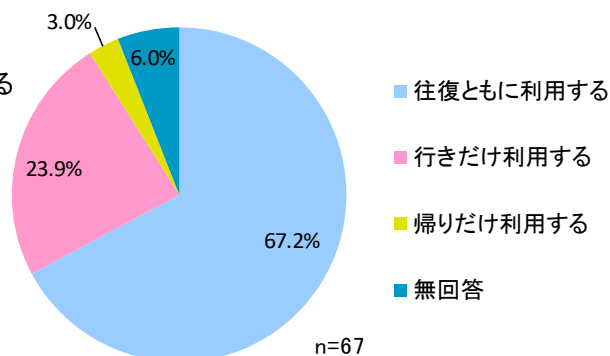


(4) 往復利用の状況

<令和4年度>



<平成30年度>



(5) 利用した停留所

<令和4年度>

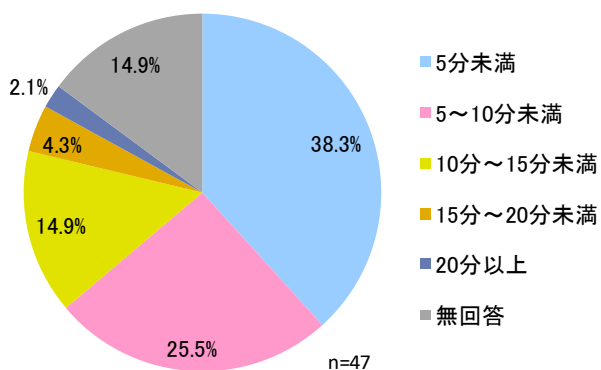
行き・乗車停留所	票数	行き・降車停留所	票数	帰り・乗車停留所	票数	帰り・降車停留所	票数
江川歯科	2	はにぼんプラザ	3	はにぼんプラザ	2	江川歯科	2
西公民館	2	本庄総合病院	3	彩北病院	2	東台市営住宅	2
池田クリニック	2	岡病院	2	おかもとクリニック	1	おかもと内科クリニック	1
東台市営住宅	2	彩北病院	2	ビバモール	1	おじま台小公園	1
和菓子いいじま前	2	田所医院	2	ビバホーム	1	シャローム	1
あたごクリニック	1	本庄駅前病院	2	プラザ	1	ベルク本庄店	1
おかもと内科クリニック	1	おかもとクリニック	1	ベイシア	1	メガドンキ	1
おじま台小公園	1	ビバモール	1	ベイシア本庄早稲田ゲート店	1	メガドンキー	1
シャローム	1	ビバホーム	1	りそな前	1	下真下	1
メガドンキ	1	ビバモール	1	市役所	1	栗崎北口	1
下真下	1	プラザ	1	図書館	1	山本歯科	1
下仁手	1	ベイシア本庄早稲田ゲート店	1	青木病院	1	四方田市営住宅	1
久々宇西口	1	やしろ歯科医院	1	早稲田リサーチパーク	1	四方田市営住宅広場	1
栗崎北口	1	久々宇西口	1	長泉寺	1	四方田住宅	1
見福公園	1	市役所	1	田所医院	1	児玉町下真下	1
山本歯科	1	春山眼科	1	湯かっこ	1	自転車村	1
四方田市営住宅	1	上武病院	1	南公民館	1	若泉1丁目	1
四方田市営住宅広場	1	図書館	1	保健センター	1	小島台小公園	1
四方田住宅	1	青木病院	1	本庄駅	1	星野商店	1
児玉町下真下	1	早稲田クリニック	1	本庄駅前病院	1	滝瀬北	1
自転車村	1	早稲田リサーチパーク	1	本庄駅南口	1	東台3丁目	1
若泉1丁目	1	長泉寺	1	本庄駅北口	1	飯倉農業センター	1
春山眼科	1	湯かっこ	1	本庄早稲田駅	1	本庄駅南口	1
小島台小公園	1	南公民館	1	本庄総合病院	1	本庄公民館	1
小島第二市営住宅	1	本庄駅	1	本田内科皮ふ科	1	万年寺	1
滝瀬北	1	本庄駅南口	1	塚越内科	1	薬のアラキ	1
東台3丁目	1	本庄駅北口	1	計	28	計	28
日の出ニュータウン	1	本庄早稲田駅	1				
本庄2丁目	1	本田内科皮ふ科	1				
本庄駅南口	1	塚越内科	1				
本庄公民館	1	計	38				
万年寺	1						
薬のアラキ	1						
計	38						

<平成 30 年度>

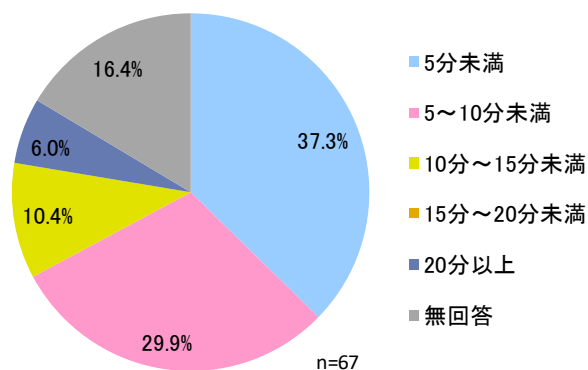
行き・乗車停留所	票数	行き・降車停留所	票数	帰り・乗車停留所	票数	帰り・降車停留所	票数
西五十子市営住宅	3	本庄総合病院	7	湯かっこ	5	本庄駅南口	6
東台市営住宅	3	湯かっこ	6	本庄総合病院	5	東台市営住宅	3
本庄駅南口	3	岡病院	5	アピタ本庄店	3	アピタ本庄店	2
アピタ本庄店	2	高山整形外科	5	ベルク本庄店	3	シャローム	2
シャローム	2	本庄駅南口	4	高山整形外科	3	新開地通り	2
ベルク本庄店	2	アピタ本庄店	2	フレッセイ児玉店	2	星野商店	2
四季の里	2	はにぼんプラザ	2	岡病院	2	西五十子市営住宅	2
四方田市営住宅	2	フレッセイ児玉店	2	上武病院	2	万年寺西	2
新開地通り	2	上武病院	2	鈴木外科病院	2	おじま台小公園	1
星野商店	2	清水クリニック	2	つきみ荘	1	そのべ病院	1
飯塚内科産婦人科	2	明堂歯科医院	2	はにぼんプラザ	1	トマト村前	1
万年寺西	2	鈴木外科病院	2	やましろや本庄店	1	はにぼんプラザ	1
歴史民俗資料館	2	つきみ荘	1	りそな銀行児玉支店前	1	ベルク本庄店	1
和菓子いいじま前	2	ベルク本庄店	1	旭公民館	1	円通寺入口	1
おじま台小公園	1	りそな銀行児玉支店前	1	沖電正門	1	下町市営住宅	1
カワチ薬品本庄店	1	旭公民館	1	四季の里歯科クリニック	1	河内ハイキング駐車場前	1
じてんしゃ村前原店	1	四季の里歯科クリニック	1	四方田市営住宅	1	栗崎	1
そのべ病院	1	中村外科医院	1	春山眼科医院	1	御堂坂	1
トマト村前	1	塚越内科小児科	1	前掘田	1	四方田市営住宅	1
はにぼんプラザ	1	田所医院	1	中村外科医院	1	児玉清水クリニック	1
マルキ工業前	1	飯塚内科産婦人科	1	飯塚内科産婦人科	1	小島南ひだまり公園	1
円通寺入口	1	服部クリニック前	1	服部クリニック前	1	青木病院	1
下町市営住宅	1	保健センター	1	保健センター	1	肉の白石前	1
河内ハイキング駐車場前	1	北泉公民館	1	北泉公民館	1	飯塚内科産婦人科	1
栗崎	1	本庄市役所	1	本庄駅南口	1	福島歯科	1
見福歯科医院	1	本庄児玉病院	1	本庄児玉病院	1	堀川病院	1
御堂坂	1	本庄福島病院	1	計	44	本町	1
江川歯科	1	計	56			歴史民俗資料館	1
高柳歯科医院	1					計	41
児玉清水クリニック	1						
小島南ひだまり公園	1						
青木病院	1						
仲町郵便局	1						
東台3丁目	1						
東台3丁目	1						
肉の白石前	1						
福島歯科	1						
本間内科皮膚科クリニック	1						
本庄市役所	1						
本庄東公民館	1						
本町	1						
計	58						

(6) 自宅から最寄りの停留所までの所要時間

<令和 4 年度>

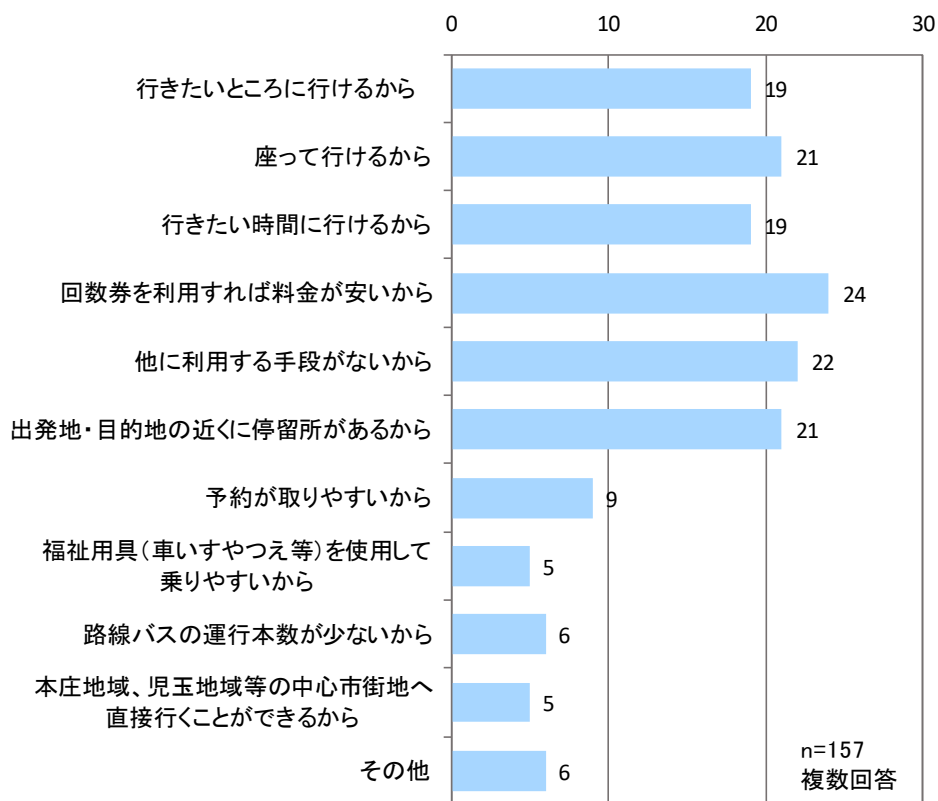


<平成 30 年度>

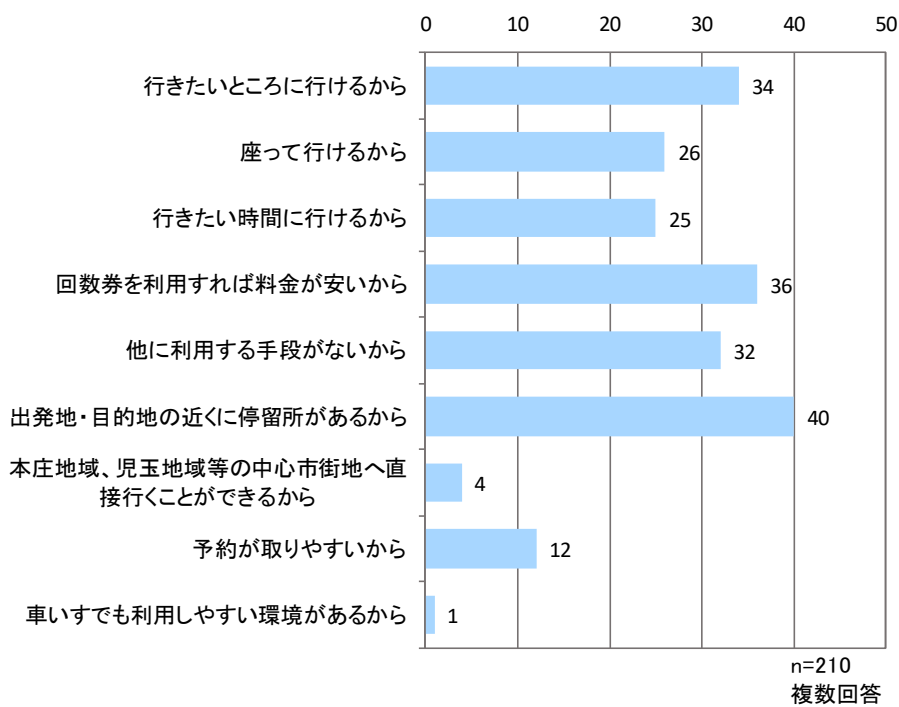


(7) 利用する理由

<令和4年度>



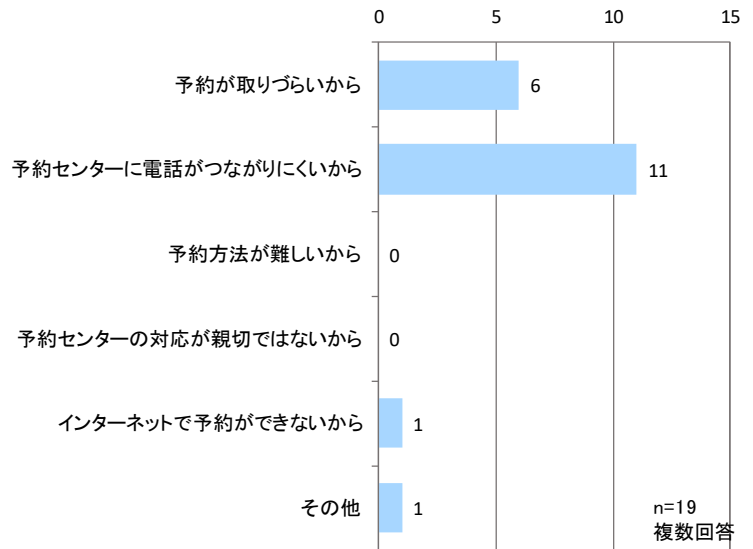
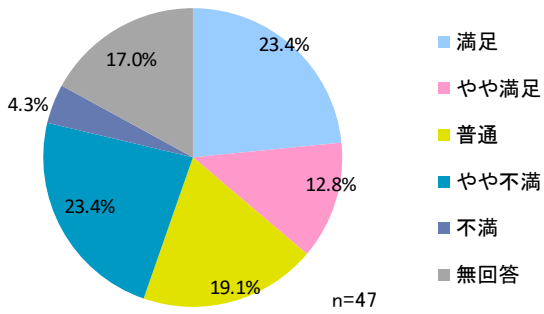
<平成30年度>



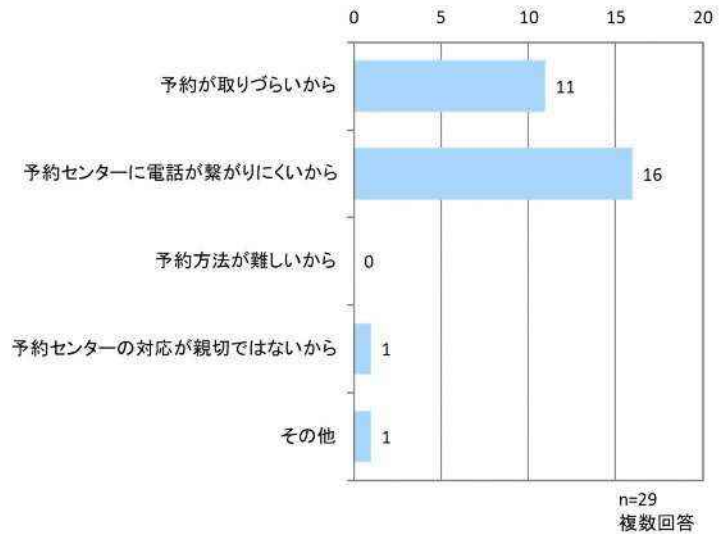
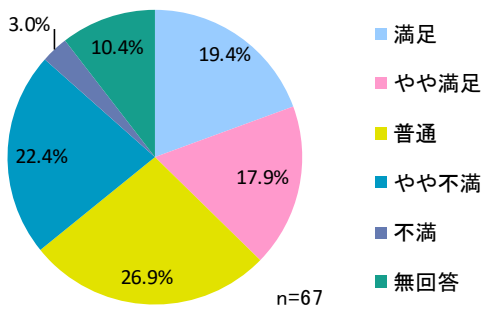
2.2.3. デマンドバスに対する満足度

(1) 予約方法や予約センターの対応に対する満足度と理由

<令和4年度>

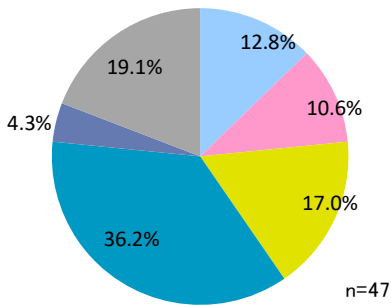


<平成30年度>

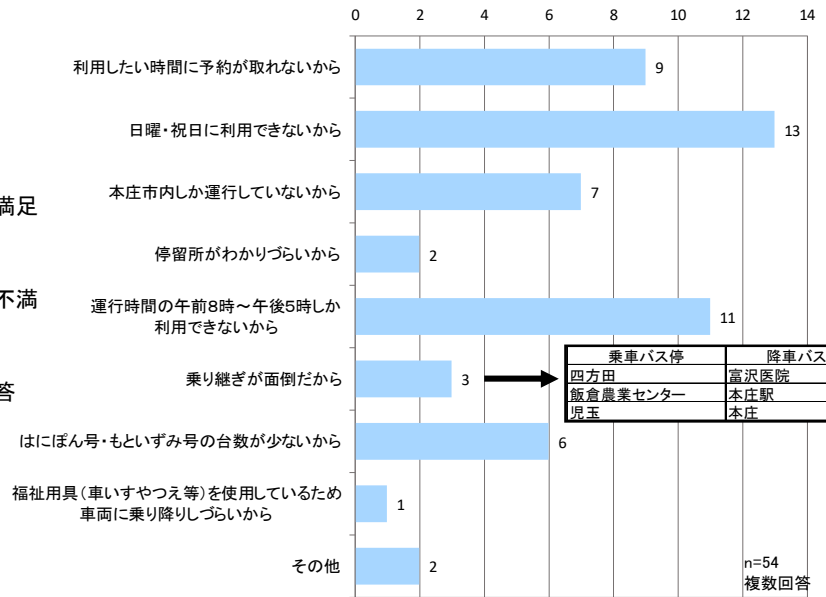


(2) 運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と理由

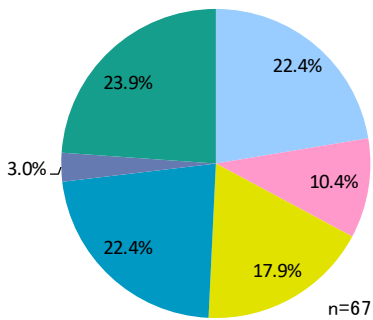
<令和4年度>



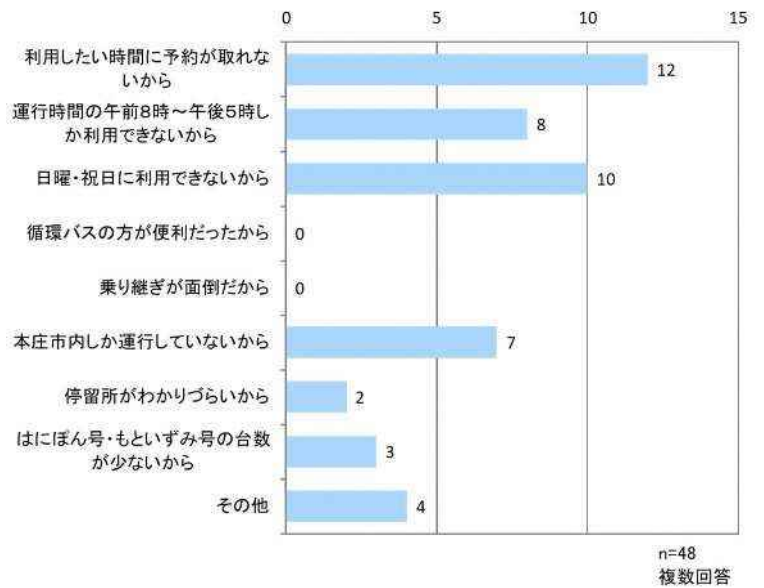
- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満
- 無回答



<平成30年度>

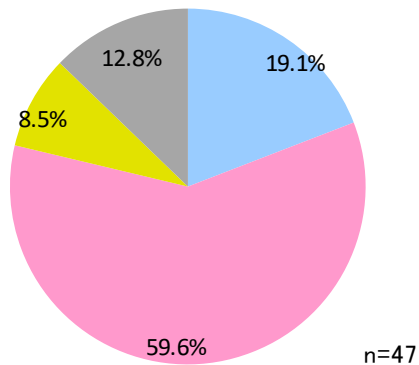


- 満足
- やや満足
- 普通
- やや不満
- 不満
- 無回答



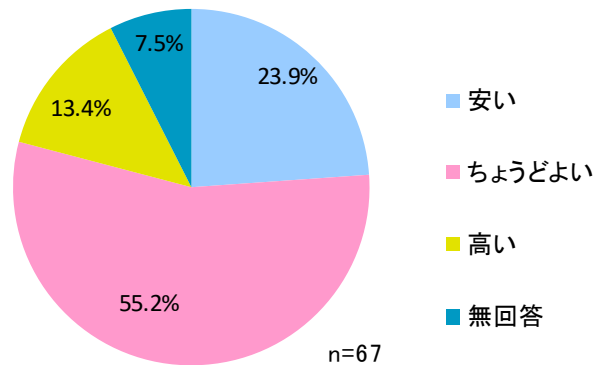
(3) 料金

<令和4年度>



- 安い
- ちょうどよい
- 高い
- 無回答

<平成30年度>

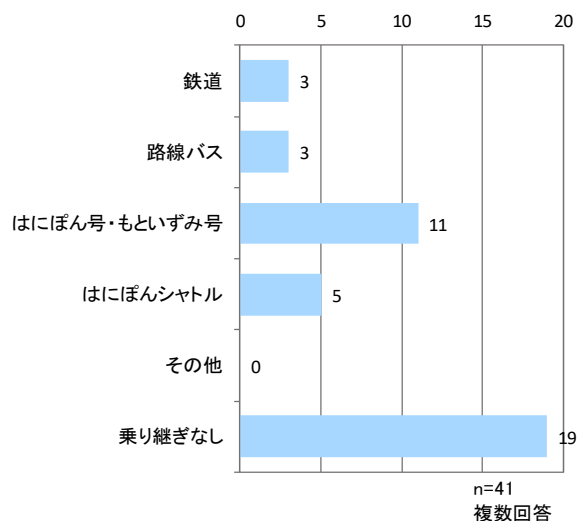


- 安い
- ちょうどよい
- 高い
- 無回答

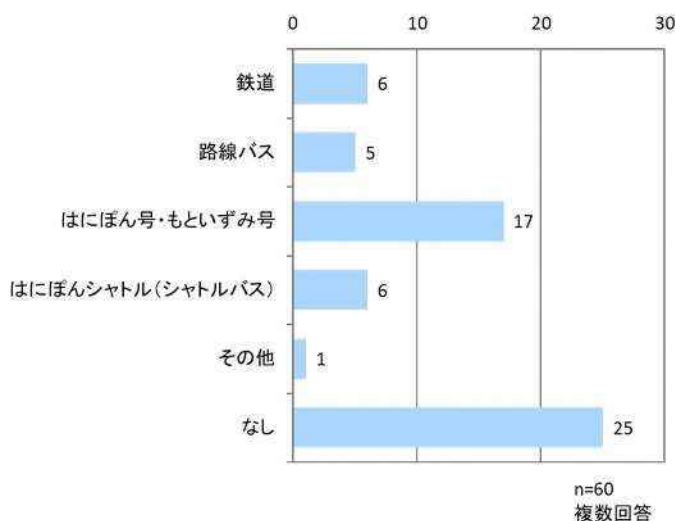
2.2.4. 乗り継ぎ状況

(1) 乗り継いだ公共交通

<令和4年度>

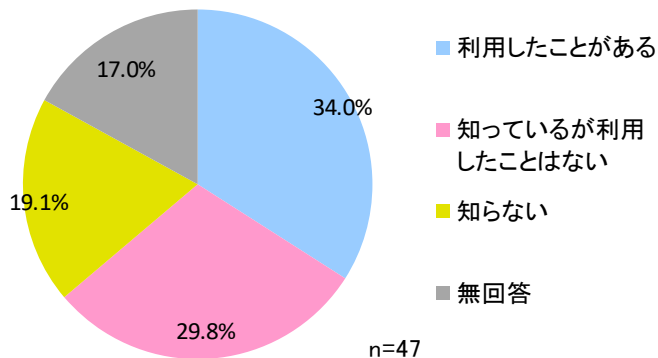


<平成30年度>

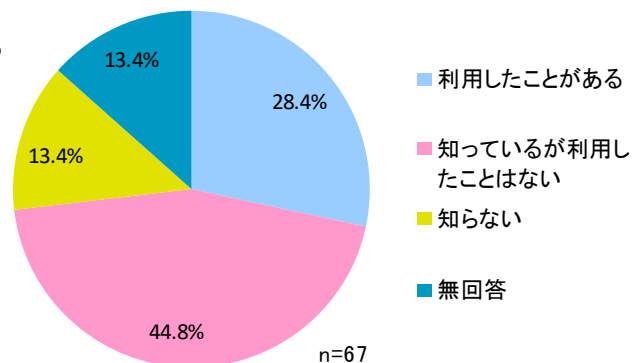


(2) 乗継割引の利用

<令和4年度>

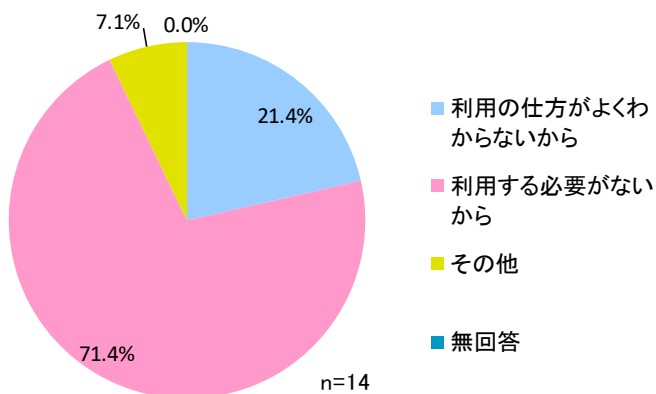


<平成30年度>

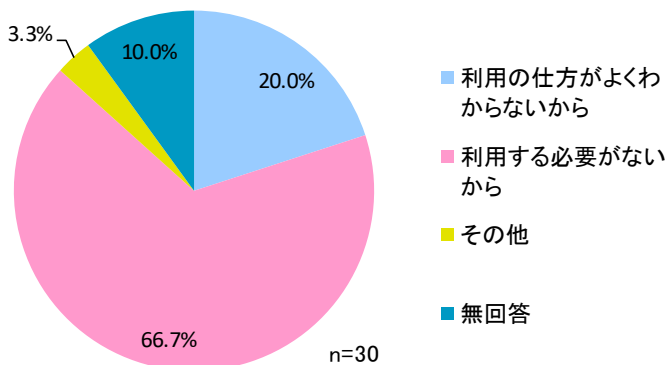


(3) 乗継割引を利用しない理由

<令和4年度>

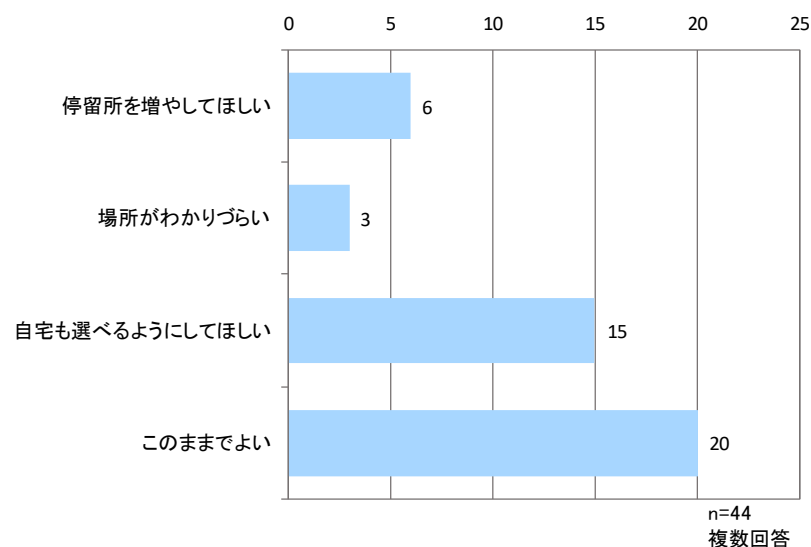


<平成30年度>



(4) 停留所の場所について

<令和4年度>



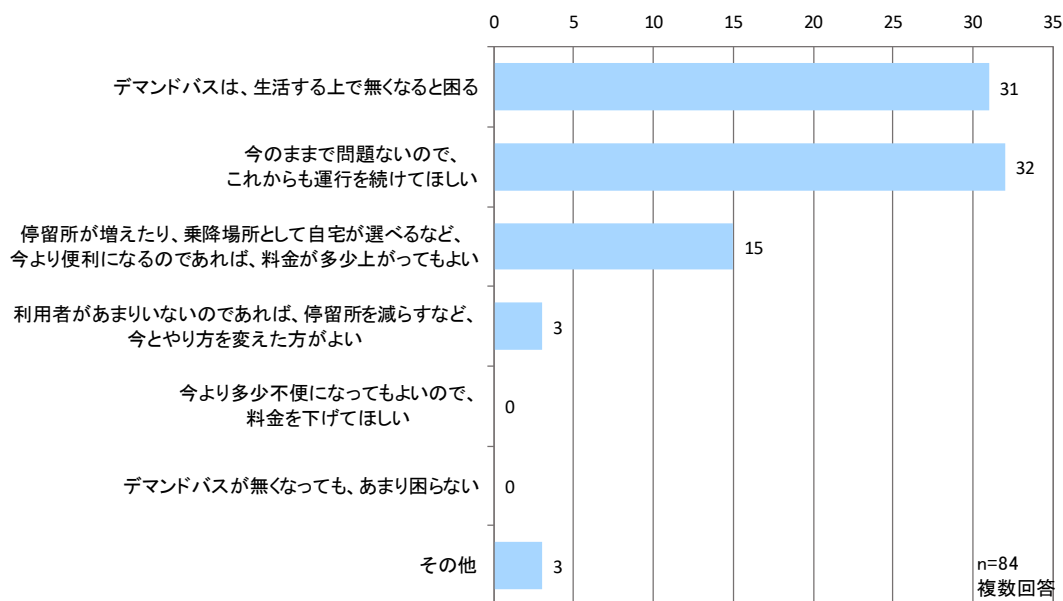
○増やしてほしい場所

場所一覧
飲食店、はま寿司、しゃぶ華など
もう少し増やして、薬局の入っているスーパーとか
三友動物病院前
やましろや
自宅近く
スーパーなど

2.2.5. デマンドバスについて

(1) デマンドバスについて

<令和4年度>



2.2.6. 自由意見

＜令和4年度＞

本庄市内1回100円位になるといいです。自宅を選ぶ人は料金を上げ、その他バス停から乗る人は100円にしてもらいたい。
乗り換えがなければ料金が安いし、運転手さんも親切だし、できれば自宅から乗れば本当にいい交通機関だと思います。
デマンドバスは郊外利用には適しているが、人口が多いまち中においては、以前の様な循環バスが適している様に思える。利用者が多ければ予約は取りづらくなるので、人口が多い場所では、多くの人を運べる交通を考えた方が良いのでは？市民の足となる公共交通を期待しています。
相乗りを何回か経験しましたが、全て見ず知らずの人と口も聞かず、乗ると車酔いの様になってしまい下車してホッとしました。余り相乗りはしたくないです。
私ども夫婦はシルバークーを利用していますので、タクシーでは多少困る事があります。はにぼん号には大変助かっております。今後もよろしくお願い致します。
運行する車両が統一されるといい。車両が大きいと乗り合いでも気にならずに乗れる。
はにぼん号は一週間前から予約できるとありますが、一週間前に予約しても希望した時間に取れない。二日前に予約を入れようとした時、二日前では予約が取れず、用事がある時、余り役に立たない。
高齢者や生活保護者の付き添いにも援助してもらえたら良いと思います。
体調が急に悪くなった時に、はにぼん予約ができない時がある。病院の帰りは1時間～2時間も先の予約になる(はにぼんです)。もといずみ号の事は全くわかりません。生活保護の世話になっています。物価高、生活が大変です。タクシー代を出すと生活が苦しくなります。もといずみ号の事を教えてください。
鳩山ニュータウンの様に老人や障害者に優しい町にしてくれませんか？よろしくお願いします。統一教会にも関わっていませんよう精査してください。
申し込みの対応をして下さる方々は大変親切で有難く思っています。運転手の方もとても親切で、質問にも快く答えて下さいますが、一方機嫌の悪い方に乗り継ぎ券をくださいとお願いしたら、そんなのネーヨ！と言われ、以前、利用した事があったので、おかしいと思ったのですが、これ以上話してもわかってもらえないと思い、降りようとしたら、だま一って乗り継ぎ券を出されました。運が悪かった日でした。
この交通システムは非常に有効であり、高齢者として大変感謝しております。是非とも継続させてください。その前提で要望すれば、停留所から300～500m内の乗降が可能となる自由度が欲しいと思います。スーパー等で買い物後、重い荷物を持って坂道を上るのは難儀です。道が楽になる所まで運んでもらえればと常に思います。料金加算は当然で、回数券や現金で支払うことにします。ドライバーに負担の掛からない方法をお願いします。
お寺へ相談の件での利用や八塩温泉への利用でありがとうございました。
午後の予約は取りやすいのですが、午前中はなかなか取れません。午前中の台数を増やして下さると有難いです。
予約なくても定期的に停留所にコミュニティバスが来て欲しい。
なかなか電話が繋がらないので、予約ができない。足が不自由なので。
お金がかかるからやめる、利用者が少ないからやめるでは、最初からやるな！考えが甘いと思います。これから市民の免許証返納者が多くなります。利用者が多くなるように考えてください。ありがとうございました。ドライバーの方は親切でした。
いつもありがとうございます。病院とかショッピングモールとかは北と南関係なく、乗り換えなく1本で行ける様にしてほしいです。よろしくお願いします。
身障者にとって必須なので絶対存続を。
予約センターに電話が繋がりにくい時もある。予約しても行きたい場所があってもお客様の予約が入っているとされていて、行きたい場所に行けなくなる。
いつも使っていますが、運転手が優しくしてくれます。助かります。
バスの運転手の態度について、挨拶の時ぐらい声を出して行って欲しい。乗る時も降りる時も一言も声を出さない人ばかり、不愉快。
本庄駅と本庄早稲田駅間はシャトルバスとはにぼん号(2号車)があり、本庄北側地区は開発も無く、国道17号を過ぎると田舎で車がないと生活できなく、年齢の高い人が運転をしている状態で、公共交通がデマンドバスが必要ですが、小学生の送迎で利用時間が午前9時からとなっています。南側はシャトルバスがあるので、北側1号車ではなく、2号車が小学生を送迎に行くと良いのではないですか。

3. シャトルバス利用者意識調査

3. シャトルバス利用者意識調査

3.1. 調査概要

3.1.1. 調査目的

「はにぼんシャトル」(以下、「シャトルバス」という。)の利用状況やシャトルバスに対する考え方、要望等について、平成30年度からの変化を含めて把握し、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

3.1.2. 対象者

令和4年8月～10月中にシャトルバスを利用された方を対象として行った。

3.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、シャトルバス車内で利用者に運転手が配布し、回収は車内手渡しもしくは郵送回収とした。

3.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用年数、利用目的、往復利用、利用した停留所区間、停留所までの移動手段と所要時間、利用する理由、乗り継ぐ公共交通、乗継割引の利用状況
満足度	運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、シャトルバスについて

3.1.5. 回収結果

計31票の回答があった。(回収率：17% 配布数185部)

3.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。

はにぼんシャトルに関するアンケート調査【利用者用】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

はにぼんシャトルをご利用いただき、ありがとうございます。

このアンケート調査は、利用者の皆さまのはにぼんシャトルの利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月

本庄市長 吉田 信解

このアンケート調査票は、調査票が入っていた封筒（切手不要）に入れ、9月15日（木）までにお近くの郵便ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。

なお、お帰りの際、または次回のご利用の際に運転士に直接お渡しいただくことも可能です。

設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	<p>[本庄市にお住まいの方] ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____</p> <p>[本庄市にお住まいではない方] ※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 市・区・町・村 _____</p>														
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 自由記載（ ）												
③年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上												
④職業	1. 中学生	2. 高校生	3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）												
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	<p>1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない</p> <p>※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】</td> <td>1. シルバーカー（押し車）</td> <td>2. 電動カート</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3. 車いす</td> <td>4. 歩行補助つえ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5. 盲人安全つえ</td> <td>6. 補聴器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7. その他（ ）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車）	2. 電動カート		3. 車いす	4. 歩行補助つえ		5. 盲人安全つえ	6. 補聴器		7. その他（ ）	
使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車）	2. 電動カート													
	3. 車いす	4. 歩行補助つえ													
	5. 盲人安全つえ	6. 補聴器													
	7. その他（ ）														
⑥運転免許証	1. 持っている	2. 持っていない	3. 持っていたが、自主返納した												

設問12 はにぼんシャトルについて、あなたのお考えに近いものを教えてください。
【あてはまるものいくつでも○印】

1. はにぼんシャトルは、生活する上で無くなると困る
2. 今のままで問題ないので、これからも運行を続けてほしい
3. 運行本数が増えたり、本庄駅・本庄早稲田駅間以外を運行するなど、今より便利になるのであれば、料金が多少上がってもよい
4. 利用者があまりいないのであれば、運行本数を減らした方がよい
5. 今より多少不便になってもよいので、料金を下げてほしい
6. はにぼんシャトルが無くなっても、あまり困らない
7. その他（

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



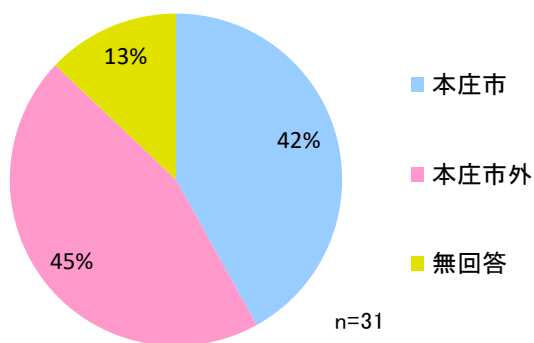
3.2. 調査結果

3.2.1. 個人属性

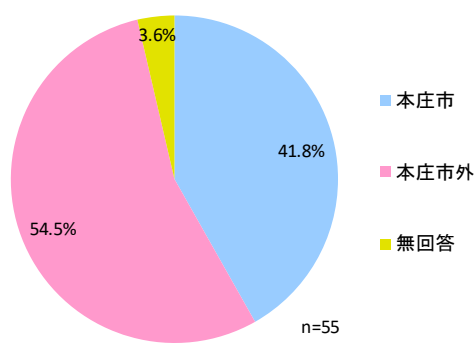
(1) お住まいの地域

①全体

<令和4年度>



<平成30年度>

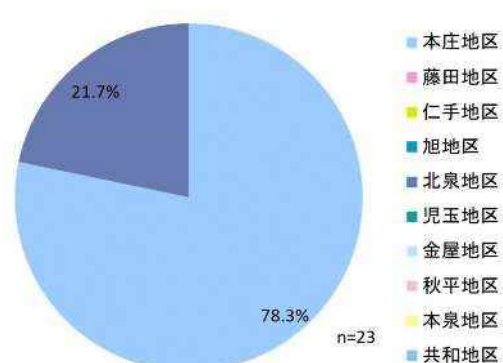


②本庄市内在住の方

<令和4年度>

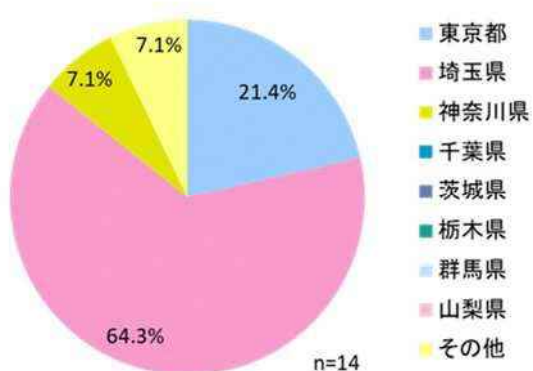


<平成30年度>

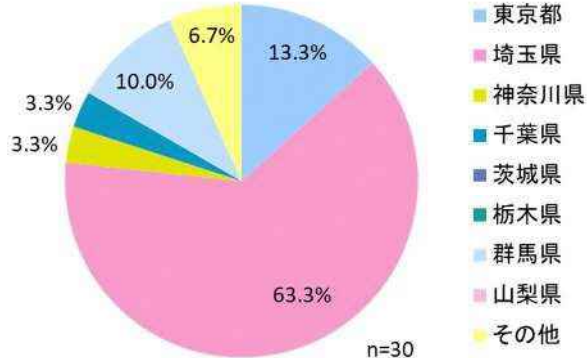


③本庄市外在住の方

<令和4年度>

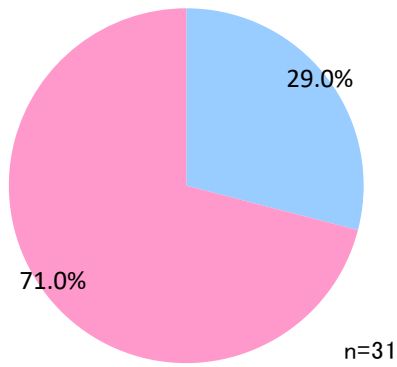


<平成30年度>

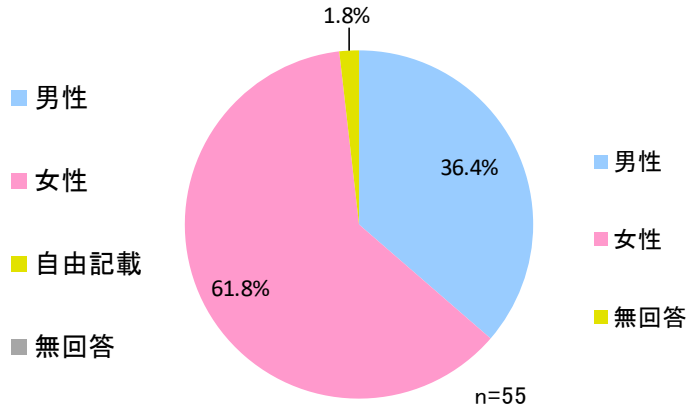


(2) 性別

<令和4年度>

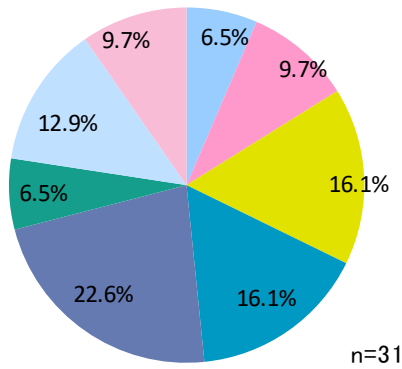


<平成30年度>

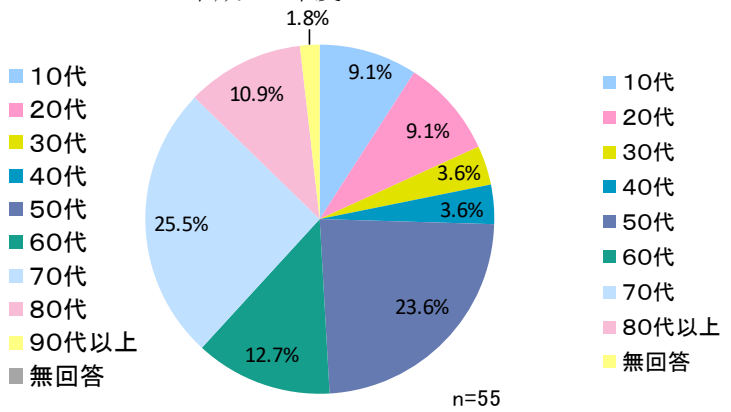


(3) 年齢

<令和4年度>

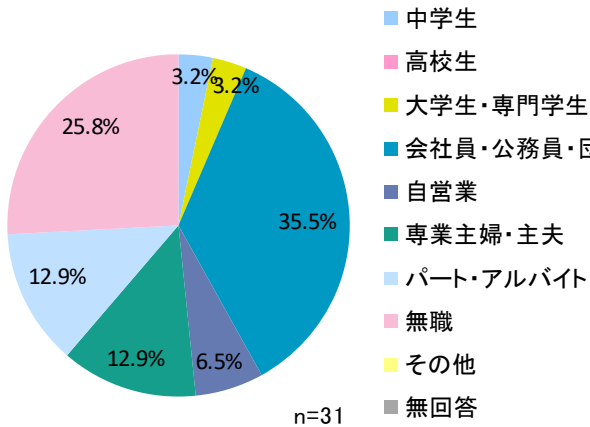


<平成30年度>

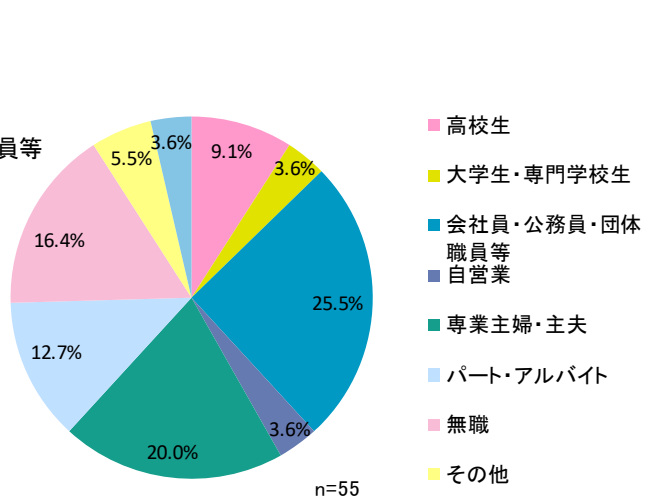


(4) 職業

<令和4年度>

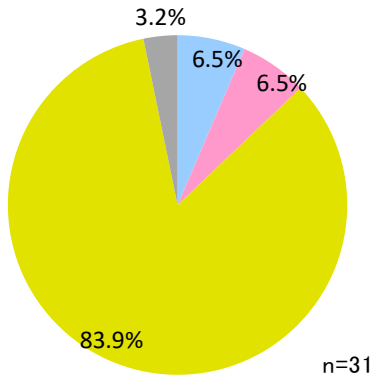


<平成30年度>

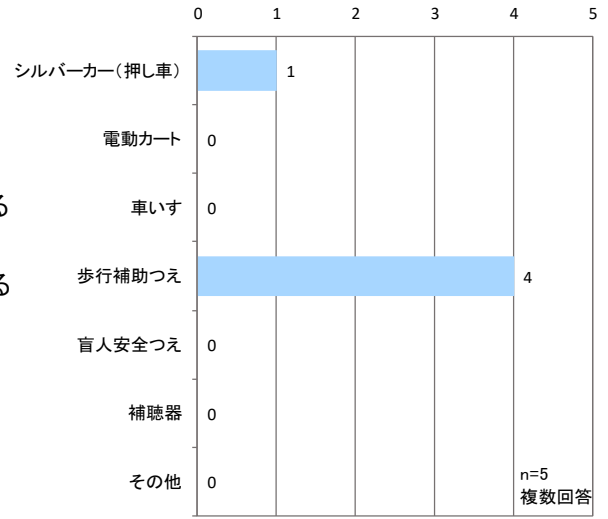


(5) 福祉用具の利用状況

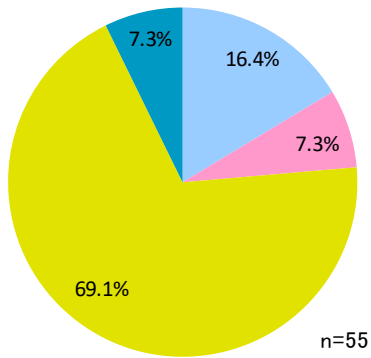
<令和4年度>



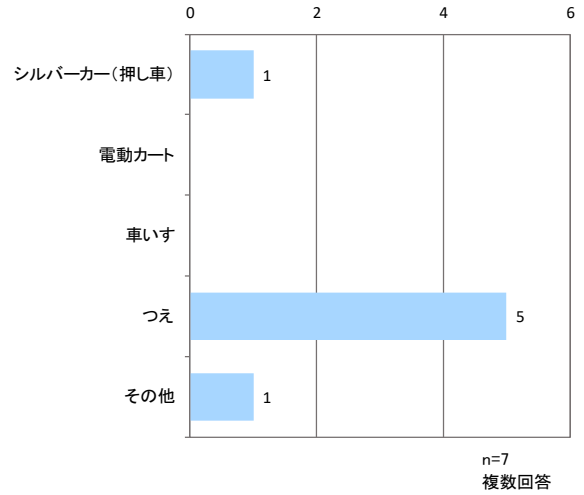
- 常に使用する
- 時々使用する
- 使用しない
- 無回答



<平成30年度>

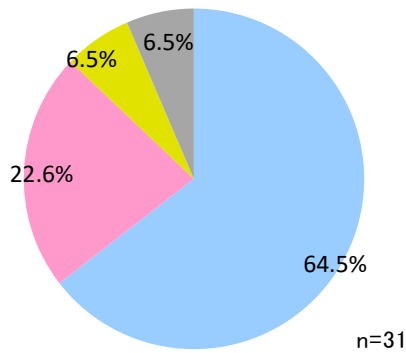


- 常に使用する
- 時々使用する
- 使用しない
- 無回答



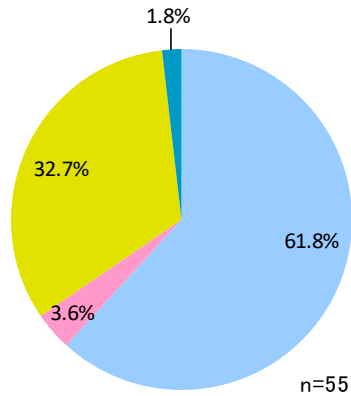
(6) 運転免許証の保有状況

<令和4年度>



- 持っている
- 持っていない
- 持っていたが、自主返納した
- 無回答

<平成30年度>

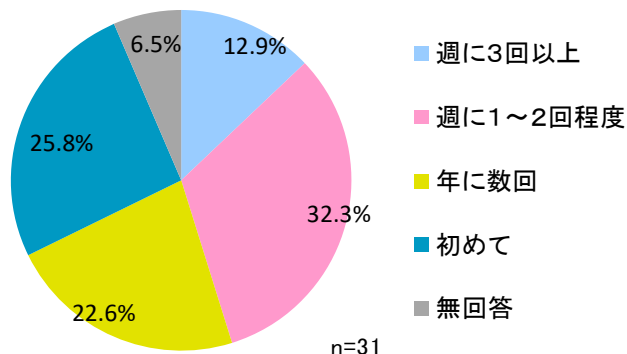


- 持っている
- 持っていたが、自主返納した
- 持っていない
- 無回答

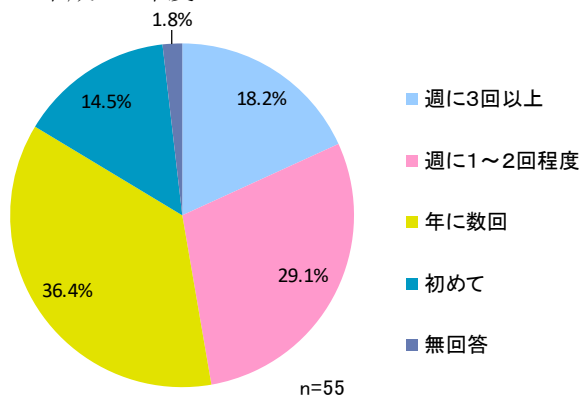
3.2.2. シャトルバスの利用について

(1) 利用頻度

<令和4年度>

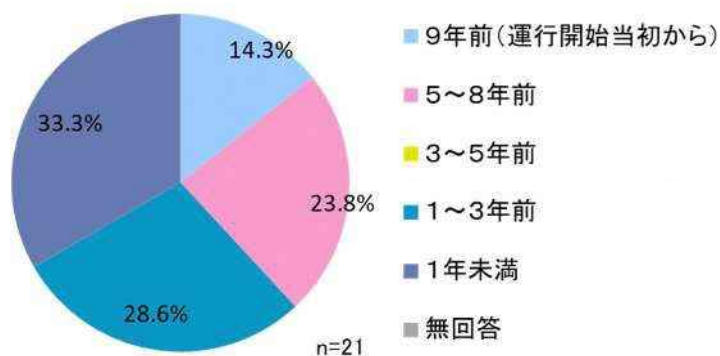


<平成30年度>



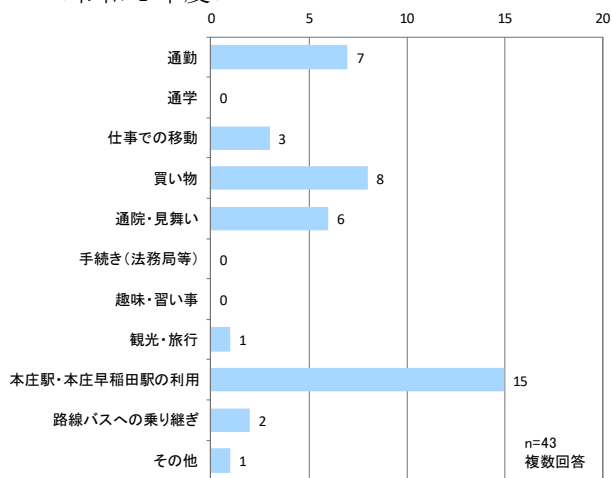
(2) 利用継続年数

<令和4年度>

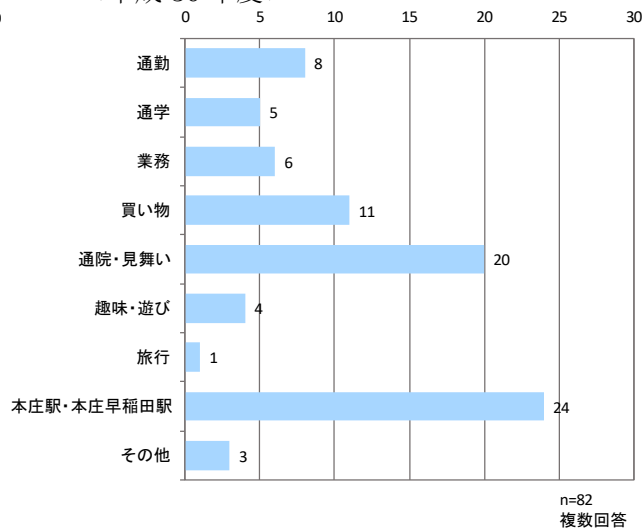


(3) 利用目的

<令和4年度>

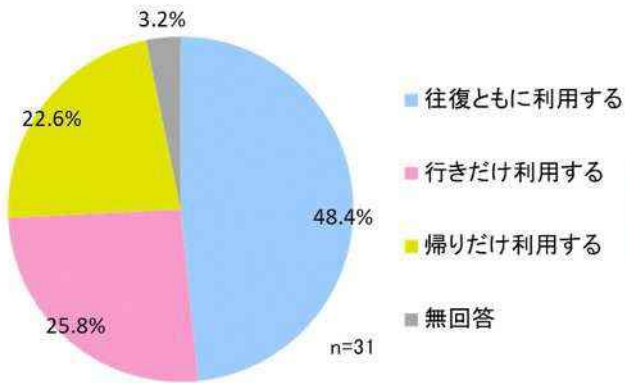


<平成30年度>

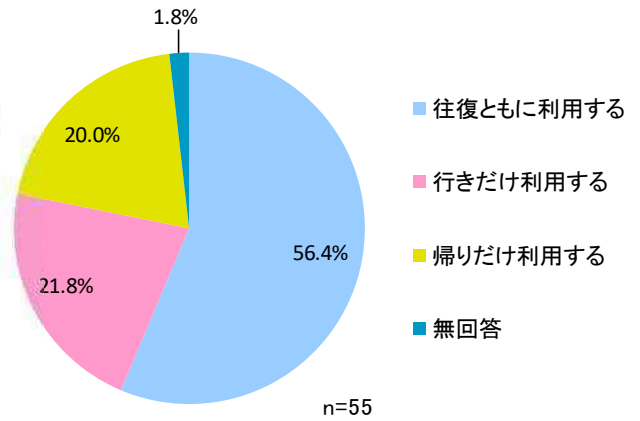


(4) 往復利用の状況

<令和4年度>



<平成30年度>

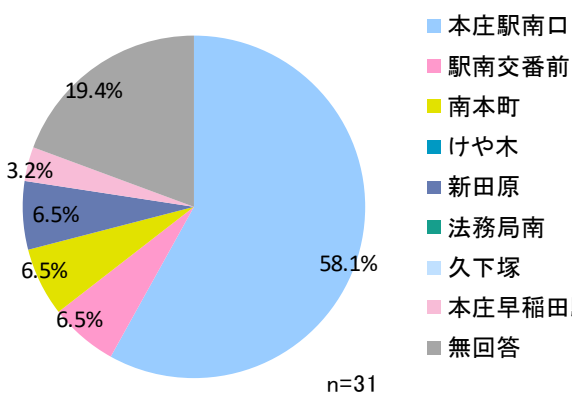


(5) 利用停留所

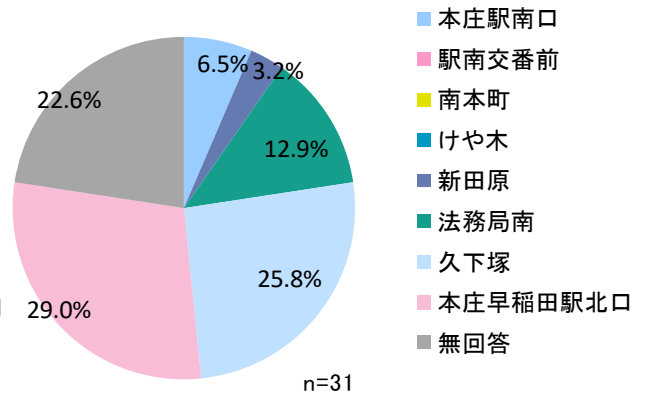
① 行き

<令和4年度>

乗車停留所

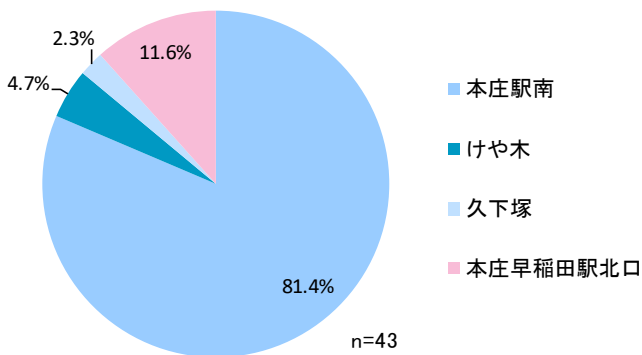


降車停留所

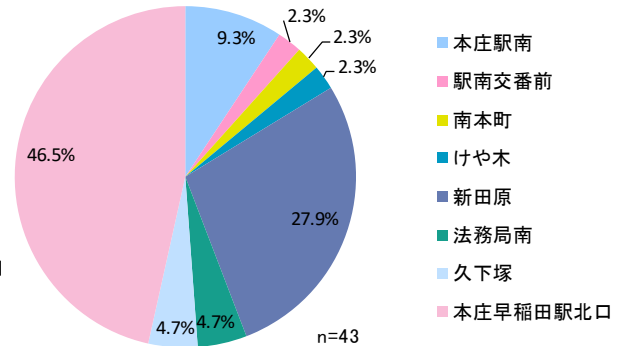


<平成30年度>

乗車停留所



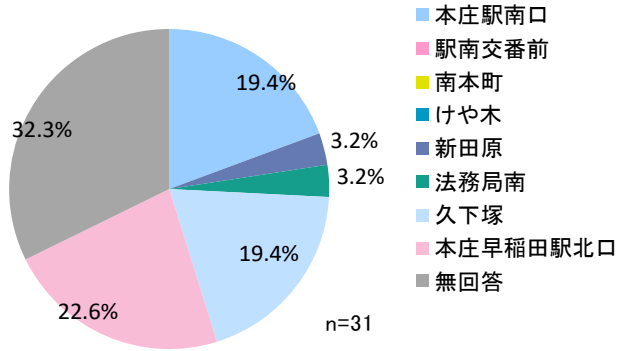
降車停留所



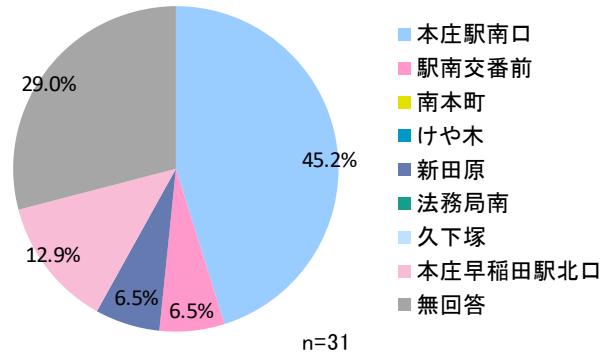
②帰り

<令和4年度>

乗車停留所

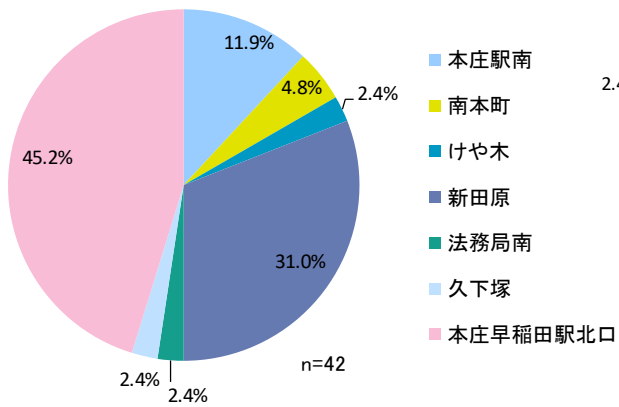


降車停留所

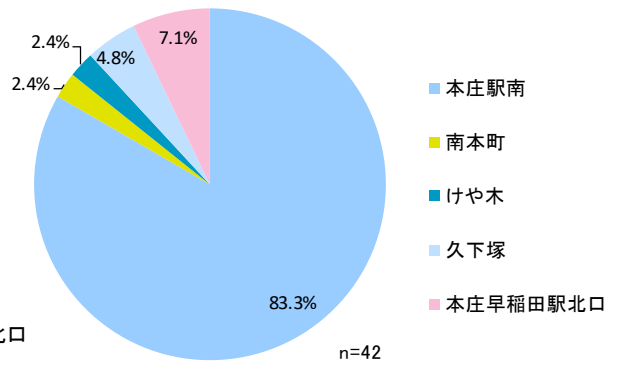


<平成30年度>

乗車停留所

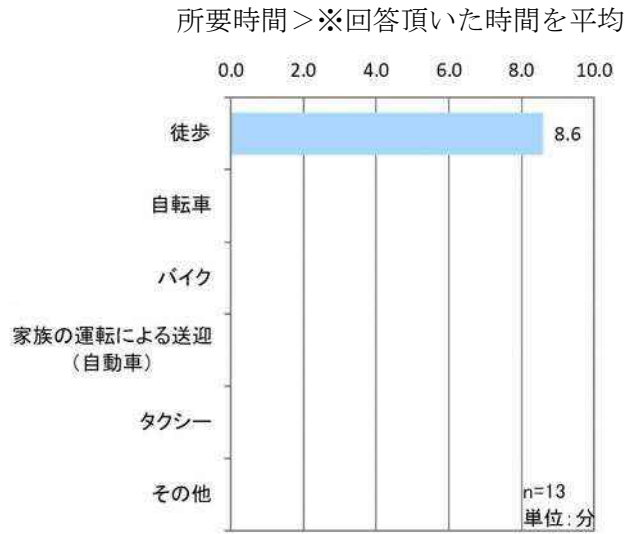
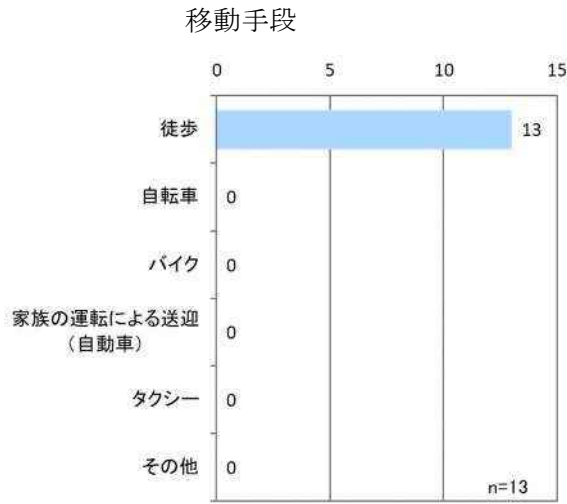


降車停留所

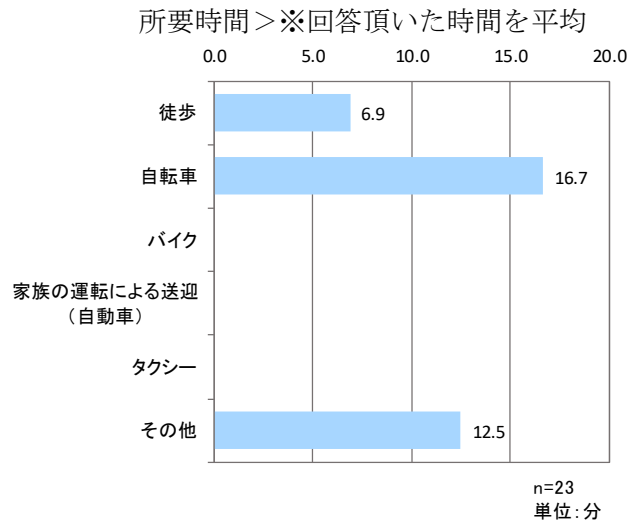
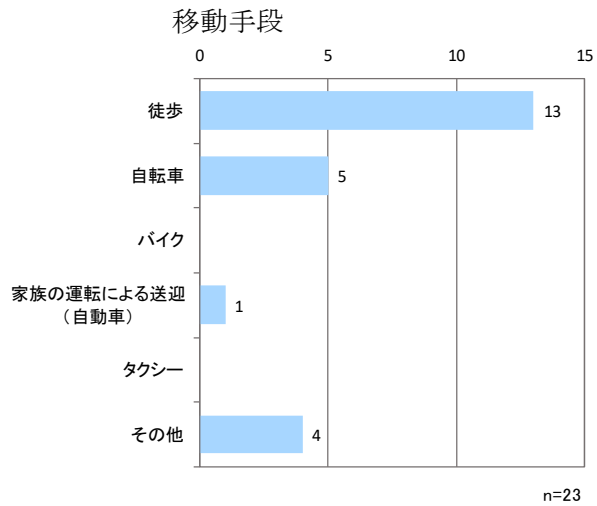


(6) 停留所までの移動手段と所要時間（本庄市内在住の方のみ）

<令和4年度>

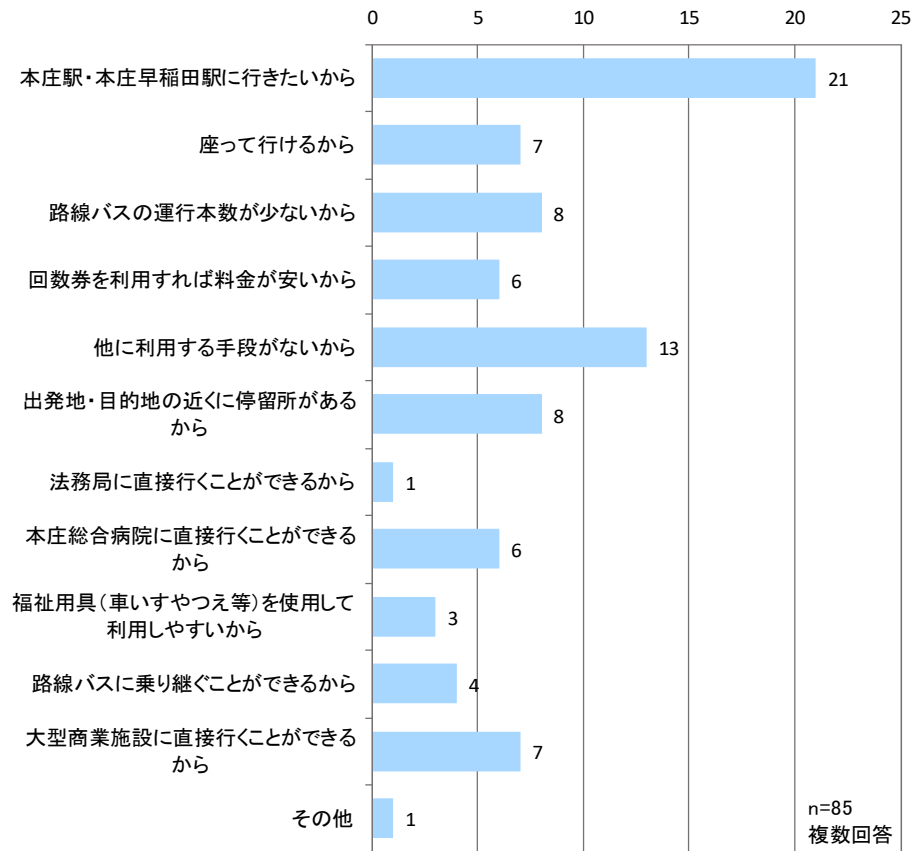


<平成30年度>

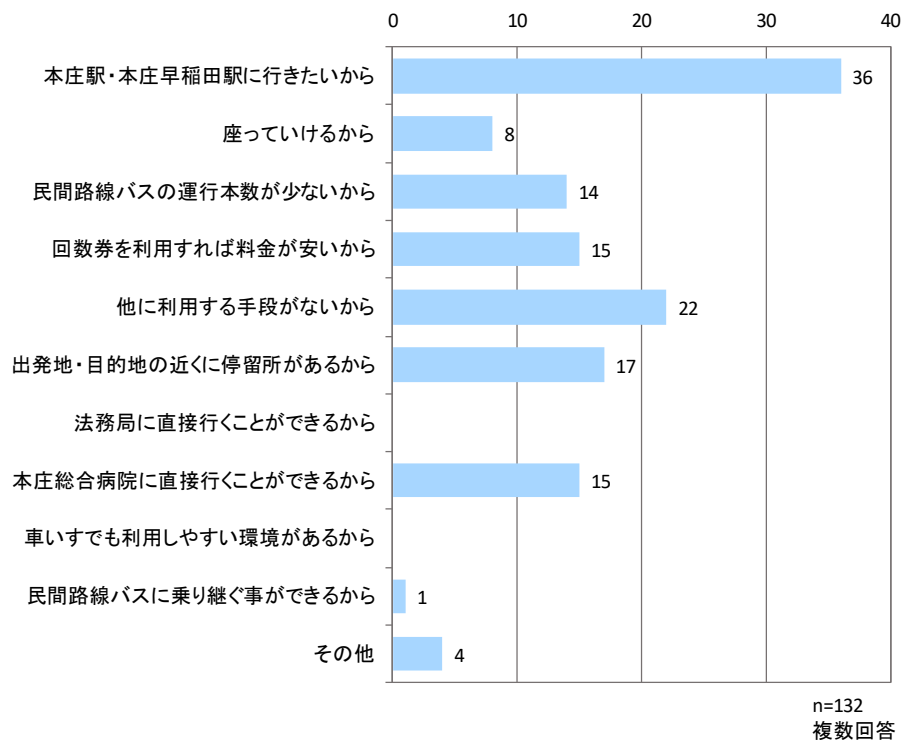


(7) 利用する理由

<令和4年度>



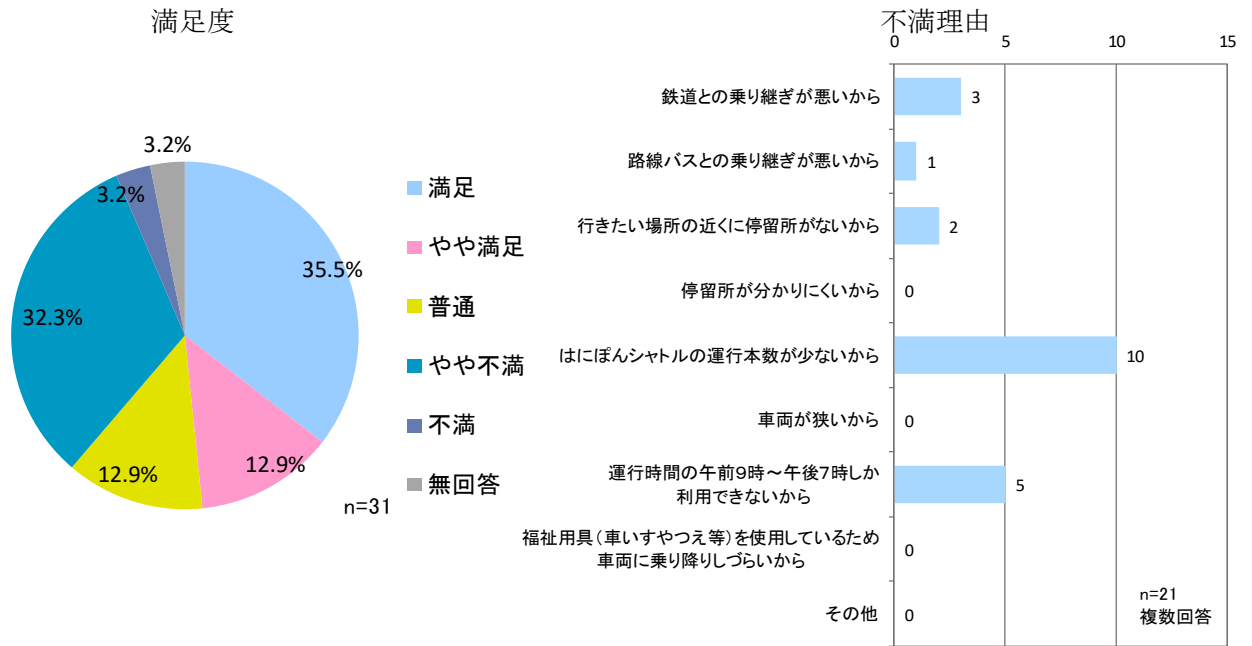
<平成30年度>



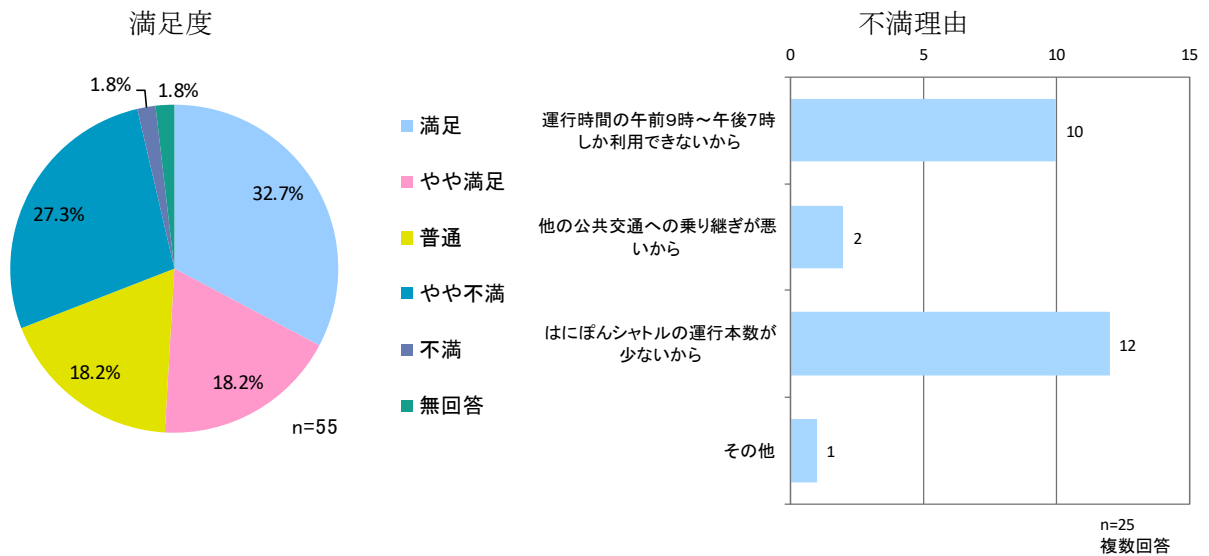
3.2.3. シャトルバスに対する満足度

(1) 運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と理由

<令和4年度>

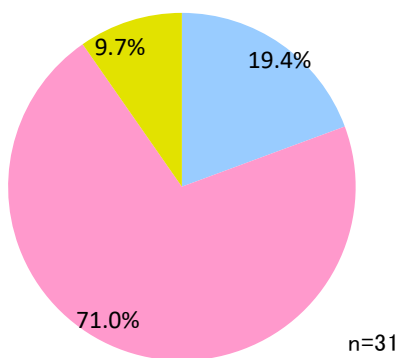


<平成30年度>

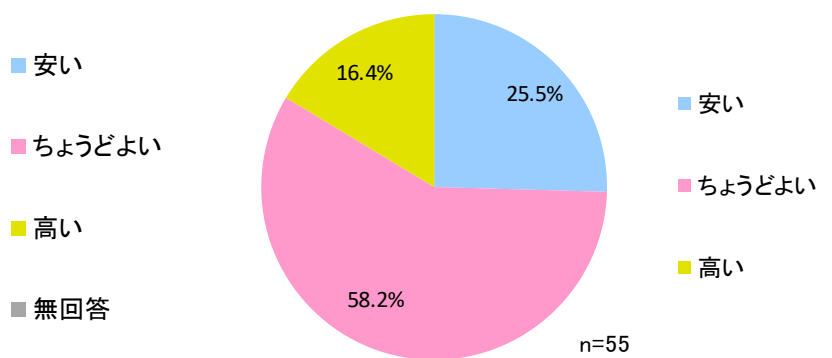


(2) 料金

<令和4年度>



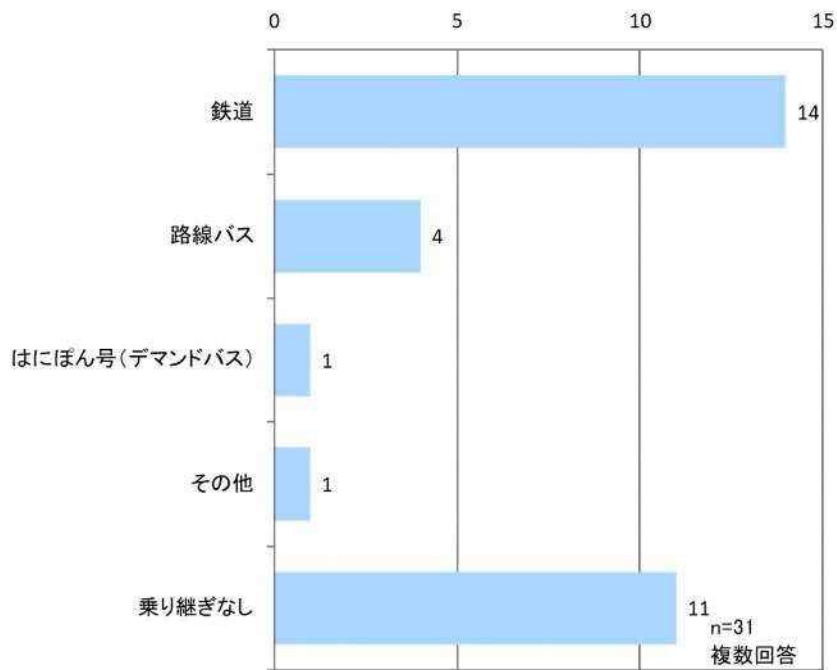
<平成30年度>



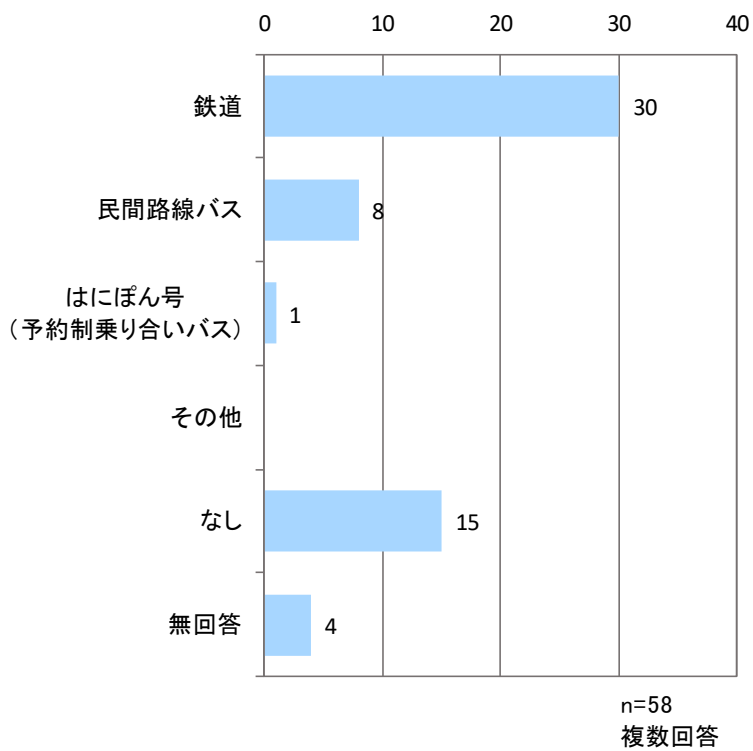
3.2.4. 乗り継ぎ状況

(1) 乗り継いだ公共交通

<令和4年度>

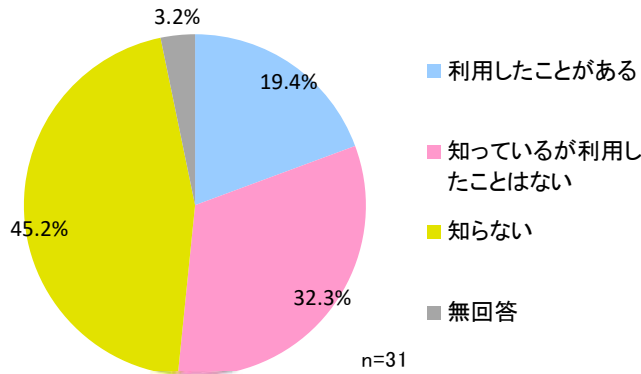


<平成30年度>

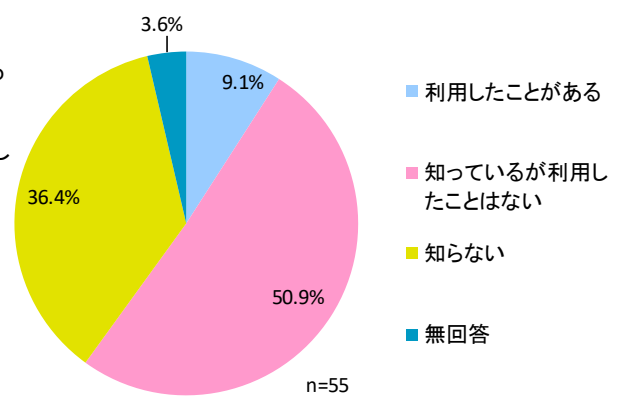


(2) 乗継割引の利用

<令和4年度>



<平成30年度>

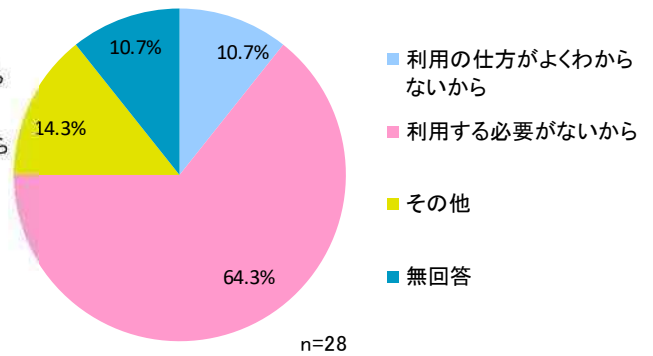


(3) 乗継割引を利用しない理由

<令和4年度>



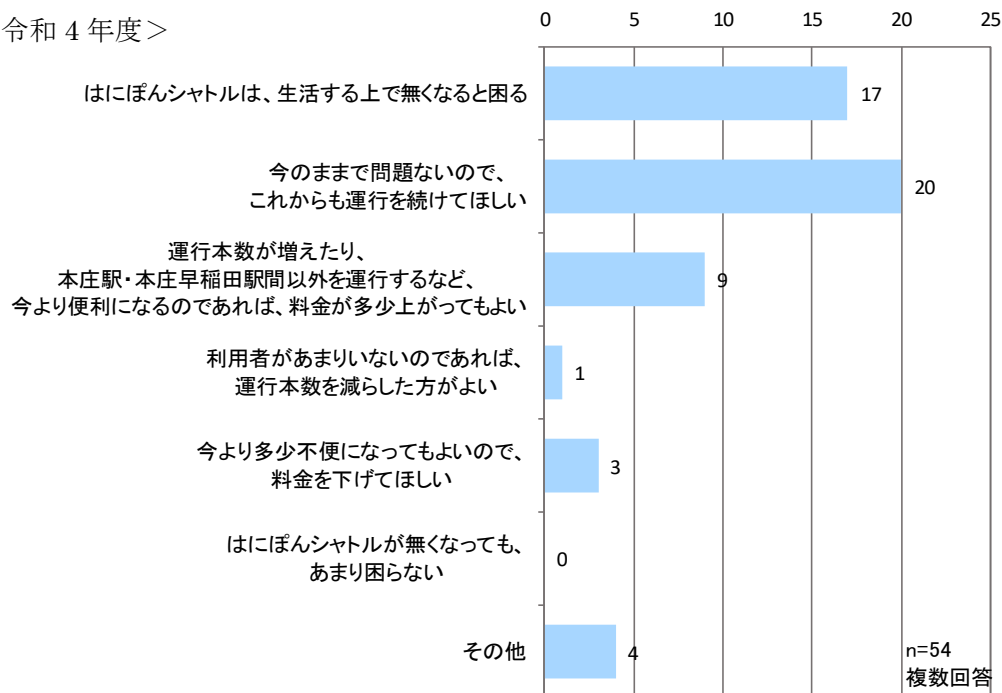
<平成30年度>



3.2.5. シャトルバスについて

(1) シャトルバスについて

<令和4年度>



3.2.6. 自由意見

<令和4年度>

はにぼんシャトルを循環型にしてみようと嬉しいです。本庄駅南～東富田～西富田～(児玉駅)～本庄早稲田駅。
はにぼん号・もといずみ号を利用したくても予約が取れないから本庄駅まで来て、はにぼんシャトルに乗って、早稲田のベイシアに行けるから便利です。
本庄駅～本庄早稲田駅間の貴重な交通機関なので、存続して欲しい。
今回は観光で利用させて頂きました。時間通りに来て頂いてとても良かったと思います。ちょっと難しいかもしれませんが、駅から道の駅おかべの近くまで行って頂けるコースがあったら嬉しいなと思います。また近くまで行くことができましたら、ぜひ次回も使わせて頂きたいと思います。
初めて利用しましたが、私一人の状態です。申し訳ない感じがしました。但し、ドライバーの方の対応はとても良い対応をして頂きました。
10時台に10時30分～40分くらいに本庄駅南口を発車するバスを増やして頂けるとありがたい。夜も20時くらいまで本数があると助かります。
通勤の時間帯(特に朝)にあると便利だなと思います。新幹線の時間に合わせると良いと思います。
いつもありがとうございます。行先案内して欲しい。ボタンも付けてください。母は耳が悪いので、今はコロナで大変ですが頑張ってください。
停留所間であれば、どこでも降りることができれば良いと思う。または停留所がもっと細かい区間だと、便利かなと思う。
車の運転ができないため、はにぼんシャトルは大変便利で助かっています。子供も時々利用させて頂いているのですが、できれば中学生・高校生も料金を100円にして頂けるとありがたいです。
今回は本庄駅から本庄早稲田駅まで行く用事があり、初めて利用しました(利用者のSNSで存在を知りました)。基本的に地域にお住まいの方向けの交通機関であると思いますが、定期運行されている交通網があるのは市外から来た者としても利用しやすいので、運行を続けて頂きたいと思います。
私は「はにぼんタクシー」を度々利用し、大変有難いと思っている。しかし、タクシーの台数が少ないせいか、予約がなかなか取れないことがある。予約電話を増やし、タクシーも増便して頂けると有難い。お願い致します。
安全運転で安心感があり、とても良かったです。
暑い一日でしたので、本庄と本庄早稲田を歩くことも可能でしたが、バスを利用するのに40分待って乗車しましたが、大変良かったです。ありがとうございました。
シャトルは今のところ本庄駅⇄本庄早稲田駅間だけだが、願わくば本庄駅以北への足となればと思う。現在、病院や商業施設への足として、非常に助かっていて有難いが、乗り継ぎの場合の時間調整がちょっと大変。もう少し便数が多いと助かる。また、時間通りにいつでも利用できて助かる。はにぼんは予約が必要で、一週間前に予約が決まっている事は良いが、2～3日前、即時には不可能であり、予約を取るにしても係の方々はとても親切に対応してくれて頭が下がりますが、電話が繋がりにくく、一週間前の予約開始時間には、30分～1時間は電話を掛け続けなければいけないので、諦めることも多い。その点、時間通りの運行は非常に助かっています。
たまに運転手さんがすごく無愛想で「ありがとうございました」もない時があります。乗っていて怖いです。返事もないです。明るい運転手さんを希望します。※はにぼん号の運転手さんは大体の方が無愛想です。怖いです。明るい方を希望します。よろしく願います。ほとんどの方が返事もないです。でも、はにぼんシャトル、はにぼん号はなくなったら困ります。このまま続けてください。
本庄早稲田駅には送迎の車が何台もいました。それらの利用者ははにぼんシャトルを使えないのか?カーボンニュートラルに向かう中で、地元企業との連携が必要だと思います。
はにぼんシャトルを使用する事で通勤可能となっているため、少なくなってしまうと、無くなってしまうと仕事へ通うことができなくなり、生活がとても困難になると予想されます。はにぼんシャトルがある前提での職場決定だったため、今まで通り運行をお願いします。
午前6時～7時、午後7時～9時、通勤時間帯に運行してほしい。
本庄早稲田駅に行くのが便利。買い物バス(スーパー)があると良い。助かってます。タクシーだと料金が高いので!感謝です。

4. デマンドバス未利用者意識調査

4. デマンドバス未利用者調査

4.1. 調査概要

4.1.1. 調査目的

「はにぼん号・もといずみ号」(以下、「デマンドバス」という。)について、これまでデマンドバスを未利用だった方に対し、デマンドバスに対する考え方や要望等を把握し、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

4.1.2. 対象者

過去に一度もデマンドバスを利用されていない方を対象として行った。

4.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、自治会を通じて試乗券及びアンケート票を配布し、回収は郵送回収とした。

4.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用しなかった理由、利用日・利用した停留所区間
満足度	予約方法・予約センターの対応、運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、今後の利用意向

4.1.5. 回収結果

計 28 票の回答があった。(回収率：16% 配布数 170 部)

4.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。

はにぼん号・もといずみ号に関するアンケート調査

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

はにぼん号・もといずみ号をご利用いただき、ありがとうございます。

本庄市では誰もが歩きやすいまちづくりのために、様々な交通施策を行っております。その一つとして、予約を受けて停留所から停留所まで送迎する乗り合いデマンドバス「はにぼん号・もといずみ号」を平成25年10月より運行しております。

このアンケート調査は、これまで「はにぼん号・もといずみ号」を利用されたことのない方の「はにぼん号・もといずみ号」に対するお考えやご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月

本庄市長 吉田 信解

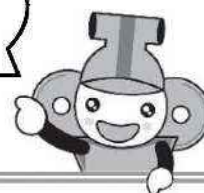
このアンケート調査票は、調査票が入っていた封筒（切手不要）に入れ、

乗車後1週間以内にお近くの郵便ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。

《平成25年10月より運行を開始した「はにぼん号・もといずみ号」》

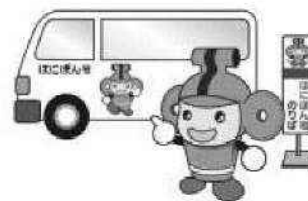


はにぼん号
と
もといずみ号



設問1 あなた自身についてお伺いします。【項目ごとにあてはまる数字1つに○印】

①お住まい	<p>[本庄市にお住まいの方] ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____</p> <p>[本庄市にお住まいではない方] ※ご記入ください。 _____ 都・道 _____ 府・県 _____ 市・区・町・村</p>		
②性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載（ ）		
③年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）		
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	<p>1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない</p> <p>※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方</p> <table border="1" data-bbox="488 927 1361 1115"> <tr> <td data-bbox="488 927 719 1115">使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】</td> <td data-bbox="719 927 1361 1115"> 1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ） </td> </tr> </table>	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）
使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）		
⑥運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した		

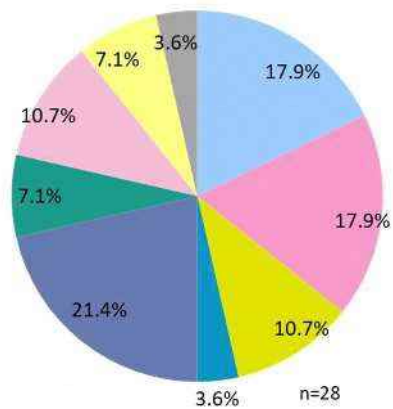


4.2. 調査結果

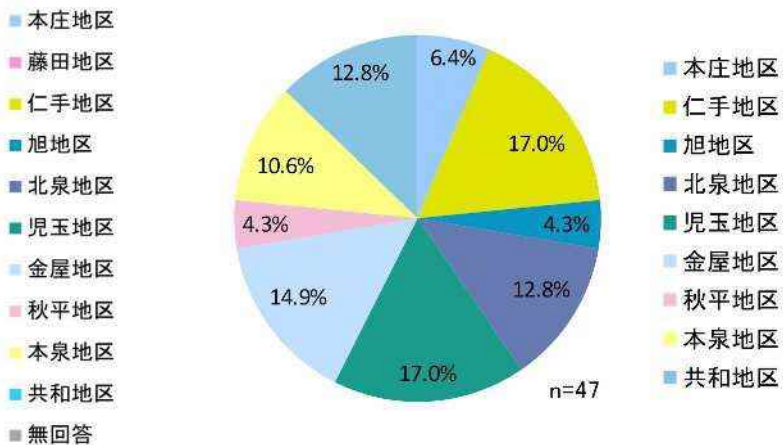
4.2.1. 個人属性

(1) お住まいの地域

<令和4年度>

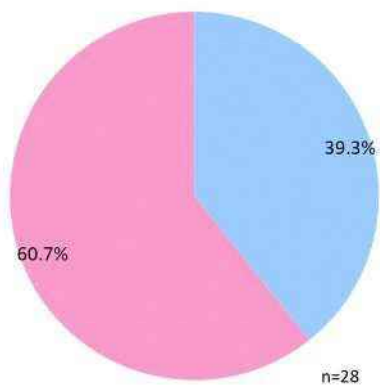


<平成30年度>

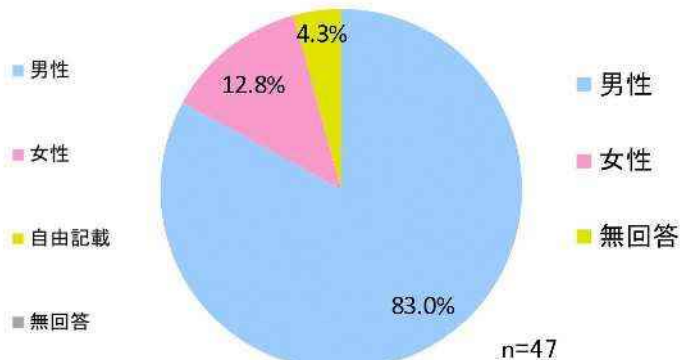


(2) 性別

<令和4年度>

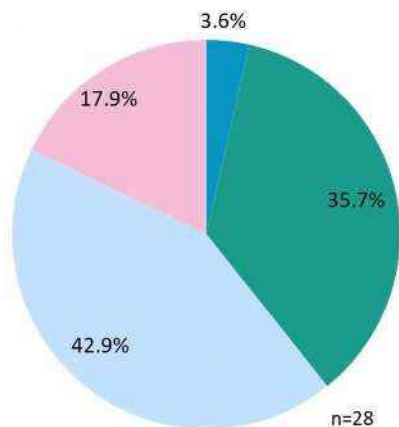


<平成30年度>

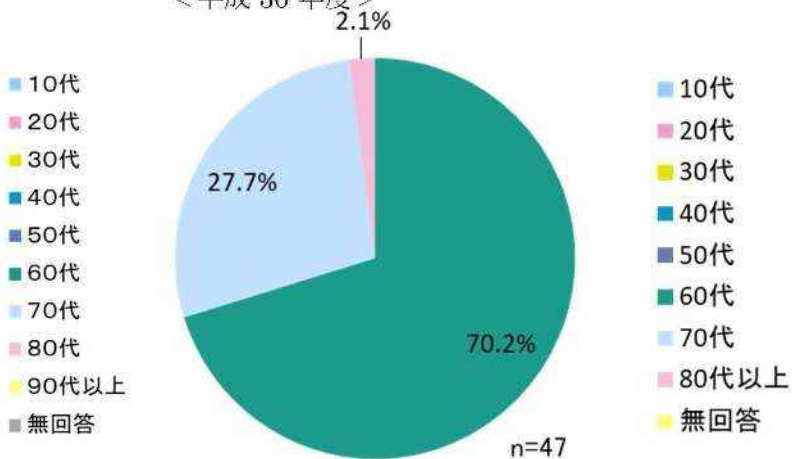


(3) 年齢

<令和4年度>

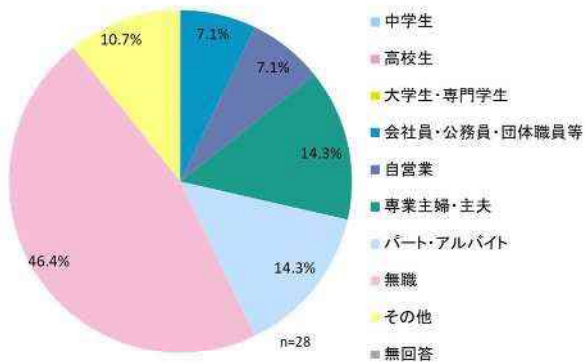


<平成30年度>

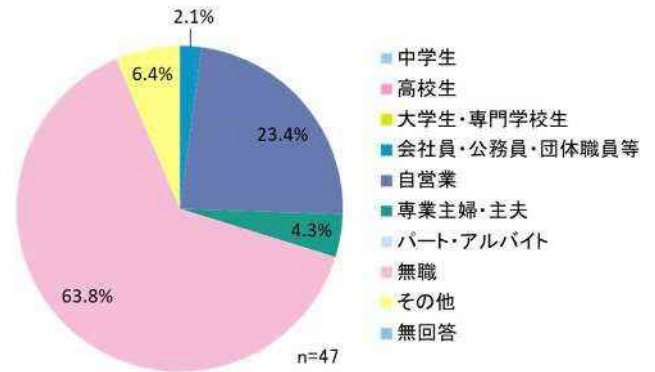


(4) 職業

<令和4年度>

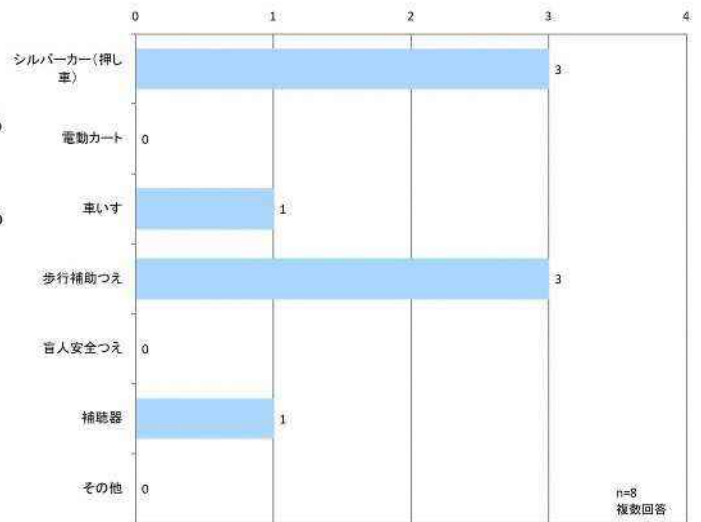
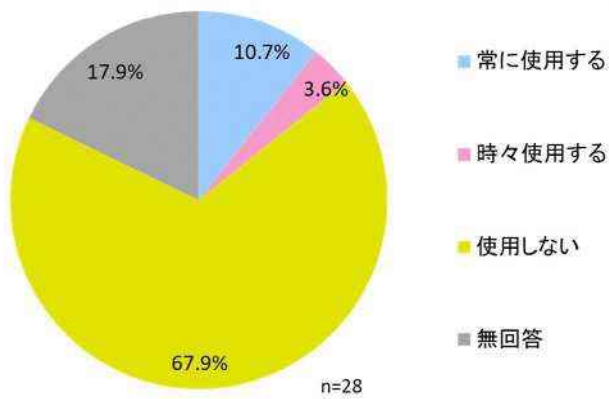


<平成30年度>

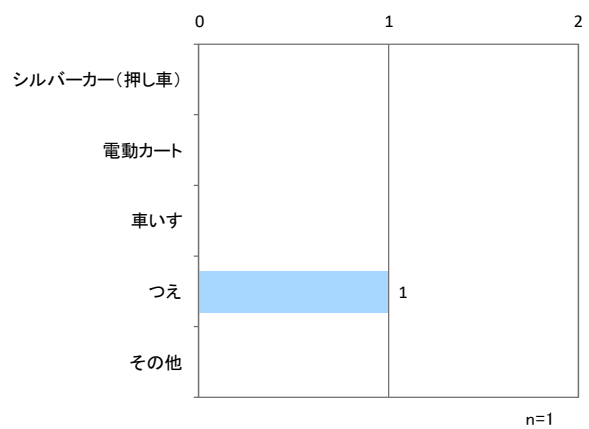
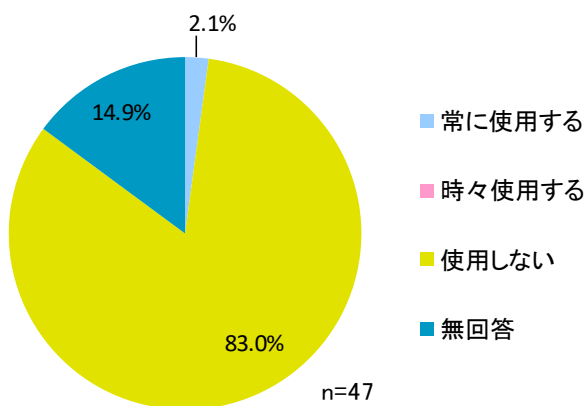


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

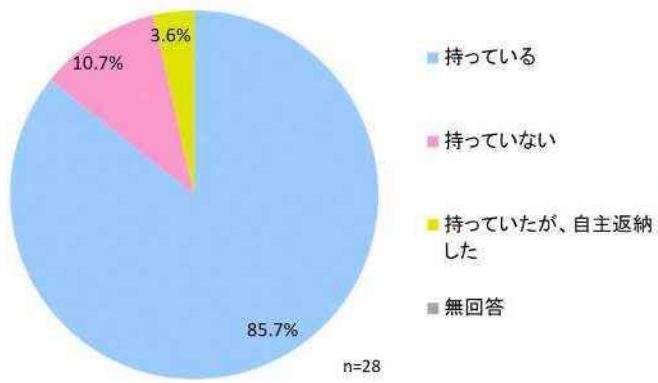


<平成30年度>

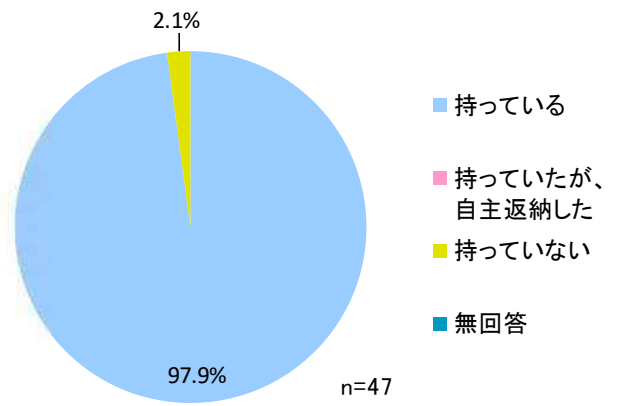


(6) 運転免許証の保有状況

<令和4年度>



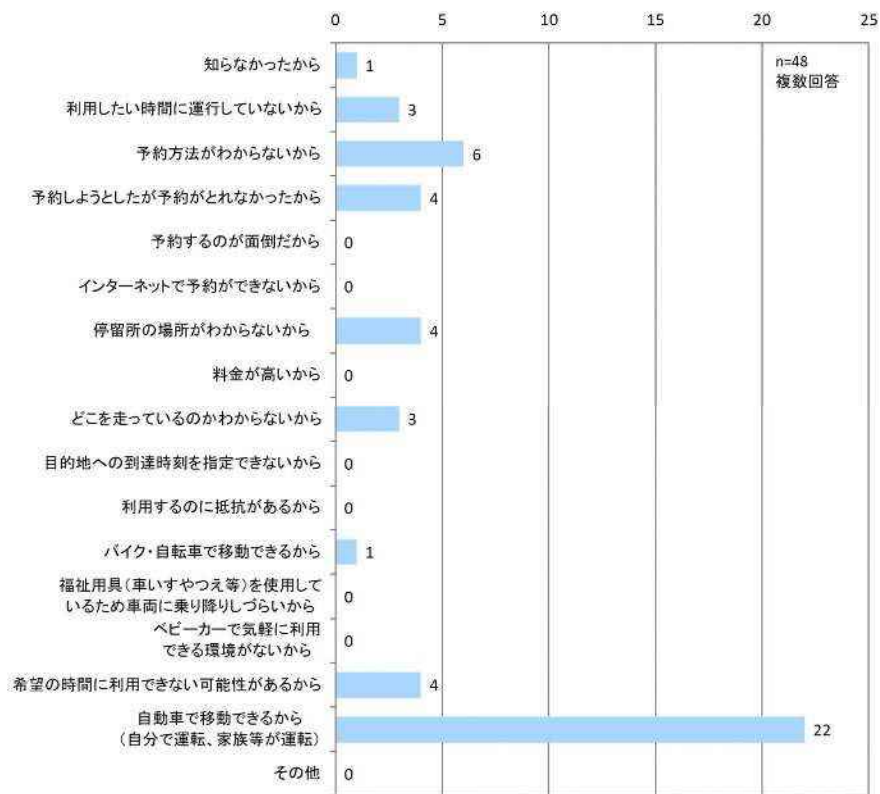
<平成30年度>



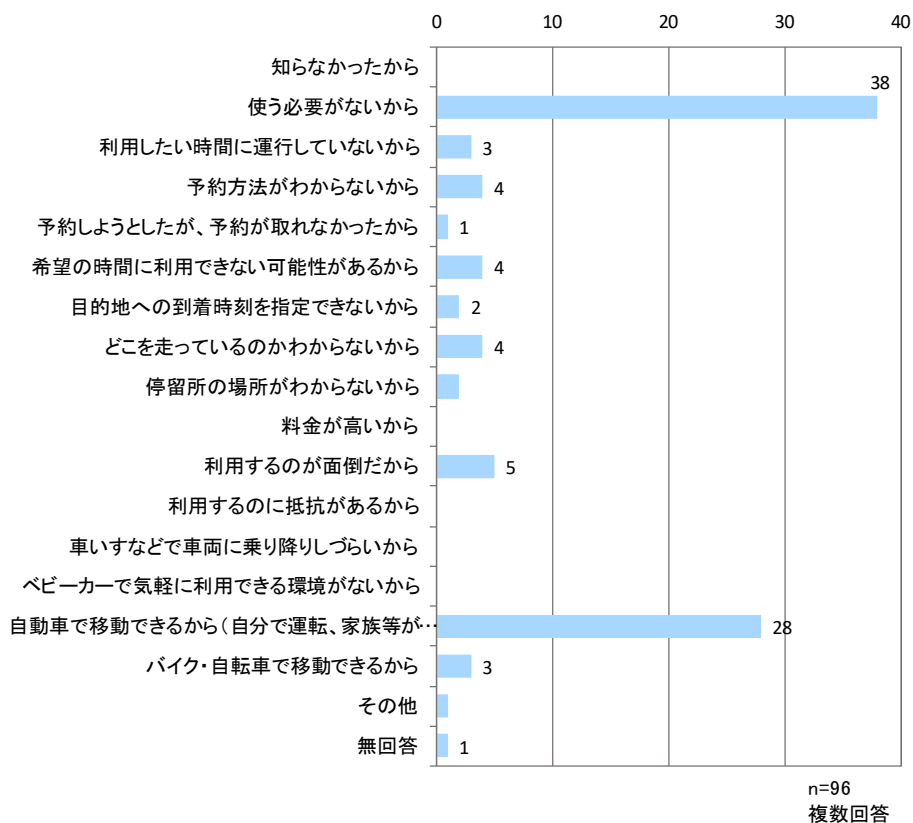
4.2.2. デマンドバスの利用について

(1) これまで利用しなかった理由

<令和4年度>



<平成30年度>



(2) 利用した停留所

<令和4年度>

行き・乗車停留所	票数	行き・降車停留所	票数	帰り・乗車停留所	票数	帰り・降車停留所	票数
宮戸農民センター	2	本庄駅南口	5	早稲田リサーチパーク	2	ベルク本庄店	2
上勝沢	2	本庄駅	2	本庄早稲田駅北口	2	宮戸農民センター	2
西小平公民館	2	UAひびきの本店	1	つきみ荘	1	上勝沢	2
日の出木村歯村	2	クレッセ	1	ピパホーム	1	西小平公民館	2
くげづか診療所	1	つきみ荘	1	ひびきの農協北支店	1	やない歯科	1
やない歯科	1	ピパホーム	1	ひびきの農協本庄北支店	1	延命地蔵尊東	1
延命地蔵尊東	1	ひびきの農協北支店	1	フレッセ	1	旧埼玉ひびきの本庄南支店	1
下仁手	1	ひびきの農協本庄北支店	1	フレッセイ児玉店	1	若泉運動公園テニスコート	1
旧埼玉ひびきの本庄南支店	1	フレッセ	1	ベシア本庄早稲田ゲート店	1	小瀬出荷所	1
栗崎	1	フレッセイ児玉店	1	メガドンキUNY本庄店	1	城下公園	1
若泉運動公園テニスコート	1	メガドンキUNY本庄店	1	児玉泉亭	1	滝瀬公会堂	1
小瀬出荷所	1	児玉泉亭	1	田所	1	田中市営住宅	1
小和田北原橋	1	早稲田リサーチパーク	1	南本庄駅	1	本庄市役所	1
城下公園	1	南本庄駅	1	本庄駅	1	矢内歯科	1
滝瀬公会堂	1	本庄市役所	1	本庄駅南口	1	計	18
田中市営住宅	1	本庄早稲田駅北口	1	本庄市役所	1		
普明寺	1	本庄総合病院	1	本庄早稲田駅	1		
本庄市役所	1	本田若泉稲荷神社前、本庄脳	1	計	19		
本庄早稲田駅北口	1	神経病院の所	1				
矢内歯科	1	計	23				
計	24						

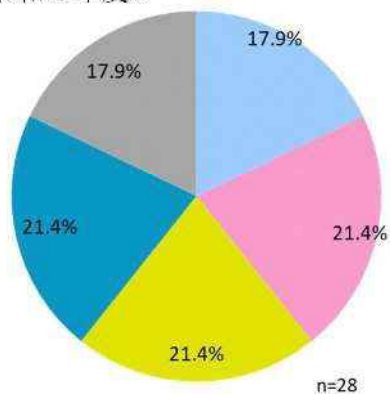
<平成30年度>

行き・乗車停留所	票数	行き・降車停留所	票数	帰り・乗車停留所	票数	帰り・降車停留所	票数
セルディ	5	稲沢出口	10	児玉総合支所	4	下真下南	2
稲沢出口	3	児玉総合支所	5	稲沢出口	3	下仁手	2
下真下南	2	はにぼんブラザ	3	ヤオコーバイパス店	2	河内ハイキング場駐車場前	2
下仁手	2	ヤオコーバイパス店	3	湯かっこ	2	久々宇東	2
河内ハイキング場駐車場前	2	湯かっこ	2	本庄駅北口	2	上真下	2
久々宇東	2	本庄駅北口	2	つきみ荘	1	上仁手	2
上真下	2	つきみ荘	1	はにぼんブラザ	1	河内ハイキング駐車場前	1
上仁手	2	ベシア本庄早稲田	1	ベシア本庄早稲田	1	共栄自治会館	1
木田歯科医院	2	ベルクベスタ本庄寿店	1	ベルクベスタ本庄寿店	1	山王堂集落センター	1
河内ハイキング駐車場前	1	ベルク本庄店	1	ベルク本庄店	1	児玉駅前	1
共栄自治会館	1	ヤオコー	1	ヤオコー	1	松澤医院	1
栗崎	1	稲沢	1	稲沢	1	上真下神社	1
埼玉りそな銀行児玉支店前	1	稲沢入口	1	埼玉りそな銀行児玉支店前	1	風洞	1
三中前	1	高柳歯科医院	1	仲町郵便局	1	本庄文化会館	1
山王堂集落センター	1	児玉支所	1	本庄市役所	1	稲沢出口	1
四季の里入口	1	青木病院	1	計	23	計	21
四方田	1	服部クリニック前	1				
児玉駅前	1	本庄市役所	1				
児玉総合運動公園入口	1	本庄早稲田駅	1				
春山歯科医院	1	計	38				
松澤医院	1						
上真下神社	1						
仁手下宿	1						
仲町郵便局	1						
飯倉新道	1						
風洞	1						
服部クリニック前	1						
本庄文化会館	1						
計	41						

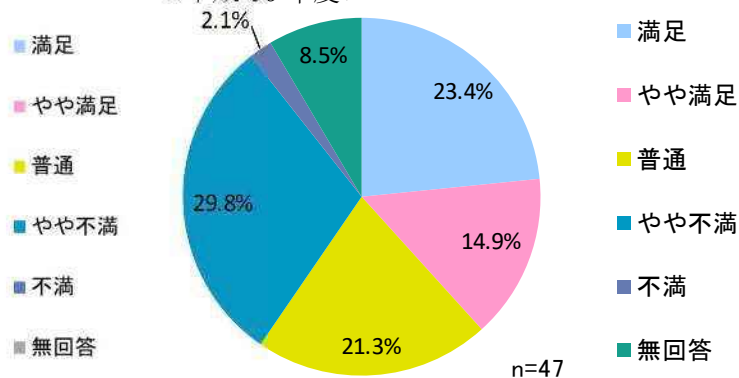
4.2.3. デマンドバスに対する満足度

(1) 予約方法や予約センターの対応に対する満足度と理由

<令和4年度>

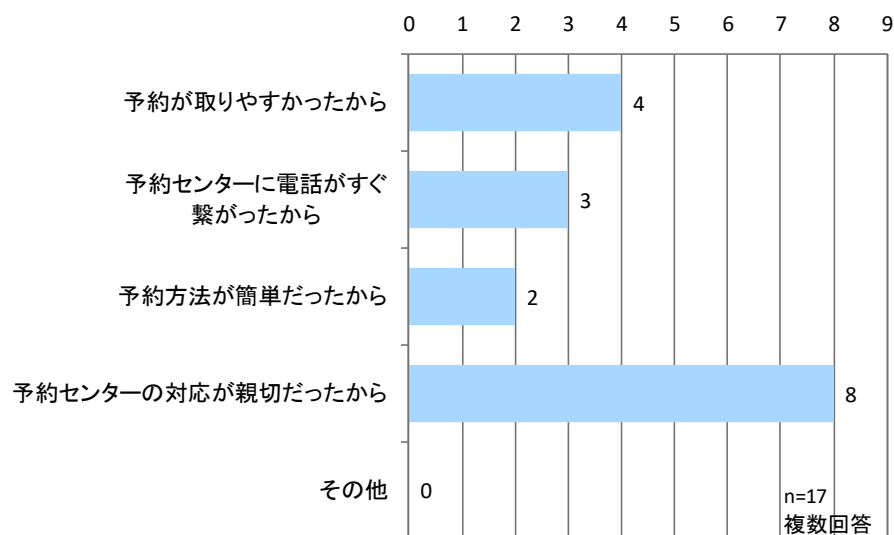


<平成30年度>

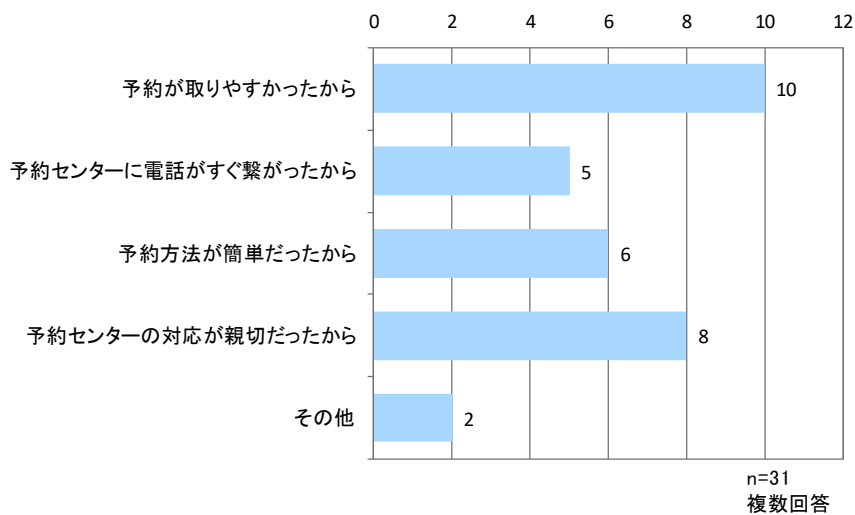


○満足理由

<令和4年度>

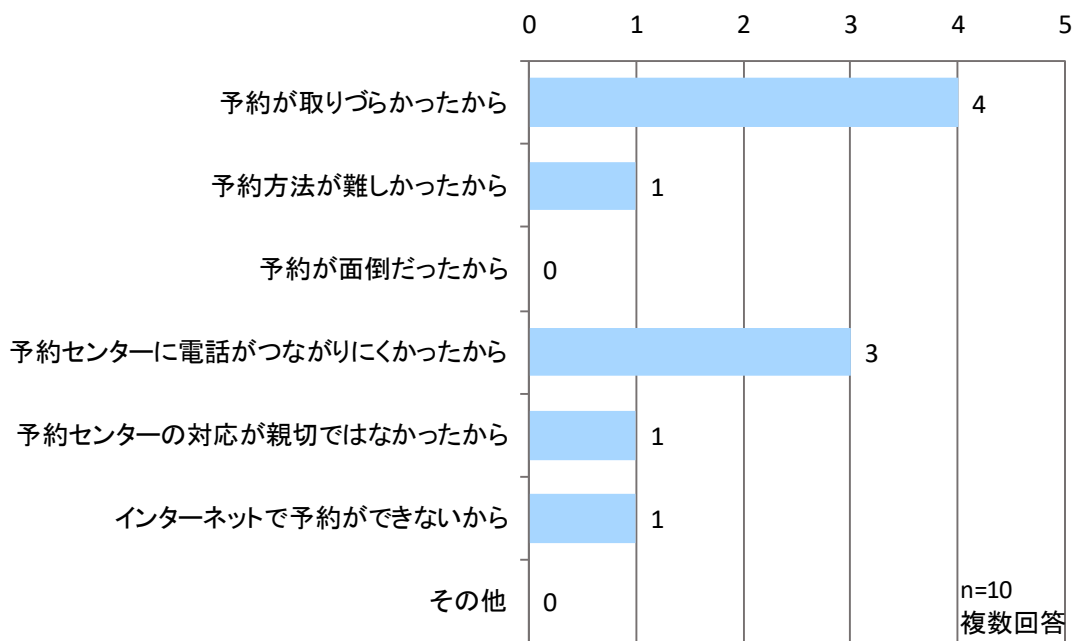


<平成30年度>

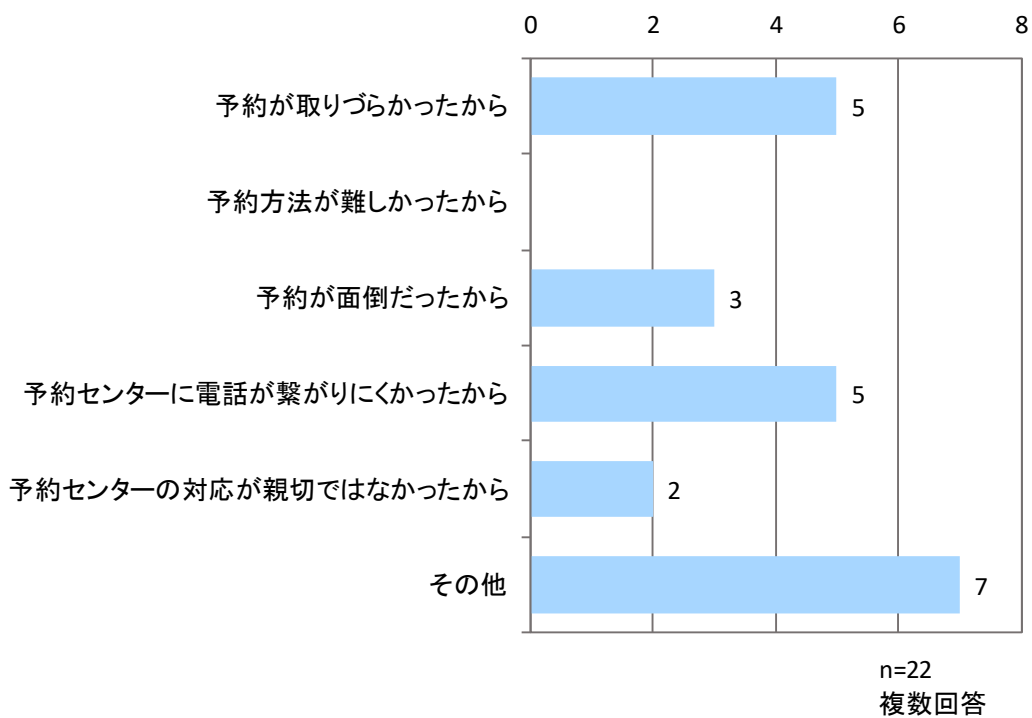


○不満理由

<令和4年度>

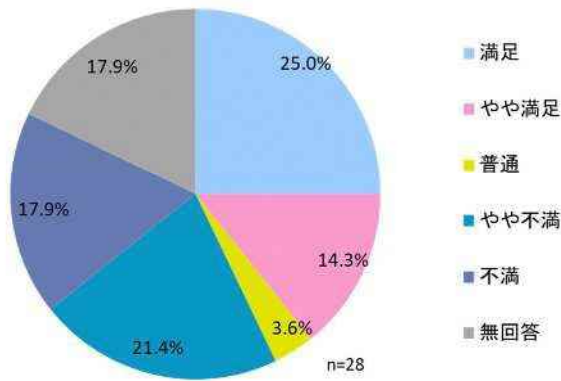


<平成30年度>

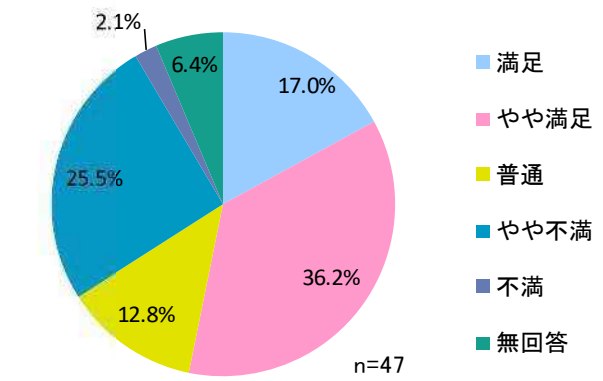


(2) 運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と理由

<令和4年度>

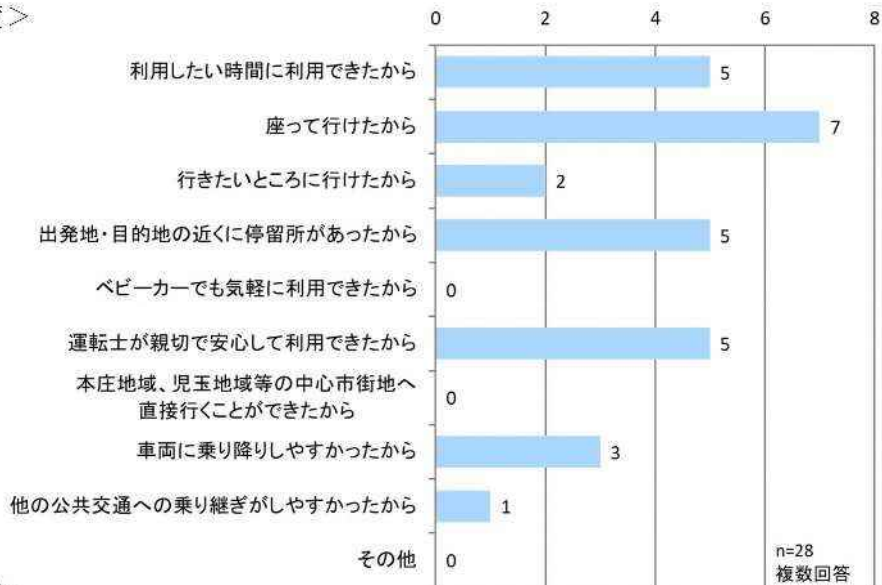


<平成30年度>

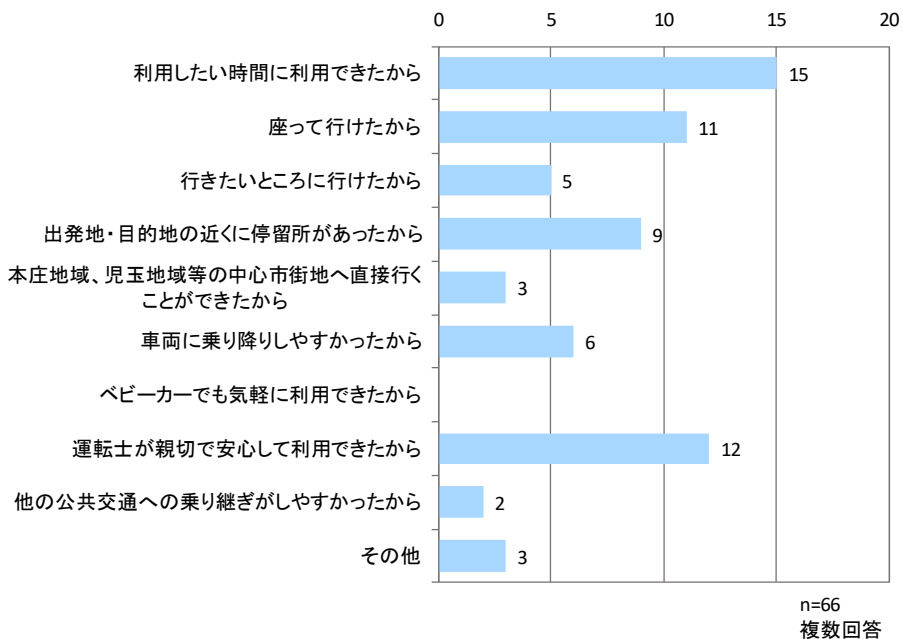


○満足理由

<令和4年度>

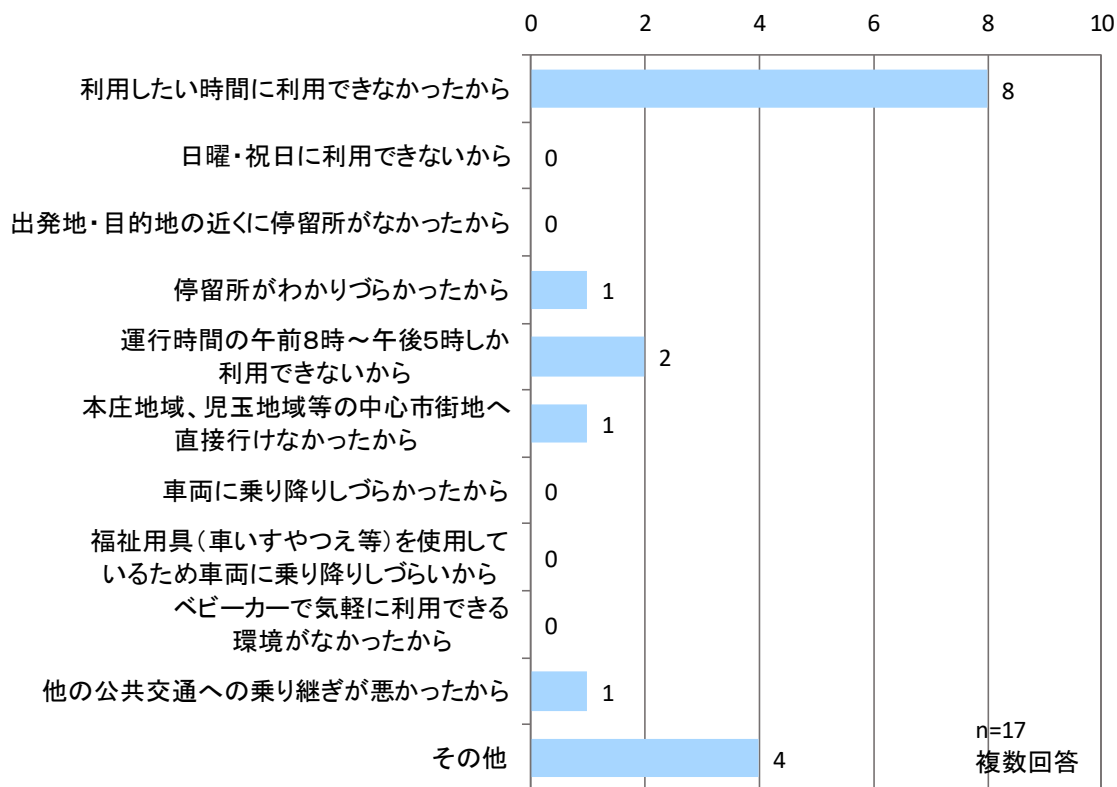


<平成30年度>

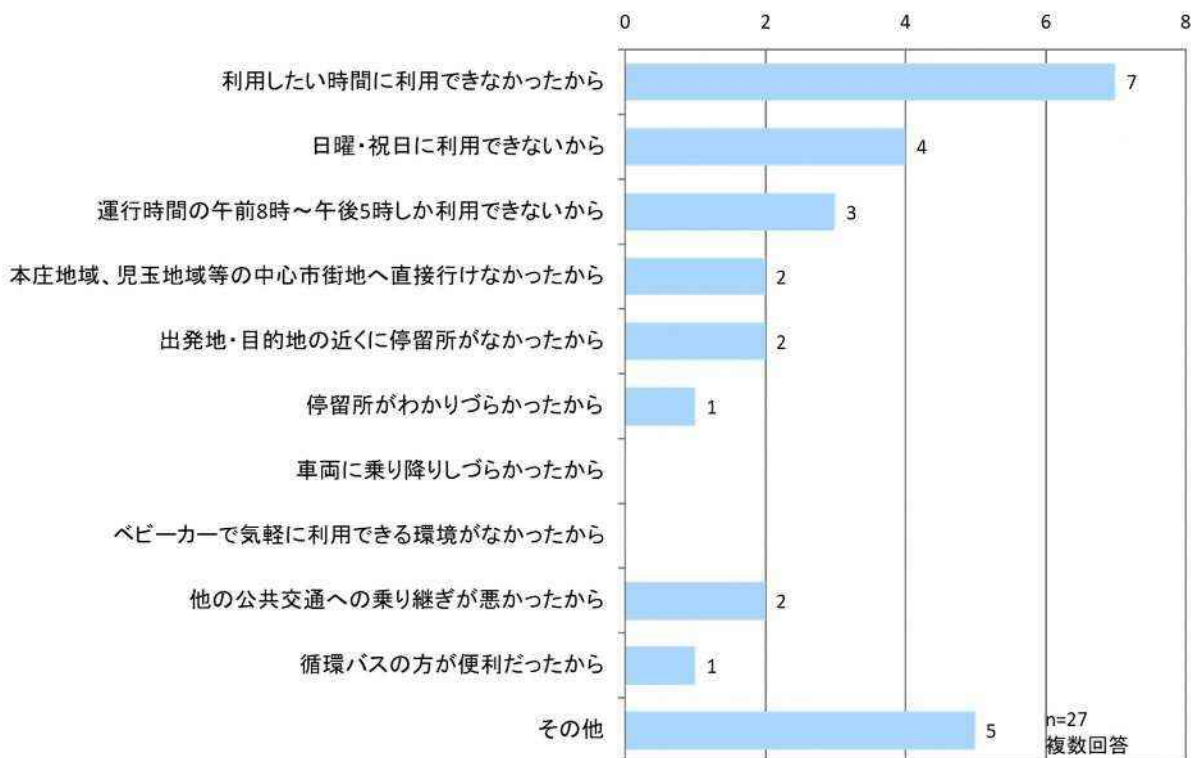


○不満理由

<令和4年度>

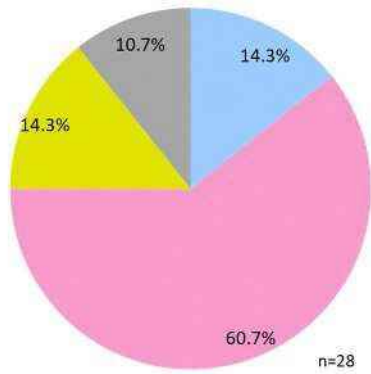


<平成30年度>

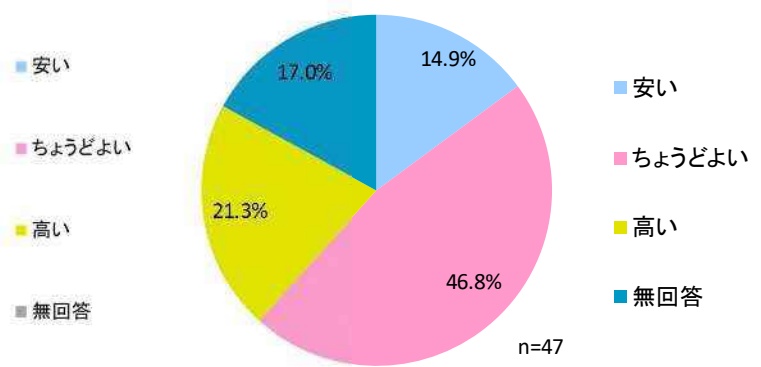


(3) 料金

<令和4年度>

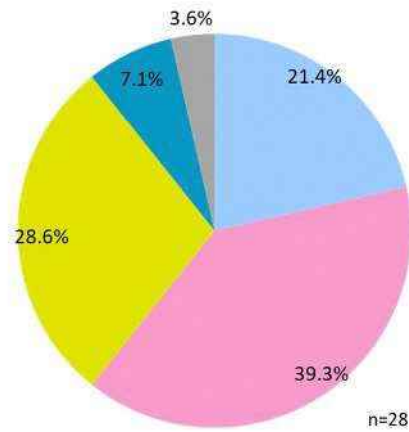


<平成30年度>

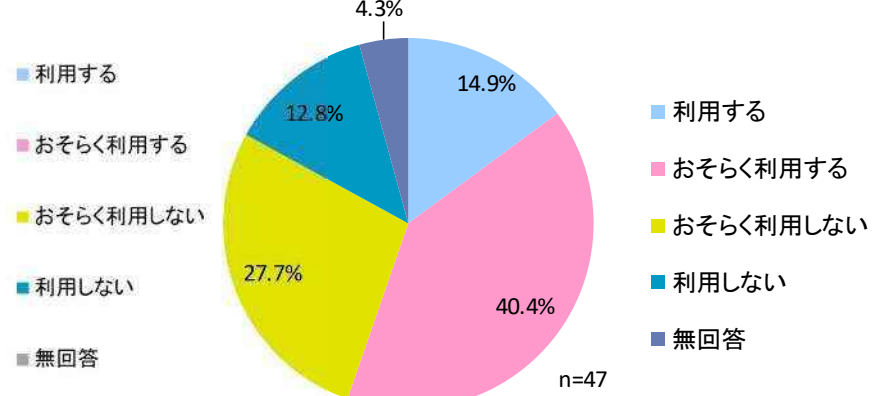


(4) 今後の利用意向

<令和4年度>



<平成30年度>



4.2.4. 自由意見

<令和4年度>

現在運転ができるので利用は考えていない。
往路復路を同時に予約できたら良い。定時運行型のシステムもあつたら良い。
運行時間が午前8時からとなっていますが、小学生の送迎が入っており、学校がある時は午前9時からしか利用できません。小学生の帰りはタクシー対応になっています。朝もタクシーで送迎が良いのではありませんか。1号車は北地域で、はにぼん号しか交通機関がありませんのですから。
前述の様に「行き」はOKだが、「帰り」はNGでは利用できない。運行台数、エリアが「はにぼん」「もといずみ」と限定されているからでは？2台を柔軟に地域限定ではなく活用した方が効率的では？現状の利用者数を公表してください。
来年、自動車免許の書き換えは無理だと思っております。時間に間に合うよう乗り合いバス(大きなバスでなく4~5人乗れば)が通ってくれたら有難いと思えます。
12時の時間帯は無いのでちょっと不便でした。
利用時間、予約に制限があるので、積極的には使えないけど、安いので時間に余裕がある時は使えると思いました。
利用したい時に利用でき、乗り換えなしで目的へ行けるタクシーの様な方法にして欲しい。
利用させて頂いて停留所から警察署まで、足が悪いので距離があつたのが大変でした。目的地近くまで乗せて頂けたら有難いです。病院もありますので。
タクシーが来ると思いませんでした。予約の時にタクシーで迎えに行きますと一言、言って欲しかったです。タクシーがはにぼん号だともう少しわかりやすい方法が良いと思えます。
運行時間が午前8時からとなっていますが、小学生の迎えのため、午前9時からでないと利用できません。小学生の送迎と一緒にするのはおかしいと思えます。予約受付の方、運転士の方、とても親切で予約受付の方は予約時間帯等、色々相談にのってくれます。
コロナ禍でのタクシータイプの車による乗り合わせは不安です。
電話の予約をもっと簡単にしてほしいです。
高齢になると歩行困難になるので、停留所までの距離が問題になります。利用したいがそこへ行くまでが大変ということです。改善の余地があると思えます。
運転免許が更新できなくなった場合には利用したいと思うが、その頃には歩くのも不自由が考えられ、停留所が遠かったり、予約も一人ではできない等が考えられる。タクシー代助成の方が良いのでは。

5. シャトルバス未利用者意識調査

5. シャトルバス未利用者調査

5.1. 調査概要

5.1.1. 調査目的

「はにぼんシャトル」(以下、「シャトルバス」という。)について、これまでシャトルバスを未利用だった方に対し、シャトルバスに対する考え方や要望等を把握し、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

5.1.2. 対象者

過去に一度もシャトルバスを利用されていない方を対象として行った。

5.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、自治会を通じて試乗券及びアンケート票を配布し、回収は郵送回収とした。

5.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用しなかった理由、利用日・利用した停留所区間
満足度	運行時間や区域などの使い勝手
考え方	料金、今後の利用意向

5.1.5. 回収結果

計 31 票の回答があった。(回収率：18% 配布数 170 部)

5.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。

はにぼんシャトルに関するアンケート調査

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

はにぼんシャトルをご利用いただき、ありがとうございます。

本庄市では誰もが歩きやすいまちづくりのために、様々な交通施策を行っております。その一つとして、JR高崎線本庄駅と上越・北陸新幹線本庄早稲田駅を結ぶシャトルバス「はにぼんシャトル」を平成25年10月より運行しています。

このアンケート調査は、これまで「はにぼんシャトル」を利用されたことのない方の「はにぼんシャトル」に対するお考えやご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年8月

本庄市長 吉田 信解

このアンケート調査票は、調査票が入っていた封筒（切手不要）に入れ、

乗車後1週間以内にお近くの郵便ポストにご投函いただきますようお願い申し上げます。

《平成25年10月より運行を開始した「はにぼんシャトル」》



はにぼんシャトル



設問1 あなた自身についてお伺いします。【項目ごとに当てはまる数字1つに○印】

①お住まい	<p>【本庄市にお住まいの方】※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____</p> <p>【本庄市にお住まいではない方】※ご記入ください。 _____ 都・道 _____ 府・県 _____ 市・区・町・村</p>		
②性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載（ ）		
③年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）		
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	<p>1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない</p> <p>※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方</p> <table border="1"> <tr> <td>使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】</td> <td>1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）</td> </tr> </table>	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）
使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 3. 車いす 4. 歩行補助つえ 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）		
⑥運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した		

初めて「はにぼんシャトル」を試乗した感想について

設問2 今まで、はにぼんシャトルを一度も利用しなかった理由を教えてください。

【あてはまるものいくつでも○印】

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 知らなかったから | 2. 利用したい時間に運行していないから |
| 3. 出発地、目的地の近くに停留所がないから | 4. 料金が安いから |
| 5. 利用するのが面倒だから | 6. 利用するのに抵抗があるから |
| 7. 走っている路線・時刻がわからないから | |
| 8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから | |
| 9. ベビーカーで気軽に利用できる環境がないから | |
| 10. 自動車移動できるから（自分で運転、家族等が運転） | |
| 11. バイク・自転車移動できるから | |
| 12. その他（ ） | |

設問5 料金設定についてあなたのお考えを教えてください。【1つに○印】

1. 安い 2. ちょうどよい 3. 高い

設問6 今後、はにぼんシャトルを利用しますか。【1つに○印】

1. 利用する 2. おそらく利用する 3. おそらく利用しない 4. 利用しない

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

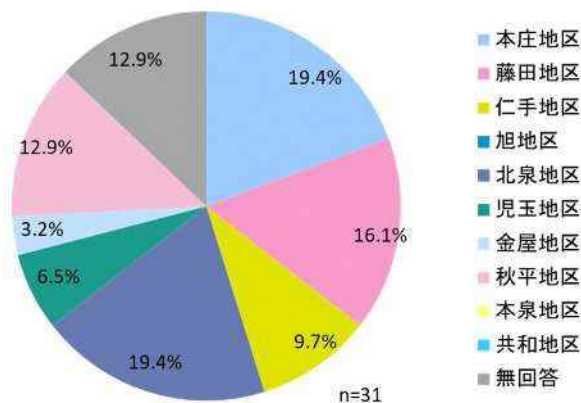


(問い合わせ先) 本庄市 都市整備部 都市計画課
住所：本庄市本庄3丁目5番3号
TEL：0495-25-1136
FAX：0495-24-0242

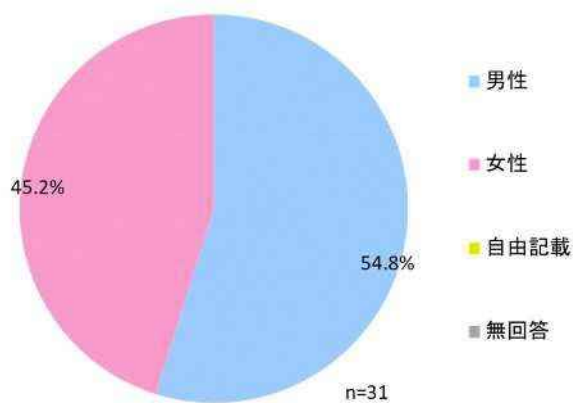
5.2. 調査結果

5.2.1. 個人属性

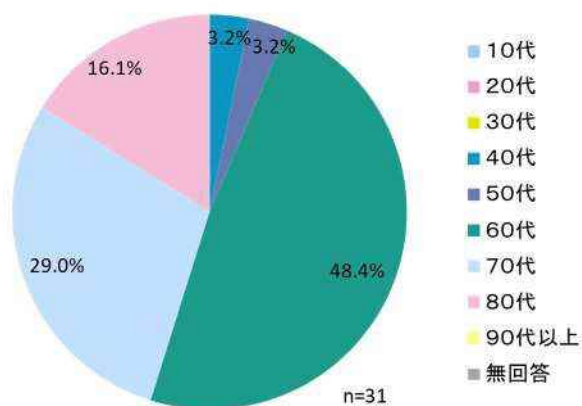
(1) お住まいの地域



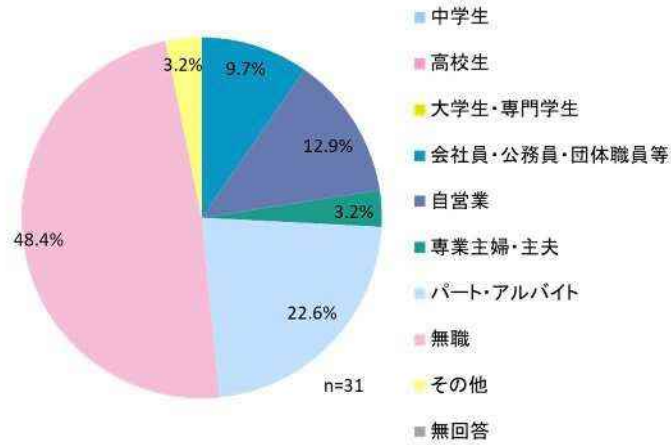
(2) 性別



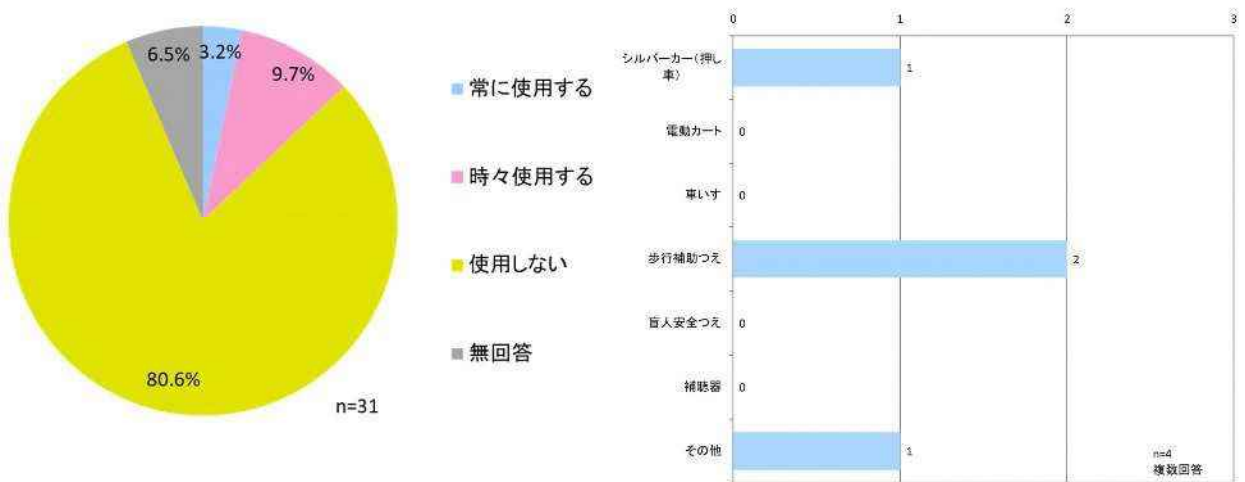
(3) 年齢



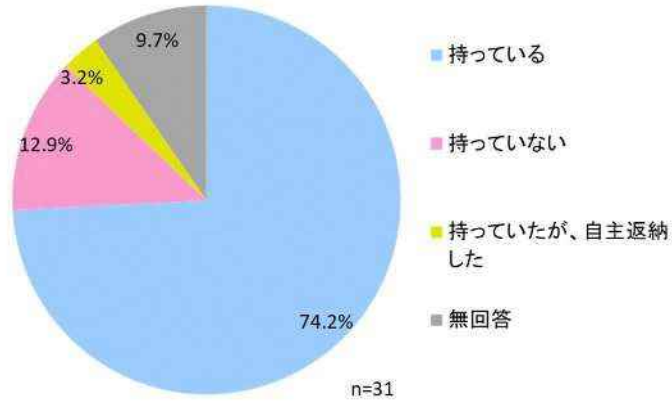
(4) 職業



(5) 福祉用具の利用状況

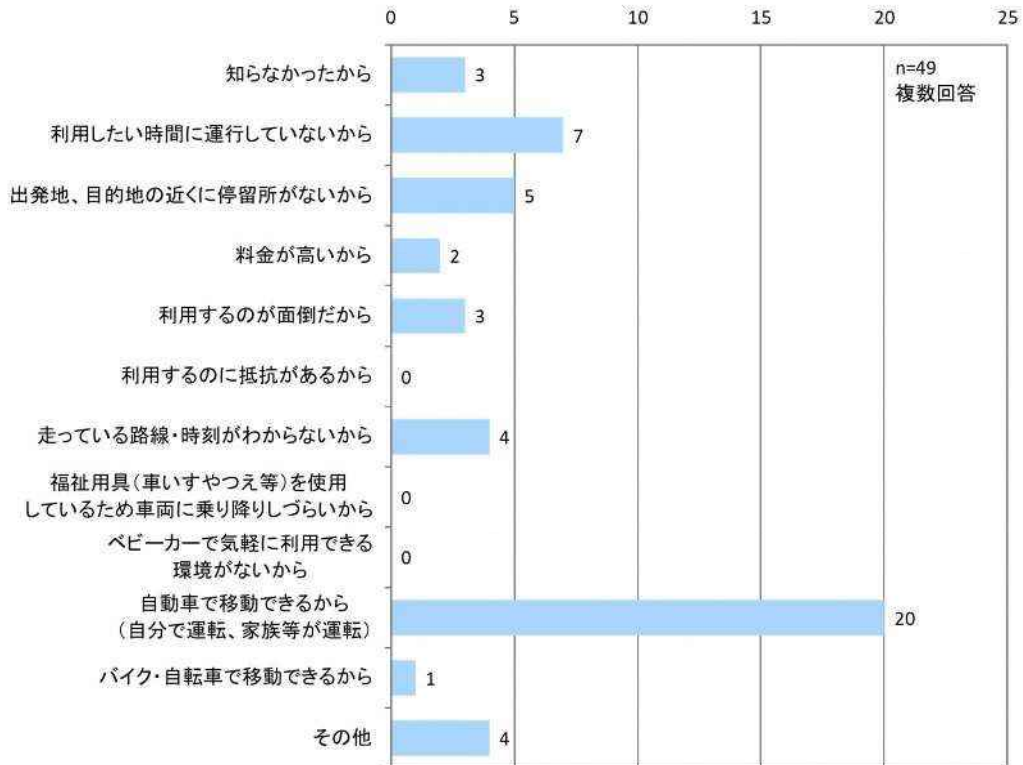


(6) 運転免許証の保有状況



5.2.2. シャトルバスの利用について

(1) これまで利用しなかった理由

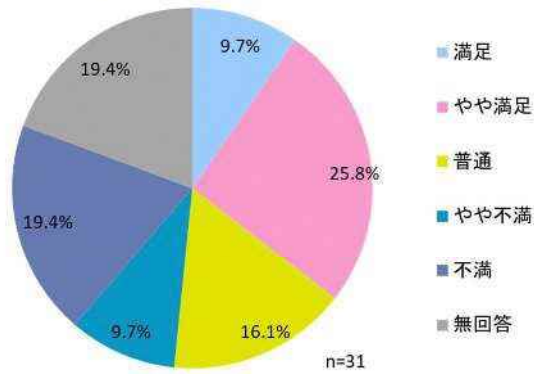


(2) 利用した停留所

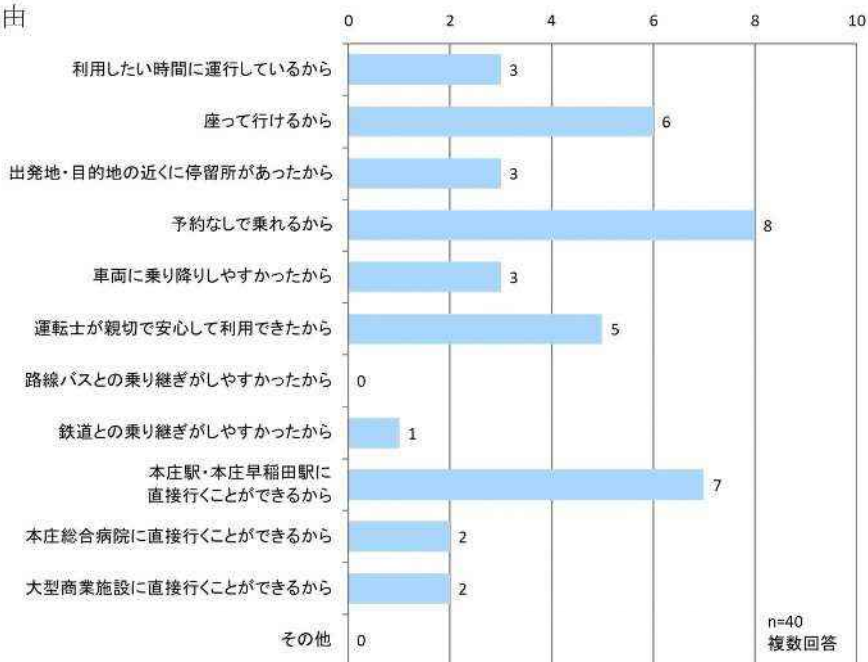
行き・乗車停留所	票数	行き・降車停留所	票数	帰り・乗車停留所	票数	帰り・降車停留所	票数
久下塚	1	メガドンキ	1	小和瀬出荷所	1	久下塚	2
児玉町下真下	1	本庄駅	2	第二金屋	1	児玉町下真下	1
若泉第一公園	1	本庄駅南口	6	本庄駅	1	法務局南	1
小和瀬出荷所	1	本庄早稲田駅	6	本庄駅南口	5	本庄駅	4
第二金屋	1	本庄早稲田駅北口	5	本庄早稲田駅	5	本庄駅南口	4
法務局前	1	計	20	本庄早稲田駅北口	2	本庄早稲田駅	1
法務局南	1			本庄早稲田北口	1	本庄早稲田駅北口	2
本庄駅	4			計	16	計	15
本庄駅南口	6						
本庄早稲田駅	1						
本庄早稲田駅北口	3						
計	21						

5.2.3. シャトルバスに対する満足度

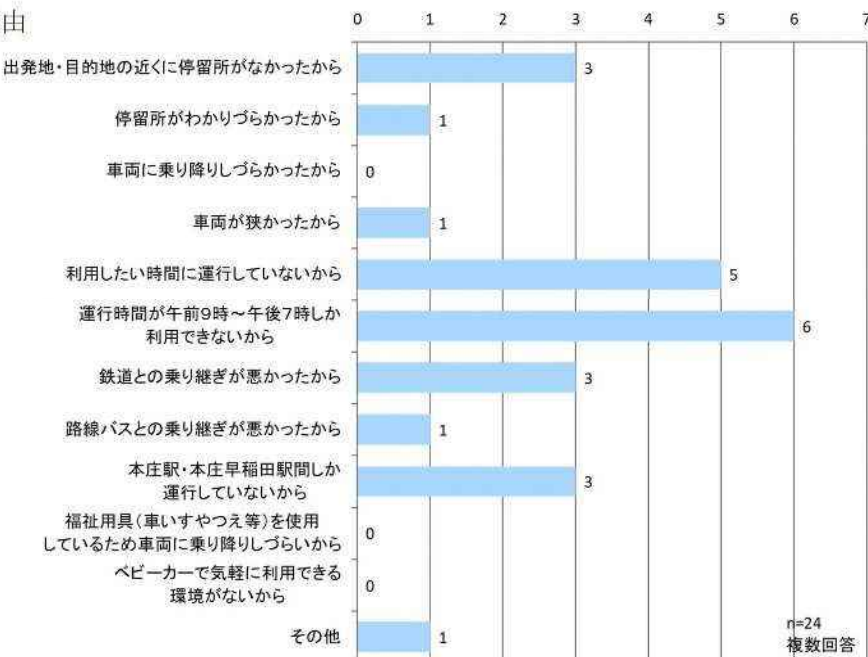
(1) 運行時間や運行区域などの使い勝手に対する満足度と理由



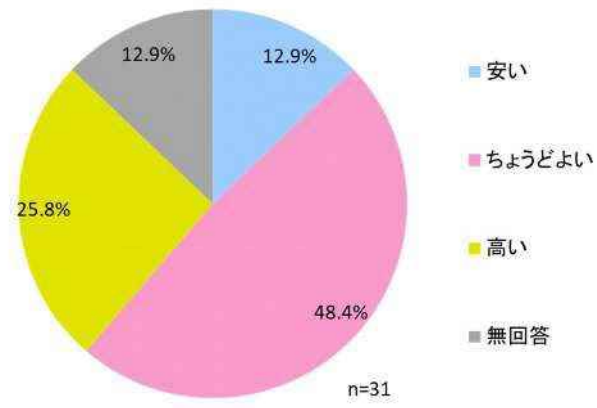
○満足理由



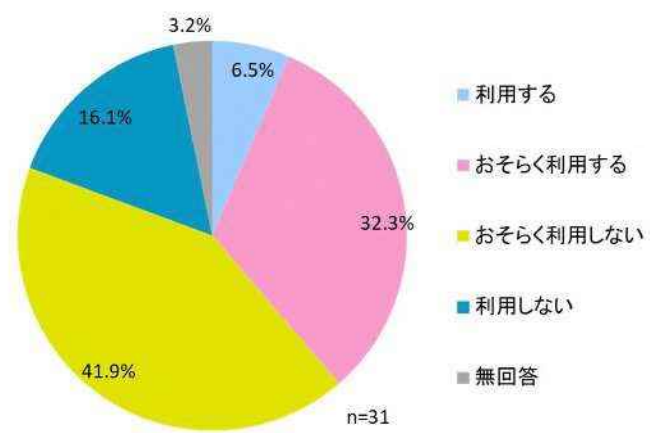
○不満理由



(2) 料金



(3) 今後の利用意向



5.2.4. 自由意見

<p>新幹線への乗車に特化してみてもどうでしょうか。新幹線を利用するのに本庄早稲田駅周辺の駐車場が少なく、駐車場を探すのに一苦労です。駅から多少遠くても駐車場から新幹線の発着時間にバス運行時間がリンクしていれば、使い勝手が良くなると思いますが。</p>
<p>東京から新幹線に乗って来て、降りて10分以内にシャトルバスに乗りたい。</p>
<p>自宅があるのは仁手です。本庄市の陸の孤島と言われています。車がないと住めない所です。本庄駅と本庄早稲田駅間の開発ばかり進み、同じ住民税を払っているのに北側は道路の修理、公共交通、何も無いです。</p>
<p>運行時間をもう少し増やして欲しい。早稲田駅に日除けの屋根があって欲しい。12時の時間帯は運行無しなのでこれも困った。</p>
<p>今回のシャトルバスについて。路線が決まっているので、停留所まで行くのが大変、億劫である。家から本庄駅なり、早稲田駅に行くなりしても、本庄総合病院の停留所に歩いて行くのであれば、直接、それぞれの駅に歩いた方が早く着く。シャトルバスにおいては、路線付近の人のみ利用メリットありではないか。</p>
<p>はにぼんバスを利用したことがある。循環バスの時は自宅近くのバス停から目的地(医者、スーパーの近く)まで、帰りはタクシーにする。足が悪いので、循環バスの時は、自宅近くのバス停から花見に何度か利用しました。今のはにぼんは風の強い日、雨が降りそうな時は前日位から目的地(駅、医者)を予約するが、ほとんど予約できない。タクシーの迎えは少し高いので、はにぼんを利用したい。帰りはタクシーを利用している。シャトルバスを使用するため、バス停まで送ってくれる人がいないため、お返します。※ポストも近くに無いです。歩いて行ける所にありません。</p>
<p>はにぼんシャトル、12時~13時も運行してたら良いなと思いました。</p>
<p>本庄駅にマイカーの駐車スペースはできないのですか？駅に送迎のマイカーが多いのにスペースがないので困ります。</p>
<p>自動車を持っていない人にとってはとても必要なものだと思います。</p>
<p>1年前とは違う自分の体。この先とても心配ですが、大好きな本庄市、53年お世話になっております。前向きに生活して行こうと思っております。</p>
<p>在来線と新幹線駅が離れているため、両駅をつなぐ交通機関は必要であり、重要な事だと思います。</p>
<p>なぜシャトルバスは午前9時からなのですか。本庄早稲田駅の時間帯をご存じですか。本庄市の北側田園地区は陸の孤島と呼ばれています。公共交通本庄ぐるりバスとかお考えはありませんか。職員の方は、本庄市にお住まいの方が少ないと、地域の事、本当にご存じですか。</p>
<p>はにぼん号について。使いたい時に利用できない(先約済み)ケースが多く、使いづらいと聞きます。特に病院の帰りは診察・会計が終わる時間が事前にわからないので、事前予約は難しいです。私は4月まで市内のタクシー会社で運転手をしていましたが、はにぼん号は使いづらいとよく耳にしていました。お年寄りや玄関→玄関が良いので、いくら停留所が400箇所近くあっても困っている人が多いです。予約が取りづらい理由として、北部1台、南部1台、児玉1台(本泉1台)と、1台を取り合いだからです。美里、神川のように公共(民間)のタクシーを利用し、初乗り運賃分を公的に補助する方が喜ぶ市民はたくさんいると思います。</p>
<p>予約に時間が掛かったので、停留所に時刻表があれば良い。</p>

6. 路線バス利用者意識調査

6. 路線バス利用者調査

6.1. 調査概要

6.1.1. 調査目的

本庄市の路線バスにおける利用実態や意見・要望を把握し、平成30年度からの変化や現状の課題等を整理・把握することで、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

6.1.2. 対象者

市内の鉄道駅3駅に発着する路線バス利用者に対して実施した。

対象駅： 本庄駅（JR 高崎線）、 本庄早稲田駅（上越新幹線）、 児玉駅（JR 八高線）

6.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、以下の日程で鉄道駅3駅に発着する路線バスの利用者に配布し、回収は郵送回収とした。

【配布日】 平日：令和4年9月7日（水）、9月9日（金）

休日：令和4年9月4日（日）

6.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用目的、利用区間、往復の利用、利用する理由
満足度	満足度と不満理由
移動手段	バス停までの移動手段と所要時間、乗り継ぐ公共交通、代替手段
考え方	路線バスの維持について

6.1.5. 回収結果

計284票の回答があった。駅ごとの回答数及び回収率は以下の通りである。

配布箇所	回収数	配布数	回収率
本庄駅	251	950	26%
本庄早稲田駅	10	18	56%
児玉駅	23	100	23%
合計	284	1,068	27%

6.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。なお、アンケート票は、配布駅により異なる。

路線バス利用に関するアンケート調査【本庄駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、路線バスを利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてホストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/1e629788d4d72759/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。



【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	【本庄市にお住まいの方】 ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____		
	【本庄市にお住まいではない方】 ※ご記入ください。 _____ 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村		
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 自由記載（ _____ ）
③年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上
④職業	1. 中学生	2. 高校生	3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ _____ ）
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない		
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方		
⑥運転免許証	1. 持っている	2. 持っていない	3. 持っていたが、自主返納した

設問2 路線バスはどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に3回以上 2. 週に1~2回 3. 月に数回 4. ほとんど利用しない

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤 2. 通学 3. 仕事での移動 4. 買い物
5. 通院 6. 趣味・習い事 7. 旅行 8. その他（ _____ ）

設問4 この調査票を受け取った日の利用区間を教えてください。【バス停名を記入】

[乗車バス停名] _____ [降車バス停名] _____

裏面へ

設問 5 この調査票を受け取った日は往復ともに路線バスを利用しましたか。【1つに○印】
片道だけ利用された方は代わりの移動手段を教えてください。

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
--------------	-------------	-------------

↓

【代わりの移動手段】【あてはまるものすべてに○印】			
1. 徒歩	2. 自転車	3. 家族の運転による送迎	4. タクシー
5. はにぼんシャトル（シャトルバス）	6. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）		
7. その他（ ）			

設問 6 路線バスを利用する理由を教えてください。【あてはまるものすべてに○印】

1. 利用したい時間に運行されている	2. 行きたいところに行ける	3. 他に利用できる手段がない
4. 本庄地域・児玉地域等の中心市街地へ直接行くことができる	5. 自宅の近くにバス停がある	6. 目的地の近くにバス停がある
7. 通勤・通学に利用できる	8. その他（ ）	

設問 7 路線バスの満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

↓

【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】	
1. 運行本数が少ないから	2. 始発（終発）時間が遅い（早い）から
3. 遅延があるから	4. 混んでいるから
5. 鉄道との乗り継ぎが悪いから	6. 運行ルートが少ないから
7. 交通系 IC カードが使えない便があるから	
8. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから	
9. その他（ ）	

設問 8 自宅から最寄りのバス停までの移動手段と所要時間を教えてください。【本庄市にお住まいの方のみ】

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 家族の運転による送迎（自動車）	5. タクシー
6. その他（ ）				所要時間 分

設問 9 この調査票を受け取った日に乗り継いだ主な公共交通を教えてください。【1つに○印】

1. 鉄道	2. 路線バス	3. はにぼんシャトル（シャトルバス）
4. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）	5. その他（ ）	
6. 乗り継ぎはしていない		

設問 10 仮に、この調査票を受け取った日に乗車された路線バスが運行されなかった場合、何で移動しますか。【あてはまるもの最大2つまで○印】

1. 徒歩	2. 自転車	3. タクシー	4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（家族等が運転）
6. はにぼんシャトル（シャトルバス）	7. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）			
8. 外出をやめる	9. その他（ ）			

設問 11 路線バスを維持するためには、市民、交通事業者、行政がみんなで支え合う必要があります。このことについてどう考えますか。【1つに○印】

1. 路線バスを維持することは必要であり、行政サービスの一つとして実施すべきである
2. 路線バスは、公的負担（税金投入）をしてまで維持する必要はない
3. 利用者が少ない場合、路線の廃止もやむを得ない
4. わからない

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日（木）までにポストに投函ください。

路線バス利用に関するアンケート調査【本庄早稲田駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、路線バスを利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてホストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/1e629788d4d72759/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	【本庄市にお住まいの方】 ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____				
	【本庄市にお住まいではない方】 ※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村 _____				
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 自由記載（ _____ ）		
③年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生	2. 高校生	3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等	5. 自営業	6. 専業主婦・主夫
	7. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他（ _____ ）		
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する			2. 時々使用する	3. 使用しない
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方				
	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車）	2. 電動カート	3. 車いす	4. 歩行補助つえ
		5. 盲人安全つえ	6. 補聴器	7. その他（ _____ ）	
⑥運転免許証	1. 持っている	2. 持っていない	3. 持っていたが、自主返納した		

設問2 路線バスはどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に3回以上	2. 週に1~2回	3. 月に数回	4. ほとんど利用しない
-----------	-----------	---------	--------------

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤	2. 通学	3. 仕事での移動	4. 買い物
5. 通院	6. 趣味・習い事	7. 旅行	8. その他（ _____ ）

設問4 この調査票を受け取った日の利用区間を教えてください。【バス停名を記入】

【乗車バス停名】 _____	【降車バス停名】 _____
----------------	----------------



設問 5 この調査票を受け取った日は往復ともに路線バスを利用しましたか。【1つに○印】
片道だけ利用された方は代わりの移動手段を教えてください。

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
--------------	-------------	-------------

↓

【代わりの移動手段】【あてはまるものすべてに○印】

1. 徒歩 2. 自転車 3. 家族の運転による送迎 4. タクシー

5. はにぼんシャトル（シャトルバス） 6. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）

7. その他（ ）

設問 6 路線バスを利用する理由を教えてください。【あてはまるものすべてに○印】

1. 利用したい時間に運行されている	2. 行きたいところに行ける	3. 他に利用できる手段がない
4. 本庄地域・児玉地域等の中心市街地へ直接行くことができる	5. 自宅の近くにバス停がある	6. 目的地の近くにバス停がある
7. 通勤・通学に利用できる	8. その他（ ）	

設問 7 路線バスの満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

↓

【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】

1. 運行本数が少ないから 2. 始発（終発）時間が近い（早い）から

3. 遅延があるから 4. 混んでいるから

5. 鉄道との乗り継ぎが悪いから 6. 路線バスで直接、児玉駅に行けないから

7. 運行ルートが少ないから 8. 交通系ICカードが使えない便があるから

9. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているため車両に乗り降りしづらいから

10. その他（ ）

設問 8 自宅から最寄りのバス停までの移動手段と所要時間を教えてください。【本庄市にお住まいの方のみ】

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 家族の運転による送迎（自動車）	5. タクシー
6. その他（ ）	所要時間	分		

設問 9 この調査票を受け取った日に乗り継いだ主な公共交通を教えてください。【1つに○印】

1. 鉄道	2. 路線バス	3. はにぼんシャトル（シャトルバス）
4. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）	5. その他（ ）	
6. 乗り継ぎはしていない		

設問 10 仮に、この調査票を受け取った日に乗車された路線バスが運行されなかった場合、何で移動しますか。【あてはまるもの最大2つまで○印】

1. 徒歩	2. 自転車	3. タクシー	4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（家族等が運転）
6. はにぼんシャトル（シャトルバス）	7. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）			
8. 外出をやめる	9. その他（ ）			

設問 11 路線バスを維持するためには、市民、交通事業者、行政がみんなで支え合う必要があります。このことについてどう考えますか。【1つに○印】

1. 路線バスを維持することは必要であり、行政サービスの一つとして実施すべきである
2. 路線バスは、公的負担（税金投入）をしてまで維持する必要はない
3. 利用者が少ない場合、路線の廃止もやむを得ない
4. わからない

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日（木）までにポストに投函ください。

路線バス利用に関するアンケート調査【児玉駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、路線バスを利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてホストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/1e629788d4d72759/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	【本庄市にお住まいの方】 ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____				
	【本庄市にお住まいではない方】 ※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村 _____				
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 自由記載（ _____ ）		
③年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生	2. 高校生	3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等	5. 自営業	6. 専業主婦・主夫
	7. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他（ _____ ）		
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する			2. 時々使用する	3. 使用しない
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方				
	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車）	2. 電動カート	3. 車いす	4. 歩行補助つえ
		5. 盲人安全つえ	6. 補聴器	7. その他（ _____ ）	
⑥運転免許証	1. 持っている	2. 持っていない	3. 持っていたが、自主返納した		

設問2 路線バスはどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に3回以上	2. 週に1~2回	3. 月に数回	4. ほとんど利用しない
-----------	-----------	---------	--------------

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤	2. 通学	3. 仕事での移動	4. 買い物
5. 通院	6. 趣味・習い事	7. 旅行	8. その他（ _____ ）

設問4 この調査票を受け取った日の利用区間を教えてください。【バス停名を記入】

【乗車バス停名】 _____	【降車バス停名】 _____
----------------	----------------



設問 5 この調査票を受け取った日は往復ともに路線バスを利用しましたか。【1つに○印】
片道だけ利用された方は代わりに移動手段を教えてください。

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
--------------	-------------	-------------

↓

【代わりに移動手段】【あてはまるものすべてに○印】

1. 徒歩 2. 自転車 3. 家族の運転による送迎 4. タクシー

5. はにぼんシャトル（シャトルバス） 6. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）

7. その他（ ）

設問 6 路線バスを利用する理由を教えてください。【あてはまるものすべてに○印】

1. 利用したい時間に運行されている	2. 行きたいところに行ける	3. 他に利用できる手段がない
4. 本庄地域・児玉地域等の中心市街地へ直接行くことができる	5. 自宅の近くにバス停がある	6. 目的地の近くにバス停がある
7. 通勤・通学に利用できる	8. その他（ ）	

設問 7 路線バスの満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

↓

【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】

1. 運行本数が少ないから 2. 始発（終発）時間が遅い（早い）から

3. 遅延があるから 4. 混んでいるから

5. 鉄道との乗り継ぎが悪いから 6. 路線バスで直接、本庄早稲田駅に行けないから

7. 運行ルートが少ないから 8. 交通系 IC カードが使えない便があるから

9. 福祉用具（車いすやつえ等）を使用しているので車両に乗り降りしづらいから

10. その他（ ）

設問 8 自宅から最寄りのバス停までの移動手段と所要時間を教えてください。【本庄市にお住まいの方のみ】

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 家族の運転による送迎（自動車）	5. タクシー
6. その他（ ）			所要時間 分	

設問 9 この調査票を受け取った日に乗り継いだ主な公共交通を教えてください。【1つに○印】

1. 鉄道	2. 路線バス	3. はにぼんシャトル（シャトルバス）
4. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）	5. その他（ ）	
6. 乗り継ぎはしていない		

設問 10 仮に、この調査票を受け取った日に乗車された路線バスが運行されなかった場合、何で移動しますか。【あてはまるもの最大2つまで○印】

1. 徒歩	2. 自転車	3. タクシー	4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（家族等が運転）
6. はにぼんシャトル（シャトルバス）	7. はにぼん号・もといすみ号（デマンドバス）			
8. 外出をやめる	9. その他（ ）			

設問 11 路線バスを維持するためには、市民、交通事業者、行政がみんなで支え合う必要があります。このことについてどう考えますか。【1つに○印】

1. 路線バスを維持することは必要であり、行政サービスの一つとして実施すべきである
2. 路線バスは、公的負担（税金投入）をしてまで維持する必要はない
3. 利用者が少ない場合、路線の廃止もやむを得ない
4. わからない

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日（木）までにポストに投函ください。

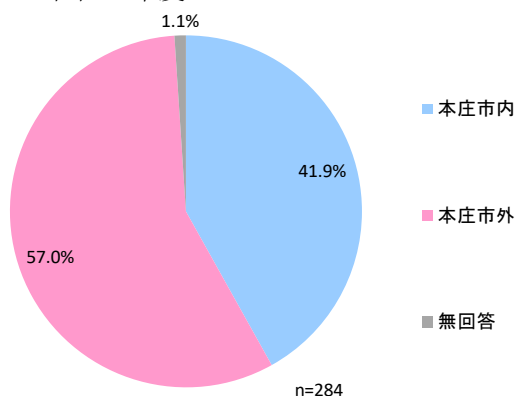
6.2. 調査結果

6.2.1. 個人属性

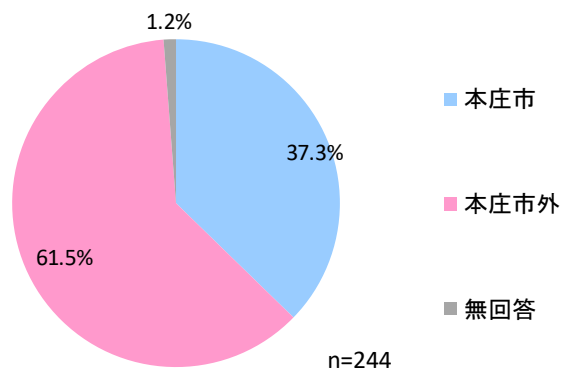
(1) お住まい地域

①全体

<令和4年度>

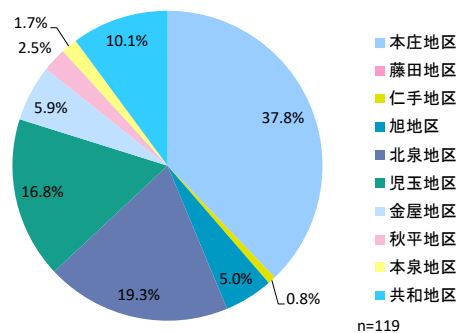


<平成30年度>

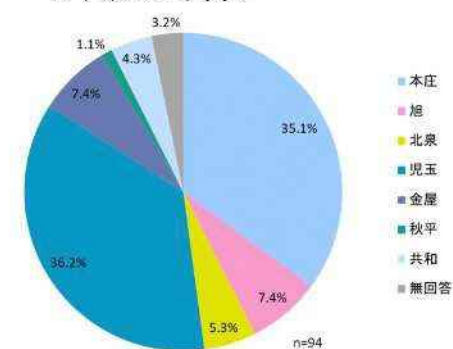


②本庄市内在住の方

<令和4年度>

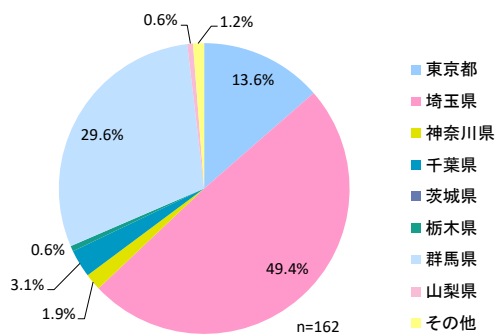


<平成30年度>

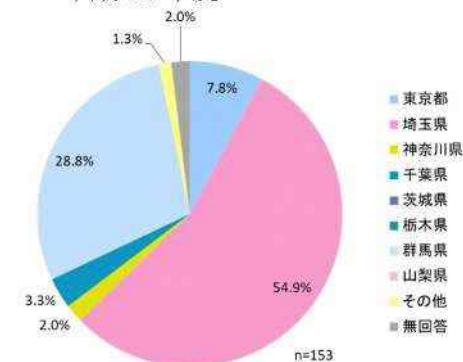


③本庄市外在住の方

<令和4年度>



<平成30年度>

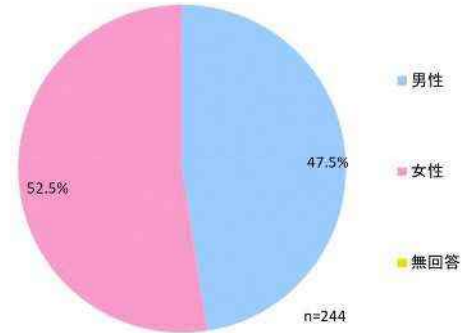


(2) 性別

<令和4年度>

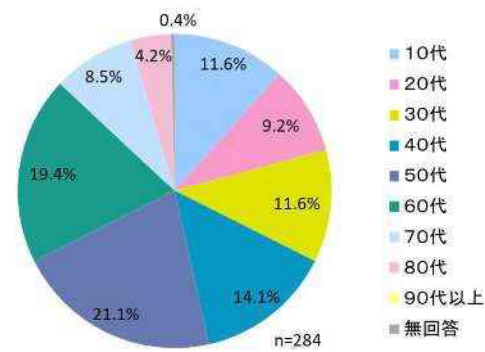


<平成30年度>

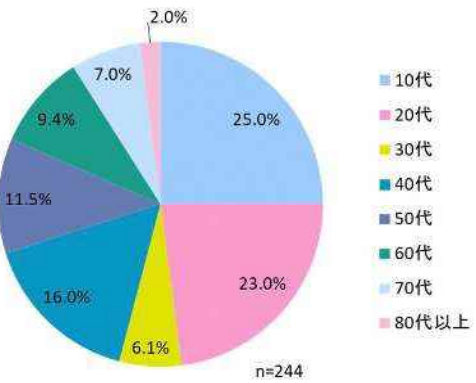


(3) 年齢

<令和4年度>

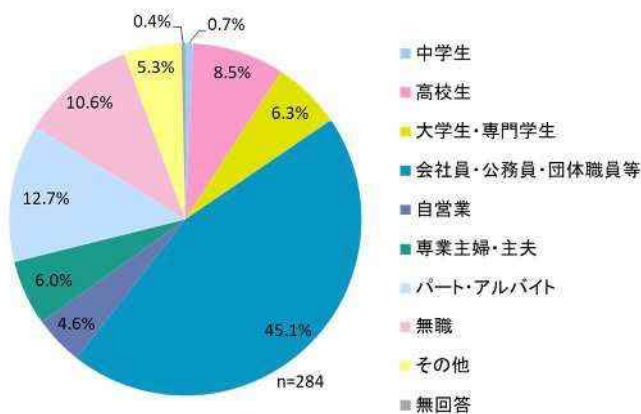


<平成30年度>



(4) 職業

<令和4年度>

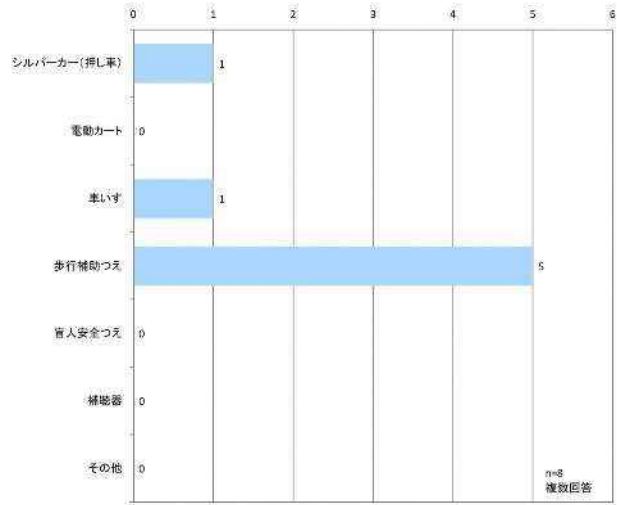


<平成30年度>

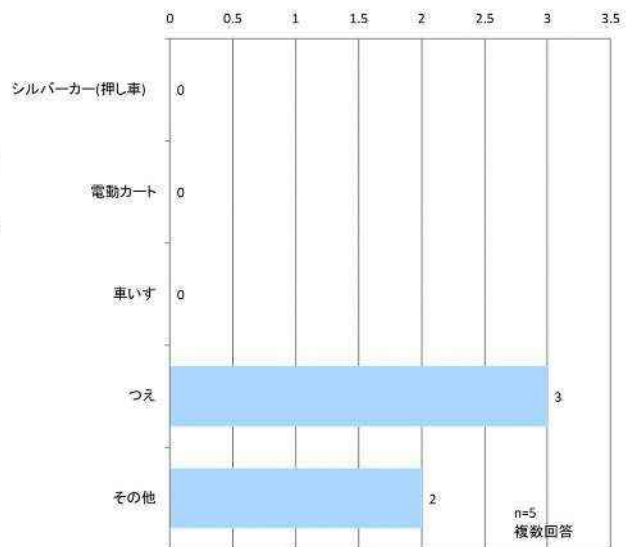
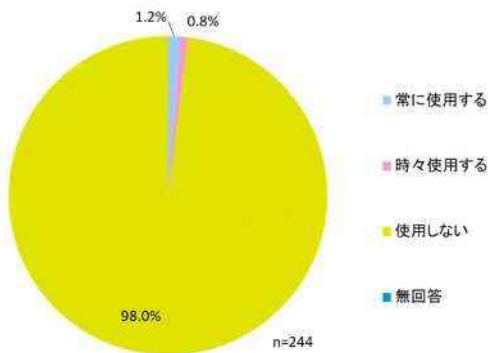


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

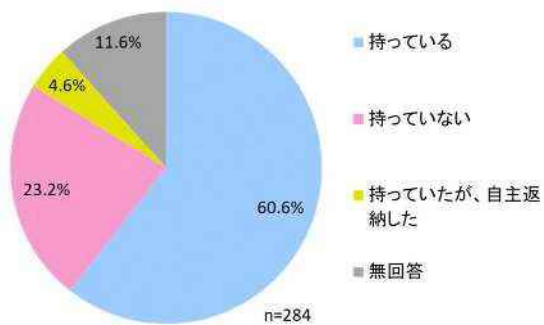


<平成30年度>

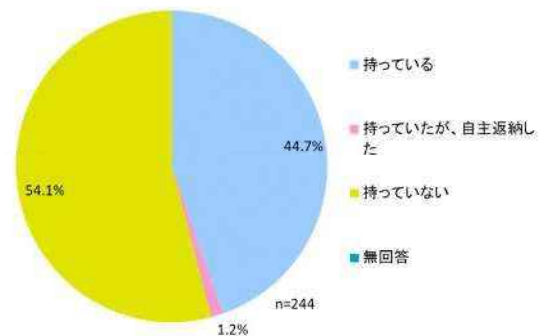


(6) 運転免許証

<令和4年度>



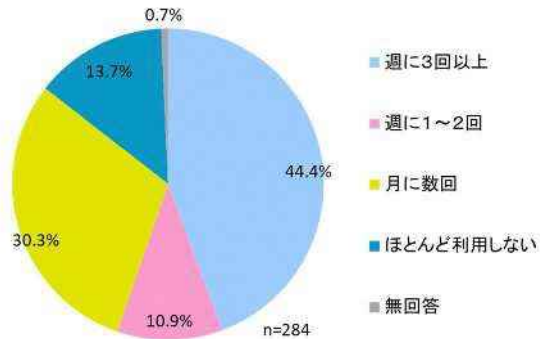
<平成30年度>



6.2.2. 路線バスの利用状況

(1) 利用頻度

<令和4年度>

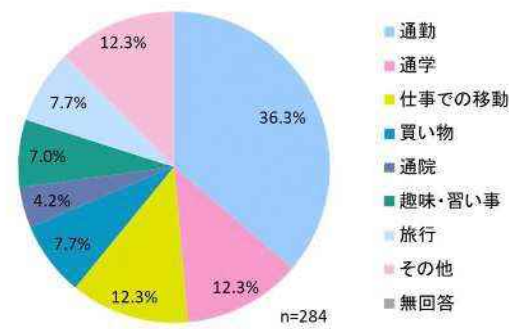


<平成30年度>

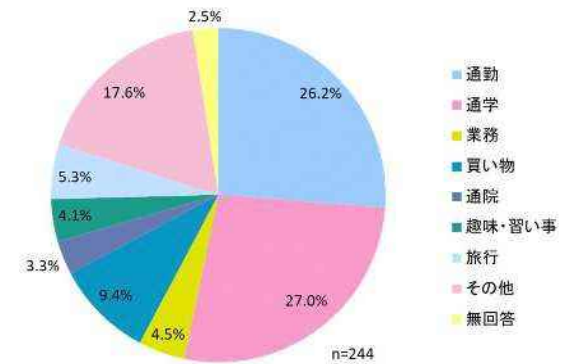


(2) 調査票を受け取った日の利用目的

<令和4年度>



<平成30年度>



(3) 調査票を受け取った日の利用停留所

<令和4年度>

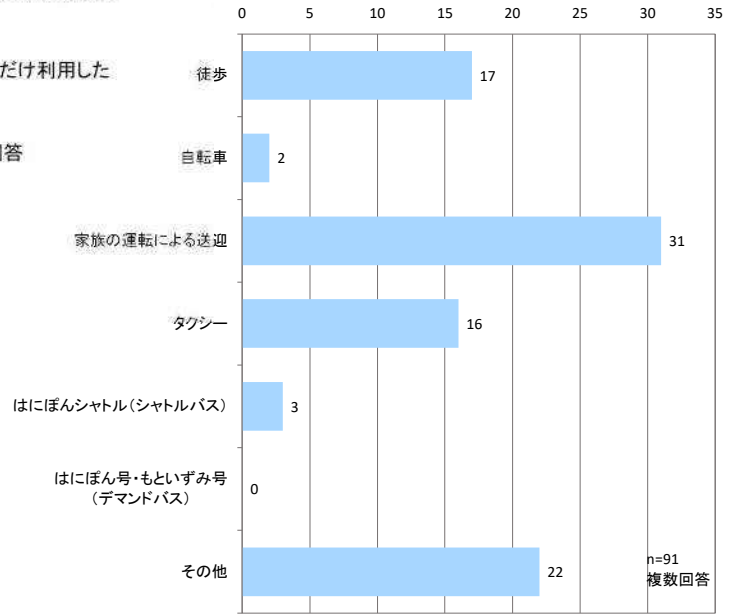
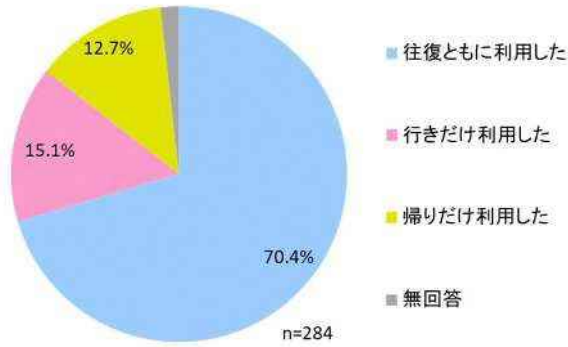
乗車バス停名	票数
本庄駅	159
児玉駅入口	19
ガード下	7
児玉折返し場	6
伊勢崎駅	5
連取元町	5
本庄高校入口	4
児玉小学校入口	3
西富田	3
高校入口	2

降車バス停名	票数
本庄駅	82
東京福祉大学	18
伊勢崎駅	13
坂東橋北詰	13
児玉駅入口	12
本庄駅北口	12
ガード下	7
本庄早稲田駅北口	6
沖電気前	5
本庄高校入口	5

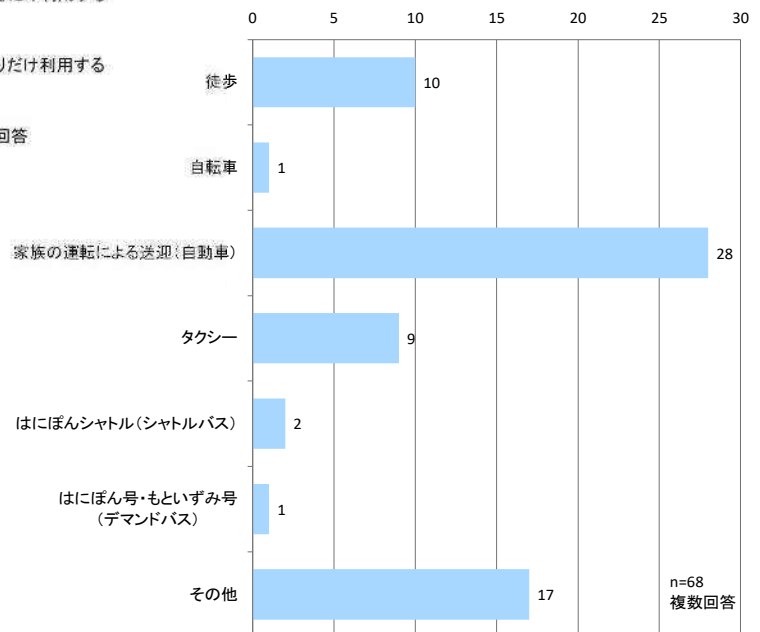
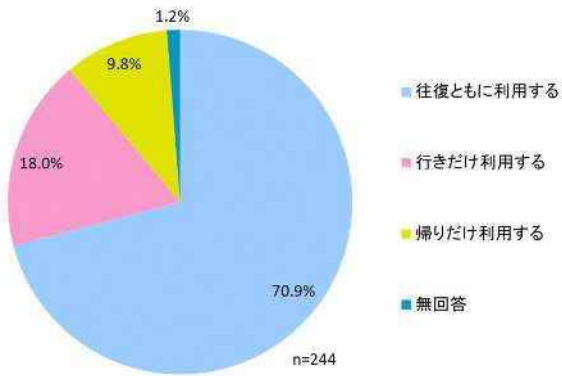
※主な停留所

(4) 調査票を受け取った日の往復利用

<令和4年度>

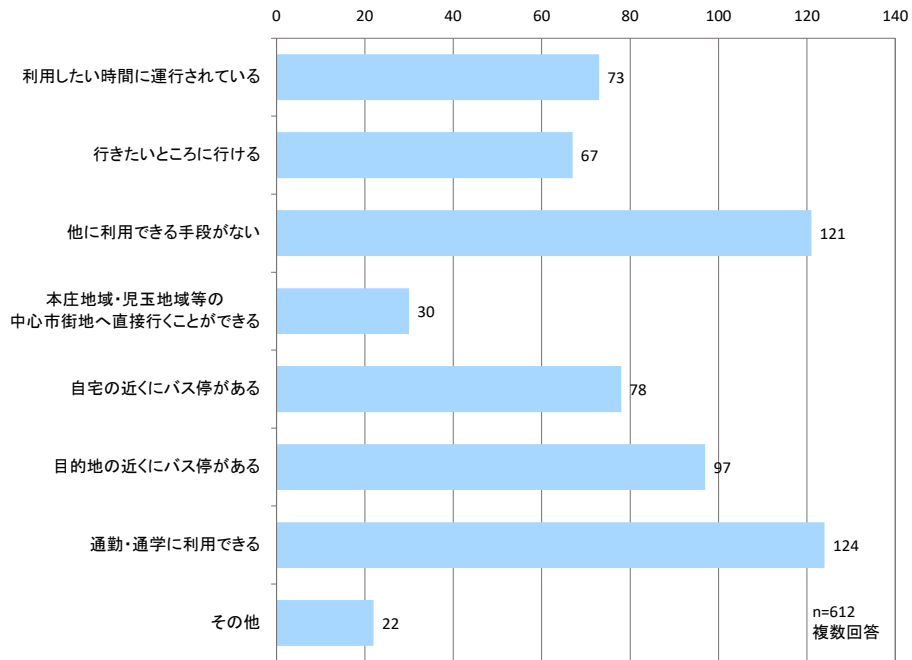


<平成30年度>

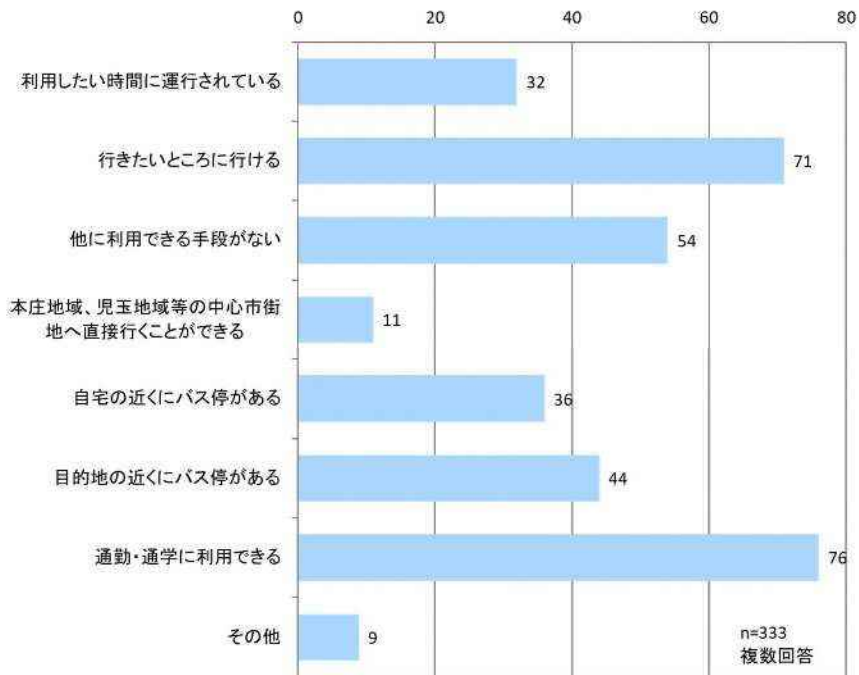


(5) 利用する理由

<令和4年度>



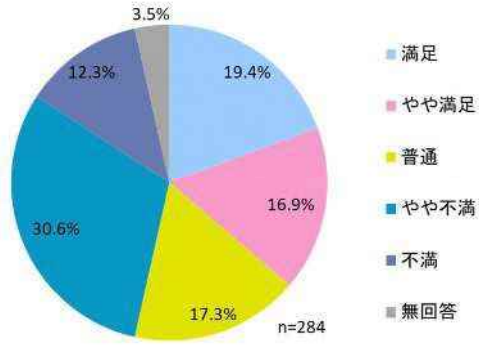
<平成30年度>



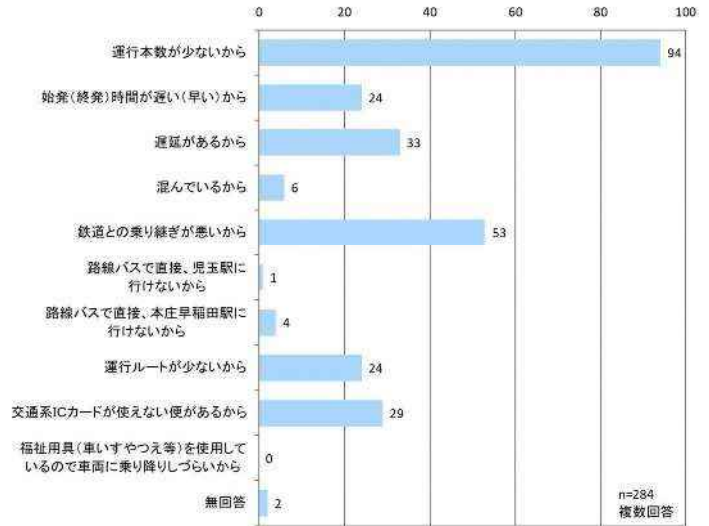
6.2.3. 路線バスの満足度

(1) 満足度

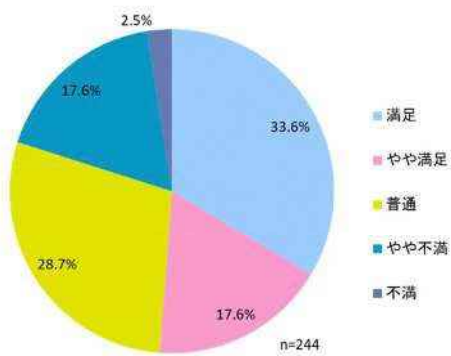
<令和4年度>



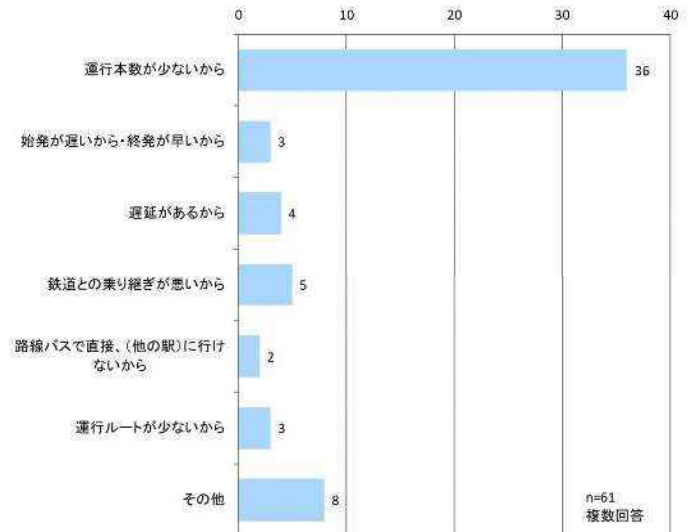
不満理由



<平成30年度>



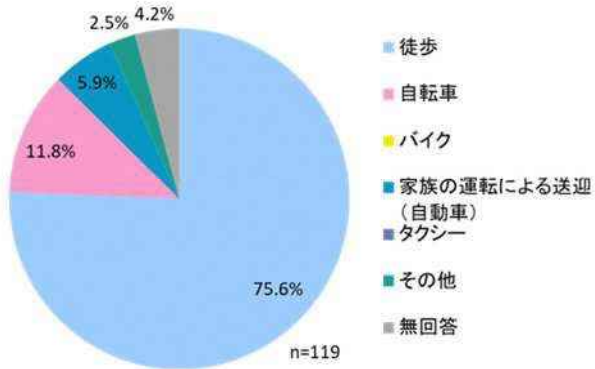
不満理由



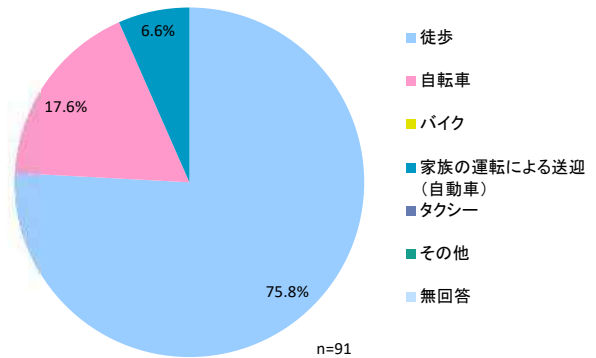
6.2.4. 移動手段について

(1) 自宅から最寄りのバス停までの移動手段（本庄市にお住まいの方のみ）

<令和4年度>

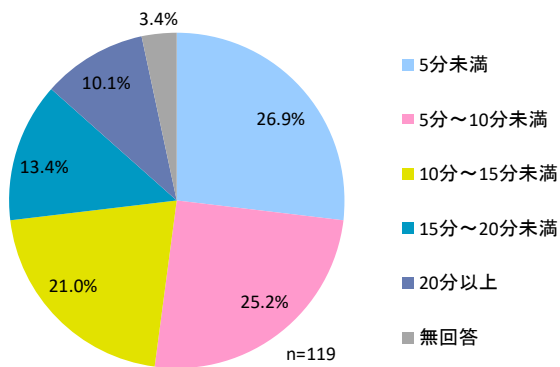


<平成30年度>



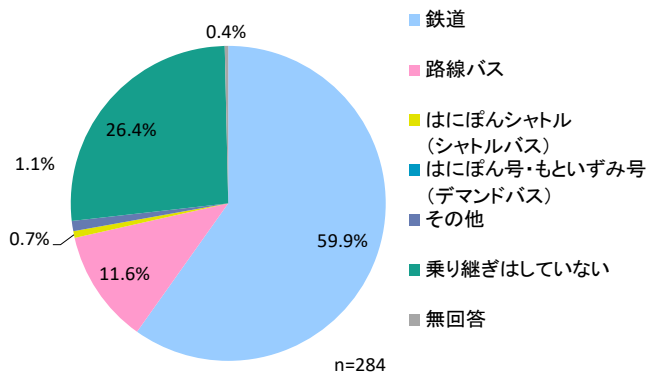
○バス停までの所要時間

<令和4年度>

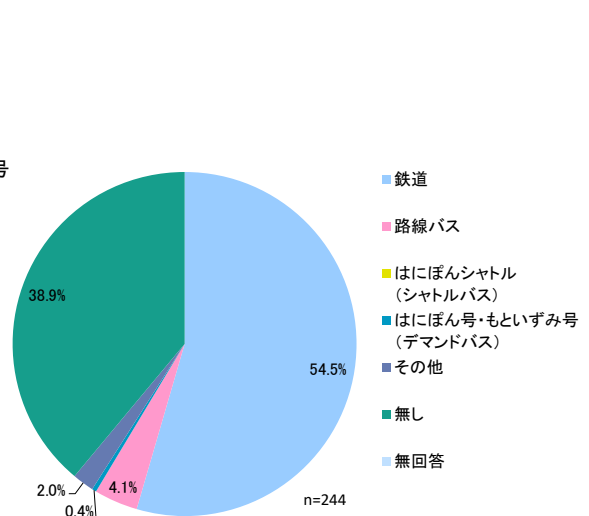


(2) 調査票を受け取った日のバスから乗り継ぐ（乗り継いだ）公共交通

<令和4年度>

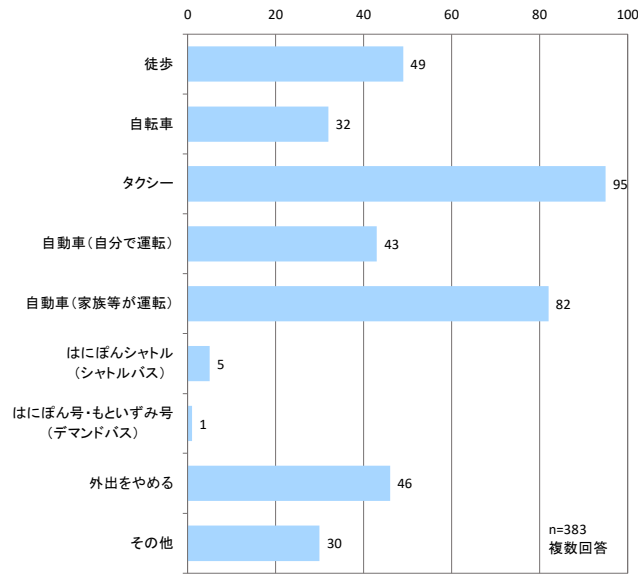


<平成30年度>

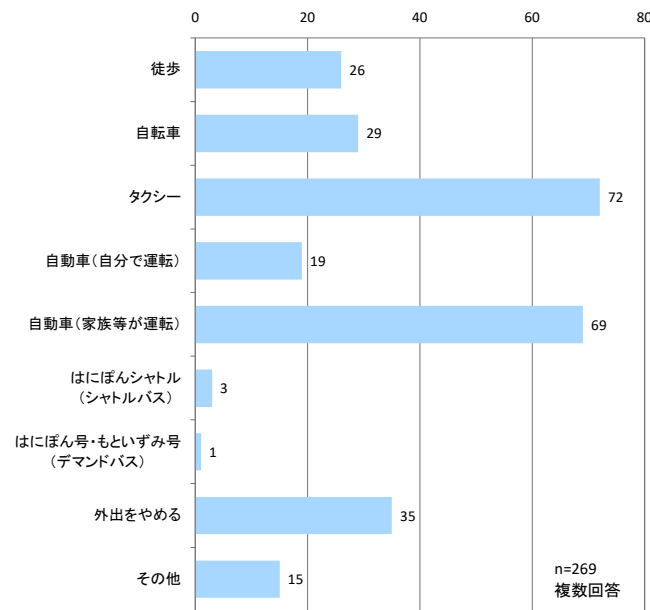


(3) バスが運行されなかった場合の移動手段 (2 つまで選択可能)

<令和4年度>



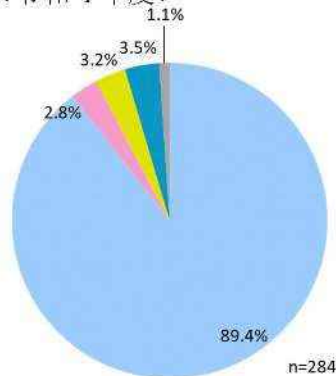
<平成30年度>



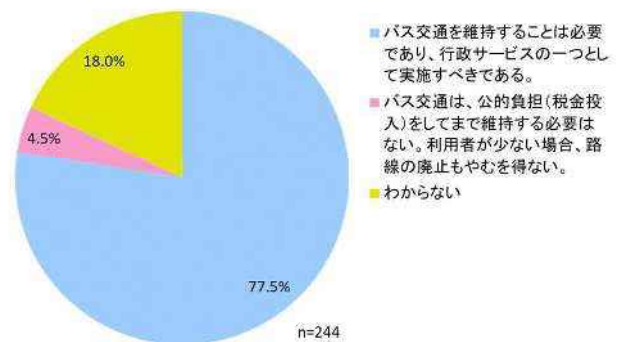
6.2.5. バス交通の維持について

(1) バス交通を維持するため、みんなで支え合う必要性

<令和4年度>



<平成30年度>



6.2.6. 自由意見

回答内容	調査箇所
鬼石地区へ移住するため利用しています。本数が増えると有難いです。	本庄駅前
マイカー規制を行い、バス利用を促進すべき(2050年カーボンニュートラルを実現するため)。	本庄駅前
高校生等(免許を持ってない人)が利用するのに必要なので維持して欲しい。	本庄駅前
鉄道+バスで通勤している者としてはとても有難いです。	本庄駅前
1時間あたりあと1本でいいので増便して欲しい。今のままでは不便である。	本庄駅前
本市市の場合、市民というより近隣の自治体の通勤・通学者(伊勢崎、神川、旧児玉等)に路線バスの恩恵があると考えられるため、公費の投入には慎重な議論が必要ではないか。新宿～伊勢崎間の高速バスの停留所誘致を行って欲しい(沼和田のほか、ローソン栄一丁目店あたり)。	本庄駅前
朝日バスの本庄駅より神泉総合支所行を利用していますが、このバスの運行があるお陰で、妻の実家の畑の手入れに行くことができ、助かっています。運転手さんも丁寧な運転をされる方が多く、乗っていて安心できます。高齢により免許返納を致しましたが、このバスが無ければ返納を遅らせ、事故を起こしたかもしれず、バスの運転本数が少ないものの、時間を合わせて乗っています。	本庄駅前
Suicaが使えることが良かった。	本庄駅前
今年に入ってバスを利用するようになった。免許返納を考えると、路線バス(伊勢崎方面)がなくなると行動範囲が制限される。	本庄駅前
午後9時以降の本数を増やして欲しい。	本庄駅前
維持するにしてもどれ位の税負担がされているかわからないが、相当額であるならば、路線の廃止もやむを得ないが、過疎化は進行すると思う。若い世代は住まなくなると思う。	本庄駅前
高崎線の運行状況が不安定なため、熊谷～本庄までの便が必要。	本庄駅前
年輪的にも買い物や電車の利用に使用したい。車に乗れなくなっても買い物等に使用したい。ドンキの前(他のスーパーの前)にも止まってくれたら良いと思います。	本庄駅前
お願いの形で述べさせて頂きます。新幹線に乗りたい時は、自分の車で行き、駐車料金を払うしかありません。本庄駅南口に行くバスの場合、現行は赤れんがのコミュニティセンターを曲がって行きます。その路線はそれとして、本庄早稲田駅経由、南口へ行く路線も混ぜて頂ければ幸いです。	本庄駅前
行先をもっと明確に。	本庄駅前
はにぼん号では本庄駅には行けないので、バスがなくなると困ります。タクシーでは片道3,000円位かかるため、高過ぎます。	本庄駅前
維持するのは難しいけれど、バス路線はあって欲しい。	本庄駅前
路線バスが無くなったら、コミュニティバスやコミュニティタクシーを充実させてください。免許の無い人の足を確保してください。	本庄駅前
遅い時間も本数を増やして欲しい。伊勢崎も特に運取方面に多くバス停が欲しい！！私は(友人も知人も)オートレース場には行かないので。オートレース場近くに欲しい！	本庄駅前
できれば30分に1本は運行して欲しい。路線廃止は極力避けて欲しい。	本庄駅前
バス料金のICカード利用。	本庄駅前
鉄道との乗り継ぎを改善してください(バス到着と同時に電車が出発)。	本庄駅前
もう少し電車とバスの時間を合わせて欲しい。	本庄駅前
通学・通勤の時間帯に運行されるものを増やして欲しい。	本庄駅前
鉄道の遅れの時などの配慮がなさすぎ。交通手段が少ない地域なのに。夕方5時台の本数を増やして欲しい。学生のバスではないと思います。	本庄駅前
出勤、朝の通学時間帯は遅延、混雑しやすいので、本数を増やして欲しいです。	本庄駅前
児玉駅から先、飯倉までの足がないので困っています。今のところ迎えに来てもらうかタクシーを利用しています。	本庄駅前
車を持っているが、ほとんど使用していないため、昔から公共交通に頼っています。雨の日や荷物の多い時やその他目的地に行く手段として、なくてはならないと思っています。特に家族に足の不自由な母がいるため、近くてもバスを利用したりするので、なくならないことを切に願います。	本庄駅前
今のまま路線バスを維持してってください。	本庄駅前
本庄駅北口ロータリー拡幅希望。	本庄駅前
駅エレベーター付近の歩道が危険(傾いているなど)(JRからバスへの乗り継ぎをしています)。バスのスロープ設置が慣れていない運転手さんには、大変ご苦労様です。スロープの収納がスムーズにできる様な改良を早急をお願いします。	本庄駅前
廃止しないで欲しい。	本庄駅前
路線バスの便数が少ない。	本庄駅前
本庄早稲田～本庄のバスの本数を増やして欲しい。	本庄駅前
この先も路線バスを存続させてください。お願いします。	本庄駅前
応援しています。頑張ってください。	本庄駅前
夜の運行本数が30分に1回ペースなので、できれば10～15分に1回は運行して欲しいです。	本庄駅前
仕事に行く時に役立っています。ありがとうございます。	本庄駅前
両替が必要な客は最後に降りるよう、アナウンスして欲しい。朝の貴重な時間を待たされるのはドキドキする。運転手により10～15分のずれがある。原因を考えて欲しい。	本庄駅前
バスは駅通りだけなので、信金とかそのべ病院はタクシー。不便で本庄には住みたくない。	本庄駅前
1時間に1本はあると良いです。	本庄駅前

回答内容	調査箇所
税金投入ありきでなく、きめ細かいダイヤを作る。人が少ない時間は小型バスで運行する。バス停の数を増やす。本庄早稲田駅周辺の住宅を通る様な運行ルートを作って欲しい。	本庄駅前
十王バスの交通系ICカード利用を早くできる様にして欲しい。	本庄駅前
これからも頑張ってください。	本庄駅前
田舎に住んでいるため、路線バス的手段しかないので、とても助かっています。	本庄駅前
運転手の方に親切に対応して頂いています。	本庄駅前
車を運転できず、親戚の力を借りられない人々にとって、バスは必要不可欠な移動手段です。人の生きる力を運ぶ路線バスの存続を希望します。	本庄駅前
特に帰りのバスは必ず遅れ、酷い時は10分近く遅れる。設定時間が間違っているか定刻運用の意識が低すぎる。行政から指導して欲しい。でも時刻表を設定しても客は混乱するだけ。せめて遅延した場合は運転手が遅延理由を説明すべき。電車は必ず行っている。バスだけが常時遅れても良い訳がない。	本庄駅前
1時間に3本位運行して欲しい。	本庄駅前
行先事に自然豊かな場所があり楽しいが、PRが少なすぎると思います。	本庄駅前
休日7時台、平日17～19時台をもっと増やして欲しいです。	本庄駅前
日中は客が少ない時、大きなバスに一人か二人しか乗らない。客の少ない時間帯は小さいバスでもいいと思う。	本庄駅前
本数が少ないので、利用しない人も多いと思います。	本庄駅前
住民が高齢化していくと、自分で運転できる高齢者が減ってくると予想できるため。	本庄駅前
設問10に書いた通り、バス通勤することで採用されました。今の仕事を続けるために今まで通り、路線バスを運行して頂きたいです。よろしく願います。運転手さんは皆親切ですよ！	本庄駅前
最終バスの時間が中途半端になっているので、あと5分位遅くして欲しい。バスがなくなったら、通学ができなくなるので絶対に続けて欲しい。	本庄駅前
ICを付けて欲しいです。	本庄駅前
とても親切な運転手さんで助かりました。	本庄駅前
路線バスは本当に有難い。	本庄駅前
仕事に行けなくなる(家族を頼るしかない)。	本庄駅前
公共交通機関の発達なくして町の発展なし。若者～車を運転しない年寄りまでが、不自由なく往来出来るバスの交通環境を優先して整備して欲しい。はにぼん号は本庄市児玉町から、全く使える便がないといつていいほど予約が難しい。誰もが日常使えるバス路線を充実、又は安定させることで高齢者もその家族も安心して暮らし、定住出来るようになる。是非改善して欲しい。	本庄駅前
設問11:NO2、NO3のような事にならないように、祈っています。	本庄駅前
日中利用客が少ないのは仕方ないですが、最寄駅までの自家用車通勤の認められない会社勤めのため、路線バスを維持してもらわないとこまる。	本庄駅前
利用状況に応じて本数は合理化し、IOTを利用して必要な時に利用できるシステムを考えてみてはどうでしょうか。	本庄駅前
自動車移動ではなく、電車、バス移動をつなげてほしい。	本庄駅前
維持して欲しい。	本庄駅前
どこへ行くにも徒歩です。バス停まではやや遠いですが、私にとっては必要不可欠です。何としても維持して下さい。	本庄駅前
路線バスを維持することは、1. 環境への配慮(SDGs) 2. 高齢者事故リスクの低減に繋がると思います。是非、積極的に改革を進めて頂きたいと思います。	本庄駅前
通勤時間帯のバス運行本数を増やして欲しいです。具体的には、平日、朝7時台、夕18時台です。	本庄駅前
20時台のバスを設定してほしい。	本庄駅前
駅に4分に着いて、5分にバスが出発してしまい、20分位待つのが悲しいです。	本庄駅前
特になし。いつも助かっています。これからもよろしくお願いします。	本庄駅前
伊勢崎～本庄間がもっと便利なら有難い。支払方法が不便。茂呂方面に行ってほしい。	本庄駅前
車の免許を持っていない者にとっては、伊勢崎～本庄までのバスは大切です。廃止はしないでほしい。	本庄駅前
本数の増加を希望します。	本庄駅前
はにぼんシャトルは使いにくい。導入した頃に一度利用したが、運転士の態度が良くなかった。	本庄駅前
運行ルートと本数をもっとあるといいです。利便性が良くなればなるほど利用者数が増えると思います。	本庄駅前
本庄駅⇄新幹線本庄早稲田駅間を徹底的に活性化させるべきである。過剰なまでに投資して名物になるくらいアイデアを尽くせ。動く歩道、10分おきの往復バスの運行、大駐車場の整備。	本庄駅前
路線の廃止だけはしないでください。	本庄駅前
いつもありがとうございます。今後鬼石に移住予定です。東京から友人がよく来るので、是非これからもよろしくお願い致します。	本庄駅前
アンケート紙では鉄道についてきていますが、webでは路線バスについての質問になっています。鉄道として回答しましたが大丈夫でしょうか？	本庄駅前

回答内容	調査箇所
バスは鉄道と違い、日々変化する道路状況によって各停留所の発着時間にバラつきが出るのは仕方ないことだと考えている。しかし、あまり本数が多いとは言えない路線において5分も10分以上も遅れるようなことが頻繁にあると、その先乗り継ぐ二次交通に間に合わなくなり、大変困る。駅発着の線区だけでも発着時間の前倒しや時刻表の改訂に取り組んでいただきたい。また、朝の混雑時等で車内に立ち客が多く居る場合、急発進や勢いの良いハンドリングは体のバランスを崩して怪我するリスクや、学生等が多い時間帯であれば、振動で誤って身体が触れてしまい痴漢を疑われるようなリスクに繋がる。研修等でバスドライバー同士で乗り合い、実際の客がどういった環境に置かれているかを実感していただきたい。	本庄駅前
通院に必ず使うので、今まで通り運行してほしい	本庄駅前
運行本数を増やしてほしい。最終乗降可能時間が早い。本庄駅との乗り継ぎ時間のタイミングが悪い。	本庄駅前
本庄市の路線バスに、生活を支えられています！バスがないと、祖母の家に介護をしに行くことが難しくなってしまう。どうか、存続できませんでしょうか。ご検討のほど、何卒、よろしくお願い致します。	本庄駅前
本庄から美里町や寄居町までの交通手段がなく路線バスがないと非常に困ります。	本庄駅前
いつもお世話になっています。運行していただき、助かります。もう少し市民が利用するような施策を考えてはどうか？ICカード等での決済も可能にし、何かを勘弁するなどのキャンペーンを図るなど。	本庄駅前
『本庄の公共交通』ではなく路線バスについてになってしまうが、運行本数が1時間に1本は欲しいし、始発・終点が駅にあるのだから、運行時間をJRに乗り継ぎ出来るよう考慮してほしい。	本庄駅前
いつも通勤に使わせていただいています。ありがとうございます。自家用車は補助手段なので、1時間に一本でも公共交通網の繋がりが続いていくことを願います。	本庄駅前
バスの本数を増やして欲しいです	本庄駅前
お願いしますから本庄駅から丹荘駅入口への19時台のバスを増やしてください。	本庄駅前
自転車置き場の料金が以前は気になった	本庄駅前
南北の移動は鉄道に任せて、鉄道駅を東西に結ぶバスルートがいいかもね 八高線の便を補完して、本上一本庄早稲田一高崎藤岡児玉寄居それぞれに向うルートも便利かもね(採算は考慮してないですけど)	本庄駅前
病気により車の運転ができなくなってから、公共交通の有り難みをより感じます。維持していくことは大変かもしれませんが、高齢者や障がい者などにとっては必要なものと感じます。	本庄駅前
五分以上バスが遅れることがあるため、電車とバスの乗り継ぎにもう少し余裕がほしい	本庄駅前
本庄一本庄早稲田駅間のはにぼんシャトルを、7時代など朝の便を数多く設定して欲しいです。朝の新幹線利用に困っています。よろしく願います。	本庄駅前
お正月やお盆など利用する人が明らかに少ない日は運行せずに休むのもありかと思います。	本庄駅前
採算が取れるよう、人口を増やす、目的地を作るなど路線バスを維持できる施策を考えた方がよい。	本庄駅前
家族も歳がとっていて、そのうちに移動集団としてバスも必要になります、どうか続けてもらいたい。今までありがとうございます、今後もよろしく願います。	本庄駅前
はにぼん号、シャトルが八斗島(坂東大橋北詰)まで運行していると助かります。	本庄駅前
武蔵観光バスは運行本数が少ないのもっと増えればいいと思います。	本庄駅前
以前本庄市に住んでいましたが、バスなどの公共交通機関が少ないため行きたいところに行くことができず、大変不便であると感じておりました。	本庄駅前
交通系電子マネーが使える様にして欲しい	本庄駅前
家族がいる場合は良いが一人世帯になった場合は家族の自家用車による送迎はできない。公共交通機関の維持はお願いしたい。	本庄駅前
バスの本数も少ないが、自宅近くにバス停が欲しい	本庄駅前
路線バスが廃止されると、これから後期高齢者になったら自動車免許を返納しようと思っているので、そうになったら娘のところにもなかなか行けなくなる。高齢者が多くなるの見込めば、児玉、本庄間の移動手段を確保してほしい。	本庄駅前
いくら車社会(地域性)でも免許返納や車を買えない人もこれからあり得ます。交通機関が整っている街は活性化します。今現在でさえ田舎交通、街のハニポンが利便性が良ければいい、しかし、ハニポンは全く不便極まりない。本庄駅から早稲田に行くのでさえ、全く使えない時間ばかり。形だけのハニポンはやめればいい。深谷市は活躍しているのを知らないのだと思う。上から目線の市長が体を使って体験すればいい。	本庄駅前
通勤通学以外の時間帯は小型バスでも良いから運転本数を増やしてもらいたい。	本庄駅前
児玉町の金屋周辺にバス停がほしい	本庄駅前

回答内容	調査箇所
<p>●バスの本数が圧倒的に少ないと思う。又金額が張るので利用しにくい。</p> <p>●デマンド交通は欲しい時間の予約が取りにくい。土日でも利用出来るようにしてほしい。</p> <p>●バス本数自体が少なく1時間に1本もない時間帯もあり、使えないことも多い。夜などは極端に少ない。もちろん運行継続を望むが改善も望む。</p> <p>●停留所標識が老朽化して見つけにくい。目立つ色を。</p> <p>●バス会社のホームページが古くて 時刻検索がしにくい。伊勢崎行のバス会社の時刻検索はし易いし、所要時間などもわかり易いので参考にしてほしい。</p> <p>●とにかく車に乗らない人への関心が低く、人権がないなど感じます。都内のバス会社なども参考に、今後は高齢者が増加していきますし、お年寄りや交通弱者の目線に立った改革をお願いしたいです。期待しております。よろしく願い致します。</p>	本庄駅前
<p>私の出身地は広島県尾道市なので、地方都市の交通移動の状況や、サービス・パーキングエリアが無く、市税に何の恩恵も無い高速道路による通過交通の多さや在来線駅と新幹線駅が離れているなどはそんなに変わらないが、本庄市は路線バスで行くことが出来る場所が少なすぎる。出来れば自家用車かカーリースをしたいが、会社からの交通費補助額や万が一の事故等のリスクを考えると公共交通機関を使わざるを得ない。本庄早稲田と本庄駅間は、はにぼんシャトルがあるが、絶望的に使い勝手が悪過ぎる。出張で使いたいのには新幹線を使いたくても、東京駅までタクシーと新幹線代と合わせて5000円近く掛かり、バカバカしくなる(新幹線代は旅費精算出来るが)。当該事業者(十王バス)は東武グループを離れ経営形態は変わったが、早期に群馬県内のバス会社のグループで運用されているシステムを活用し、交通系ICカードを使えるようにしてほしい。</p>	本庄駅前
<p>高齢者は自分で運転できない。公共の交通機関は健康に動くために必要です。</p>	本庄早稲田駅前
<p>寄居病院で降車された方も居たので、寄居病院でもアンケートを行った方が良いのではないかと思います。</p>	本庄早稲田駅前
<p>早稲田駅と本庄駅が離れているので、通勤の時間にもっとバスの本数増やすべき。(不便)</p>	本庄早稲田駅前
<p>新幹線停車駅前のバスで一日六往復は少なすぎると思います。</p>	本庄早稲田駅前
<p>本庄総合公園やゆかっこにも時間で運行するバスを作って欲しい。</p>	本庄早稲田駅前
<p>児玉高校は統合されて白楊高校の場所になるので、バス停を白楊の方に設置してください！絶対をお願いします！児玉駅入口から白楊まで、暑い日、雨の日歩きがとても辛いです！また、バス停から白楊までの歩きの道で、車のスピードが速くてコワイ思いも何度もしました。他の子達も言っていたので、是非バス停をお願い致します。</p>	児玉駅前
<p>昨年まで白楊高校に通学していたが、バス停からの距離があるため途中で利用をやめてしまったので、もう少しルートを変えて、近くにバス停があると学生の利用が増えると思った。</p>	児玉駅前
<p>路線バス廃止は絶対反対です。</p>	児玉駅前
<p>帰りの時間は4:00位の時刻で帰りたい。</p>	児玉駅前
<p>学校の近くに、バス停があると、ありがたいです。</p>	児玉駅前
<p>路線バス廃止しないでください</p>	児玉駅前
<p>路線バス、八高線の運行本数を増やして欲しい</p>	児玉駅前
<p>路線バスは高校生にとって必要不可欠です。</p>	児玉駅前
<p>高齢者や免許 返納者が増えていくので、行動範囲を広げる為にも公共交通の維持をお願いしたい。</p>	児玉駅前

7. 鉄道利用者意識調査

7. 鉄道利用者調査

7.1. 調査概要

7.1.1. 調査目的

本庄市の鉄道における利用実態や意見・要望を把握し、平成30年度からの変化や現状の課題等を整理・把握することで、今度の本庄市における交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施することを目的とする。

7.1.2. 対象者

市内の鉄道駅3駅にて実施した。

対象駅： 本庄駅（JR 高崎線）、 本庄早稲田駅（上越新幹線）、 児玉駅（JR 八高線）

7.1.3. 配布回収方法

配布回収方法は、以下の日程で鉄道駅3駅の利用者に配布し、回収は郵送回収とした。

【配布日】 平日：令和4年9月7日（水）、9月9日（金）

休日：令和4年9月4日（日）

7.1.4. 設問設定

設問内容を以下の表に示す。

項目	設問内容
基本属性	お住まい、性別、年代、職業、福祉用具の利用状況、運転免許証保有状況
利用状況	利用頻度、利用目的、利用区間、往復の利用、駅までの移動手段
満足度	乗り継ぎの満足度
各駅について	【本庄駅】 本庄駅周辺に求める機能・スペース 【児玉駅】 時間貸し駐車場の必要性、児玉駅周辺に求めるもの

7.1.5. 回収結果

計362票の回答があった。駅ごとの回答数及び回収率は以下の通りである。

配布箇所	回収数	配布数	回収率
本庄駅	223	700	32%
本庄早稲田駅	90	220	41%
児玉駅	49	160	31%
合計	362	1,080	34%

7.1.6. アンケート票

以下の設問票を配布した。なお、アンケート票は、配布駅により異なる。

鉄道利用に関するアンケート調査【本庄駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、鉄道を利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてポストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/bb409a181bcfe7bb/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	【本庄市にお住まいの方】※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____		
	【本庄市にお住まいではない方】※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村 _____		
②性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載（ ）		
③年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上		
④職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学校生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）		
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない		
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方 使用する福祉用具 1. シルバーカー（押し車） 2. 電動カート 【あてはまるもの 3. 車いす 4. 歩行補助つえ すべてに○印】 5. 盲人安全つえ 6. 補聴器 7. その他（ ）		
⑥運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した		

設問2 鉄道はどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に5回以上	2. 週に3回程度	3. 週に1回程度
4. 月に1回程度	5. 年に数回程度	6. 年に1回未満

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤	2. 通学	3. 仕事での移動	4. 買い物
5. 通院	6. 趣味・習い事	7. 旅行	8. その他（ ）



設問4 この調査票を受け取った日の出発駅・目的駅について教えてください。

本庄駅から乗車	<目的駅>	() 駅	※どちらの駅に向かわれましたか。	※往復で利用された方は 両方に記入ください
本庄駅で下車	<出発駅>	() 駅		

設問5 この調査票を受け取った日の移動は往復ともに本庄駅を利用しましたか。【1つに○印】
往復の場合、本庄駅の利用時間帯を教えてください。

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
↓		
<行き> () 時頃 ※本庄駅を利用した時間をご記入ください。 <帰り> () 時頃 ※本庄駅を利用した時間をご記入ください。		

設問6 本庄駅まで(から)の主な移動手段を教えてください。【1つに○印】

1. JR	2. 路線バス	3. はにぼん号(デマンドバス)
4. はにぼんシャトル(シャトルバス)	5. スクールバス	
6. 企業等送迎バス	7. タクシー	8. 自動車(自分で運転)
9. 自動車(家族が運転)	10. バイク	11. 自転車
12. 徒歩	13. その他()	

設問7 鉄道の運行や乗り継ぎに対する満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。
【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
↓				
【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】 1. 鉄道と路線バスとの待ち時間が長い 2. 鉄道と「はにぼんシャトル(シャトルバス)」との待ち時間が長い 3. 駅とバス乗り場との距離が遠い 4. 鉄道の運行本数が少ない 5. 途中駅での乗換え・連結が不便 6. 快速等速達列車が少ない 7. その他()				

本庄駅周辺について

設問8 どのような機能やスペースがあったら、本庄駅周辺がより魅力的になるとお思いますか。
【あてはまるもの最大3つまで○印】

1. 公園や広場	2. 日用品や食料品を買うことができる店舗
3. 飲食店やカフェ	4. 読書や勉強・学習スペース
5. 地域交流スペース	6. 行政サービス機能(住民票の発行など)
7. 親子で遊べるスペース	8. コワーキングスペース
9. その他()	

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日(木)までにポストに投函ください。

鉄道利用に関するアンケート調査【本庄早稲田駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、鉄道を利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてポストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/bb409a181bcfe7bb/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	[本庄市にお住まいの方] ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____		
	[本庄市にお住まいではない方] ※ご記入ください。 _____ 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村		
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 自由記載（ _____ ）
③年代	1. 10代	2. 20代	3. 30代
	4. 40代	5. 50代	6. 60代
	7. 70代	8. 80代	9. 90代以上
④職業	1. 中学生	2. 高校生	3. 大学生・専門学生
	4. 会社員・公務員・団体職員等	5. 自営業	6. 専業主婦・主夫
	7. パート・アルバイト	8. 無職	9. その他（ _____ ）
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない		
	※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方		
	使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】	1. シルバーカー（押し車）	2. 電動カート
	4. 歩行補助つえ	5. 盲人安全つえ	6. 補聴器
	7. その他（ _____ ）		
⑥運転免許証	1. 持っている	2. 持っていない	3. 持っていたが、自主返納した

設問2 鉄道はどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に5回以上	2. 週に3回程度	3. 週に1回程度
4. 月に1回程度	5. 年に数回程度	6. 年に1回未満

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤	2. 通学	3. 仕事での移動	4. 買い物
5. 通院	6. 趣味・習い事	7. 旅行	8. その他（ _____ ）



設問4 この調査票を受け取った日の出発駅・目的駅について教えてください。

本庄早稲田駅から乗車	<目的駅>	() 駅	※往復で利用された方は 両方に記入ください
		※どちらの駅に向かわれましたか。	
本庄早稲田駅で下車	<出発駅>	() 駅	
		※どちらの駅から来られましたか。	

設問5 この調査票を受け取った日の移動は往復ともに本庄早稲田駅を利用しましたか。
往復の場合、本庄早稲田駅の利用時間帯を教えてください。【1つに○印】

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
↓		
<行き> () 時頃 ※本庄早稲田駅を利用した時間をご記入ください。		
<帰り> () 時頃 ※本庄早稲田駅を利用した時間をご記入ください。		

設問6 本庄早稲田駅まで(から)の主な移動手段を教えてください。【1つに○印】

1. 新幹線	2. 路線バス	3. はにぼん号(デマンドバス)
4. はにぼんシャトル(シャトルバス)	5. スクールバス	
6. 企業等送迎バス	7. タクシー	8. 自動車(自分で運転)
9. 自動車(家族が運転)	10. バイク	11. 自転車
12. 徒歩	13. その他()	

設問7 新幹線の運行や乗り継ぎに対する満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。
【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
↓				
【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】				
1. 新幹線と路線バスとの待ち時間が長い				
2. 新幹線と「はにぼんシャトル(シャトルバス)」との待ち時間が長い				
3. 駅とバス乗り場との距離が遠い				
4. 新幹線の運行本数が少ない				
5. 途中駅での乗換えが不便				
6. その他()				

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日(木)までにポストに投函ください。

鉄道利用に関するアンケート調査【児玉駅】

※ご回答の内容は、全て統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。

このアンケートは、鉄道を利用されている方の利用状況やお考え、ご要望等を把握し、今後の本庄市における公共交通施策の方向性を定める基礎資料とするために実施するものです。

お忙しいところ誠にお手数ではございますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご回答は、この用紙に直接記入して頂き返信用封筒にてポストに投函（切手不要）頂くか、PC・スマートフォンからでもご回答頂けます。

アンケート回答 URL : <https://rsch.jp/bb409a181bcfe7bb/login.php>



設問1 あなたご自身についてお伺いします。

【項目ごとに当てはまる数字1つに○印または空欄に記入】

①お住まい	[本庄市にお住まいの方] ※住所（〇〇・〇丁目まで）をご記入ください。 本庄市 _____
	[本庄市にお住まいではない方] ※ご記入ください。 都・道 _____ 府・県 _____ 区・市・町・村 _____
②性別	1. 男性 2. 女性 3. 自由記載（ ）
③年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代以上
④職業	1. 中学生 2. 高校生 3. 大学生・専門学生 4. 会社員・公務員・団体職員等 5. 自営業 6. 専業主婦・主夫 7. パート・アルバイト 8. 無職 9. その他（ ）
⑤福祉用具 (シルバーカー・ 電動カート・ 車いす・ 歩行補助つえ・ 盲人安全つえ・ 補聴器等)	1. 常に使用する 2. 時々使用する 3. 使用しない ※上記で「1. 常に使用する」と「2. 時々使用する」を選んだ方 使用する福祉用具 【あてはまるもの すべてに○印】
⑥運転免許証	1. 持っている 2. 持っていない 3. 持っていたが、自主返納した

設問2 鉄道はどれくらいの頻度で利用されていますか。【1つに○印】

1. 週に5回以上 2. 週に3回程度 3. 週に1回程度
4. 月に1回程度 5. 年に数回程度 6. 年に1回未満

設問3 この調査票を受け取った日の利用目的を教えてください。【1つに○印】

1. 通勤 2. 通学 3. 仕事での移動 4. 買い物
5. 通院 6. 趣味・習い事 7. 旅行 8. その他（ ）



設問4 この調査票を受け取った日の出発駅・目的駅について教えてください。

児玉駅から乗車	<目的駅>	() 駅	※往復で利用された方は 両方に入ってください
		※どちらの駅に向かわれましたか。	
児玉駅で下車	<出発駅>	() 駅	
		※どちらの駅から来られましたか。	

設問5 この調査票を受け取った日の移動は往復ともに児玉駅を利用しましたか。【1つに○印】
往復の場合、児玉駅の利用時間帯を教えてください。

1. 往復ともに利用した	2. 行きだけ利用した	3. 帰りだけ利用した
↓		
<行き> () 時頃 ※児玉駅を利用した時間をご記入ください。		
<帰り> () 時頃 ※児玉駅を利用した時間をご記入ください。		

設問6 児玉駅まで(から)の主な移動手段を教えてください。【1つに○印】

1. JR	2. 路線バス
3. はにぼん号・もといずみ号(デマンドバス)	4. スクールバス
5. 企業等送迎バス	6. タクシー
7. 自動車(自分で運転)	8. 自動車(家族が運転)
9. バイク	10. 自転車
11. 徒歩	12. その他()

設問7 鉄道の運行や乗り継ぎに対する満足度と、不満な場合はその理由を教えてください。
【1つに○印】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
↓				
【不満理由】【あてはまるものすべてに○印】				
1. 鉄道と路線バスとの待ち時間が長い				
2. 路線バスで直接、本庄早稲田駅に行けない				
3. 駅とバス乗り場との距離が遠い				
4. 鉄道の運行本数が少ない				
5. 途中駅での乗換えが不便				
6. 無人駅となり利便性が低下した				
7. その他()				

児玉駅周辺について

設問8 児玉駅周辺に時間貸し駐車場(コインパーキング)は必要だと思いますか。【1つに○印】

1. 必要である	2. 必要ない	3. わからない
----------	---------	----------

設問9 児玉駅周辺がより魅力的なエリアとなるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
【あてはまるもの最大3つまで○印】

1. 列車の増便	2. 駅の有人化
3. 公園やオープンスペース	4. 日用品や食料品を買うことができる店舗
5. レジャー施設や娯楽施設	6. 飲食店やカフェ
7. 住民同士が集えるコミュニティスペース	8. 観光案内所
9. 駅前広場の整備(バス・タクシー乗り場の整備等)	
10. その他()	

本庄市の公共交通に関するご意見・ご要望等があれば具体的にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。9月30日(木)までにポストに投函ください。

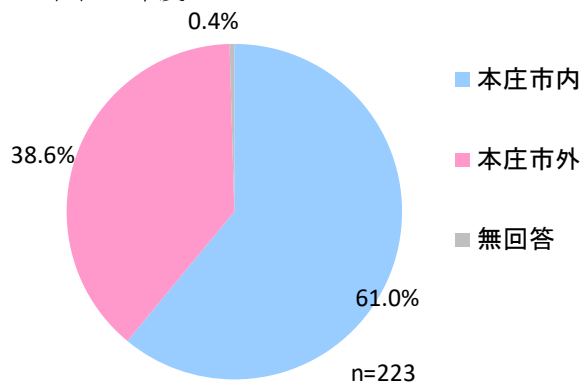
7.2. 本庄駅調査結果

7.2.1. 個人属性

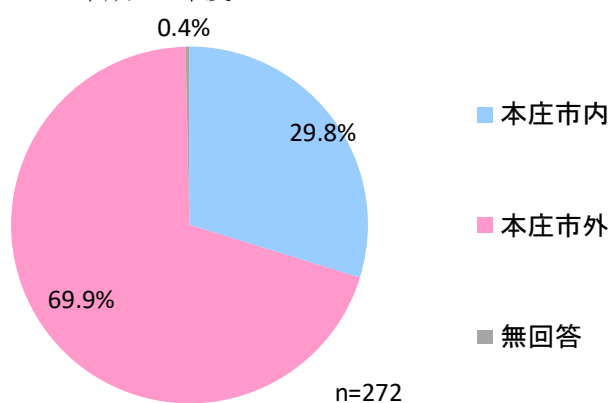
(1) お住いの地域

① 全体

<令和4年度>

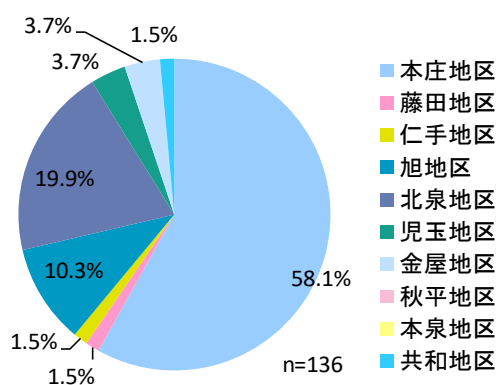


<平成30年度>

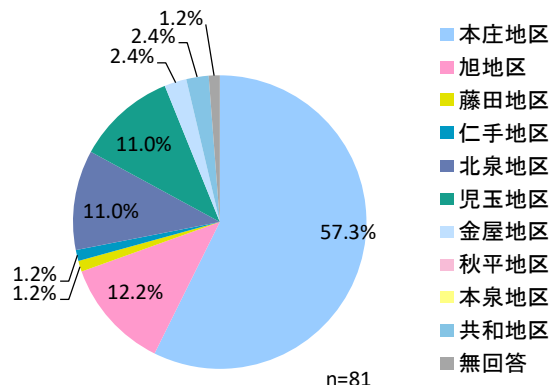


② 本庄市内在住の方

<令和4年度>

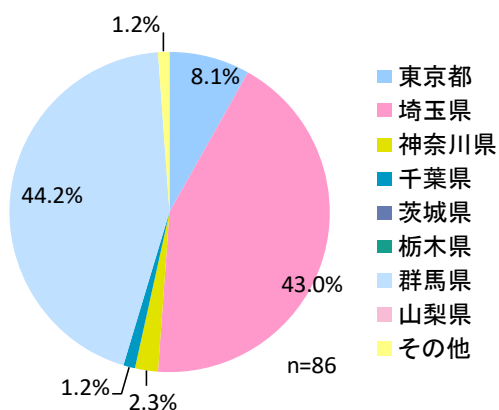


<平成30年度>

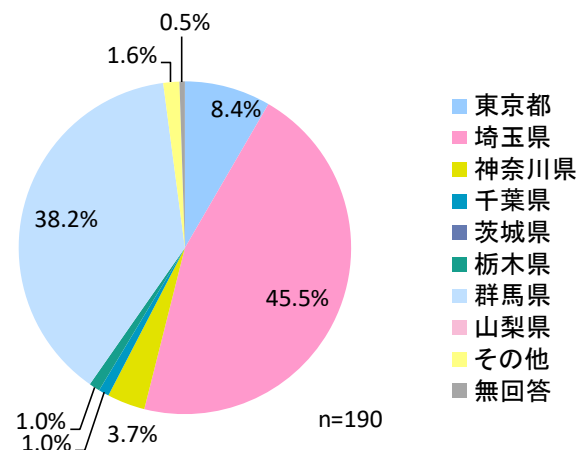


③ 本庄市外在住の方

<令和4年度>

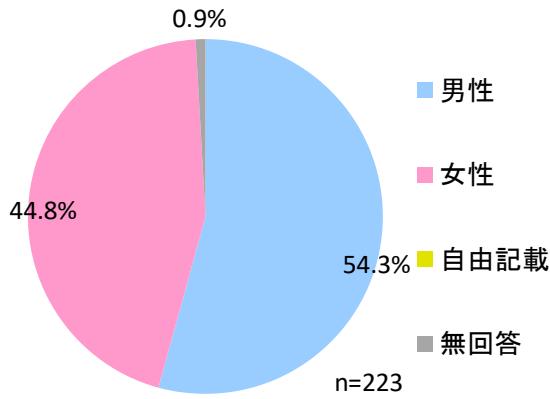


<平成30年度>

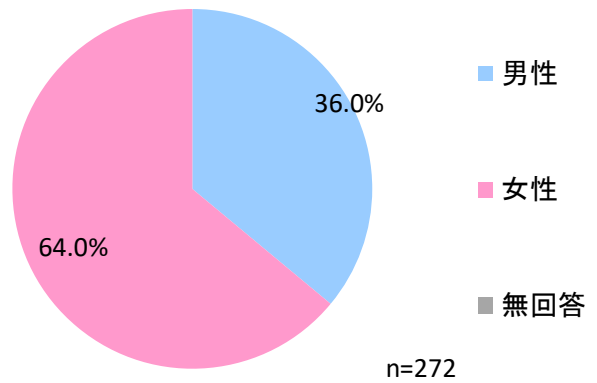


(2) 性別

<令和4年度>

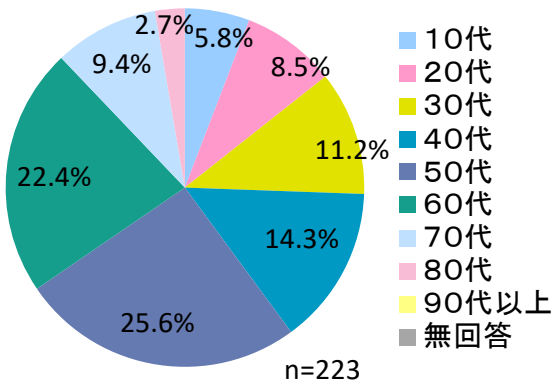


<平成30年度>

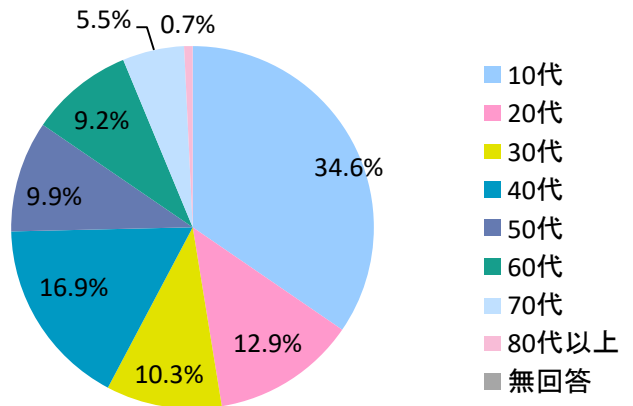


(3) 年齢

<令和4年度>

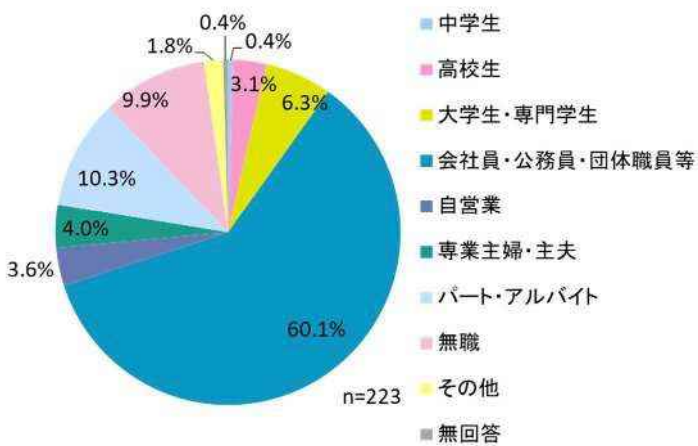


<平成30年度>

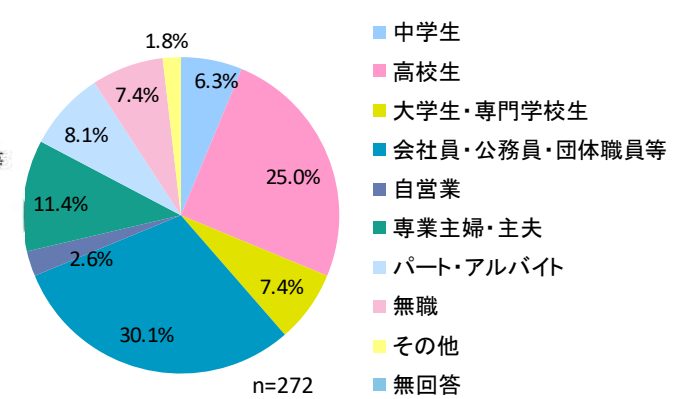


(4) 職業

<令和4年度>

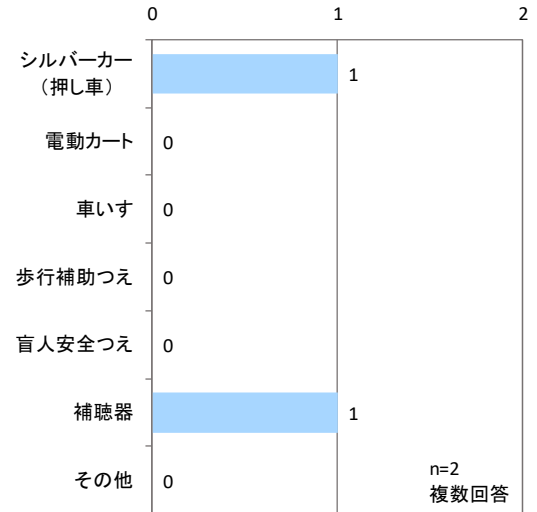
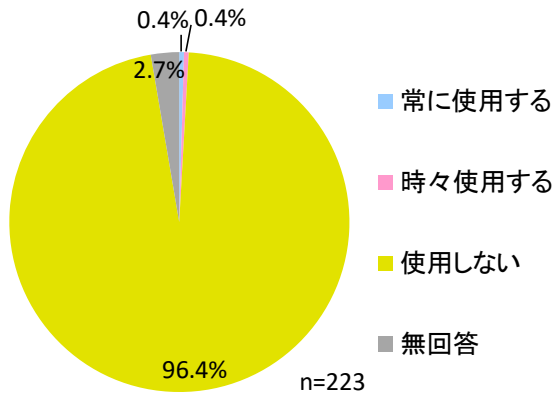


<平成30年度>

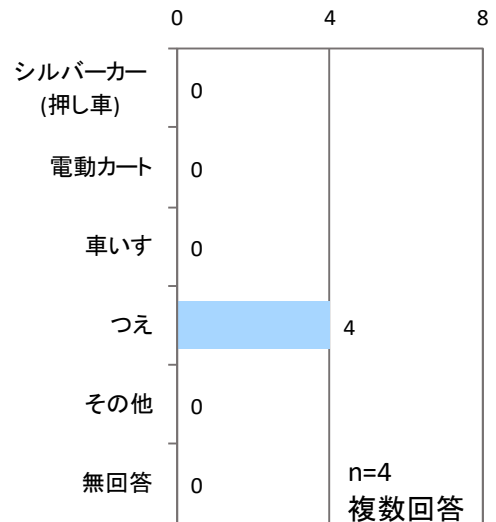
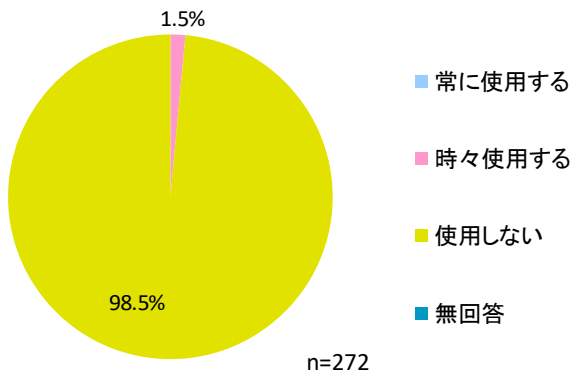


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

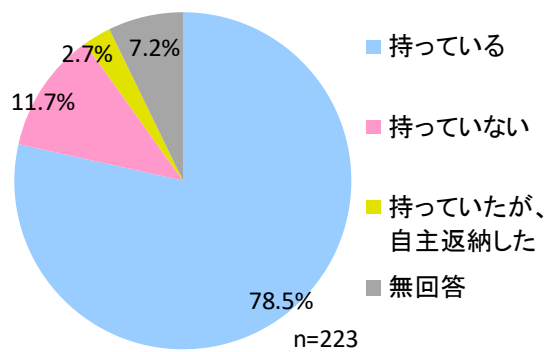


<平成30年度>



(6) 運転免許証の保有状況

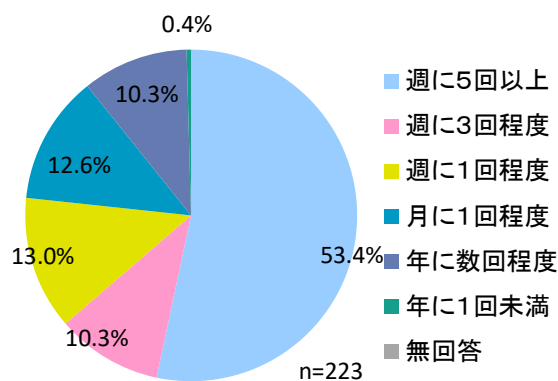
<令和4年度>



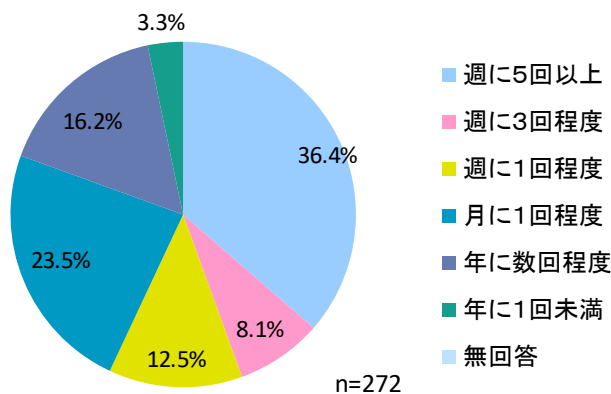
7.2.2. 本庄駅の利用状況

(1) 利用頻度

<令和4年度>

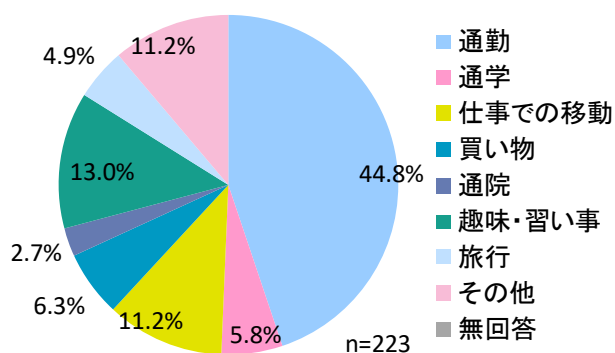


<平成30年度>

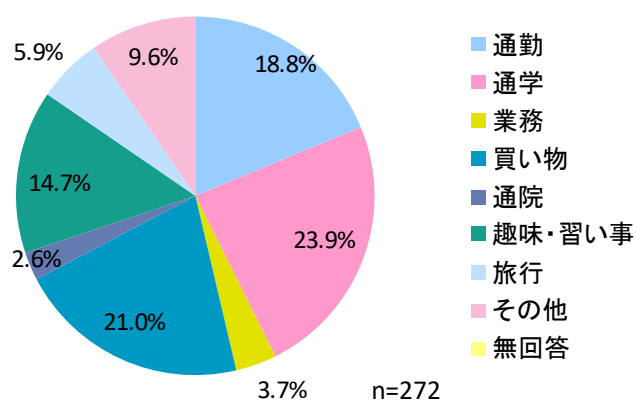


(2) 調査票を受け取った日の利用目的

<令和4年度>



<平成30年度>



(3) 調査票を受け取った日の乗降利用

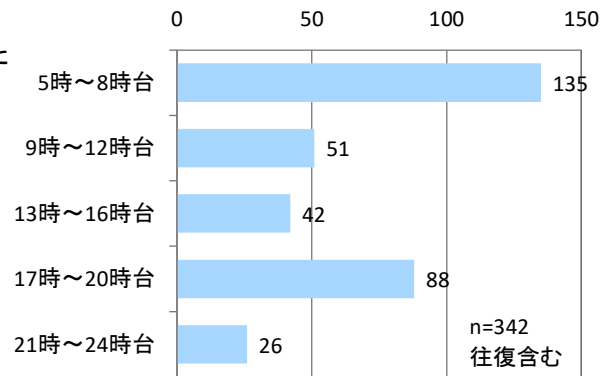
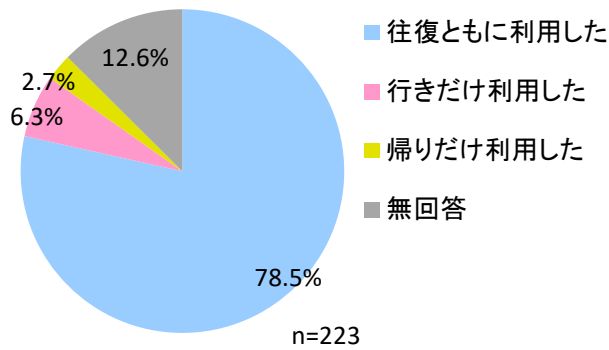
<令和4年度>

目的地	票数
高崎	24
熊谷	17
大宮	14
本庄	9
新宿	8
深谷	8
東京	8
その他の目的地例	
埼玉新都心、浦和、上野、鴻巣、赤羽、籠原	

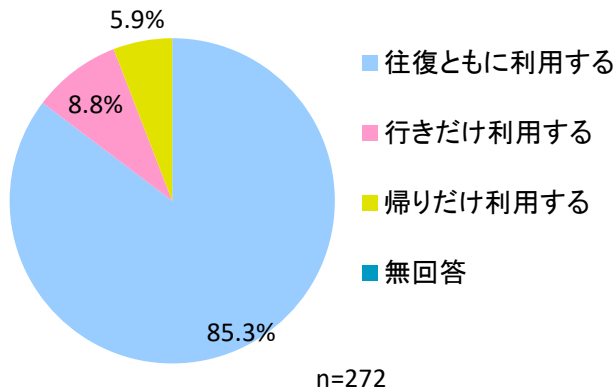
出発地	票数
高崎	22
熊谷	12
大宮	12
本庄	11
鴻巣	6
上野	6
新宿	6
その他の出発地例	
深谷、東京、埼玉新都心、浦和、岡部、神保原、籠原	

(4) 調査票を受け取った日の往復利用

<令和4年度>

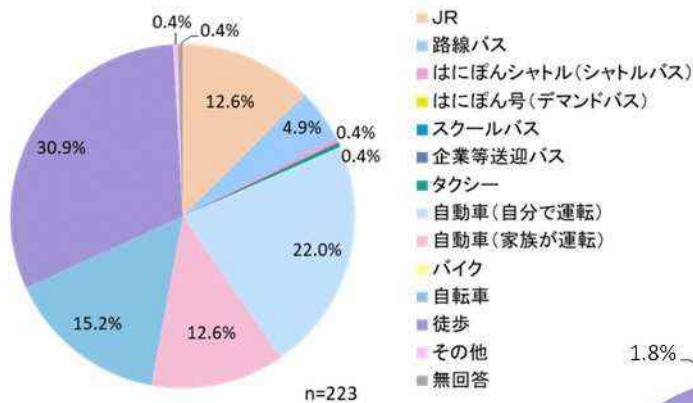


<平成30年度>

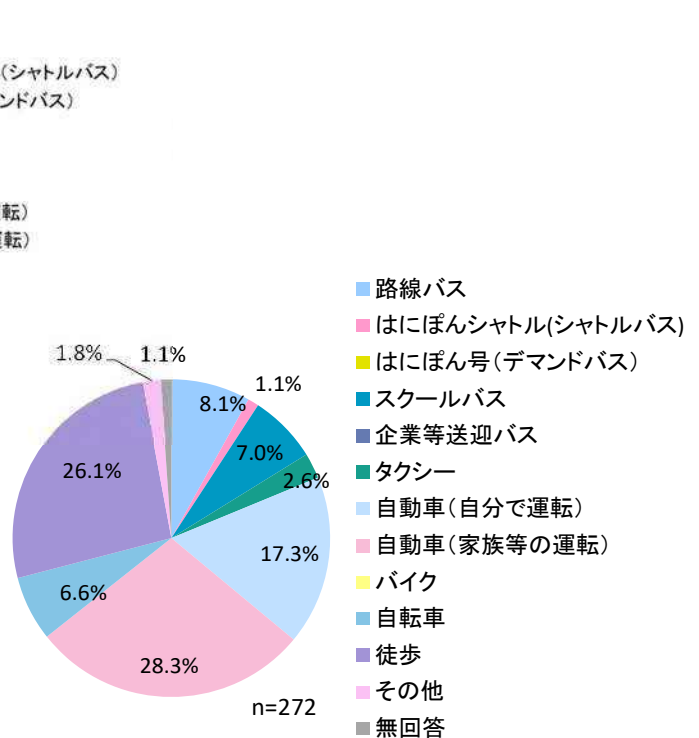


(5) 駅まで(から)の移動手段

<令和4年度>



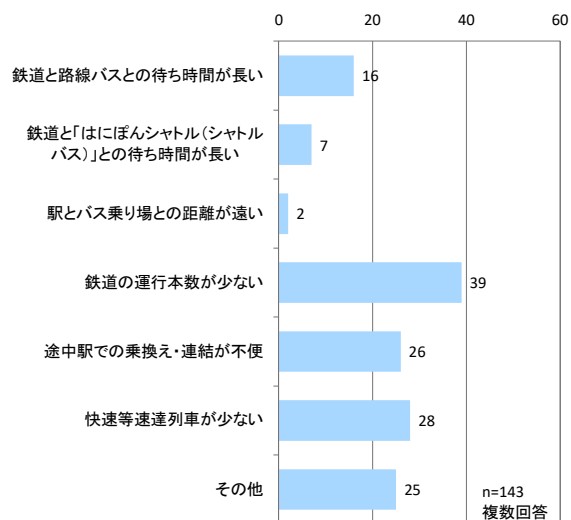
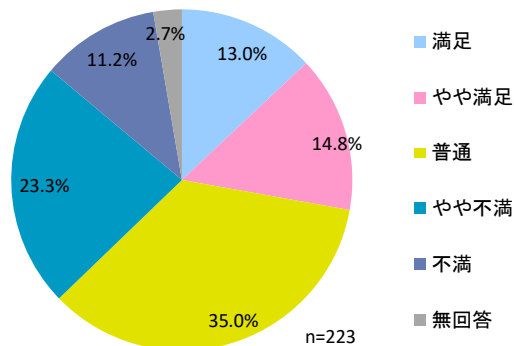
<平成30年度>



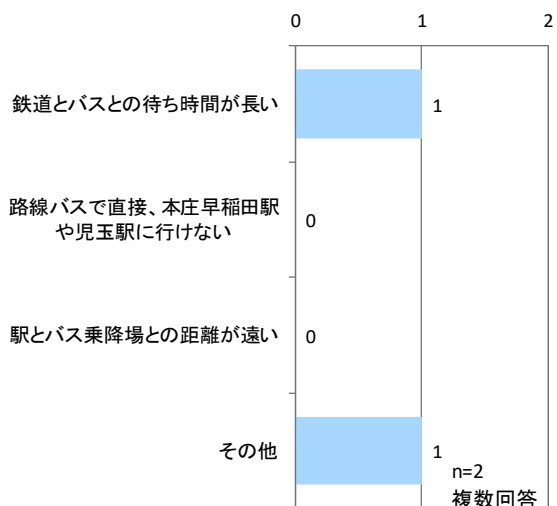
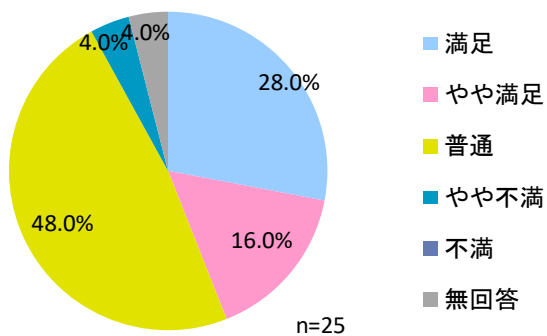
7.2.3. 本庄駅の乗り継ぎの満足度

(1) 鉄道の運行や乗り継ぎの満足度

<令和4年度>



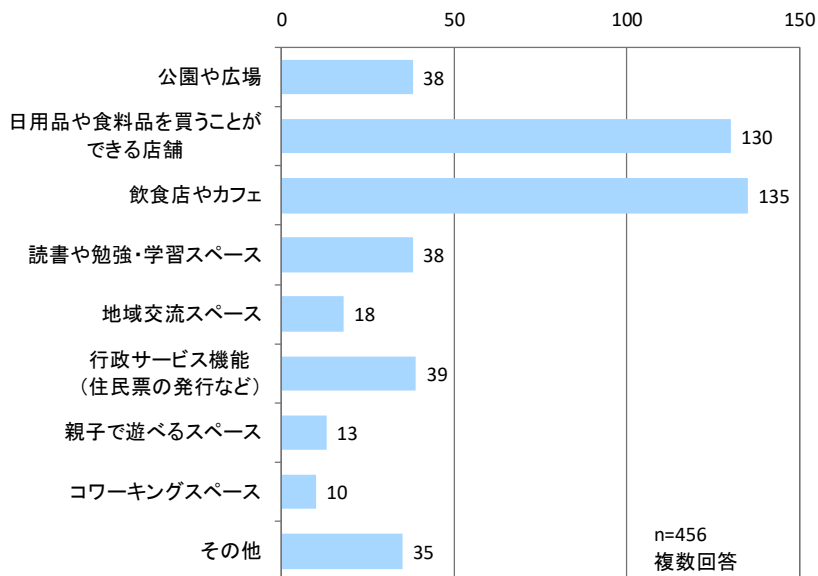
<平成30年度>



7.2.4. 本庄駅周辺について

(1) どのような機能やスペースがあったら、本庄駅周辺がより魅力的になると思いますか。

<令和4年度>



7.2.5. 自由意見

JRと新幹線の駅直通シャトルやレンタサイクル、有料でも良い。
高齢者の免許返納について。上里はこむぎっちバス、高崎もぐるりんなどがあるため返納しやすいが、なぜ本庄は予約しないといけない、不便なバス、シャトルなのか？気軽に使える定期運行、住宅近くを通るバスがあれば良い。
自転車置場料金、少し値下げして欲しい。
このたびはアンケートの配布ありがとうございます。本庄市に市民の声を聴こうという意思があり、アンケートの実施に至ったと思いますので、要望を以下に記載します。私自身、本庄市に25年在住しており、都内に25年間、電車通勤しております。本庄駅から高崎線、地下鉄2線を乗り継ぎ、片道2時間20分通勤で、朝は本庄駅を7時頃出発、夜は本庄駅に23時頃到着という毎日です。これまで25年間何とか我慢して通勤してきましたが、コロナ禍以降、夜の時間帯の高崎線の本数が極端に減り、さすがに体力的に辛く、体調を崩し、市外への転居を予定しています。私のような転居者がこれ以上増え、本庄市の人口、税収が減ることのないよう、以下に要望し、これまで長年お世話になった本庄市への置き土産と致します。(1)本庄市への要望。新幹線通勤者への助成金：新規転入者を増やすだけでなく、転出者を防ぐ方策として必要です。はにぼんシャトルの通勤時間帯の運行：私自身、新幹線通勤も検討しましたが、問題は新幹線の料金ではなく、本庄早稲田駅までの交通手段にあります。タクシーを利用すると新幹線代より高くつきます。片道だけ新幹線に乗りたいという日に、はにぼんシャトルを利用したいのですが、朝・夜の運行がありません。朝6時～8時台や夜19時～23時台の運行を希望します。もちろん現在本庄駅発着の路線バスが夜遅くまで運行され本庄早稲田駅発着となる形でも良いと思います。新幹線の発着時刻に合わせて運行すれば、利用者はある程度見込めると思います。その多くは高額納税者だと思います。ある程度還元頂いても良いのではないのでしょうか。JR東日本への要望活動：個人レベルの要望はなかなか聞き入れてもらえません。市民の声として、本庄市からJR東日本に要望して頂けることを期待しています。要望内容は以下の(2)のとおりです。(2)JR東日本への要望。夜間の高崎線運行本数の増加：2020年3月以降(コロナ禍以降)、夜間の高崎線の本数が極端に減り、本庄駅までの通勤者は不便を強いられています。特に21時30分以降の上野駅始発の特急・快速列車がなくなったこと、最終列車(上野駅23時46分発)が籠原止まりとなったことは、本庄市から都内に通勤する市民にとって死活問題です。※以前は22時以降も特急列車、快速の運行がありました(別紙参考資料参照)。新幹線通勤は勤務先の通勤補助がない市民には負担が重く、高崎線を利用する市民は依然として多くおりますが、このままでは市の定住人口(生産年齢人口)の減少につながりかねません。コロナ禍の影響はあると思いますが、今後、高崎線の運行本数を増加し、2020年3月以前の運行本数に戻してください。JRも利用者が減っている状況での施策とは思いますが、本数減は結果的に、通勤者の都心近くへの転居を引き起こす結果につながり、長距離通勤者が減少し、JR東日本の減収となると思います。
JR本庄駅到着(大宮方面から)から伊勢崎方面行きバスの接続が良くない。
上り方面の終電時間がもう少し遅くまであるといいなあとと思います。
駅の周りやバス停の周りに買い物ができるスーパーがないので、買い物にバスを利用するのも、駅に着いた時に食材を買うことができないので不便である。
早朝、スワロアかぎのチケットが買えないため、購入できればと存じます。
廃線にならぬよう、とにかく乗りましょう。
雨が強く降っている時に駅のホームにいと、体が濡れてしまうことがあります。もう少し屋根が頑丈だと助かると思いました。
自転車等、自由に置くことができたら良い。
朝日バスの終バスをもう少し遅くして欲しい。23時台に1本を。
はにぼん料金(往復)が高いので、市内で買い物したくない。深谷はアリオ無料、熊谷アズは駅内にあるので、駅降りも歩くには道路がデコボコすぎて本庄は歩きづらい。もっと市の利益を上げるため、住人が市内にお金を使える様になって欲しいです。
駅内がきれいになった。カフェができた、トイレがきれい(新しい)。お土産が買えるスペースは有難い。
本庄早稲田駅～本庄駅間の自転車レンタル整備。
新幹線本庄早稲田駅利用者も増えている中、もう少し、本庄市をアピールする。人の集まる楽しい雰囲気(月一度、二度の駅前マルシェ、土・日でも)創りを！！もっともって本庄市の魅力を駅から発信してください！！お祭り等で人を集めることも大切ですが、駅には多くの人が集まって来ます！乗り降りだけの駅ではもったいない。
高崎の病院に通院しています。駅までは家族が送迎しています。自分でも運転しますが、駐車代がかかるので。高崎の様に市内循環バスがあると良いですネ。年を取っても病院通いは自分でしたいです。
駅前の送迎の車のスペースが無い。
ともかく、鉄道もバスも少なくて、本庄早稲田も含めて不便な環境で住民は耐えていると感じます。税金、決して安くもないのにこの不便さはなぜ？
本当はバス路線が充実していると良いのだけれど、乗車率が低いからです。町全体の活性化を進めてください(周辺の自治体含めて)。
伊勢崎市民ですが、本当に有難い駅です。本庄駅があるから都内へ通勤できる人もいます。
はにぼん号の路線図と時刻表を本庄駅に設置して欲しい。
本庄早稲田駅に金沢直通の列車を止めて欲しい。
今回、熊谷にホテルを取り、宿泊しましたが、良きホテルが無いためです。
伊勢崎駅とのバスの本数を増やして欲しい。
井の中の蛙。住民思いを感じず。アンケート内容がおざなり。
本庄、早稲田駅停車を増やせれば、利用しやすい。
駅がきれいになって嬉しい。カフェの前、変な臭いがするのが気になる。
本庄駅から本庄早稲田駅をアーケードで繋いで欲しい。利用者も増え、市も発展していくと思います。
自転車等置場は無料にすべき。

はにぼん号の終了時間が早すぎる。本庄駅改札を出てからのエスカレーターが無いので設置して欲しい。
公共の駐車場
道路をもっと整備して欲しい(歩くのに段差のない)。
同じ道路を何度も工事すぎ。
はにぼん号ともといわずみ号が乗り継ぎできないのは、利便性を大きく損なっています。
名刺サイズの時刻表がなくなったため、残念です。
駅周辺の活性化を願います。
通勤以外の時、電車の待ち時間が長い、時間を潰す場所がない。
本庄市長とお話したい。
高崎線と交差する交通の充実化。本庄と本庄早稲田の乗り換え利便性の向上。
籠原駅での切り離しが多い。高崎まで直行して欲しい。籠原駅は意味がない。
駅前からのバスも、時々利用させてもらっていますが、本当に便利で感謝していました。
大分前には、駅前に大きなビルがあり、日用品や飲料品を買うことができましたが、今はなく残念です。遠方(桶川で近いとむしろ言うかもしれませんが)より無人の実家に通っており、駅前にお店があると便利と思いますが、経済的に成り立たないでしょう。ちなみに桶川には、駅前にマインがあり、近くに団地がひかえているせいか、お客さんもまずまず入っているようです。
寄居一本庄間のバス本数を増やして欲しい。本庄一本庄早稲田間のシャトルバス本数を増やして欲しい。はにぼんタクシーのタクシー台数を増やして欲しい。
路線バスの充実を検討して頂きたい。
本庄駅構内はとても魅力的です。ベンチスペース、お土産物などのショップ、カフェ、その奥のトイレとても清潔ですばらしい。近くの高校の卒業生の手書きメッセージはとても感動しました!!毎年楽しみにしています。
駅中、駅前に何もなさすぎる。
駅周辺が閑散としている。買い物不便(スーパーがない)。
本庄早稲田駅とのアクセスがわかりにくかったな。
東京方面へ出掛ける時はいつも利用しています。駅前に送迎車両の駐車スペースを増やしてほしいです。本庄早稲田駅と離れているので乗り換えできないのが不便です。
本庄駅周辺の問題は現状維持さえ危うい。公共交通政策の方向性を定める上で関連させて考慮すべき段階にはなく、考慮することで却って方向性を誤る様に思う。
図書館の本の返却、選挙の投票など行政サービスを増やしてほしい。フードバンクや衣服の寄付など募るのはどうか?駅構内や周りの清掃が丁寧でいつも綺麗で気持ちが良いです。
はにぼん号の仕組みがよくわかりません。利用の仕方がよくわかる様にして頂けると有難いです。コミュニティバスで定期運行して頂けると有難いです。仕事でバス移動したいです。
自動運転タクシーの導入など、高齢化社会に向けた対策が急務。鳩山町のような充実した福祉もなく、車がないと生きていけない本庄市では老後を過ごそうと思えないし魅力もない。
図書館を隣接して欲しい
古くなってしまっているので、どうしても蜘蛛の巣等汚れが目立ってしまう。
本庄早稲田までのアクセスがもっと良くなればいいな
本庄早稲田駅の停車本数が少なすぎるので増やしてほしい。時差出勤時に支障がある。
本庄駅と本庄早稲田駅が離れていて不便。
・冬場の本庄駅のベンチにクッションを敷いて頂けてるのがすごく好きです。冷たくなくて助かります!是非今後お願いします。・本庄駅のトイレが物凄く綺麗になり、本当に最高です……!ありがとうございます!!・テラスバさん、すごく頑張っているのに認知度が低いのもったいないので、可能であれば改札内や駅の待ち時間に目に入るような場所に、価格付きのメニュー表や店内の写真などを掲示して頂けないでしょうか!特に若い方は怖くて(?)入れない人もいると思うんです。食事やドリンク注文必須のコワーキングスペースっぽくしてもいいかも知れませんが(仕事や勉強するにはオープンすぎるので、簡単な目隠しや仕切りがある席があると一人でも使いやすいです)・下りホームに待合室がないので、改札入った後の2Fにも寒さを凌げるベンチがあるといいかなと思います。改札前のベンチはご老人たちの休憩で使われているので、ちょっと使いにくいです。
本庄市内の循環バスなどあったら活性化に繋がると思う。
特急の本数を増やして欲しい
特にありません
本庄駅の北口で送迎車用スペースを拡大して欲しい
在来線と新幹線間のアクセスを良くして人流を増やす。新幹線と群馬とのアクセスを便利にする。
・本市は隣接している他県の市町村からも拠点として利用されている本庄駅を大事にして、都市間競争にも負けないように活用して県北の雄となるべき。・今後のまちづくりを考えて、より利便性を高めて人口増加に繋がらないと少子高齢化への対応、税収の増加に繋がらず、宝の持ち腐れだ。・新幹線駅の周辺は近代化が進み美しい光景だが、大宮と高崎に挟まれた駅として新幹線の発着にも限界がある。まずは在来線の本庄駅を利便性の良い駅にする事が喫緊の課題だ。
はにぼんシャトルは良い手段と考えるが、その利用方法を示した看板があまりに小さすぎて目立たない。まずは文字だけの看板でものぼりでも、その存在を大きく示し、利用方法はQRコードで携帯利用してつないで調べて貰えばいいと思う。
本庄駅と本庄早稲田駅の移動が不便です。特に夜9時以降はタクシー以外無いので。
籠原駅から下は本数が少ない。本庄駅までの本数を増やして欲しい。

<p>通学で使っていますが、遅延するのが本当に困ります。昨日も乗った電車が籠原駅止まり。なんとか熊谷駅まで行き新幹線で大宮駅にたどり着きました。本庄市の公共機関が悪いわけではないけど、毎日遅延してたらやだなと思いつつながら家を出るのはストレスです。周辺に駐車場のある待ち合わせのできるようなカフェや喫茶店がないのであると便利だと思います。</p>
<p>これからの高齢化社会に備えてバスの充実してほしい。シャトルバスを縦横無尽に誰でも乗れて、スクールバスとしても利用できる年間パスポートで販売してほしい。</p>
<p>街中を移動するバスが少ない</p>
<p>改札に向かうまでの階段にエスカレーターを設置してほしい(北口・南口の両方)</p>
<p>はにぼん号を予約制ではなく時刻表運行にしてほしいです。</p>
<p>本庄早稲田との連結が悪い 友人との待ち合わせをも、新幹線との連結のよい高崎を常に利用</p>
<p>はにぼん号をくるりん(定期的にまわる)ような感じなら子供や雨の日に利用したい</p>
<p>電車とバスの接続を改善し、相互に利用しやすくすると共に、高崎線の始発を毎時1本設定し、東京方面に1時間に4本とし、利便性を上げる。</p>
<p>循環バスを運行して欲しい。</p>
<p>普段本庄駅を使っているが、人身事故等で電車の運行が見合せになった時、振替運行で新幹線が使われたことがあり本庄早稲田駅で下車したことがあります。ですがタクシーが全くといっていい程機能してなく、1時間以上待たされた。たまに戻って来るタクシーも 迎える自家用車の行列でなかなかロータリーに入ってくれず。これは改善の必要があるのではと感じました。</p>
<p>本庄駅と本庄早稲田駅間の利便性を向上させてほしい。例えば、道路交通法改正後の電動キックボード活用など。</p>
<p>ゴルフカートの様な乗り捨て可能な公共機関が出来ないか、四国地区ではあるらしいです?</p>
<p>籠原止まりばかりで、高崎や本庄までの本数が少ない。もっと本数を増やしてほしい。また、本庄早稲田駅の本数も少なすぎる。本庄駅や早稲田駅周辺がもっと活性化し、市の人口が増えると良いかと思えます。発車メロディーが100選に選ばれているのに、もったいない。もっと本庄市をPR、魅力アップするよう活用してほしい。</p>
<p>駐車場が少ない</p>
<p>なるべくJR、新幹線、私鉄の電車の相互乗り入れをして下さい</p>
<p>1日単位での駐輪場</p>
<p>自転車で安心して駅に向かえない。自転車道が狭い、デコボコ、木の枝が邪魔したり、途切れてたり乗るのが怖い。あたかも自転車は乗るな!と言っているように感じ自粛した。</p>
<p>特になし</p>
<p>高崎線の乗り換えのない本数を増やしてほしい</p>
<p>東京方面から高崎線最終便の籠原止まりの後、籠原から本庄方面へ夜行バスなど出してほしい</p>
<p>市営の駐輪場の料金が高地価が高い大宮と料金が同水準なのはおかしい</p>
<p>夕方、ちょうど本庄駅に電車が到着する時間帯の駅前ロータリーの混雑具合が異常。迎える車、スクールバス、路線バス、タクシーなど入り乱れ酷い時はクラクションが鳴り止まない時があり。</p>
<p>バスなどの恒常的な運行が無く、市内移動が難しい場所がある</p>
<p>本庄駅と本庄早稲田駅を結ぶ路線、バス、相乗りタクシーなどで復活させてほしい。本庄早稲田駅に無料駐車場(市民優遇などでも)を設けてほしい。</p>
<p>*ペーパードライバーです。悩みは深刻です。すぐにご検討頂きたいです。*デマンドバスは便利な様でいて、予約必須だし取れないこともある。土日はやっておらず不便。路線バスに戻した方が良いのでは。戻すなら もっと使いやすい時間設定、時間間隔、コース取り等を望む。*1ヶ所閉鎖したため北口に駐輪場が不足しており停められず困っている。交番前にコイン式があるが学生が占拠して停められない。契約者と単発利用者を分けてほしい。本当に困っている。*同じ行政が管轄なのに北口と南口の契約駐輪場の値段の違いも納得出来ない。一般市民からしたら条件は同じだろうという憤りを感じる。以上、すぐに改訂を願いたい。*この辺りが車社会なのはわかるが、車に乗れない人にもっと思いやりを持って真摯に向かい合ってほしい。近いうちに改善されることを切に望みます。期待しております。</p>

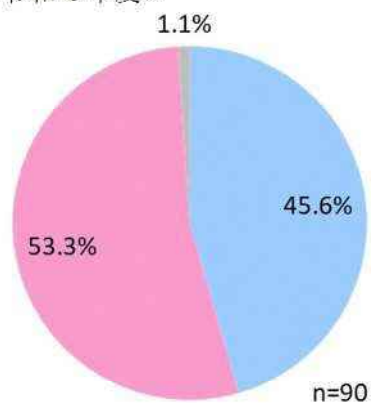
7.3. 本庄早稲田駅調査結果

7.3.1. 個人属性

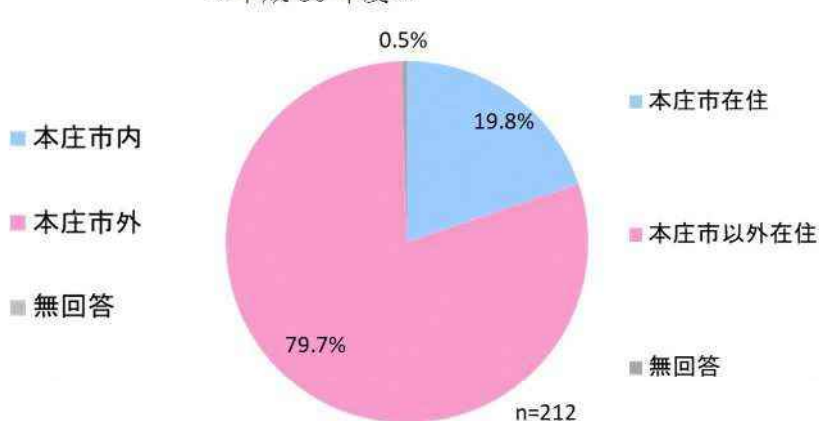
(1) お住いの地域

① 全体

<令和4年度>

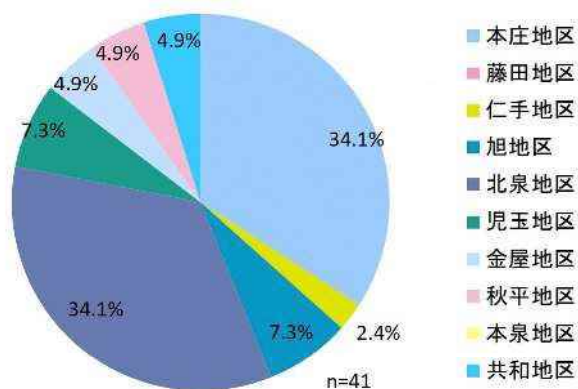


<平成30年度>

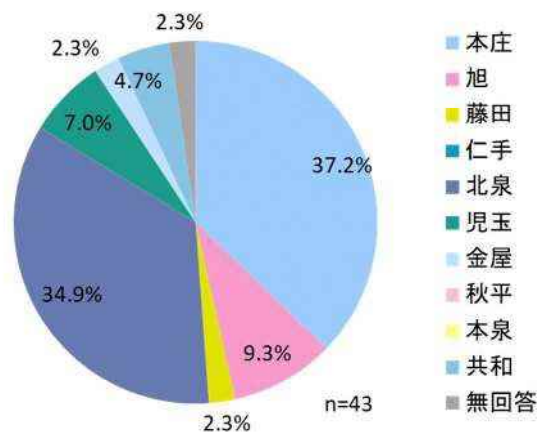


② 本庄市内在住の方

<令和4年度>

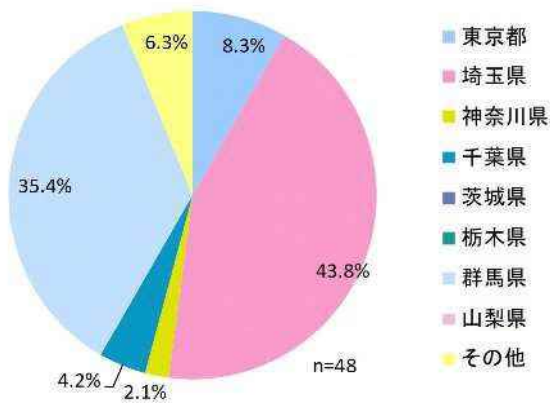


<平成30年度>

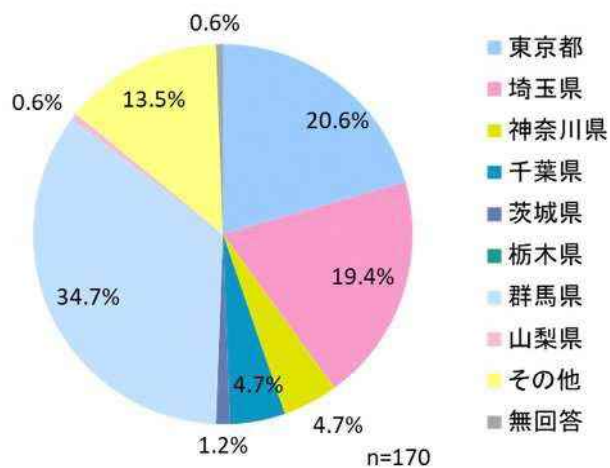


③ 本庄市外在住の方

<令和4年度>



<平成30年度>

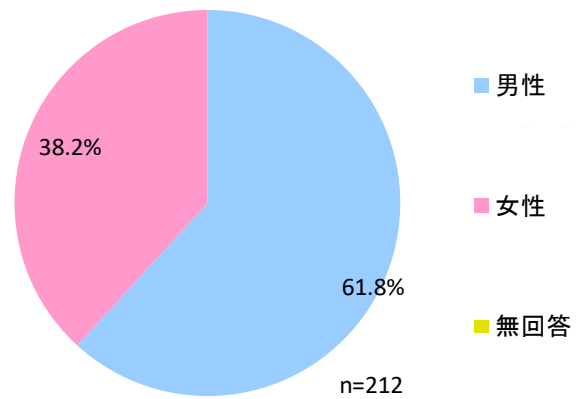


(2) 性別

<令和4年度>

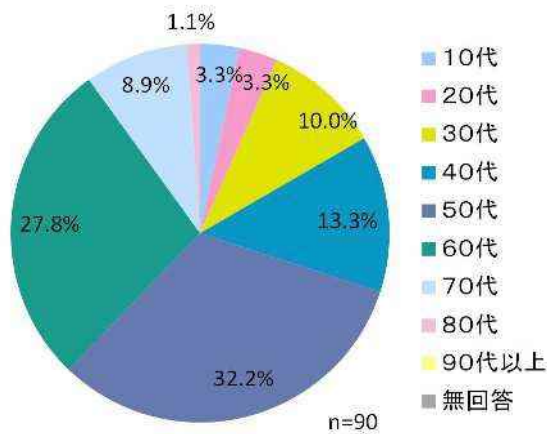


<平成30年度>

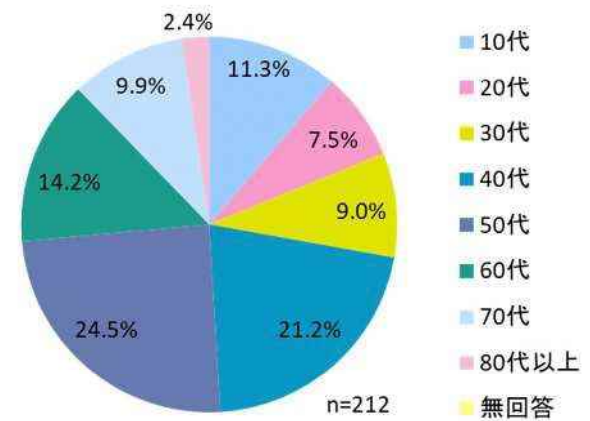


(3) 年齢

<令和4年度>

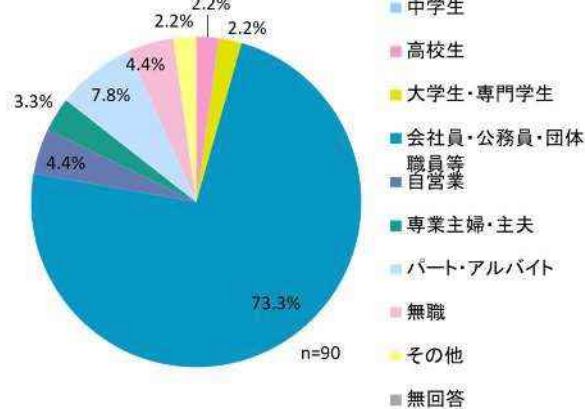


<平成30年度>

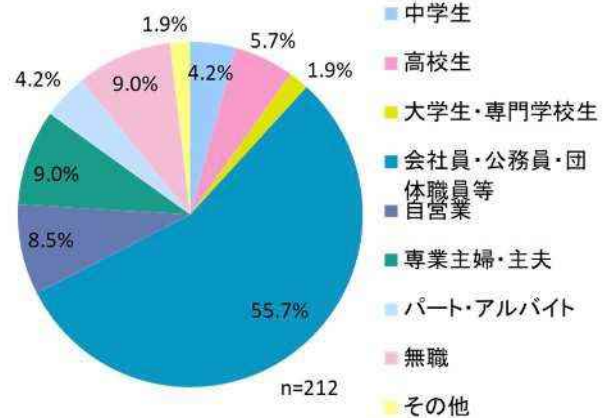


(4) 職業

<令和4年度>

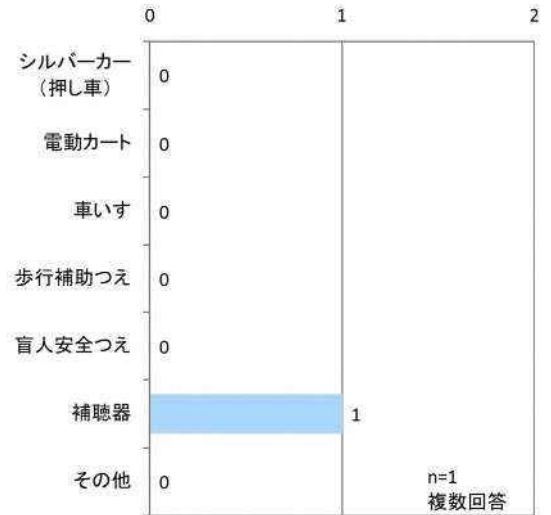


<平成30年度>

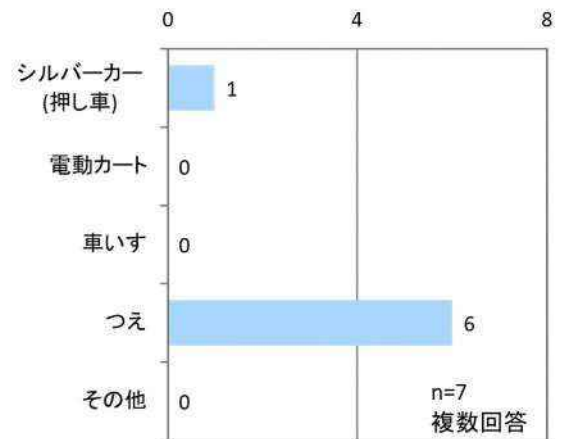


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

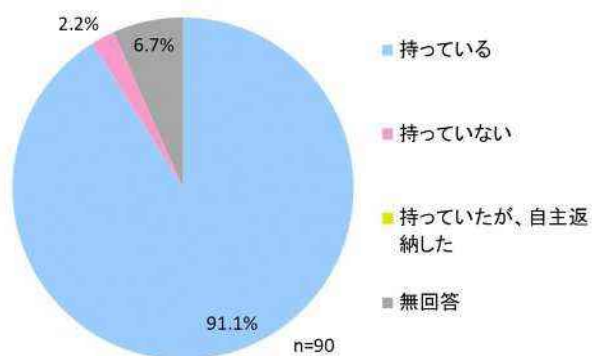


<平成30年度>



(6) 運転免許証の保有状況

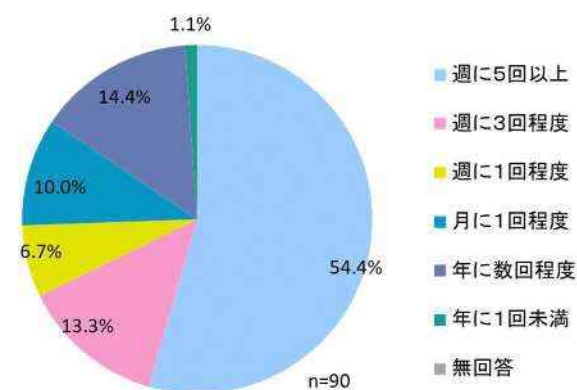
<令和4年度>



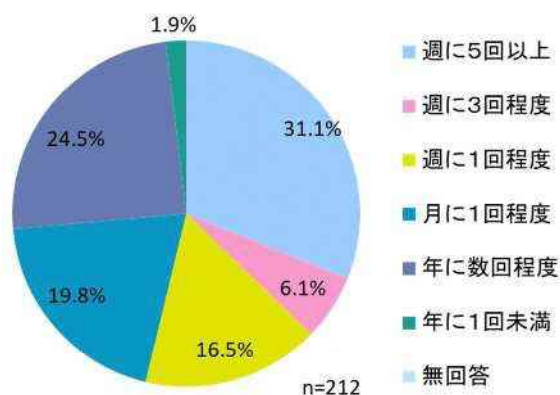
7.3.2. 本庄早稲田駅の利用状況

(1) 利用頻度

<令和4年度>

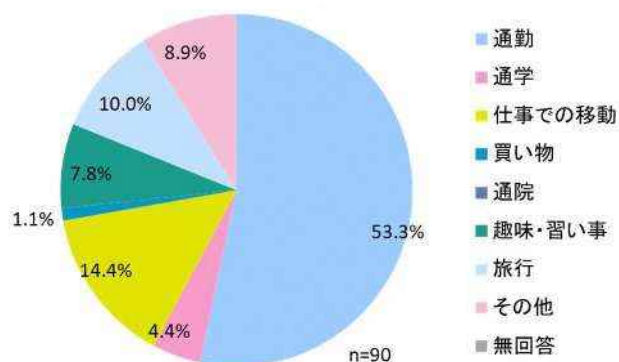


<平成30年度>

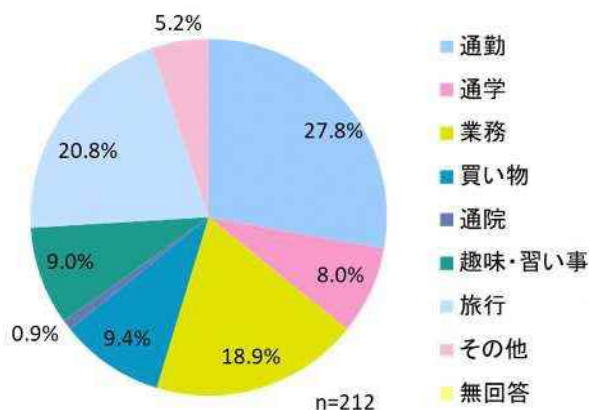


(2) 調査票を受け取った日の利用目的

<令和4年度>



<平成30年度>



(3) 調査票を受け取った日の乗降利用

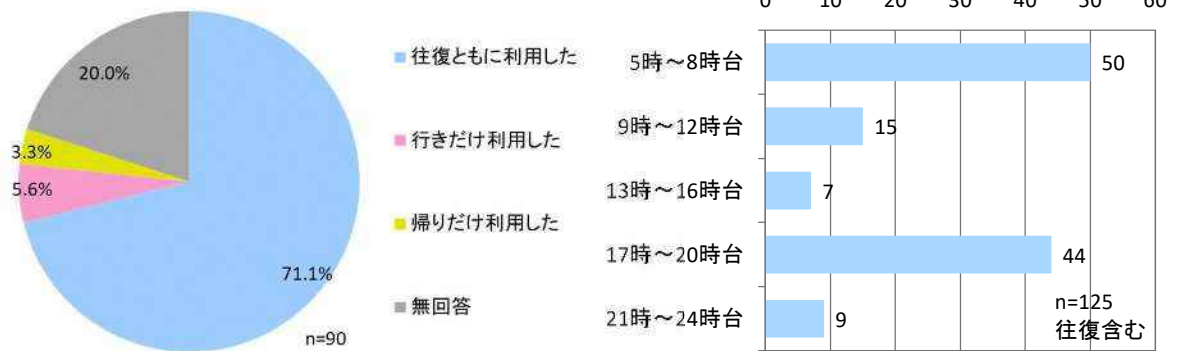
<令和4年度>

目的地	票数
東京	18
大宮	11
上野	7
北浦和	3
その他の目的地例	
東大宮、武蔵浦和、秋葉原、新橋、有楽町、田町	

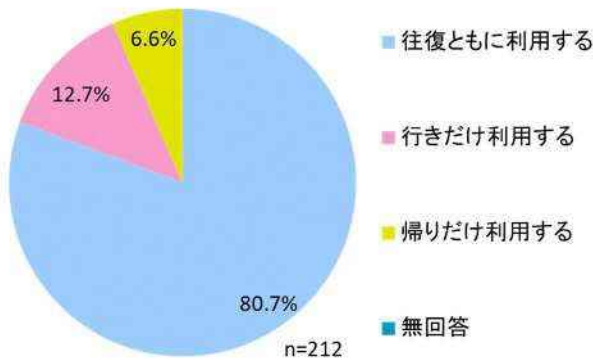
出発地	票数
東京	12
大宮	10
上野	3
北浦和	3
その他の出発地例	
高崎、東大宮、有楽町、田町	

(4) 調査票を受け取った日の往復利用

<令和4年度>

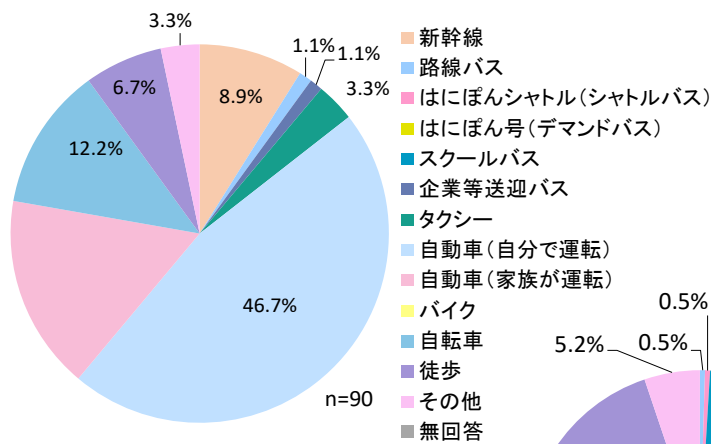


<平成30年度>

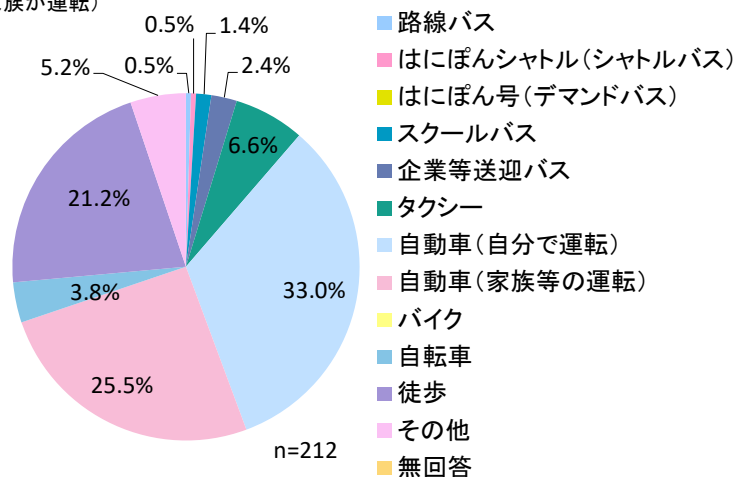


(5) 駅まで(から)の移動手段

<令和4年度>



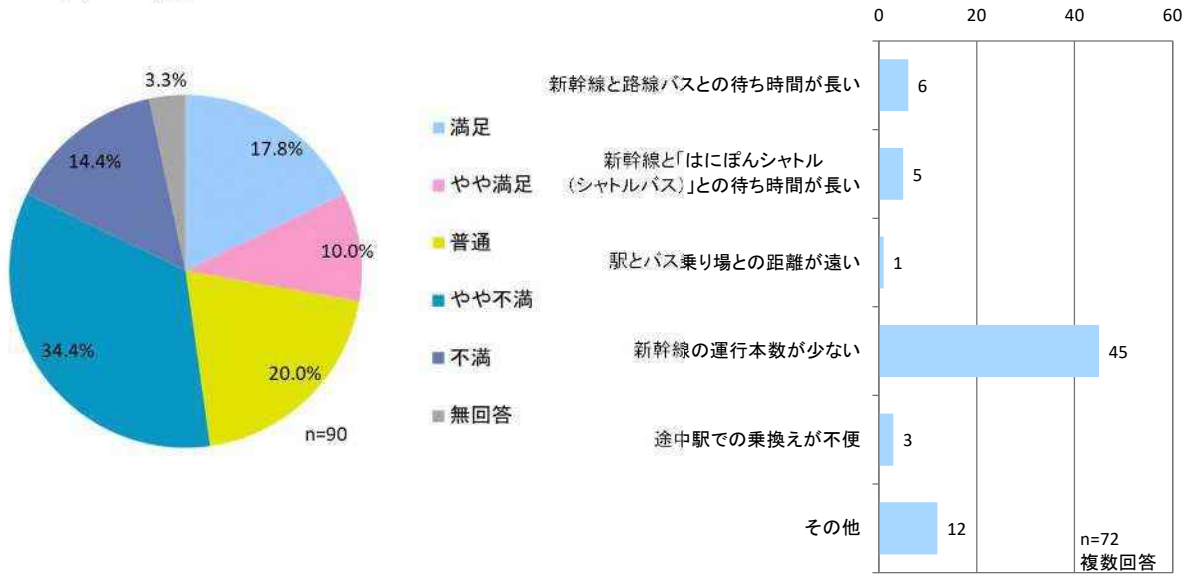
<平成30年度>



7.3.3. 本庄早稲田駅の乗り継ぎの満足度

(1) 利用満足度

<令和4年度>



7.3.4. 自由意見

本庄早稲田駅の近辺(1分以内)にコンビニ、居酒屋、食堂、喫茶店が全くない。
なぜ本庄早稲田駅の駐車場を市で運営して、低料金にしないのか？利用者の多数が車を利用している。本庄早稲田駅と本庄駅のバス半数を増やしてほしい。
昼間の新幹線が1本は少なすぎる。
本庄早稲田駅停車の本数を増やして欲しい(熊谷駅と同じくらい)。
高崎線の特急の本数が少ない。本庄早稲田駅前の飲食店を増やして欲しい。
駅中心の灯が少ないため、変質者に追いかけられたことがあった。駐車場周辺まで街灯等が増えたら遅い時間帯も安心して帰宅ができると思うので、増やして欲しい。
通勤に利用するため、持ち家がない人でも利用できる市の助成があればいいと思います。
本庄駅⇄本庄早稲田駅のはにぼんバスが欲しいです。市内バスの100円で運行が難しい場合は100円以上になる路線バスでも構いませんので、ご検討の程よろしくお願いします。
遠出する時はいつも電車です。本庄は新幹線が停まるのでとても便利だと思います。
本庄早稲田駅周辺に様々なお店が出店され、とても便利になりました。
自動車運転をしなくなった後の交通手段(日常の買い物、通院等)がとても心配。
新幹線の本数を増やして欲しい。
トイレにウォシュレットを設置して欲しい。
通勤・通学時間帯以外の本数が少なく、時には在来線の方が早い時がある。新幹線の駅を作った意味が薄れてしまう。熊谷駅並みにして、群馬県の客も呼び寄せるべき。
本庄早稲田駅停車の新幹線の本数を元通りにして欲しい。かがやきの車両のイスに枕がついていて、背中が丸まらないと座れない。改良して欲しい。Maxたにがわを復活して欲しい。本庄早稲田駅でスノーボードしている連中をどうにかして欲しい。危険だし怖い。
新幹線代の補助が欲しい。
本庄駅と本庄早稲田駅の行き来できる手段がわかりづらい。
車の駐車場が広くて良かったと思います。
駅前の交通が便利になっている。
住民が増えないから何のビジョンも見いだせないのか。ビジョンが無いから住民が増えないのか。結局、公共交通機関はほぼ無い。児玉のセルディ周辺は環境がいいのに、市街化調整区域とかで何もできない。何のビジョンも無いからこんな制限は止めるべき。
徒歩圏の住宅地やマンション開発の推進は、人口流入の拡大(市税収入も拡大)に繋がり、運行本数の増加や駅周辺、民間資本の増加も伸びるものと思料する。なお、開発条件の緩和なども進めるべきではないか。
駅周辺の駐車場の料金(駐車代)が高いと感じます。
新幹線駅がある市なので、そのメリットをアピールして、企業誘致を積極的に行っていただき、経済活性化につなげてほしいです。地震などの災害リスクも比較的低い市市のでは、と思うので、高崎市のように企業誘致に成功してほしいです。
在来線と同じ駅でないので、利用しづらいと思うことがある。どのルートでと考えた時、新町駅や本庄駅を選択することが多い。
高崎のぐるりんバスや上里のこむぎっちバスの様に間隔短めに運行してもらえるとありがたい。朝早く、夜遅くの時間帯に動いているバスが少ないので、遠くに出掛ける時にはほぼ使えない。在来線が不通(遅延)の時に新幹線の駅まで移動したい時も多いので、本庄駅と本庄早稲田駅の間はせめて新幹線の本数と同じ位のバスを動かしてほしい。時間が合えば歩くよりもバスに乗りたくて思っているの、はにぼんシャトルなどを鉄道を利用する時にも便利に使える様な方向に検討して頂きたい。
<下り>東京発20時以降は運行本数が1本しかないの、できれば2本位あると助かる。東京方面に移動する時はいつも新幹線を使うので、全時間運行本数が2本位あると便利だと感じる。
日中も1時間2本位ほしい。上野→本庄早稲田で本庄早稲田着22時台も2本ほしい。
バス、はにぼんシャトルの運行本数が少ない。はにぼんシャトルと隣接する地域バスとの乗り継ぎが難しい。
新幹線の本数を増やしてほしい
昼間など、新幹線停車本数が少ない時にはにぼんシャトルが在来線と上手く接続しておらず、不便。30分前予約式のデマンド交通などで、接続利便性を高めて欲しい。本庄早稲田駅前の空き地が全く活用されていない。公共駐車場とセットで、シェアオフィスビルや企業本社移転誘致などにより、乗車人数を増やす事が新幹線停車本数増になるのでは。
高齢での運転免許返納後の公共交通手段が不十分と感じる。
駅周辺の駐車場料金が高い
はにぼんシャトルの利用方法がよくわからないし、利用しにくい。アプリ等で出来るようになると良いと思います。
本庄早稲田駅の駐車場が少ない決算方法も電子マネーで統一して欲しい
自家用車で駅に行かずにすむように、バス路線や本数を増やして欲しい。
本庄駅から本庄早稲田駅までのバス運行時間を、新幹線の時間にあわせて、早朝の時間を考えてもらったらいへんありがたい。
市内バス停留所をもっと広範囲に増やしてほしいです。
本庄早稲田駅も多くの人が利用する駅の一つです。もう少し停車する新幹線を増やしてください。
本庄駅と本庄早稲田駅のシャトルバスの乗り継ぎが悪い駅間のレンタサイクルなどの代替えなどがあると良い
本庄早稲田駅から本庄駅南口までのバスがほしい

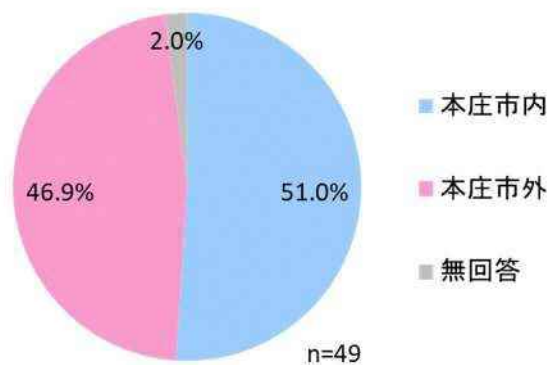
7.4. 児玉駅調査結果

7.4.1. 個人属性

(1) お住いの地域

① 全体

<令和4年度>

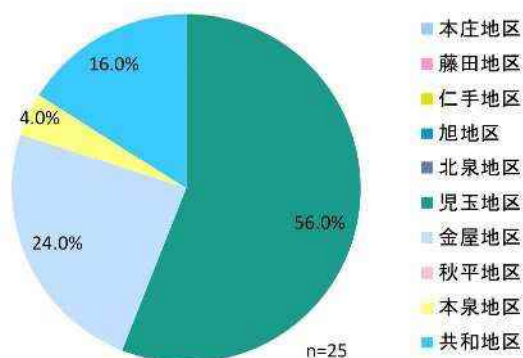


<平成30年度>

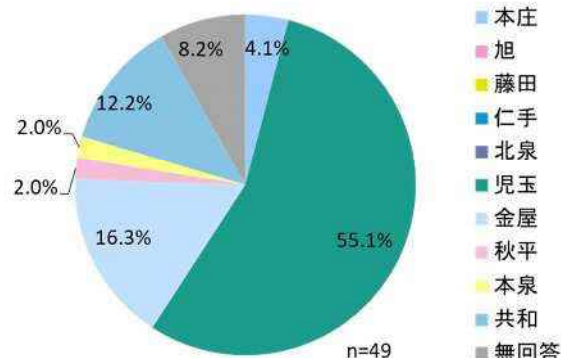


② 本庄市内在住の方

<令和4年度>



<平成30年度>

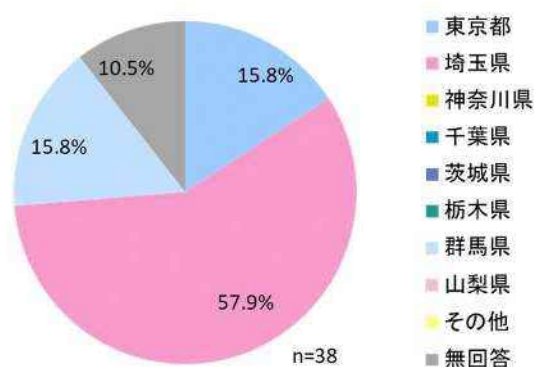


③ 本庄市外在住の方

<令和4年度>

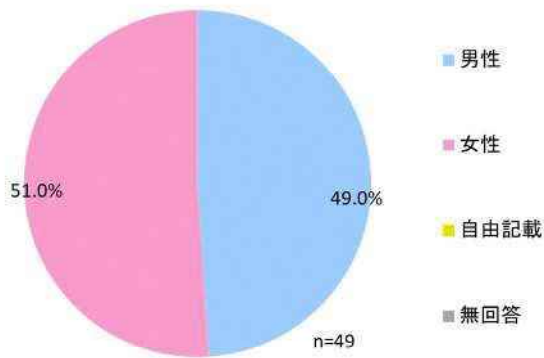


<平成30年度>

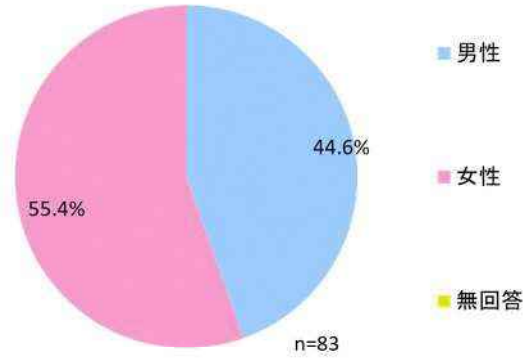


(2) 性別

<令和4年度>

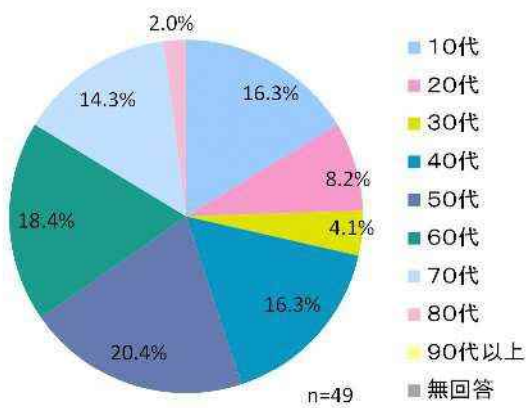


<平成30年度>

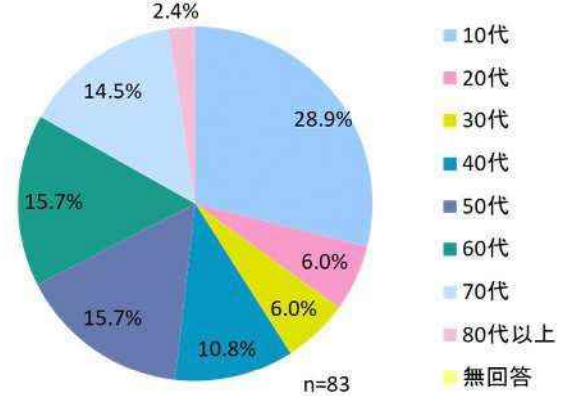


(3) 年齢

<令和4年度>

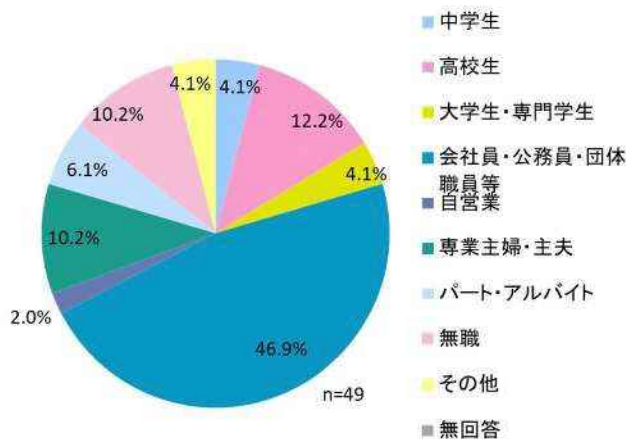


<平成30年度>

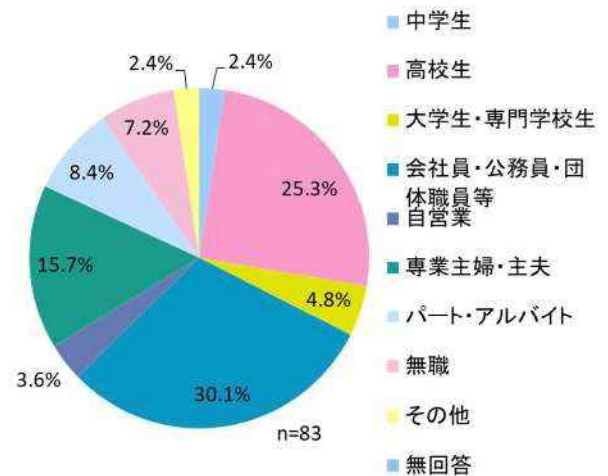


(4) 職業

<令和4年度>

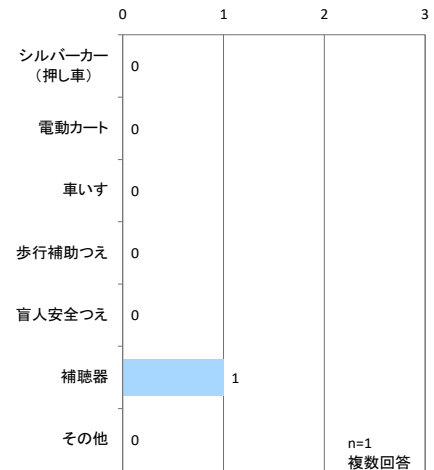


<平成30年度>

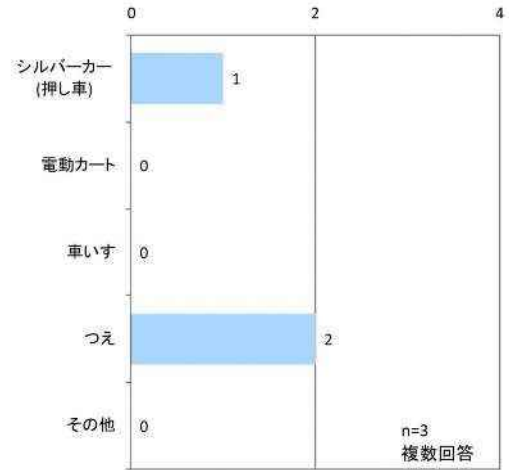


(5) 福祉用具の利用状況

<令和4年度>

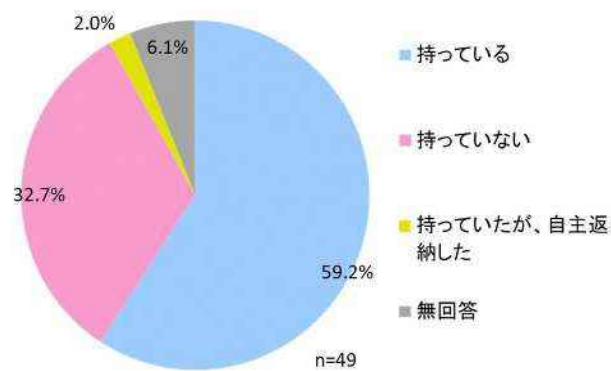


<平成30年度>



(6) 運転免許証の保有状況

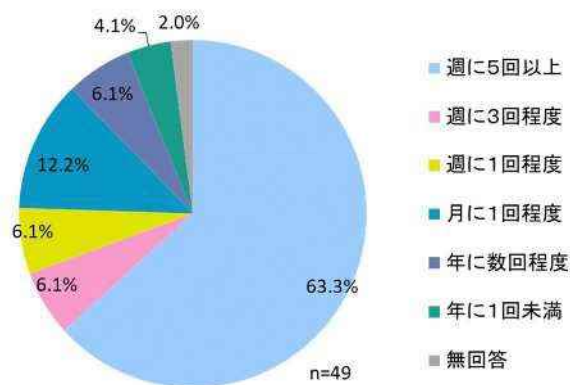
<令和4年度>



7.4.2. 児玉駅の利用状況

(1) 利用頻度

<令和4年度>

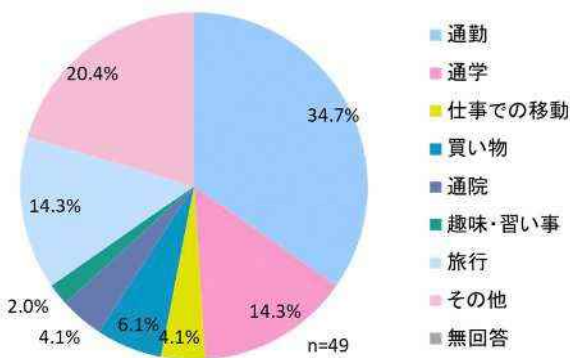


<平成30年度>

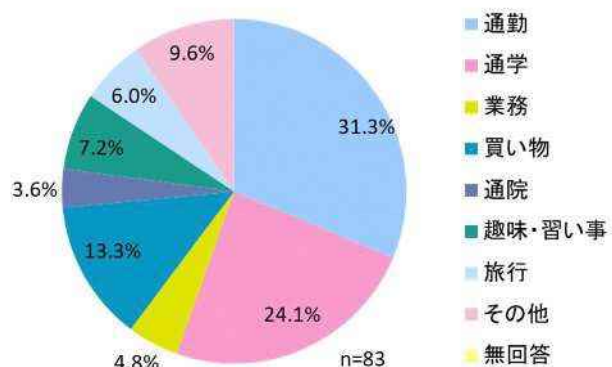


(2) 調査票を受け取った日の利用目的

<令和4年度>



<平成30年度>



(3) 調査票を受け取った日の乗降利用

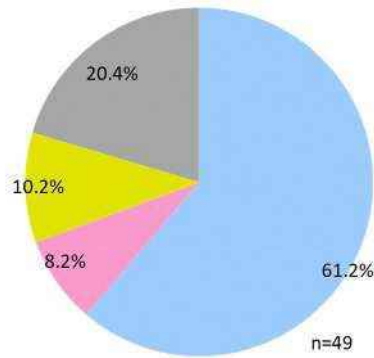
<令和4年度>

目的地	票数
高崎	13
小川町	3
毛呂	3
その他の目的地例	
藤岡、前橋、用土、寄居、武蔵嵐山、つきのわ、ふじみ野、熊谷	

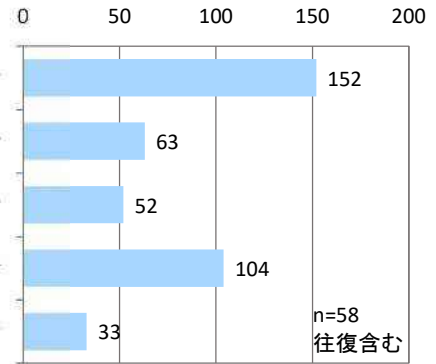
出発地	票数
高崎	12
小川町	4
毛呂	3
その他の出発地例	
池袋、藤岡、前橋、寄居、武蔵嵐山、つきのわ、坂戸、熊谷	

(4) 調査票を受け取った日の往復利用

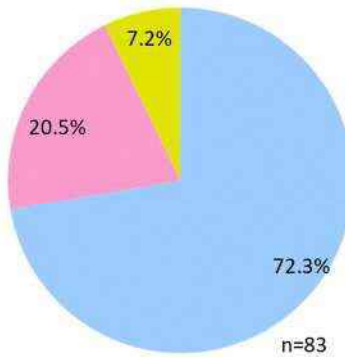
<令和4年度>



- 往復ともに利用した
- 行きだけ利用した
- 帰りだけ利用した
- 無回答



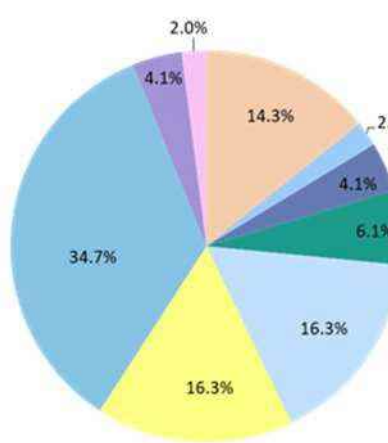
<平成30年度>



- 往復ともに利用する
- 行きだけ利用する
- 帰りだけ利用する
- 無回答

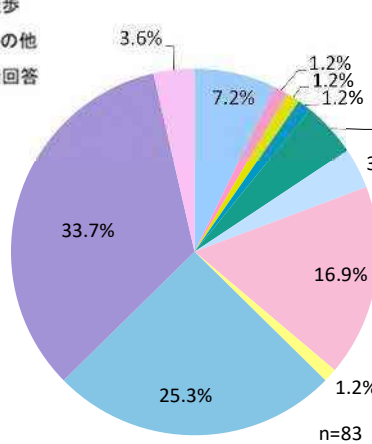
(5) 駅まで(から)の移動手段

<令和4年度>



- JR
- 路線バス
- はにぼん号・もといずみ号(デマンドバス)
- スクールバス
- 企業等送迎バス
- タクシー
- 自動車(自分で運転)
- 自動車(家族が運転)
- バイク
- 自転車
- 徒歩
- その他
- 無回答

<平成30年度>

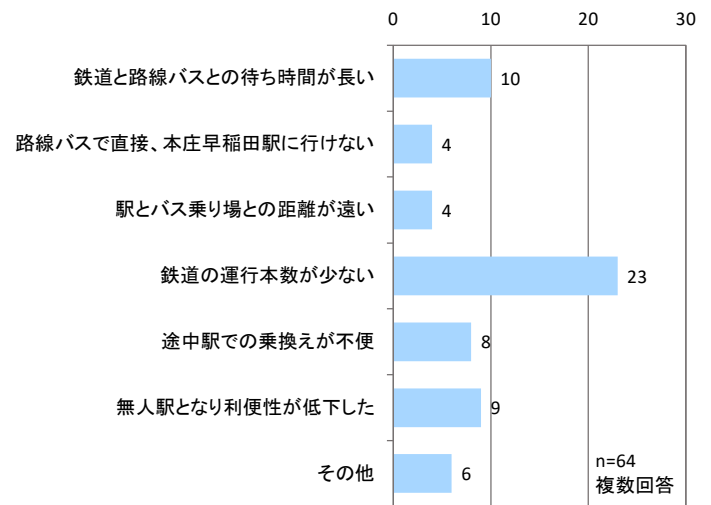
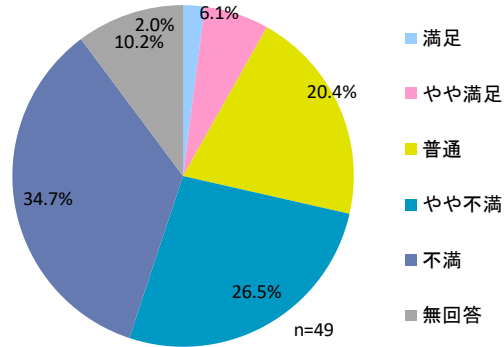


- 路線バス
- はにぼんシャトル(シャトルバス)
- はにぼん号・もといずみ号(デマンドバス)
- スクールバス
- 企業等送迎バス
- タクシー
- 自動車(自分で運転)
- 自動車(家族等の運転)
- バイク
- 自転車
- 徒歩
- その他
- 無回答

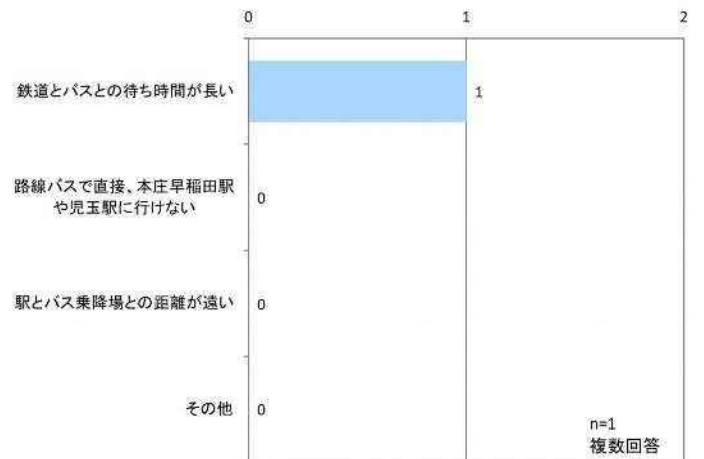
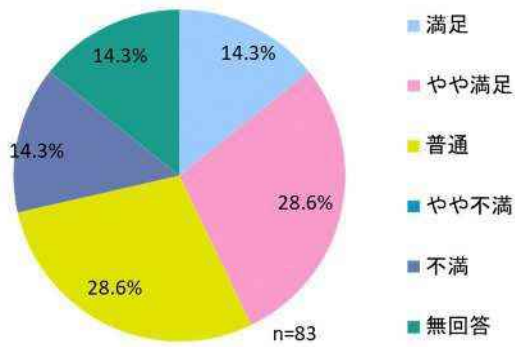
7.4.3. 児玉駅の乗り継ぎの満足度

(1) 利用満足度

<令和4年度>



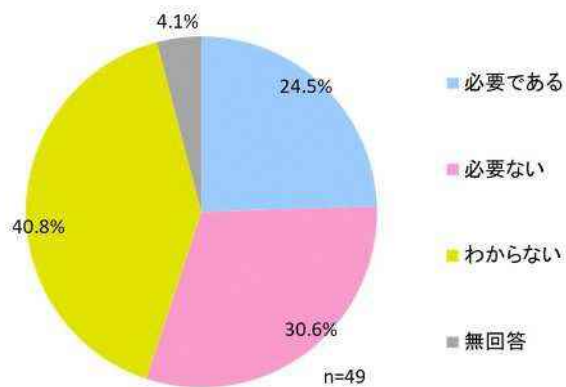
<平成30年度>



7.4.4. 児玉駅周辺について

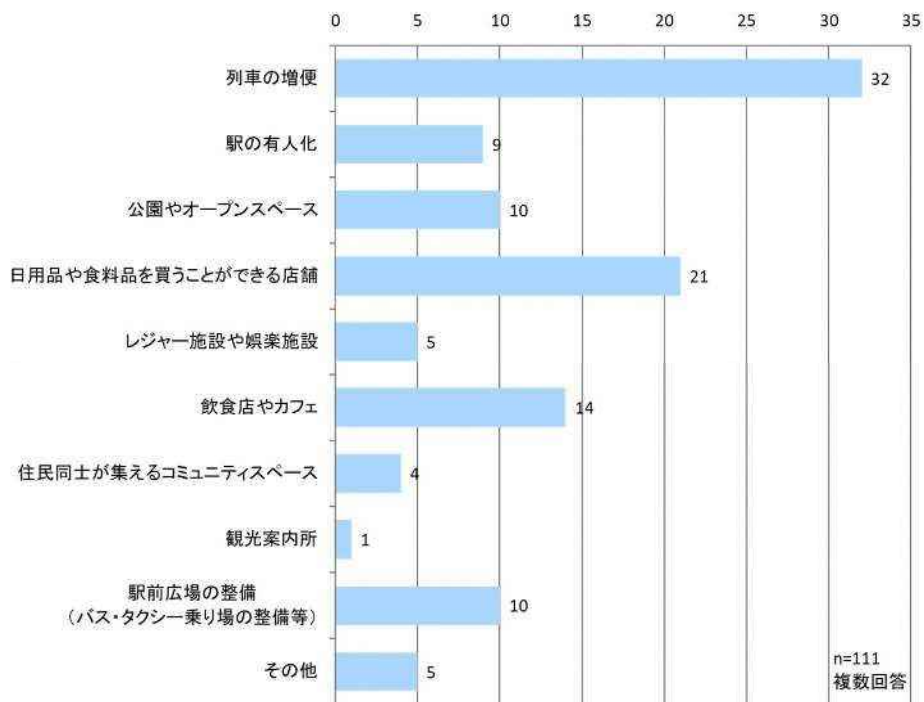
(1) 時間貸し駐車場の必要性

<令和4年度>



(2) 駅周辺の魅力向上に必要な事

<令和4年度>



7.4.5. 自由意見

<p>以前は電車待ち時間にドラッグストアや喫茶店で時間潰しができたけど、駅前整備が始まった頃からつまらなくなっただとを感じる(人口が減ったせいもあるけど)。</p>
<p>八高線は1時間に1本と運行数は少ないですが、わざわざ本庄に出て高崎線に乗り換えずに直接、高崎に行けるので、ずーっと運行できるよう児玉駅をきれいに安全に保ってほしいです。</p>
<p>費用対効果の面から便数を増やすのは難しいことだと思います。</p>
<p>児玉駅を無人化するのはさすがにバカです。無賃が多いです。</p>
<p>初めて八高線に乗りました。住民にとって使いやすくなるといいなと思います。</p>
<p>7、12、17時台の電車がなくて困る。</p>
<p>児玉町の不便さは、本庄早稲田駅へのアクセスがないことだと思います。できるだけ早く直行バスの運行をご検討ください。</p>
<p>朝の高崎発7時30分位→児玉着駅8時位に増便して欲しい。折り返しでホームが異なることがわからず、乗り誤る人がいるので時刻表に書いて欲しい。</p>
<p>車の免許を持っていないので、児玉駅までのバス停を作ってください。</p>
<p>八高線の本数を増やして頂きたいです。</p>
<p>僕が赤ちゃんの頃、ベビーカーで児玉駅を利用するのが本当に大変だったと母が言っていました。階段しかないので、体の不自由な方、ベビーカーを利用している人は本当に大変だと思います。</p>
<p>高崎線に組み込めればすごく発展します。</p>
<p>エレベーターは設置して頂くと、福祉上良いと思います。</p>
<p>そもそも高崎線は本庄ではなく、児玉に通す予定だった。それを児玉町民は拒否。富岡製糸場が世界遺産になる時、「競進社模範蚕室も一緒にどうですか?」にも拒否しているし、児玉の故人達は考えが難しい。「町になって100年」で喜んでいる。本庄が村だった時から町。発展させる気なし。是非とも本庄市に頑張ってもらいたい。</p>
<p>コインパーキングを作るなら線路の両サイドに作ることを望む。</p>
<p>八高線の本数を増やして欲しい。自分は目が不自由なので、階段の境目の印をはっきりさせて欲しい。</p>
<p>会社が児玉で8時30分～17時10分なので、朝8時児玉着、17時40分児玉発の高崎行の列車があると定時まで働けます。17時16分の次は18時40分しか高崎行がないので辛いです。高崎駅からは関越交通バスに乗っています。これも乗り継ぎが悪い時間帯もあります。アンケートをさせて頂き大変嬉しいです。ありがとうございました。</p>
<p>4人乗りの自動車両による駅までの集客、交通網の新設、又その車両をワンタッチで呼べるインフラ。</p>
<p>バスの本数が少ない。路線が少ない。</p>
<p>駅は鉄道やバスの利用だけでなく、待ち合わせにも使用される。このことを考えるとフリースペースとして、安心・安全な場所であると便利である。勉強したり、リモートしたり…。中学生の娘の送り迎えで長時間待たされることがあるが、誰もが気軽に利用できる場所が欲しい。クリニックや企業と連携し、安全を確保しつつ、気軽に出入りできるスペース。(突然の嵐や雨、暑さから避難できる場所)</p>
<p>八高線ガンバレ～～～</p>
<p>今年4回八高線を利用しました。今回も丹荘駅で40分待ち、本数の数にびっくりです。鉄道の利用する人が少なくなるのは、地方駅どこにもある現象ですが、初めて八高線を利用した者には本数の少なさにびっくりでした。たまたま初めて降りた駅でアンケートを受け取りました。日常利用しない者が答えていいのか迷いましたが、地方駅の縮小にこの駅も当面している事を肌で感じました。</p>
<p>問9で○が足りませんでした。駅の有人化もJRにメリットがなければ、現状をみて要請しにくいのでは。業務委託という方法もあるかと思っています。</p>
<p>駅周辺は人が集まる魅力的な場所にする。子供が遊べる公園が望ましい。</p>
<p>公共交通を便利に使用するには、本庄市児玉町をより住みよい街にし、企業増加することで人口を増やさないと、いつまでも公共交通の利用が増えないと思います。これはJRの問題かもしれませんが、八高線の児玉止まりは意味がない気がします。せめて他の鉄道と接続している寄居または小川町にすることで利便性があがるかと思っています。</p>

地域公共交通計画の 事例整理

事例（加須市、寄居町、小川町）



(1) 基本方針の事例



基本方針の事例を以下に示す。

寄居町

基本方針①：誰もが安心して利用でき、持続可能でコンパクトなまちづくりを支える公共交通網の確立

- ・本町では、人口減少や高齢化が進んでいる状況を踏まえ、町民の暮らしや経済活動を支え続けていくため、一定のエリアで人口密度を維持するコンパクトなまちづくりを進めています。この取り組みの一環として、特に、高齢者等の交通弱者が外出機会を減らすことなく、移動しやすい交通環境を創出し、誰もが安心して日常生活を送ることができる公共交通網の確立を目指します。
- ・また、自動車依存の軽減とあわせ、中心市街地の活性化に向け中心市街地への移動の利便性を確保していく必要があり、かつ隣接市町村のまちづくりとの整合を図りながら、これらと調和し誰もが安心して円滑に移動できる公共交通網の確立を目指します。

基本方針②：みんなが笑顔で利用できる愛のリタクシーの利用環境の改善

- ・愛のリタクシーは、町内の交通不便地域を解消し、町民が登録を行えばいつでも気軽に町内を移動できる交通手段であり、多くの利用者が満足しています。
- ・一方、このシステムを維持していくためには、登録者の利用を促進するとともにさらに多くの町民に利用してもらい、利用者を増やす必要があります。タクシーと異なる相乗りという観点からは、知人等グループでの利用や土日の観光需要の取り込みなども含めて、愛のリタクシーの利用環境改善を目指します。

基本方針③：拠点駅を中心とした公共交通環境づくり

- ・本町の中心市街地の玄関口である寄居駅は、鉄道、路線バスが結節する拠点であり、町民や観光・業務等で町外の来訪者が集う場となっています。
- ・寄居駅では、南口駅周辺の整備と合わせて、鉄道とバスの乗り換え環境の改善を進めるとともに、利用しやすい駅として案内標識等の整備を推進します。
- ・その他の駅についても、各駅の状況に合わせて、バリアフリー化や案内標識の整備、レンタサイクルの設置等を進めます。

小川町

(1) 目標①に対応する方針

〈目標①：高齢者等が自ら移動でき、健康的に暮らせる公共交通手段の導入〉

- 鉄道・バスを補完する公共交通の維持
- ・ 小さな需要、広い範囲に対応した交通手段の維持
- 高齢者等の外出を支援する公共交通施策の導入
- ・ 高齢者等が気軽に外出できる移動手段の確保（既存手段を含めた整理・再編）
- ・ 高齢者等の移動目的（通院、買物、交流等）に応じた公共交通網の形成

(2) 目標②に対応する方針

〈目標②：町民が利用したいと思え、生活の質を維持できる公共交通環境の形成〉

- 公共交通の骨格を担う鉄道と既存路線バスの維持・充実
- ・ 鉄道：利用環境の維持・充実
- ・ 町外バス路線：鉄道で結びつきの無い隣接市町村への路線維持
- ・ 町内バス路線：高いサービス水準の維持
- 公共交通利用環境の向上
- ・ 路線バス等の待合環境の充実
- ・ 乗継の利便性や運行頻度の充実等

(3) 目標③に対応する方針

〈目標③：小川町駅周辺のにぎわい創出や観光振興など、町の活性化に資する施策の推進〉

- 公共交通の結節点である小川町駅の機能充実
- ・ 駅南口の安全性・快適性の向上
- ・ 駅北口の開設
- 商業施設等との連携による町の活性化
- 公共交通での来訪者に対応した観光案内等の機能強化

(4) 目標④に対応する方針

〈目標④：公共交通の利用促進や環境負荷軽減に資する施策の推進〉

- 環境負荷軽減・公共交通の利用促進に向けたソフト施策の実施
- ・ 公共交通利用に対する町民の意識醸成
- ・ 環境負荷軽減に対する町民の意識醸成

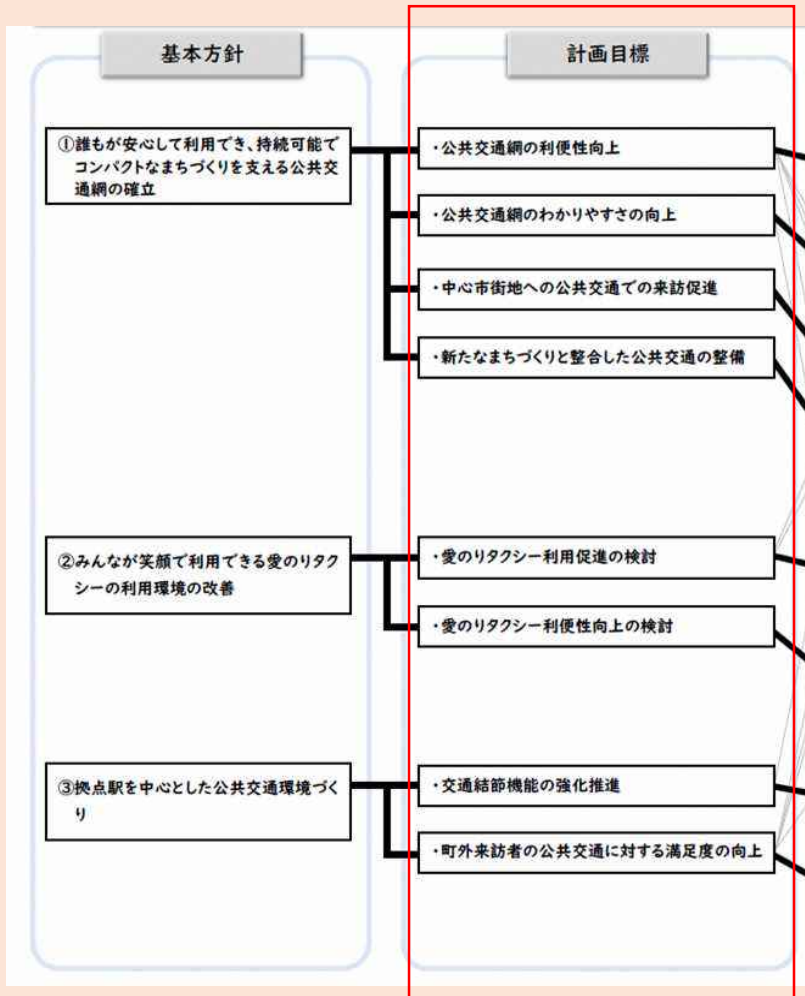


(2) 目標の事例



目標の事例を以下に示す。

寄居町



小川町

目標① 高齢者等が自ら移動でき、健康的に暮らせる公共交通手段の導入

既存の鉄道やバス等が確保されていない公共交通空白地域等において、自らの力で自由に移動できる手段を持たない高齢者等の移動を支援する公共交通手段を維持し、これらの町民の外出機会増加など健康的な暮らしに寄与していくことを目指します。

目標② 町民が利用したいと思え、生活の質を維持できる公共交通環境の形成

鉄道やバス等の既存公共交通は、高齢者等に限らずあらゆる世代の日常的な移動を支える役割を担うこととし、その維持・充実及び利用したいと思える環境形成を図ることによって、町民の生活の質を持続的に維持することを目指します。

目標③ 小川町駅周辺のにぎわい創出や観光振興など、町の活性化に資する施策の推進

本町の公共交通は、町民及び来訪者の移動を支える役割をメインとしながら、人の交流を促すことで間接的にまちのにぎわい創出や観光振興に寄与する役割を担うこととし、町の活性化に資する公共交通環境づくりを目指します。

目標④ 公共交通の利用促進や環境負荷軽減に資する施策の推進

本町の公共交通は、緑豊かな自然環境の保全を交通の面から支える役割（自然環境にやさしい交通体系の実現手法としての役割）を担うこととし、町民の意識醸成を図りながら、過度な自家用車利用から公共交通利用への段階的な転換を目指します。



(3) 施策の事例①



施策の事例として、デマンド交通の見直しに関する記述を以下に示す。

寄居町

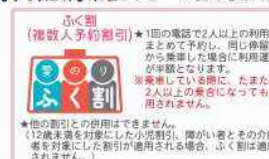
- 1) 愛のリタクシー利用促進の検討
- ⑨ 町民への愛のリタクシーの周知、PRの実施

■ 施策の概要

施策の概要	
目的	愛のリタクシー運行の主旨や利用方法、利用特典などの情報を広く町民に周知、PRすることによる、愛のリタクシーの利用促進を目的とします。
事業内容	愛のリタクシーについて、誰にでもわかりやすい利用方法のパンフレット等を作成し、全世帯に配布するとともに、駅や公共施設等の公共の場にポスターやパンフレットを設置する等、町民へのPR活動を実施することを検討します。
	《これまでの実績》
	・町ホームページで公共交通情報を提供 ・広報において、利用方法等の情報を提供
実施主体	タクシー事業者、寄居町

- ⑩ 利用状況に即したサービス提供の検討

■ 施策の概要

施策の概要	
目的	相乗り利用の促進を図るとともに、需要増に合わせた最適なサービス供給方法について検討することを目的とします
事業内容	相乗り利用の促進を図るため、利用率の高い郊外の大型商業施設や病院への予約を集約して送迎する仕組みを検討します。 また、乗車定員の多いワゴンタイプの車両を利用した輸送人員の増加策や、個人の利用だけでなく、友人や近所の方との相乗りを促進させるため、複数人利用による割引料金について検討します。 施策実施による需要増に即して、新たなサービス供給方法についても検討を進めます。
	<p>【事例紹介】乗合タクシーにおけるふく割（複数人予約割引）</p>  <p>複数人が同じ停留所から乗車した場合、運賃が半額となる。（同時予約が必要）</p> <p>（滋賀県愛荘町ホームページ）</p>
実施主体	タクシー事業者、寄居町

加須市

施策1 コミュニティバスに係る見直し

施策1-1 デマンド型乗合タクシーの運行体制の見直し

実施主体 加須市、加須市コミュニティバス円滑運行協議会

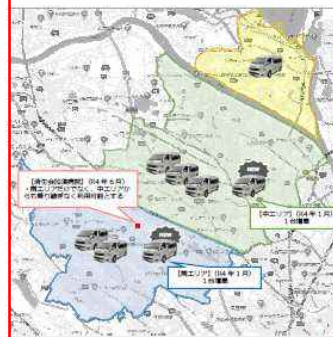
実施時期 短期（R4年1月～実施）

具体的な取組み内容

① 運行体制の強化

運行車両数を計6台から計8台へ増車します。

- ・北エリア：1台体制（変更なし）
- ・中エリア：3台体制→4台体制（1台増車）
- ・南エリア：2台体制→3台体制（1台増車）



（出典：加須市資料より作成）
デマンド型乗合タクシーの運行体制の見直し

② エリア外乗り入れポイントの追加

R4年6月開院予定の済生会加須病院をエリア外乗り入れポイントに追加します。中エリアからの乗り継ぎが不要となることで、通院利用の利便性向上や運行効率の向上を図ります。

施策1-2 デマンド型乗合タクシーの予約システムの見直し

実施主体 加須市、加須市コミュニティバス円滑運行協議会

実施時期 短期（R4年度実施）

具体的な取組み内容

予約システムについて、オンライン予約及び車両位置情報確認システムを導入し、より利用者にとって予約しやすくするとともに、配車・運行の効率化・オペレーターの業務負担軽減を図ります。



（出典：国土交通省研）
デマンド型乗合タクシーの予約システムの見直し（イメージ）



(3) 施策の事例②



施策の事例として、新しいサービスの導入に関する記述を以下に示す。

加須市

施策4 新たな交通モード、新技術の導入検討

施策4-1 情報オープンデータ化、MaaS等の導入検討

実施主体 加須市、各交通事業者

実施時期 短期・中期・長期(継続的に検討)

具体的な取組み内容

①情報オープンデータ化

バス経路情報、運賃情報、リアルタイム運行情報等のオープンデータ化に向けた検討を行います。オープンデータ化によって、地図アプリや経路検索アプリ等プラットフォームに情報が活用され、潜在的な需要の掘り起こしにつながる可能性があります。また、運行や利用実績について事後の分析が可能となるため、バスの運行改善・効率化が期待されます。



(出典：公)

(事例) バス運行情報

施策4-2 新たなモビリティ・技術の導入検討

実施主体 加須市、各交通事業者

実施時期 短期・中期・長期(継続的に検討)

具体的な取組み内容

高齢者の移動手段確保や回遊のための新たな交通手段としては、駅周辺や施設間の循環バス、シャトル便等のほか、開発・試験等が進められているグリーンスローモビリティや自動運転バス、超小型モビリティなど、多様な手段が考えられるため、今後の研究開発動向等の情報を収集するとともに、実証実験を行うことも検討します。事例収集の他、近隣市町との連携の可能性等も視野に入れながら検討を進めます。



(出典：埼玉工業大学 HP)
(事例) 自動運転バス実証実験(深谷市)



(出典：日高市 HP)
(事例) グリーンスローモビリティ実証実験(日高市)



(出典：上里町 HP)
(事例) 超小型モビリティ実証実験(上里町)

小川町

④地域主体での新しい移動サービスの導入可能性検討

■施策の概要

	概要
目的	地域における細かい移動ニーズへの柔軟な対応や、デマンドタクシーの持続可能性を高めるため、行政・住民・事業者等の地域に関連する多様な輸送資源を活用した、地域主体での新しい移動サービスの導入可能性を検討します。
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域における新しい移動サービスを導入する際の条件となる要素の状況を整理し、実施体制面での導入可能性を検討します。 【導入条件となる要素のイメージ】 <ul style="list-style-type: none"> 運行主体になり得る組織 運転や車両管理等の活動する人 運転者の資格 使用できる車両 ICT・IoT等の活用環境…など デマンドタクシーよりも効率的な運行が適している特定箇所へのまとまった移動やデマンドタクシーの指定乗降ポイント以外への移動、高齢者の交流の場となる移動サービスなど、新しい移動サービスで担うべき移動需要を把握します。
イメージ	<p>《地域主体での新しい移動サービスのイメージ》</p> <p>出典：地域支え合い型「移動サービス」ガイドブック(特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク)</p>

実施エリア	町全域			
実施主体	◎：地域、町 ○：協議会			
実施工程	実施項目	短期	中期	長期
	1) 導入条件となる要素の状況調査			
	2) 地域主体での新しい移動サービスが担うべき移動需要の調査			
	3) 導入可能性の検討			※検討結果に応じて実証実験等の実施



(4) 評価指標の事例



評価指標の事例を以下に示す。

寄居町

計画目標	事業	成果指標	
		現状値	目標値
(1) 誰もが安心して利用でき、持続可能でコンパクトなまちづくりを支える公共交通網の確立			
1) 公共交通網の 利便性向上	①人に優しい車内環境づくりの推進	町民満足度(バリアフリー化)	
	②鉄道駅及びバス乗降場のバリアフリー化の推進	6.2% (R3(2021)年)	20% (R8(2026)年)
	③免許返納者に対する公共交通利用特典の推進	町民満足度(公共交通利便性)	
2) 公共交通網の わかりやすさの向上	④鉄道情報、愛のリタクシー情報も含めた公共交通マップの充実	9.8% (R3(2021)年)	15% (R8(2026)年)
	⑤住民と連携を図った公共交通利用促進キャンペーンの実施		
3) 中心市街地への 公共交通での来訪促進	⑥沿線市町村及び鉄道事業者との鉄道利用促進策の検討	年間公共交通利用者数 (町内鉄道駅乗車人員)	
	⑦沿線市町村との路線バス利用促進策の検討	213万人 (R1(2019)年)	現状維持 (R8(2026)年)
4) 新たなまちづくりと 整合した公共交通の整備	⑧寄居駅・男衆駅を中心とした交通環境整備の検討		
(2) みんなが笑顔で利用できる愛のリタクシーの利用環境の改善			
1) 愛のリタクシー 利用促進の検討	⑨町民への愛のリタクシーの周知、PRの実施	愛のリタクシー利用者満足度	
	⑩利用状況に即したサービス提供の検討	56.0% (R3(2021)年)	65.0% (R8(2026)年)
	⑪地域通貨ポイントやICカード乗車券の活用等によるシームレスな交通環境の整備		
2) 愛のリタクシー 利便性向上の検討	⑫来訪者の利用が可能となる運行方法の検討	年間愛のリタクシー利用者数	
	⑬施設側の乗降場案内情報の整備	16,764人 (R1(2019)年)	17,000人 (R8(2026)年)
(3) 拠点駅を中心とした公共交通環境づくり			
1) 交通結節機能の 強化推進	⑭県北都市間路線バスの寄居駅南口への乗入れの実施	年間路線バス利用者数 (県北都市間路線バス2路線乗車人員)	
	⑮駅等の主要な乗換場所における快適な待合空間整備の検討	24,375人 (R1(2019)年)	現状維持 (R8(2026)年)
2) 町外来訪者の公共交通 に対する満足度の向上	⑯駅の公共交通案内標識の整備	案内標識設置箇所数	
	⑰レンタサイクル等の検討	1箇所 (R3(2021)年)	3箇所 (R8(2026)年)

※現状値のうち、公共交通利用者数・年間愛のリタクシー利用者数・年間路線バス利用者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による利用者の減少を考慮して、令和元(2019)年度値を使用

小川町

《本計画の達成状況を確認するための指標と目標値》

指標	現状値	目標値 (2025)	備考
【指標1】公共交通の満足度 (不満・やや不満の割合)	40.2% (2019)	現状値より 改善	計画全体を評価する指標
【指標2】デマンドタクシーの満足度 (不満・やや不満の割合) ※各満足度(運行時間・運行日・運賃・乗降場所・周知方法・待ち時間)の平均値	20.7% (2019)	現状値より 改善	目標①に対応する指標
【指標3】公共交通利用者数	(2019)	現状維持	目標②③に対応する指標
バス	小川パークヒル線	162,753人/年	現状維持
	みどりが丘循環線	189,258人/年	
	東秩父路線	66,316人/年	
	ときがわ路線	22,368人/年	
	熊谷路線	※数値なし	
鉄道	小川町駅(東武東上線)	9,449人/日	現状維持
	小川町駅(JR八高線)	1,198人/日	
	東武竹沢駅(東武東上線)	877人/日	
	竹沢駅(JR八高線)	※数値なし	
【指標4】利用促進活動実施回数 (利用促進イベント、行政区の出前説明会等)	2回/年 (2019)	現状維持	目標④に対応する指標

加須市

計画目標	項目	現状値		短期・中期における目標値 (R8年)
		(R1年)	(R2年)	
目標1 地域公共交通 利用者数の増加	コミュニティバス 1日あたり平均利用者数 (デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの合計)	201人/日	153人/日	270人/日以上
	デマンド型乗合タクシー 登録者数 (累計)	15,507人	15,903人	18,500人以上
	鉄道 1日あたり平均乗降客数 (市内4駅の合計)	27,078人/日	-	28,000人/日
目標2 地域公共交通 収支率の増加	路線バス 1日あたり平均利用者数 (市内全路線の合計)	1,525人/日	1,393人/日	1,500人/日
	コミュニティバス 収支率 (デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの合計、ただし収入に国庫補助金を含む)	19.4%	16.1%	現状以上
目標3 地域公共交通 利用促進の実施	利用促進事業の年間実施件数	-	-	5事業